

^※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書（工事）

契約番号：7111

件 名	海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事	
履行場所	海老名市さつき町 58 番地	
工 期	本契約締結日～令和 8 年 1 月 30 日	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○海老名市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に該当しますので、仮契約の締結(令和7年 5 月 20 日予定)になります。議会の議決を得た後、本契約として成立します。	
予定価格	200, 200, 000 円 (税込)	182, 000, 000 円 (税抜)
最低制限価格	有り（開札後算定型） 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格（70%）未満の場合 ※ただし、予定価格（税込）100 万円以下の案件は除く。	低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準を参照してください。 <u>契約締結にあたっての制限等</u> ○ 技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B（75 点）」以上である場合は除く。 ○ 技術者及び現場代理人の他案件（本市入札案件）との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可 ○ 前払金の制限（金額上限、中間前払金の制限など） 契約金額の 20%以内（海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。） ※前払金の上限金額は 5, 000 万円以下。中間前払金の支払いはありません。 <u>契約保証</u> 契約金額の 30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。 (ア) 公共工事履行保証証券による保証（履行ボンド）	
入札方法等	条件付一般競争入札（電子入札）	
契約保証金	○保証の種類 ・公共工事履行保証（※通称「履行ボンド」） 契約保証金の納付、保証事業会社等の契約保証又は履行保証保険（定額てん補）等で代えることはできません。 ○付保割合等 ・契約金額の 100 分の 30 以上 ・当該工事の契約不適合を補償する特約を付すること。 ※契約不適合：引き渡した工事目的物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	020 建築一式 経審 900 点以上 - 点未満 ※経審は最新の評価点で判断します。	○特定建設業許可を有すること
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 4 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	配置技術者	建築一式工事の監理技術者（専任・常駐）	
	現場代理人	約款に基づく配置（常駐） ※配置技術者と兼務可。	
	その他の要件	○一次下請発注総額の <u>5 %以上</u> を、海老名市に本店を有する者（入札参加資格者に限る。）に、一次下請として発注すること。（複数の者への合計額でも可） ※ただし、受注者が海老名市に本店を有する者の場合は、この限りではない。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く。 ○本市発注の建築一式工事において、過去 5 年間、工事評定で 65 点未満の工事がないこと。 ○特定建設業許可を有すること。（受任者で登録している場合は、受任者の特定建設業許可が必要）	
	落札件数制限	なし	
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2）<u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u>健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3）<u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u>健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書 ○契約保証に関する調書	
入札時提出 (システム添付)		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。<u>システムへはPDF化して添付してください。</u>	
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)		開札後、落札候補者は次の書類を F A X で提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 ○「下請発注に関する誓約書」（落札候補者が第 1 区分の場合は不要） ※原本については、落札決定後、契約検査課で契約書を受領する際に提出してください。なお、契約書を電子メールにて受領を希望する場合は、別に指示します。 ※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号（3 箇所）にマスキング(黒塗り)をして提出してください。	

海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事

内容説明事項書

海 老 名 市

1. 工 事 名 称 海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事
2. 工 事 場 所 海老名市さつき町58番地
3. 工 事 概 要 海西中学校屋内運動場の経年劣化に伴う改修及び機能向上改修工事を行うもの。

■ 建物概要RC造（１階）・S造（吹き抜け部）平屋建て 敷地面積：21,935.00㎡建築面積：901.7㎡ 延床面積：823.3㎡

■ 工事内容
 - ・直接仮設工事・防水改修工事（カバー工法、ウレタン塗膜防水等）
 - ・外壁改修工事（外壁補修、防水型複層塗材E等）
 - ・建具改修工事（アルミサッシ、鋼製建具、建具周囲・ガラスシーリング打替等）
 - ・内装改修工事（壁・床材の更新）
 - ・塗装改修工事（各所塗装塗替等）
 - ・仕上げ工改修工事（舞台設備等）
 - ・空調機設置工事
 - ・通信・情報設備改修工事・火災報知設備改修工事
4. 工 事 期 間 契約締結日 から 令和8年1月30日 まで
5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする

(1)設 計 図 68 枚

(2)内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル) 7 枚
6. 数 量 書 (1)数 量 書 43 枚

※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
9. その他の事項

項 目	適 用	内 容	備 考
(1)事業区分			
①事業区分	■ 補助事業 □ 市単事業	学校施設環境改善交付金	
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	■ 市担当者 ■ 外部委託者		
(3)工程関係			
①工期内施設利用	■ 有 □ 無		安全対策を施し、生徒その他各関係者の安全確保を図ること。
②関連工事、 その他工事	□ 有 ■ 無		
③施工時期の制限	□ 有 ■ 無		・部活動や学校行事等に極力配慮すること。 ・日曜、祝日は原則休工とする。
④施工時間の制限	□ 有 ■ 無		・施設運営に支障のないよう留意すること。 ・生徒の登下校時間に配慮すること。
⑤協議未成立事項	■ 有 □ 無	景観条例	監理者の指示のもと、色見本板等の作成に協力すること。

項 目	適 用	内 容 等	備 考
(4) 仮設関係			
①仮設計画	■ 有 □ 無	図示 (仮設計画図による)	受注者において、発注図の仮設計画図を参考に作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること。
②交通誘導員	■ 有 □ 無	数量書による	
③工事用電力、 水の利用	□ 有 ■ 無	受注者対応	【電気】 仮設電気は既存施設からの供給は不可とする。新たに敷地内に引き込むか発電機等での対応とすること。 【水道】 敷地内のメーターの本管側で分岐し、工事用のメーターを設けること。設置に当たっては、水道局と協議を行うこと。
④濁水・湧水処理における特別な対策等	□ 有 ■ 無		
(5) 支給品			
①支給品について	□ 有 ■ 無		
(6) 建設副産物関係			
①建設発生土	□ 有 ■ 無		
②建設副産物 建設廃棄物	■ 有 □ 無	数量書による	
③その他 (特別産業廃棄物等)	□ 有 ■ 無		
(7) 各種調査、使用制限			
①各種調査	■ 有 □ 無	特記仕様書による	
②使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	■ 有 □ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること（F☆☆☆☆使用）
(8) 現場対応			
①現場照査等	事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に監理受託者及び市監督員と協議し、確認をとること		
②公衆災害	本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること		
③原形復旧	工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること		
(9) その他			
①適用基準等	■ 海老名市ホームページ「海老名市公共工事共通事項書」適用図書による。		
②工事完成図書	■ 海老名市ホームページー検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる ■ 海老名市ホームページー営繕課担当事務 「海老名市営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による		
③海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること		
④法定外の労災保険の加入	本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること。		

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑 ②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等 ②埋蔵文化財
	(6)景観	①その土地の現在の景観 ②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観 ③道路等、都市基盤施設がもたらす景観
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源 ②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境 ②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境 ③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系 ②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系 ③土木工事により影響を受ける地下水
	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
	(5)建設副産物	①排出土 ②コンクリートガラ ③アスファルトガラ ④伐採材 ⑤まだ使用可能な製品 ⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず ⑦不要木材 ⑧PCB等の毒性物質 ⑨その他の建設廃材
	(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼動による騒音 ②工事用車両走行による騒音 ③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音 ④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼動による振動 ②工事用車両走行による振動
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
	(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響
	(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境 ②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断 ③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境 ④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性 ⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性

□ 設計・施工時に配慮する事項

3. 建物建築・改修工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
掘 削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
搬出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
地 業	砂利地業では再生砕石を使用する。	2-(5)-②③
型 枠	鋼製型枠の使用を検討する。	2-(6)
鉄骨・鉄筋	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
金属類	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
木 材	集成材の使用を検討する。	2-(1)-②
雨水排水	雨水の集水桝に浸透型を使用する。	2-(3)-③
内 装	石膏ボードはリサイクル製品を使用しない（廃棄処分時に有害物質が発生する）。	2-(5)-⑧
	壁紙等はリサイクル製品を使用する。	2-(1)-②
	ホルムアルデヒド等の低使用製品を使用する。	2-(5)-⑧
断 熱	冷暖房施設の省エネのため、断熱構造とする。	2-(1)-① 2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

□ 設計・施工時に配慮する事項

6. 機械設備工事

作業	配慮事項	環境要素
機械設備	低騒音・省エネ型のものを採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③ 3-(1)-④
掘 削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
排出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
埋め戻し	現場内排出土及び再生砕石を使用する。	2-(5)-①②③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	フロン等の適切な管理・処分を行う。	2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

☐ 設計・施工時に配慮する事項

7. 電気設備工事

作業	配慮事項	環境要素
電気設備	省エネ型機器を採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	P C B等の適切な管理・処分を行う。	2-(5)-⑧
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和7年度

数 量 書

工 事 名 称 海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事

工 事 場 所 海老名市さつき町58番地

工 期 契約締結日から令和8年1月30日まで

工 事 概 要 海西中学校屋内運動場の経年劣化に伴う改修及び機能向上改修工事を行うもの。

■ 建物概要

RC造（1階）・S造（吹き抜け部）平屋建て 敷地面積：21,935.00㎡

建築面積：901.7㎡ 延床面積：823.3㎡

■ 工事内容

- ・ 直接仮設工事・防水改修工事（カバー工法、ウレタン塗膜防水等）
- ・ 外壁改修工事（外壁補修、防水型複層塗材E等）
- ・ 建具改修工事（アルミサッシ、鋼製建具、建具周囲・ガラスシーリング打替等）
- ・ 内装改修工事（壁・床材の更新）
- ・ 塗装改修工事（各所塗装塗替等）
- ・ 仕上げユニット改修工事（舞台設備等）
- ・ 空調機設置工事
- ・ 通信・情報設備改修工事・火災報知設備改修工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

電気設備工事 種目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

7

屋内運動場		防水		外部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
平面 ウレタン塗膜防水	X-1 下地処理一式共	177	m ²			
立上り ウレタン塗膜防水	X-2 下地処理一式共	54.6	m ²			
脱気筒	ステンレス製 塗膜防水用	2	か所			
平面、立上り 下地処理	ウレタン+高圧水洗浄 10～15Mpa ウレタン塗膜防水	231	m ²			
屋根棟押え 取合シーリング*	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	72.8	m			
外巾木 取合シーリング*	一般部 ポリウレタン系 (PU-2) 10×10	138	m			
(建具関連)						
建具枠廻りシーリング*	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	170	m			
建具枠廻りシーリング* (既存建具)	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	161	m			
水切りシーリング* (既存建具)	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	55.8	m			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

屋内運動場		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S O P 塗り 改修仕様 (既存見掛鉄骨)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	1, 128	m ²			
S O P 塗り 改修仕様(既存ネット ウォーク手摺)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	69. 6	m			
S O P 塗り 改修仕様(既存スチ ール手摺)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	11	m			
S O P 塗り 改修仕様 (既存壁ブレース)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	142	m			
S O P 塗り 改修仕様 (既存1階タラップ)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	2	か所			
S O P 塗り (壁面折畳みハブスケッ トコールド下地)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止別途	5. 8	m ²			
E P 塗り (壁)	木部 工程B種(一般) 素地A種(屋内)	675	m ²			
E P 塗り (糸幅300mm以下) (巾木)	木部 工程B種(一般) 素地A種(屋内)	139	m			
E P 塗り (糸幅300mm以下) (カーテンボックス)	木部 工程B種(見上) 素地A種(屋内)	59. 1	m			
E P 塗り 改修仕様 (既存壁見切り)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	89. 3	m			
E P 塗り 改修仕様 (既存ブレース/アーム)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	18	m			
E P 塗り 改修仕様 (既存框)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	10	m			
E P 塗り 改修仕様(既存キヤ リー腰壁)	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	35. 3	m ²			
E P 塗り (糸幅300mm以下) (既存ホル巾木)	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	39. 6	m			
E P 塗り 改修仕様 (既存ホール壁)	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	24. 4	m ²			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

屋内運動場		内外装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
t ⁺ ニル床シート	t2.0 既存モルタル面 下地調整共	41.8	m ²			
外壁 発砲ウレタン充填	t25	365	m ²			
天井 ガラス繊維断熱材	t25	39.8	m ²			
計						

屋内運動場		ユニット及びその他		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
コンクリート撤去	既存配筋残し コンクリートブレーカ 集積共	1.3	m ³			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレーカ 集積共	0.1	m ³			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	18.1	m			
砕石撤去	積込共	0.2	m ³			
U字溝撤去	240×240 蓋共 集積共	10.1	m			
トップライト撤去	900×900 集積共	1	か所			
(内部)						
体育器具ボスト基礎 撤去	540×540×H570 集積共	18	か所			
前方吊り下げバスケットゴール撤去	W1800×H1050 支柱 集積共	2	か所			
固定式バスケットゴール 撤去	W1800×H1050 下地鉄骨 集積共	4	か所			
体育器具ボール撤去	集積共	18	か所			
カーテンボックス撤去	W400×H120×t23 木製 集積共	59.6	m			
ステージ階段撤去	集積共	2	か所			
室名札撤去	集積共	1	か所			

屋内運動場		ユニット及びその他		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
姿見撤去	W900×H1800 集積共	1	か所			
助木撤去	W3800×H2650 集積共	1	か所			
椅子収納台車撤去	W1250×D4145×H720程度×8台 集積共	1	式			
袖幕撤去	W850×H4100 集積共	2	か所			
引割緞帳撤去	W5700×H2100 集積共	2	か所			
一文字幕撤去	W11700×H850 集積共	1	か所			
脇幕1、2撤去	W1800×H4000 集積共	4	か所			
引割背面幕撤去	W5700×H4500 集積共	2	か所			
ﾊﾞﾄﾝ撤去	6.0m 支持ﾊﾞｲﾌﾞﾗｲヤー 集積共	2	か所			
暗幕撤去	W29780×H2900 集積共	2	か所			
暗幕撤去	W1600×H750 集積共	2	か所			
掃除用具入れ撤去	L540×940×H2700×t40 棚・吊り金物共 集積共	1	か所			
撤去機械運搬		1	式			別紙 00-0009
計						

屋内運動場		ユニット及びその他		外部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
浸透枳	塩ﾋﾞ製	4	か所			
浸透枳周囲 ｺﾝｸﾘｰﾄ打設	300×300×t150 砕石t100	4	か所			
犬走り、階段 欠損部補修	ﾓﾙﾀﾙ補修 100×100	20	か所			
犬走り、階段 ｸﾗｯｸ補修	自動式低圧ﾋﾞｼﾞ樹脂注入工法	3	m			
外壁 ｸﾗｯｸ補修	自動式低圧ﾋﾞｼﾞ樹脂注入工法	15	m			
手洗い場 ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ		1	台			
外壁ｸﾗｯﾌﾟ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ		1	か所			
室外機置場 ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ	H2000 独立基礎共	7.2	m			
室外機置場 ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ点検用扉	W1250×H2000 独立基礎共	1	か所			
U字溝	240×240 蓋:W250 溶融亜鉛ﾒｯｷ 地業、土工事共	10.1	m			
北側 室外機置場 新設	W4400×D6750程度 土工・地業、躯体まで(仕上別計上)	1	か所			
犬走・渡り廊下 床段差解消	ｺﾝｸﾘｰﾄ嵩上(仕上、溶接金網別計上)	1	か所			
現場発生土 場内敷きならし	締め固め共	2.1	m3			
屋上ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ 新設	900×900 FRP製ﾄｰﾑ 乳半色 網入りｶﾞﾗｽt6.8 ｱﾙﾐﾌﾚｰﾑ、ｱﾙﾐ水切 ｼｰﾘﾝｸﾞ、差筋ｱﾝｶｰ、ﾓﾙﾀﾙ充填共	1	か所			

屋内運動場		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コートライン引き	バドミントンコート用 13400×6100 黄線	6	面			
コートライン引き	剣道コート用 10000×10000 黒線	2	面			
電動吊上式 バスケットゴール	ポストW1800×H1050 支柱・押しボタンスイッチ共	1	組			
壁面折畳み バスケットゴール	ポストW1800×H1050 支柱共	2	組			
競技用ポスト受金物	バレーボール用	6	か所			
競技用ポスト受金物	バドミントン用	8	か所			
バレーボール用支柱		3	組			
バドミントン用支柱		4	組			
椅子収納台車	W1250×D4145×H720程度×8台	1	式			
ステージ階段	W900×H930 アルミ製	2	か所			
引割緞帳	W5700×H2100×2か所	1	式			
袖幕	W850×H4100×2か所	1	式			
一文字幕	W11700×H850	1	式			
脇幕1	W1800×H4000×2か所	1	式			
脇幕2	W1800×H4000×2か所	1	式			

屋内運動場		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
かすみ幕	W12500×H1100	1	式			
引割背面幕	W5700×H4500×2か所	1	式			
バトン	6.0m 支持パイプ ワイヤ 昇降リンク	2	か所			
暗幕	W720×H2900	4	か所			
暗幕	W1670×H2250	8	か所			
暗幕	W8330×H2900	4	か所			
暗幕	W5000×H2900	2	か所			
暗幕	W1600×H750	2	か所			
消火器BOX		1	か所			
ボール モップ掛け	400×100×t15 ビバ EP仕上 ステンレスフック×3か所	1	か所			
ボール 小物入	500×300×t15 ビバ EP仕上 ステンレスラケット×3か所	2	か所			
体育室 巻摺	木製 t30 2波形ポリウレタン樹脂ワニス	8.2	m			
(再利用)						
防球ネット 取外再取付	H4000～7000	100	m			
ロールスクリーン 取外再取付	W4000	1	か所			

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

[illegible]

電気設備工事 細目別内訳

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【電線】						
600V耐燃性ボリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	1. 6mm	308	m			
600V耐燃性ボリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	2. 0mm	1, 127	m			
600V耐燃性ボリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	5. 5mm2	356	m			
【ケーブル】						
600Vボリエチレン絶縁耐燃性ボリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	2. 0mm- 2C ビット・天井	4	m			
600Vボリエチレン絶縁耐燃性ボリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	2. 0mm- 3C ビット・天井	4	m			
600Vボリエチレン絶縁耐燃性ボリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	2. 0mm- 3C 管内	113	m			
EM-CEケーブル	5. 5mm2- 2C 管内	28	m			
EM-CETケーブル	14mm2 管内	122	m			
【電線管】						
厚鋼電線管 (G)	露出配管 16mm	39	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管 22mm	210	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管 28mm	86	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管 36mm	5	m			

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
厚鋼電線管 (G)	露出配管 54mm	107	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	14	m			
金属製可とう電線管 (F) (ビニル被覆有)	(17) エキスパンション用等	2	m			
金属製可とう電線管 (F) (ビニル被覆有)	(30) エキスパンション用等	4	m			
【分電盤】						
電灯盤L-1		1	面			
空調分岐盤		1	面			
【誘導灯】						
避難口誘導灯 C級 カート		5	個			
避難口誘導灯 BL級 カート		2	個			
【配線器具】						
タップラスイッチ (金属プレート付)	1P 15A ×1 ネーム無	1	個			
スイッチ 1P15A×2 PLタップ付・露出スイッチボックス 1個用		1	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×2 (一体形) 125V	4	個			
コンセント 2P15A×2 カートプレート付		4	個			

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンセント (金属プレート付)	2P15A×1 (引掛形接地極付プラグ 共) 125V	8	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 (抜止め) 125V	2	個			
金属製アウトレットボックス (カバー付)	中四角 浅型 D44	2	個			
ハスケットコントロール操作盤 キャビネット (スイッチ収納用)		1	面			
【ボックス類】						
プルボックス (150×150×100) 鋼板製 錆止め塗装	A	1	個			
プルボックス (150×150×100) 鋼板製 錆止め塗装 接地端子付	(A)	16	個			
プルボックス (150×150×100) 溶融亜鉛めっき 防水型	a	8	個			
プルボックス (200×200×150) 鋼板製 錆止め塗装 接地端子付	(B)	3	個			
プルボックス (200×200×150) 溶融亜鉛めっき 防水型 接地端子付	(b)	9	個			
プルボックス (300×300×200) 鋼板製 錆止め塗装 接地端子付	(D)	2	個			

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
電動機結線	直入始動方式	2	台			
【はつり工事】						
機械はつり(ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰによる配管用貫通口)	100～150mm 32mm	1	か所			
機械はつり(ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰによる配管用貫通口)	100～150mm 28mm	2	か所			
機械はつり(ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰによる配管用貫通口)	100～150mm 25mm	2	か所			
【既存】						
L－S 電灯盤 (600×1900×250)	【撤去】	1	面			
電灯盤 L－2	【取外し再取付】	1	面			
避難口誘導灯 BL級ｶｰﾄﾞ	【撤去】	7	個			
スイッチ 1P15A×1	【撤去】	1	個			
スイッチ 1P15A×3	【撤去】	1	個			
スイッチ 1P15A×3	【取外し再取付】	1	個			
コンセント 2P15A×2	【撤去】	5	個			
コンセント 2P15A×2 ｶｰﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄ付	【撤去】	1	個			
抜止コンセント 2P15A×2	【撤去】	1	個			

電気設備工事 細目別内訳

[illegible]

電気設備工事		通信・情報設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【ケーブル】						
EM-HPケーブル	1.2 mm- 2C 管内	164	m			
EM-HPケーブル	1.2 mm- 3C 管内	3	m			
EM-AEケーブル	1.2 mm- 2C 管内	21	m			
EM-AEケーブル	1.2 mm- 2C FEP内 (PF・CD)	7	m			
EM-AEケーブル	1.2 mm- 3C 管内	30	m			
EM同軸ケーブル	EM-S-5C-FB 管内	31	m			
EM-MEESケーブル	0.75mm2- 2C 管内	28	m			
【電線管】						
厚鋼電線管 (G)	露出配管 22mm	166	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管 36mm	11	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	11	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	1	m			
【1階平面図：凡例】						
金属製 フタレットボックス (カバー付)	中四角 深型 D54	1	個			

電気設備工事		通信・情報設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
フラッシュプレート (金属製)	丸型 フランク	1	個			
【拡声設備】						
ライト・ホーンスピーカー (防球カバー付)	【拡声設備】	2	台			
木製壁掛型スピーカー ATT付	【拡声設備】	8	台			
アンプ 6 W以下	【拡声設備】	1	台			
電源カトリレー	【拡声設備】	1	台			
【音響設備】						
アンプ 30 W以下	【音響設備】	1	台			
プロアンプコンセント	【音響設備】	3	台			
【時刻表示設備】						
パルス発生器	【時刻表示設備設備】	1	台			
モニター時計	【時刻表示設備設備】	1	台			
【機器姿図】						
PAアンプ 240 W 2局	【音響設備】 チューナー(2波)(4波) 分配器 CDプレーヤー共	1	式			

電気設備工事		通信・情報設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ワイヤレスマイク ハンド型	【音響設備】	4	台			
ワイヤレスマイク タビコン型	【音響設備】	2	台			
ワイヤレスマイク 用充電器	【音響設備】	3	台			
マイクスタンド	スタンド形	1	個			
【2階平面図：凡 例】						
メインスピーカー	【音響設備】	2	台			
ハネ返りスピーカー	【音響設備】	1	台			
壁取付用ワイヤレスアンテナ	【音響設備】	1	台			
壁取付用ワイヤレスアンテナ （防球ガード付）	【音響設備】	1	台			
壁取付型時計（700Φ）	【時刻表示設備設備】	1	台			
アルボックス（150×150×100）鋼板製 錆止め塗装	A	9	個			
アルボックス（150×150×100）溶融亜鉛めっき 防水型	a	4	個			
アルボックス（300×300×200）鋼板製 錆止め塗装	D	1	個			
【はつり工事】						
機械はつり（タビコンドクターによる配管用貫通口）	100～150mm 25mm	6	か所			

電気設備工事 細目別内訳

電気設備工事		通信・情報設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【既存】						
ホーン型スピーカー（非常放送用）	【撤去】	2	台			
アンプネーター	【撤去】	1	台			
マイクジャック	【撤去】	2	台			
マイクジャック（床埋込）	【撤去】	3	台			
パルス発生器	【撤去】	1	台			
MMA用ボックス（1個用）	【撤去】	1	台			
災害用特設公衆電話用端子盤	【取外し再取付】	1	面			
wifiアンテナ	【取外し再取付】	2	個			
モジュラージャック	【取外し再取付】	1	個			
メインスピーカー	【撤去】	2	台			
壁掛け時計 撤去	【撤去】	1	個			
ワイヤレスアンテナ	【撤去】	1	台			
5C-2V （コネクタ）	【撤去】	3	m			
HIV1. 2×2 （19）	【配線のみ撤去】	102	m			

電気設備工事		通信・情報設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
MVVS0. 75-2C×1 (19)	【配線のみ撤去】	5	m			
MVVS0. 75-2C×2 (25)	【配線のみ撤去】	10	m			
MVVS0. 75-2C×3 (25)	【配線のみ撤去】	12	m			
UTP-4P (CAT6) (MM A)	【撤去】 UTP-4P (CAT6) 分	3	m			
UTP-4P (CAT6) (MM A)	【撤去】 (MMA) 分	3	m			
UTP-4P (CAT6) (PF 16)	【取外し再取付】 UTP-4P (CAT6)	8	m			
UTP-4P (CAT6) (PF 16)	【撤去】 (PF16) 配管のみ撤去分	8	m			
1.6×2 (19)	【撤去(立上り)】 1.6×2分	14	m			
1.6×2 (19)	【撤去(立上り)】 (19)分	7	m			
5C-2V (コネクシ)	【撤去(立上り)】	7	m			
HIV1. 2×2 (19)	【配線のみ撤去(立上り)】	14	m			
HIV1. 2×2 (19)	【配線のみ撤去(2階)】	24	m			
計						

電気設備工事 細目別内訳

電気設備工事		火災報知設備		自動火災報知		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
分布型感知器 (空気管式)	白ビニール コンクリート造	502	m			
ねじなし電線管 (E)	隠ぺい・埋込配管 19mm	7	m			
ねじなし電線管 (E)	隠ぺい・埋込配管 25mm	7	m			
分布型感知器 (1,2,3種)	埋込 3個用	1	個			
分布型感知器 (1,2,3種)	埋込 4個用	1	個			
火災報知立会検査	P型1級	1	1 工事			
【既存】						
差動式分布型感知器 (空気管式)	【撤去】	581	m			
配管 (19)	【撤去】	14	m			
差動式スポット型感知器 2種 撤去	【撤去】	3	個			
差動式分布型感知器の検出部 3 個用 撤去	【撤去】	2	個			
計						

機械設備		計装設備		計装設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
EM-CEE-Sケーブ ^ル	1. 25mm2- 2C 管内	89	m			
EM-CEE-Sケーブ ^ル	1. 25mm2- 2C 冷媒管共巻き	117	m			
1種金属線び ^り (MM1)	A型 (25. 4mm)	8	m			
樹脂製キー付収納箱	200x300x140	1	個			
露出スイッチボックス	据付共 19 (E19, 16) 2個用	3	個			
計						

機械設備		ガス設備		ガス設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(配管工事費)						
カラー鋼管	15mm	0. 5	m			
カラー鋼管	20mm	0. 5	m			
カラー鋼管	40mm	2	m			
カラー鋼管	50mm	6. 5	m			
PE管	50mm	43	m			
ネジコック	20mm (WP2型)	2	個			
(特別材料費)						
分岐コック	15mm	1	個			
分岐コック	40mm	1	個			
PE直埋設型 ボールバルブ ^ブ	50mm	1	個			
レジシビ ^レ ットC型 (小)		1	個			
(附帯工事費)						
配管受台ベース	～50mm	3	個			
ステンレスアング ^ル ブラケット	50mm	4	個			

[illegible]

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し(内部改修)	複合改修	767	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
(外部)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,068	m ²			
養生(外壁改修)		300	m ²			
(内部)						
養生(内部改修)	複合改修	767	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0003
(外部)						
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,069	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		300	m ²			
(内部)						
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	767	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用90日賃料 修理費含む	1,377	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用90日賃料 修理費含む	170	m			
荷揚げ資材仮置き ステージ足場	供用90日賃料 修理費含む	25.8	m ²			
安全手すり (ステージ足場)	供用90日賃料 修理費含む	21.6	m			
脚立足場	供用30日賃料 修理費含む	181	m ²			
計						

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0005
内部仕上足場	脚立足場 掛払・損料共 存置期間:2か月	70.2	m ²			
枠組棚足場	階高7.4m以上9.1m未満 掛払・損料共 存置期間:2か月	95.5	m ²			
枠組棚足場	階高9.1m以上10.8m未満 掛払・損料共 存置期間:2か月	591	m ²			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0006
ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類 供用90日賃料 修理費含む	1,377	m ²			
小幅ネット張り	防災ボ リエステル 供用90日賃料 修理費含む	275	m			
計						

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0007
(外部)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	1,377	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	170	m			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	25.8	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	21.6	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	181	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		1,377	m ²			
仮設材運搬 (小幅ネット)		275	m			
(内部)						
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	70.2	m ²			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	7.4m以上9.1m未満	95.5	m ²			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	9.1m以上10.8m未満	591	m ²			
計						

電気設備工事		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材処理		1	式			別紙 00-0013
発生材処分	金属くず	1	m3			
発生材処分	混合廃棄物	1	m3			
計						
運搬費		1	式			別紙 00-0014
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 石こうボード類 DID区間有り 5.0km以下	2	m3			
計						

機械設備 別紙明細

機械設備		空調設備		配管設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管用架台		1	式			別紙 00-0015
配管用架台①		20	個			
配管用架台③		2	個			
計						
保温工事		1	式			別紙 00-0016
保温化粧ケース (鋼板製)	100 × 70	5	m			
冷媒管保温	屋外露出、ステンレス鋼板 100A	105	m			
計						
はつり工事		1	式			別紙 00-0017
機械はつり(ダクトセ ントカッターによる 配管用貫通口)	200mm程度 75mm	16	か所			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員B		1	式			別紙 00-0018
ガードフェンス	H=1.8m 運搬共 設置期間6か月	1	式			別紙 00-0019
ガードフェンス	H=1.8m 運搬共 設置期間2週間	1	式			別紙 00-0020
クロスゲート	W6.0m×H1.8m 運搬共 設置期間6か月	1	式			別紙 00-0021
室内環境測定	ホルム・VOC 事前・事後 6か所	1	式			別紙 00-0022
ラフレージンクレーン運転 (油圧伸縮シブ型)		1	式			別紙 00-0023
樹木伐採・伐根 枝払い		1	式			別紙 00-0024
水栓式仮設便所	2棟 設置期間6か月	1	式			別紙 00-0025
ピアノ 体育器具庫移設再 設置	調律共	1	式			別紙 00-0026
仮設倉庫		1	式			別紙 00-0027
既存備品移動再設 置	体育備品他	1	式			
アスベスト粉塵濃度測 定費	2検体	1	式			別紙 00-0028
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員B		1	式			別紙 00-0018
交通誘導員B		40	人			
計						
ガードフェンス	H=1.8m 運搬共 設置期間6ヵ月	1	式			別紙 00-0019
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 掛払い手間	114	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 供用1日賃料 修理費含む 設置期間6ヵ月	114	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 基本料 修理費含む	114	m			
仮設材運搬 (ガードフェンス)		114	m			
計						

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ガードフェンス	H=1.8m 運搬共 設置期間2週間	1	式			別紙 00-0020
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 掛払い手間	26	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 供用1日賃料 修理費含む 設置期間2週間	26	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 基本料 修理費含む	26	m			
仮設材運搬 (ガードフェンス)		26	m			
計						
クロスゲート	W6.0m×H1.8m 運搬共 設置期間6ヵ月	1	式			別紙 00-0021
クロスゲート	W6.0m×H1.8m	1	ヵ所			
計						
室内環境測定	ホルム・VOC 事前・事後 6ヵ所	1	式			別紙 00-0022
室内環境測定	ホルム・VOC 事前・事後 6ヵ所	1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ラフテレンクレーン運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)		1	式			別紙 00-0023
ラフテレンクレーン運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	25t吊り オﾊﾞﾚﾀ付き 賃料 標準	2	日			
計						
樹木伐採・伐根 枝払い		1	式			別紙 00-0024
伐採・伐根	φ200 H5.0m	1	本			
伐採・伐根	φ150～300 H1.0m	3	本			
伐根	φ100 H1.0m	3	本			
高木伐採	枝払い	12	本			
計						
水栓式仮設便所	2棟 設置期間6ヵ月	1	式			別紙 00-0025
水栓式仮設便所		2	棟			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
体育器具庫移設再設置	調律共	1	式			別紙 00-0026
体育器具庫移設再設置	調律共	1	か所			
計						
仮設倉庫		1	式			別紙 00-0027
仮設倉庫		1	か所			
計						
アスベスト粉塵濃度測定費	2検体	1	式			別紙 00-0028
アスベスト粉塵濃度測定費	2検体	1	式			
計						

海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事

図 面 リ ス ト					
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
No. A - 00	表紙・図面リスト	No. A - 26	ステージ ブドウ棚 舞台装置 詳細図	No. E - 01	電気設備改修工事特記仕様書
No. A - 01	特記仕様書(1)	No. A - 27	既存改修 1階天井伏せ図	No. E - 02	電灯設備 既存 1階平面図
No. A - 02	特記仕様書(2)	No. A - 28	既存改修 吹抜部天井伏せ図	No. E - 03	電灯設備 改修 1階平面図・平面詳細図
No. A - 03	特記仕様書(3)	No. A - 29	1階 キープラン表	No. E - 04	電灯設備 既存 2階平面図
No. A - 04	特記仕様書(4)	No. A - 30	吹抜け部 キープラン表	No. E - 05	電灯設備 改修 2階平面図
No. A - 05	案内図・配置図	No. A - 31	建具表(1)	No. E - 06	拡声設備 機器姿図
No. A - 06	特記事項・外壁改修内容一覧表	No. A - 32	建具表(2)	No. E - 07	音響設備 システムブロック図・機器姿図
No. A - 07	仕上表	No. A - 33	ホール 平面図・展開図	No. E - 08	通信・情報設備 既存 1階平面図
No. A - 08	既存 1階平面図	No. A - 34	既存改修 体育室床改修平面図	No. E - 09	通信・情報設備 改修 1階平面図・平面詳細図
No. A - 09	改修 1階平面図	No. A - 35	体育室床 詳細図	No. E - 10	通信・情報設備 既存 2階平面図
No. A - 10	既存 吹抜部平面図	No. A - 36	コートライン詳細図・基礎配置図	No. E - 11	通信・情報設備 改修 2階平面図
No. A - 11	改修 吹抜部平面図	No. A - 37	椅子収納台車・移動階段詳細図	No. E - 12	自動火災報知設備 既存 1階平面図
No. A - 12	既存 屋根伏せ図	No. A - 38	電動吊上式バスケットゴール詳細図	No. E - 13	自動火災報知設備 改修 1階平面図
No. A - 13	改修 屋根伏せ図	No. A - 39	壁面折畳みバスケットゴール 詳細図	No. E - 14	自動火災報知設備 既存 2階平面図
No. A - 14	既存改修 東側立面図	No. A - 40	改修 屋根詳細図	No. E - 15	自動火災報知設備 改修 2階平面図
No. A - 15	既存改修 西側立面図	No. A - 41	防水改修標準図	No. E - 16	電動吊上式バスケットゴールの制御盤(参考)
No. A - 16	既存改修 南側立面図	No. A - 42	外壁の改修工法ディテールシート(1)	No. M - 01	機械設備特記仕様書
No. A - 17	既存改修 北側立面図	No. A - 43	外壁の改修工法ディテールシート(2)	No. M - 02	空調設備 改修 1階平面図
No. A - 18	既存 断面図	No. A - 44	改修塗料等仕様書	No. M - 03	換気設備 改修 2階平面図
No. A - 19	改修 断面図	No. A - 45	雑詳細図(1)	No. M - 04	計装設備 改修 1階平面図
No. A - 20	既存 矩計図	No. A - 46	雑詳細図(2)		
No. A - 21	改修 矩計図	No. A - 47	仮設計画図(参考)		
No. A - 22	既存 体育室展開図(1)				
No. A - 23	既存 体育室展開図(2)				
No. A - 24	改修 体育室展開図(1)				
No. A - 25	改修 体育室展開図(2)				



特記仕様書

I 工事概要

1 工事番号・名称

海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事

2 工事場所

海西中学校 海老名市さつき町58番地

3 用途地域等

都市計画区域(○内・外) 用途地域(第一種住居地域)
防火地域等(・防火 ○準防火 ・指定なし ・22条)
その他の地域・地区()

4 主要用途

屋内運動場

5 延床面積

823.30 m²

6 工事の概要

『屋内運動場の経年劣化に伴う改修及び機能向上改修工事を行うもの』

7 別途工事

8 その他

9 特配仕様書の範囲

特配仕様書は、本特配仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
○機械設備改修工事特配仕様書 ○電気設備改修工事特配仕様書

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特配仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし、改修標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。
なお、その他施工条件は、別途本工事内容説明事項書による。

2. 特配仕様

1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2)特配事項は、○印のついたものを適用する。(○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。
3)特配事項に記載の()、< > 及び[]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項	目	特記事項			
I一般共通事項	① 一般事項	● 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 ・ 調査範囲 ※ 図示	<1.1.4>			
		○ 工事写真の撮り方(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 最新版) ○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 最新版) ○ 海老名市公共工事共通事項書				
	② 適用基準等	○ 工事写真の撮り方(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 最新版) ○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 最新版) ○ 海老名市公共工事共通事項書				
		○ 工事写真の撮り方(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 最新版) ○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 最新版) ○ 海老名市公共工事共通事項書				
	③ 工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する(精算額が500万円以上の場合) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。	<1.1.4>			
		・ 適用しない				
	④ 発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの() ・ 特別管理産業廃棄物() 受入れ施設名・所在地(km) ・ 現場において再利用を図るもの() ○再生資源化を図るもの	<1.3.12>			
		種類 受入施設名 所在地(Km) 備考				
		○コンクリート塊 ○アスファルト コンクリート塊 ・建設発生木材 ○コンクリートから成る建設資材 ・				
		○その他の廃棄物(安定型) 種類 受入施設名 所在地(Km) 備考				
	○アスベスト含有成形板等					

III 環境配慮

⑤ 電気保安

⑥ 事故報告

⑦ 建築材料等

*その他の廃棄物(管理型)	種類	受入施設名	所在地(Km)	備考
上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること				
PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器	・有 ・無	[5.4.3]		
PCB含有シーリング材	・有 ・無	[5.4.4]		
PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に詰め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。				
アスベストの処理 吹き付けアスベスト除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) アスベスト含有保温材除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) アスベスト成形板除去工事 受け入れ施設名・所在地(km)	・有(図示) ・無 ・有(図示) ・無 ○有(図示) ・無			
ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理 ヒ素又はカドミウムボード	・有(図示) ・無			
⑧ 室内の空気中の化学物質濃度の測定	※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外の場合 該当する建築材料 1)JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2)建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3)次の表示のあるJAS適合品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d.ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用	<1.4.1>		
※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空气中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質	※ ホルムアルデヒド(濃度指針値 100 μg/m ³ • 0.08ppm) ※ スチレン (濃度指針値 220 μg/m ³ • 0.05ppm) ※ トルエン (濃度指針値 260 μg/m ³ • 0.07ppm) ※ エチルベンゼン(濃度指針値 3,800 μg/m ³ • 0.88ppm) ※ キシレン (濃度指針値 200 μg/m ³ • 0.05ppm) ※ ハリタケノコペンセン(濃度指針値 240 μg/m ³ • 0.04ppm)	<1.7.9>(1.5.9)		
測定する室等:(体育室・ステージ・ホール 事前事後)				
採取方法:吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。				
測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 ・測定結果 ・試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事 completion から測定日までの日数) ・試料採取方法、測定方法、使用した測定機器				
測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡しを受けない。				
・総揮発性有機化合物の測定 測定方法、測定物質及び測定か所等については、別図に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。				
※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。				
9.特別な材料の工法	「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。			

IV 建築基準法等

10.建築基準法による風圧力等の指定

11.設計GL

⑫ 施工調査

13.技能士

＜3.5.4＞<3.9.3＞<5.12.5＞(13.2.3)(13.3.3)	適用工事	建築基準法の指定
・合成高分子系ルーフィングシート ・アルミニウム笠木 ・折屋根根葺	・金属版屋根葺 ・ガラスブロック	※34 地表面粗度区分・Ⅱ・Ⅲ 多雪地域の指定・有・無
※ 図示	・現状平均地盤高	
施工数量調査 ・既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。		<1.6.2> <1.6.3>
調査項目 調査範囲 調査方法 成果品	外壁 全面 目視・打診	
下地で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下場で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ・下場で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。		<1.7.2>
工事種目	技能検定職種(技能検定作業)	
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種(作業)の全て	
仮設工事	・とび(とび作業)	
防水改修工事	・防水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート系防水工事作業 ・FRP防水工事作業)	
外壁改修工事	・左官(左官作業)・タイル張り(タイル張り作業) ・樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ・塗装(建築塗装作業)	
建具改修工事	・サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ガラス施工(ガラス工事作業) ・自動ドア施工(自動ドア施工作業)	
内装改修工事	・内装仕上げ施工(・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業)	
塗装改修工事	・表装(壁装作業)	
耐震改修工事	・塗装(建築塗装作業) ・鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・型枠施工(型枠工事作業) ・とび(とび作業) ・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業) ・鉄工(構造物鉄工作業)	
コンクリートブロックALCパネル掘削成形セメント板工事	・ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)	
石工事	・石材施工(石張り作業)	
排水工事	・配管(建築配管作業)	
舗装工事	・路面表示施工(・溶融ベイトハドマーカー工事作業 ・加熱ベイトマシンマーカー作業)	
植栽工事	・造園(造園工事作業)	
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工(スレート工事作業)	
⑭ 完成時提出書類	※ 見開きA3(製本A4判) 竣工図、施工図(検査後提出) 3部 ※ 本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類 1式 ※ 建築物等の維持・保全に関する資料(検査後提出) 1式 ※ その他監督職員が指示したもの 1式	
⑮ 工事写真	※ 作成する ・ 作成しない 工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。	
⑯ 設備工事との取合い	施工範囲 各工事図面による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承認を受ける。	
⑰ 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡し日まで	

V 仮設工事

① 仮囲い

② 交通誘導員

③ 工事表示板

④ 足場その他

⑤ 養生

6. 仮設間仕切り

7. 監督職員事務所

⑧ 工事用水

⑨ 工事用電力

⑩ 工事用通路

11. その他の仮設

※ 設ける 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ○カードフェンス(H=1800)・波形鉄板(H=)・単管シート(H=) ・シートゲート(H= , W=) × 箇所	※ 設けない	
※ 配置する ・ 配置しない		
※ 設置する 海老名市公共工事共通事項書による	・ 設置しない	
内部足場 防護シート 材料の運搬	※ 脚立、足場板等 ○ 設ける ・ A種 ○ D種	○ 枠組棚足場 ・ 設けない ・ B種 ・ C種 <表2.2.2>
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。		
家具の移動 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う	○ 行う(図示) ・ 行わない	<2.3.1>
養生の方法 保管場所	・ 行わない	
・ 設ける(図示)	・ A種 ・ B種 ※ C種	<2.3.2><表2.3.1>
※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) ・ 設ける(規模 m ² 程度 請負者事務所と同様・可・否) 備品(		<2.4.1>
構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償・無償) ※ 利用できない	※ 利用できない	
※ 指定しない ○ 指定する(図示)		

VI 防水改修工事

1. アスファルト防水

2. 伸縮調整目地

3. 改質アスファルトシート防水

4. 合成高分子系ルーフィングシート防水

5. 塗膜防水

⑥ シーリング

⑦ シーリング改修工法

⑧ とい

改修工法の種別 新規防水層の種別 改修工法の種類 施工箇所	<3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3～10>	
・ ・ ・ ・Eー1		
アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示艶黠製品 ※3種	<3.2.2>	
脱気装置 種類 施工業者	・ 設ける ・ 設けない ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。	<3.3.3>
※ 成型伸縮目地(天端 EPTゴム、サイド ブチルゴム製)	<3.3.2><3.3.5>	
改修工法の種別 新規防水層の種別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料	<3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1～2>	
・ASーT ・ASーJ ・ASーI	※ カラー ・ シルバー	
脱気装置 種類 施工業者	・ 設ける ・ 設けない ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。	<3.4.3>
改修工法の種別 新規防水層の種別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料	<3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1>	
・SーF2 ・SーM2 ・SIー	※ カラー ・ シルバー	
脱気装置 種類 施工業者	・ 設ける ・ 設けない ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。	<3.5.3>
改修工法の種別 新規防水層の種別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料	<3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1>	
○Xー1 ○Xー2 ・Yー2	※ カラー ・ シルバー	
脱気装置 種類 施工業者	○ 設ける ・ 設けない ○ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。	<3.6.3>
※ 被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。 ・ <表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料	<3.7.2><表3.7.1>	
<表3.7.1>によらない箇所	シーリング材料	
改修工法の種別 改修工法の種類 施工箇所	<3.1.4><3.7.4～8><表3.1.2>	
○シーリング充てん工法 ○シーリング再充てん工法 ・ 拡張シーリング充てん工法 ・ プリッジ工法()	金属屋根取合い 板間・建具取合い	
	<3.8.2><表3.8.1><表3.8.3～4>	
材 種 防 霽		
・ 配管用鋼管(SGP) ○硬質塩化ビニル管(VP) ・	※ <表3.8.3～4>により行う	
特配無き限り既存のとい受け金物を使用する。		
鋼管製といの防霽巻き ※ <表3.8.5>による。	<3.8.3><表3.8.4>	

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事		海老名市	図面名称	特記仕様書（１）		
			縮尺	NO SCALE	図面番号	A - 01

外壁改修工事	⑨ ルーフドレイン 10. アルミニウム製笠木 ⑪. 防水保証	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ・ 横型 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 板材折曲げ形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種 アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、施工業者との連名の保証書を提出する。 塗膜防水及びウレタン系塗布防水については、メーカー・防水業者が通常定めている期間として、作成し提出する。	③ 浮き部改修	・ モルタル塗り仕上げ 工 法 1箇所 の面積 (㎡) 浮き代 (mm) アンカーピン (本/㎡) 注 入 口 (箇/㎡) 延べ面積 (㎡) ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 0.25 未満 ※16 ・ ※25 ・ ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 0.25 以上 1.0 以下 ※13 ・ ※20 ・ ・アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法 0.25 以上 1.0を 越える ※13 ・ ※20 ・ ・注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法 0.25 未満 ※9 ・ ※16 ・ ・注入口付アンカーピン ニング全面エポキシ 樹脂注入工法 0.25 以上 1.0 以下 ※9 ・ ※16 ・ ・注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法 0.25 未満 ※16 ・ ※16 ・ ・モルタル塗替え工法 ・ タイル張り仕上げ 工 法 1箇所 の面積 (㎡) 浮き代 (mm) アンカーピン (本/㎡) 注 入 口 (箇/㎡) 延べ面積 (㎡) ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 0.25 未満 ※16 ・ ※25 ・ ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 0.25 以上 1.0 以下 ※13 ・ ※20 ・ ・アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法 0.25 以上 1.0を 越える ※13 ・ ※20 ・ ・注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法 0.25 未満 ※9 ・ ※16 ・ ・注入口付アンカーピン ニング全面エポキシ 樹脂注入工法 0.25 以上 1.0 以下 ※9 ・ ※16 ・ ・注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法 0.25 未満 ※9 ・ ※16 ・ ・タイル部分張替え工法
--------	--	---	---------------------------------	--

アンカーピンの材質

※ <4.2.2(e)(f)>による。

アンカーピン固定用エポキシ樹脂

※ JIS A6024のJIS表示認証製品

※硬質 高粘度形

注 入 用エポキシ樹脂

※ JIS A6024のJIS表示認証製品

[illegible]

9
―
1

環境
配慮
改修
工事（石綿含有
建材の処理工事）

① 一般事項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。

施工調査
・ 行わない。
※ 行う（調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。
調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。）

調査箇所 ※ 図示
・ ()

調査事項
※ 石綿含有建材等の使用部位
※ 石綿含有建材等の種類、厚さ
※ 施工範囲と工事範囲区分
※ 廃棄物などの搬出方法
・
・

石綿含有分析
○ 行わない
・ 行う(分析結果は監督職員に提出する。)
分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

材 料 名	定性分析	定量分析
	・(試料数:)	・(試料数:)
	・(試料数:)	・(試料数:)
	・(試料数:)	・(試料数:)
	・(試料数:)	・(試料数:)

石綿粉じん濃度測定
・ 行わない。
※ 行う(測定する時期・場所等は下表による)
「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部－
:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等
・	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
・	測定5		負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
○	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ○1点 ※2点 ・点	
○	測定7	処理作業後 シート 撤去前	処理作業室内	※2点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
測 定 点 総 計					点

注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。

(例)石綿粉じん濃度測定方法

	測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5
数計機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレン フィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min
試料の吸引時間	5min	120min	240min
試料の透明化	アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法		
計数条件	総合肥率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野		
計数アスベスト	幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅) 3以上		
定量限界	50本/L	0. 47本/L	0. 3本/L

記録する項目
ア. 測定結果
イ. 測定時間
ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。)
エ. サンプリング条件
(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)
オ. マウンティング法
カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ. 測定時(各測定場所ごと)の
天候、温度、湿度、外気の風速及び風量

測定機関
都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関

施工記録報告書の提出
1. 施工計画書
2. 工事記録及び工事写真
3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿)
4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等)
5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録
6. その他必要事項

提出部数 3部作成

② 除去工事
共通事項

専門工事業者
石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に
相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。

作業主任者の選出
石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者
技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければ
ならない。

除去作業者の教育
作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。
また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者と
し、肺機能に異常のない者とする。

特別管理産業廃棄物管理責任者の選出
排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを
配置しなければならない。

石綿含有吹き付け材の除去工事
・ 行う（適用範囲・図示
・
・ 行わない
・ 集塵機付高圧洗浄工法
作業場等の隔離等
※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により
飛散防止をすること。

隔離シートの性能	
※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重
※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等

ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による
「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書
(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散
防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の
承認を得ること。

セキュリティゾーンの設置
※ 下表による

適用	室名	状態	
※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・
※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー(温水シャワー) ・
※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご

ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による
「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書
(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散
防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の
承認を得ること。

除去物及び汚染等
処理方法
※ 密封処理(二重袋梱包)
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空
掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。
・ セメント固化

石綿含有保温材の除去工事
・ 行う（適用範囲・図示
・
・ 行わない

養生等
※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。

掻き落とし、破砕、切断による除去方法
※ 行わない
・ 行う(<9.1.3>「石綿含有吹き付け材の除去」による)

除去工法
※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。
※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。

石綿含有成形板の除去工事
○ 行う（適用範囲○ 図示
・
・ 行わない

養生
・ 行う（適用範囲・図示
・
○ 行わない

除去工法
※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した
状態で行うこと。
※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された
石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋
に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

石綿含有仕上塗材の除去工事
○ 行う（適用範囲○ 図示
・
・ 行わない

養生
○ 行う（適用範囲○ 図示
・
・ 行わない

除去工法
・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
・ 集じん装置併用手工具ケレン方法
・ 集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度)
・ 集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上)
・ 剥離剤併用超音波ケレン工法
○ 剥離剤併用手工具ケレン工法
※ 除去物の保管、運搬及び処分は、<9.1.5(3)>による。
※ 確認及び後片付けは、<9.1.5(4)>による。
※ 石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付き
ドリルを使用する。

9
―
2

環境
配慮
改修
工事（断熱材）

① 断 熱 材

断熱材の打込み及び現場発泡工法

種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考
※ ポリスチレン フォーム (発泡プラスチック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・	下配以外 ・	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品
・ 硬質ウレタン フォーム保温材	※A種 ・	・	・
・ フェノール フォーム保温材	※A種 ・	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品
○ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級
・	・	・	・

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考
・ JISA発泡 プラスチック 保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・	下配以外 ・	※ 25 JIS表示認証製品
・ グラスウール 保温材		・	※ 100 ※ 24K品 ・

※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り（重ね100）

10
土 工 事

① 埋戻し及び
盛土の種別

・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種
C種の場合 建設発生土受入れ量
発生場所
受入条件

・ 構外に搬出し適切に処理する。
・ 構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・住所(km)
○ 構内指示の場所に敷きならす。
・ 構内指示の場所にたい積する。

② 建設発生土の
処理

1. コンクリート
ブロック塀壁
及び塀

2. 押出成形セメント板

ブロックの種類
※ 空洞ブロック 16
(ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。)

・ 貼替を行う(割れた押出成形セメント板)

11
コ ン パ
ン ク リ
ー ト 押
出 成 形
セ メ ン
ト 板 工
事

12
舗 装 工 事

① 再生材
2. 盛土材料
3. フィルター層及び
凍上抑制層用
材料
4. 路床土の
支持力比
(CBR)試験
5. 路床締固め度
の試験

⑥ 路盤材料

7. アスファルト
舗装

⑩ 緑石及び側溝
⑪ 砂 利 敷 き
12. 区 画 線

※ 使用する
路床の盛土材料
・A種 ※B種 ・C種 ・D種
フィルター層
凍上抑制層
※ 川砂・海砂又は良質な山砂
※ 再生クラッシャー
・ 切込砂利又は切込碎石

※ 行わない
・ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土)

※ 行わない
・ 行う

(22.3.3)(表22.3.1)

加熱アスファルト混合物の種類
(22.4.4)(表22.4.4)
表 層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物(13)
・ 密粒度アスファルト混合物(13F)
・ 細粒度アスファルト混合物(13)
・

アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う
(22.4.6)
早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない
溶接金網 ※ あり ・ なし
(22.5.3)
・ コンクリート平板 ※ t60
(22.8.3)
・ インターロッキングブロック舗装 ・t80(曲げ強度5.0N/㎡) ・()
・ 舗石舗装 基 層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

地業の材料 ○再生クラッシャー
・ A種(通路) ※ B種(建物周辺)
(22.9.2)
※ 3種1号白
・

13
ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 の 工 事

1. フリー
アクセス
フロア

2. 可動間仕切
(パーテー
ション)

3. 移動間仕切
(スライディ
ングドア)

4. トイレブース

5. 階段滑り止め
(ノンスリッ
プ)

6. 床目地棒

7. 鏡

8. 表 示

9. 点検口

10. 視覚障害者用
誘導ブロック

(20.2.2)				
施工場所	工 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力(Ks)	耐荷重性能 (N)
	・溝工法 (置敷工法)		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・
	・支柱一体型 パネル工法 (置敷工法)			・帯電防止 ・床タイル ・タイル カーペット
	・支柱分離型 パネル工法 (独立支柱工法)			

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様にする
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書6章による。
配線取出し用切り欠きパネルは1枚/㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※ なし
・ 有り(※固定式 ・可変式)
施工箇所は図示

2. 可動間仕切
(パーテー
ション)
構造形式による種類 スタッド式密閉形
構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材 焼付塗装鋼板(標準色)t＝0.5以上
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃

3. 移動間仕切
(スライディ
ングドア)
パネルの操作方法による種類 規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板(標準色)
t＝0.5以上
パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃
取り付け用あと施工アンカー 材質、寸法等は図示又は製造所の
仕様による

4. トイレブース
表面材 メラミン化粧板(標準色)
幅 木 ステンレス製 H＝60
フレーム アルミ製
扉 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ、
帽子掛け戸当たり付き

5. 階段滑り止め
(ノンスリッ
プ)
材 種 ステンレス(SUS304)
ビニールタイヤ入り(幅約35mm)
取り付け方法 ※ 接着工法
・ 埋込み工法

6. 床目地棒 ステンレス 3×9
(床仕上げが異なる場合に敷ける。但し、建具部は建具表による。)

7. 鏡 耐湿鏡 t＝5 ステンレスフレーム付き
(20.2.10)

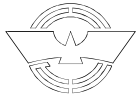
8. 表 示 衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品
誘導標識 市販品 (20.2.11)
室名札

9. 点検口

施工箇所	材 種	寸 法	形 式
天 井	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600 ・ 450×450 ※ 600×600	※ 目地タイプ ・ 縞線タイプ ※ 一般型貼物用 ・ 一般型充填用 ・ 体育館床用 鍵付
床	※ アルミニウム製		

屋 外 ※ コンクリート製
・ 磁器質タイル(※100角 ・150角)

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

特記仕様書（４）

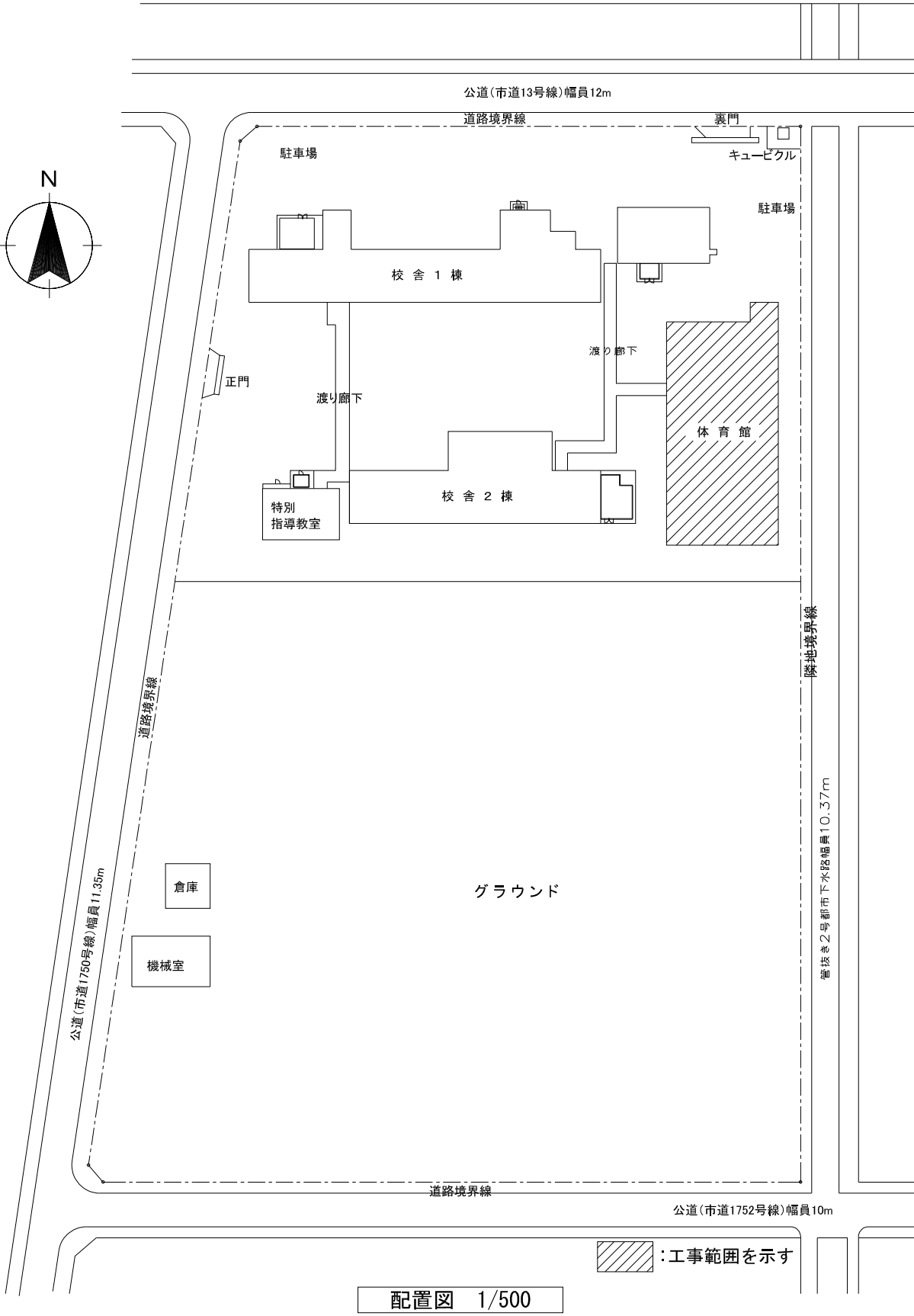
縮尺

NO SCALE

図面番号

A - 04

工 事 概 要		
工 事 名 称	工事名称	海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事
	工事場所	海老名市さつき町58番地
	建物用途	屋内運動場
	工事種別	大規模改修工事
構 造 ・ 規 模	敷地面積	21,935.00 m ²
	階 数	平屋建
	構 造	1階：鉄筋コンクリート造・吹抜け部：鉄骨造
	建築面積	901.70 m ²
	延床面積	823.30 m ²



工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

案内図・配置図

縮尺

A1:1/500 A3:1/1200

図面番号

A - 05

■ 特記事項

【安全対策】 1. 工事搬入出車両の出入りは児童・生徒の登下校時、施設利用者の時間を極力避けること。 2. 敷地内での工事車両安全速度は「5km/h」以下とすること。 3. 外部足場の昇降口や資材置き場の出入口は常に施錠し第三者の工事エリア進入を防ぐこと。 4. 外部仮囲い等は強固に固定し、施設利用者が触れても危険が無いよう設置すること。 仮囲い等の仮設物の設営後は常に点検を行い、不備が認められた際には速やかに是正処置を請うること。 5. 火気使用時(アーク溶接等)には床・壁共防災シートの養生を行い消火器を設置する。 また、火気使用2時間後に、作業場所の安全を確認すること。 6. 急な暴風雨、豪雨等にも迅速に対応出来るよう、予め体制を整備しておくこと。 7. 震度4以上の地震発生時や暴風・大雨警報などの「悪天候」が予想される時は、事前に点検し対策を実施して災害防止に備えるとともに点検結果を報告すること。 8. 搬入に伴う工事車両の運用、荷揚げ等、やむを得ず一時的に工事エリア外での作業を行う際には、カラーコーン・コーンバー等にて区画を行うこと。 9. 関係法令、各種規準を遵守し、第三者の安全確保対策を充分に行うこと。	【一般事項(共通)】 1. 工事着手に先立ち本図を参考とし、監督員・施設管理者ほかの関係機関と綿密な協議の上施設運営に支障のない工事計画を行うこと。 2. 工事区域及び周囲の作業通路ほか、工事関連箇所は既存部分の養生を行い、完成検査(引渡し)前に清掃(クリーニング)を行うこと。 3. コンクリートの壁及び床のはつりやコア抜きを行う場合は、事前に施設で保管している図面等を参照し、現場調査を急に入行すること。また作業前にレントゲン調査等を行うなど、埋設物を破壊させない準備を行うこと。 土間解体及び、掘削等の作業には以下に注意すること。 ・範囲内及び、掘削等の作業には以下に注意すること。 ・範囲内の中埋設物を損傷させないよう、解体掘削は慎重に行い急激な作業を行わないこと。 ・状況に応じ重機を使わず、手はつり、手掘で作業を行うこと。 4. 自動火災報知機感知器が誤発報しないよう、以下による適切な対応を行うこと。 また、工事範囲内の感知器への対応は以下とすること。 ・感知器には専用カバー等で養生を行う。作業時間帯以外は取り外すこと。 ・室内温度差等により感知器が作動しないよう、投光器等の熱源は感知器から距離を置き熱の影響を受けないよう考慮すること。 ・万一自動火災報知機感知器が発報した際、工事によるものか否かを確認する方法や発報を停止する措置(施設側対応)に関して、事前に施設管理者と協議を行ってのこと。
【足場設置基準】 <外部足場> 1. 枠組足場・くさび緊結式足場は手すり先行据置方式とすること。 2. 壁つなぎの設置は以下とすること。(推奨) 垂直方向:根がらみから2スパン毎に取り付ける。 水平方向:外壁角から近い縦地から2スパン毎及び最上部は全縦地に取り付ける。 鉄骨造:鉄骨から直に壁つなぎを取るものとし、ALC版等の外壁部材からとらないこと。 □ 壁つなぎ穿孔作業は石綿作業主任者が常駐のうえ、「石綿作業主任者」又は「石綿作業従事者特別教育修了者」が行い集塵機及び、HEPAフィルタ付きドリルを使用し既存外壁塗材の飛散を防止すること。 3. 壁つなぎ用後施工アンカーはコンクリート躯体にしっかり固定すること。 4. 足場の脚部には、短・長辺方向に根がらみを設置すること。 5. 外部足場の外側には防災1類ネット状養生シートをGLまで設置し、下記養生枠を設置すること。 □ H1,800までは金網式養生枠を設置する。 □ H2,000の塗装した仮囲鉄板を足元の隙間がないよう設置する。 □ H3,000の塗装した仮囲鉄板を足元の隙間がないよう設置する。 6. 手すり、下棧、幅木は四方に設置すること。 7. 層間ネットは専用金具を使用し、2層毎に設置すること。 8. 足場の出隅は緩衝材等で養生を行うこと。 9. 足場の外部に金物等の突起物が出る場合は緩衝材や既製の養生材で養生を行うこと。 10. 外部足場は設置場所を汚さないようシート養生を行った上に設置する。 11. 足場組立等作業主任者の掲示、最大荷重の表示を行うこと。	■一般事項-2(屋根改修) 1. 「金属板カバー工法」で施工した屋根に関しては引き渡し日より10年間の防水保証、シーリング材を施工した部分に関しては引き渡し日より5年間の防水保証、(請負業者、施工工会社、材料製造会社)を行う。 2. 工事に先立ち、施工計画、施工仕様、安全対策等を記載した「施工計画書」を提出し、監督員の承認を得ること。 3. 屋根での作業は、JIS A 8971、屋根工事用足場及び施工方法に準じて行うこと。 4. 作業動線全ての屋上屋根工事すき設置等の堅落、また屋根面には踏み抜き防止ネットを敷設すること。 5. 体育館天井面作業の際、破損の恐れのある空気管(自動火災報知設備)は、事前に空気管の保護や注意喚起表示を行うこと。 6. 既存屋根大波スレート葺きについては、石綿含有として作業を行うこと。 <特記事項> ・ 既存耐酸被覆鋼板については、石綿含有とみなして作業を行うこと。
<移動式足場(ローリングタワー)> 1. 組立高は制限高さ(7.7m×(足場の短辺幅・枠組出寸法)-5m)かつ5段以下。 2. 使用中はキャスターのブレーキを4か所確実に効かせる。 3. 手すりは90cm以上とし中棧を設置する。 4. はしごでの昇降には安全ブロックを使用すること。 5. 作業床でははしごや脚立は使用しない。 6. 作業者を乗せたままで移動は絶対行わない。 7. 作業者は安全帯を確実に使用する。 8. 最大積載量の表示を行う。	■一般事項-3(外壁改修) 1. 外壁モルタルの浮き処理に使用するアンカーピンの長さは、試し孔をあけ決定すること。 試験体は各面100m2ごと及びその端数につき1か所以上、かつ各面3か所以上行い、モルタル部を穿孔してその最大厚みを確認し、その厚さに30mmを加えた長さをピンの長さとする。 2. 監督員下検査時膜厚計を用意すること。測定位置として上階部・中階部・下階部とする。 (膜厚基準として1mm以上を目安とする。) 3. 雑金物周囲には三方シーリング打ちを行う。 4. 原則として0.2mm未満のクラック補修は、下地調整材・アクリル系塗膜防水による処理とする。 ただし、漏水等があり補修方法が前記では不十分と判断される部分は、監督員と協議の上、工法を変更する。 5. 足場架設後、改修範囲の外壁施工数量調査を実施し、調査報告書を作成し監督員と協議の上、作業は施工範囲及び、数量を計画に確定した上で着手すること。なお設計数量に変更が生じた場合、原則設計変更をこなう。 ※ 施工面が多い場合は、一定の範囲を調査後、上記を行うこととする。 6. 施工完了後、施工数量報告書を提出すること。 <特記事項> ・ 既存外壁小波スレート、石綿大平板については、石綿含有とみなして作業を行うこと。

■ 外壁改修内容一覽表

※本工事に係る項目のみ適用するものとする。

[illegible]

外 部 仕 上 表							
部 位		改 修 前	改 修 後	部 位	改 修 前	改 修 後	
屋 根		カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、鋼製タルキφ490 垂鉛メッキOP塗装	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式笠はげ葺き 厚0.4(厚4.0 断熱材裏貼り) (カバー工法) 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗(OP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整	樋		軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 宙加工 受金物：L-50×50×6φ600 防球ネット付 (枠 φ13 OP塗装共) (撤去) 堅樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装	軒樋：耐候性塗料塗(OP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 堅樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装
軒 裏		ハードボード 厚7 (※)、ケイカル板 厚8 撤去	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6	外部建具		アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設 (建具表による) スチールドア：引き分けハンガードア 新設 (建具表による) 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装 (建具表による)	
1階屋根		保護モルタル金ゴテ仕上 厚25 (目地切り)、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 蘆青目地材W25 撤去、ﾙｰﾌﾄﾞﾙﾝ撤去、トップライト撤去	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部嵌め充填、改修ドレン新設、トップライト新設	手洗い場		人造石研出し	クリーニング
庇		庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	タラップ		アルミ製	クリーニング
外 壁		カラー鉄板貼 厚0.5 (サイディング)、木毛セメント板 厚25、軽鉄下地	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗(OP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整	踊場・階段スロープ		塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え	水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修、クラック補修 (スロープ新設、U字溝共)
		アクリルリシン吹付、コンクリート打放	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え (PU-2)	犬走		コンクリート金ゴテ押え	既存のまま (一部新設) U字溝共)
巾 木		アクリルリシン吹付、コンクリート打放	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa				

内 部 仕 上 表						
室 名	区 分	床	巾 木	腰 壁	壁	天 井
体 育 室	改 修 前	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装 耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	ガラス繊維断熱材あらかし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装 ブドウ棚鋼材：OP塗装
	改 修 後	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回 カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 鋼製床下地 一部復旧（全体10%程度）	ラワン材 厚30 100H EP塗装	EP塗装、ラワン合板 厚9 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗 鉄骨部：SOP塗装 下地調整
ステージ	改 修 前	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装 耐水ラワン合板 厚15下地	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去	――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	ガラス繊維断熱材あらかし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装
	改 修 後	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共） サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け	ラワン材 厚30 100H EP塗装	――	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗 鉄骨部：SOP塗装 下地調整 ブドウ棚鋼材：SOP塗装 下地調整
放 送 室	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） 撤去 モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去	――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	ガラス繊維断熱材あらかし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装
	改 修 後	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地調整	ラワン材 厚30 100H EP塗装	――	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗 鉄骨部：SOP塗装 下地調整
控 室	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） 撤去 モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去	――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	ガラス繊維断熱材あらかし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装
	改 修 後	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地調整	ラワン材 厚30 100H EP塗装	――	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗 鉄骨部：SOP塗装 下地調整
体育器具室	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	――	――	コンクリート打放	コンクリート打放
	改 修 後	既存のまま	――	――	既存のまま	既存のまま
ホ ー ル	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ VP塗装	――	モルタル金ゴテ 吹付タイル（△） コンクリート打放	リシン吹付（△） コンクリート打放
	改 修 後	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地調整	EP塗装、下地調整	――	EP塗装、下地調整 建具周り：石綿含有塗材撤去（下地調整材） （はく離剤併用手工具ケレン）	EP塗装、下地調整
男子更衣室 女子更衣室	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ VP塗装	――	モルタル金ゴテ 吹付タイル（△） コンクリート打放	リシン吹付（△） コンクリート打放
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま、建具周り：EP塗装、下地調整 建具周り：石綿含有塗材撤去（下地調整材） （はく離剤併用手工具ケレン）	既存のまま
男子トイレ（A） 女子トイレ（A）	改 修 前	長尺塩ビシート貼 モルタル金ゴテ押え	――	――	可とう型改修塗材E コンクリート打放	可とう型改修塗材E コンクリート打放
	改 修 後	既存のまま	――	――	既存のまま	既存のまま
男子トイレ（B） 女子トイレ（B）	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ VP塗装	――	モルタル金ゴテ押え	白セメント吹付 コンクリート打放
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま	既存のまま
ギャラリー	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	――	モルタル金ゴテ VP塗装 コンクリート打放	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	カーテンボックス OP塗装・カーテンレール：撤去、暗幕：撤去 防球ネット：校内移設 手摺 OP塗装
	改 修 後	既存のまま 既存バスケットゴール固定金物部 補修	――	EP塗装 下地調整	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	カーテンボックス・カーテンレール：新設、暗幕：新設 防球ネット：再設置 手摺・ブレース・鉄部：SOP塗装 錆止め塗装
ステージ下部 台車入れ	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	――	――	――	台車8台 収納装置：撤去
	改 修 後	台車入れ新設部 補修	――	――	――	台車8台 収納装置：新設
	改 修 前					
	改 修 後					

- ・（※）石綿含有建材（みなし）（△）石綿含有仕上塗材（下地調整材）
- ・飛散防止塗料塗は、ロックウール粉塵飛散防止処理工法（表面固化 吹付仕様）とする

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

仕上表

縮尺

NO SCALE

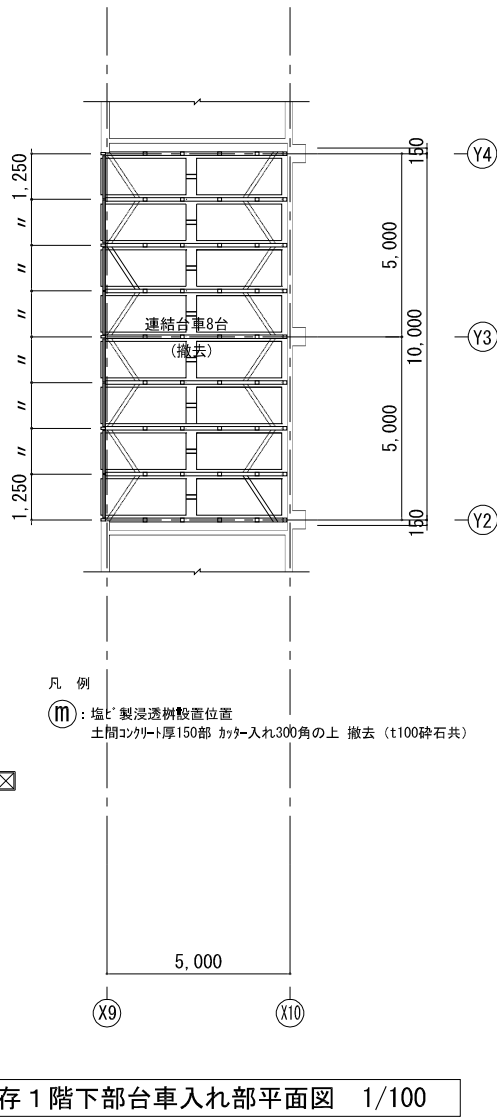
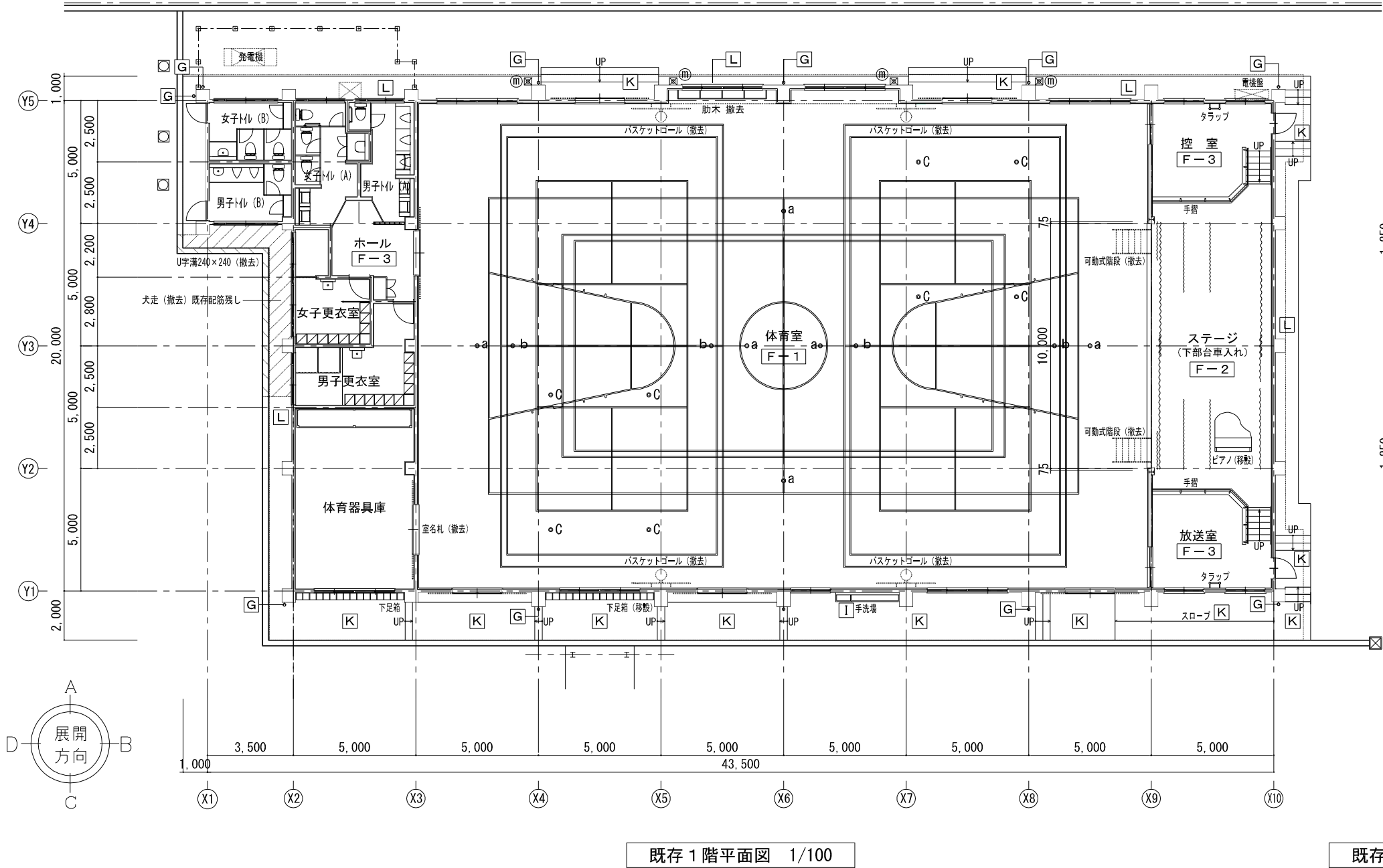
図面番号

A - 07

外 部 既 存 仕 上 表			内 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
手洗い場	I	人造石研出し	床	F-1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去、銅製床下地 一部撤去（全体10%程度）
踊場・階段スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え		F-2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え		F-3	長尺塩ビシート貼 撤去、モルタル金ゴテ押え

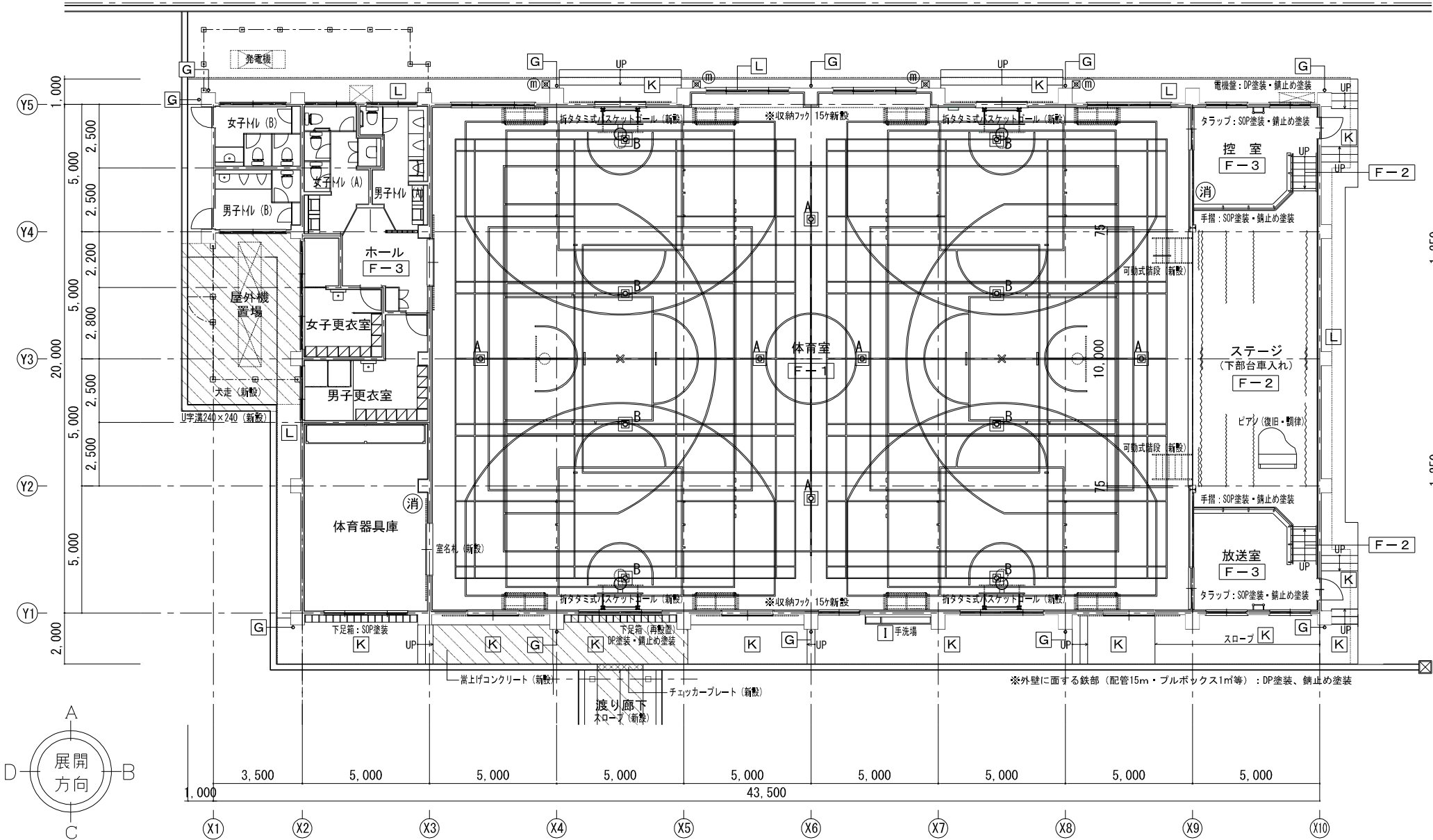
支柱基礎(ボルト上蓋・中筒金物共) リスト

凡 例	競技名	か所
a	バレーボール用 撤去	6
b	バトミントン用 撤去	4
C	移動用鉄棒用 撤去	8

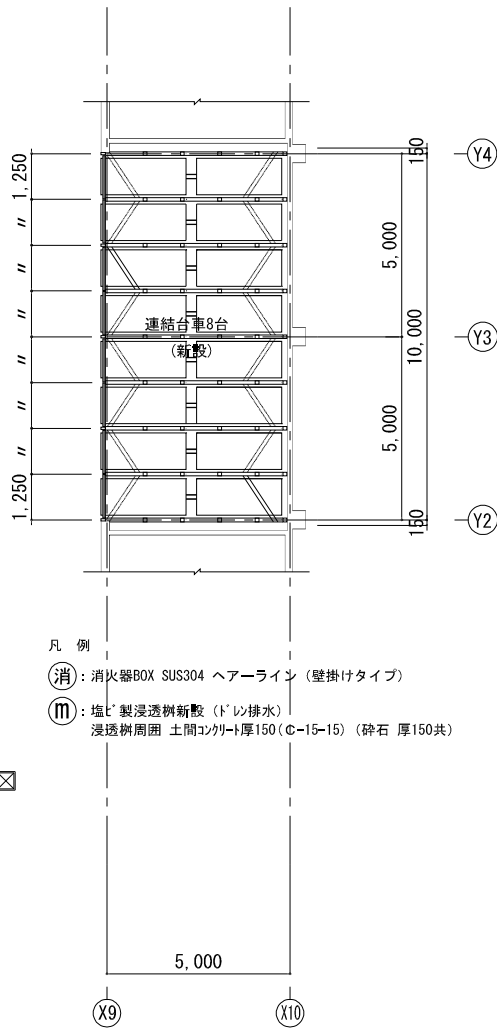


外 部 改 修 仕 上 表			内 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
手洗い場	I	クリーニング	床	F-1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修（スロープ新設、U字溝共）		F-2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け
犬走	L	既存のまま（一部新設、U字溝共）		F-3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修

支柱基礎（ボ 上蓋・中筒金物共） リスト		
凡 例	競技名	か所
A	バレーボール用 新設	6
B	バトミントン用 新設	8



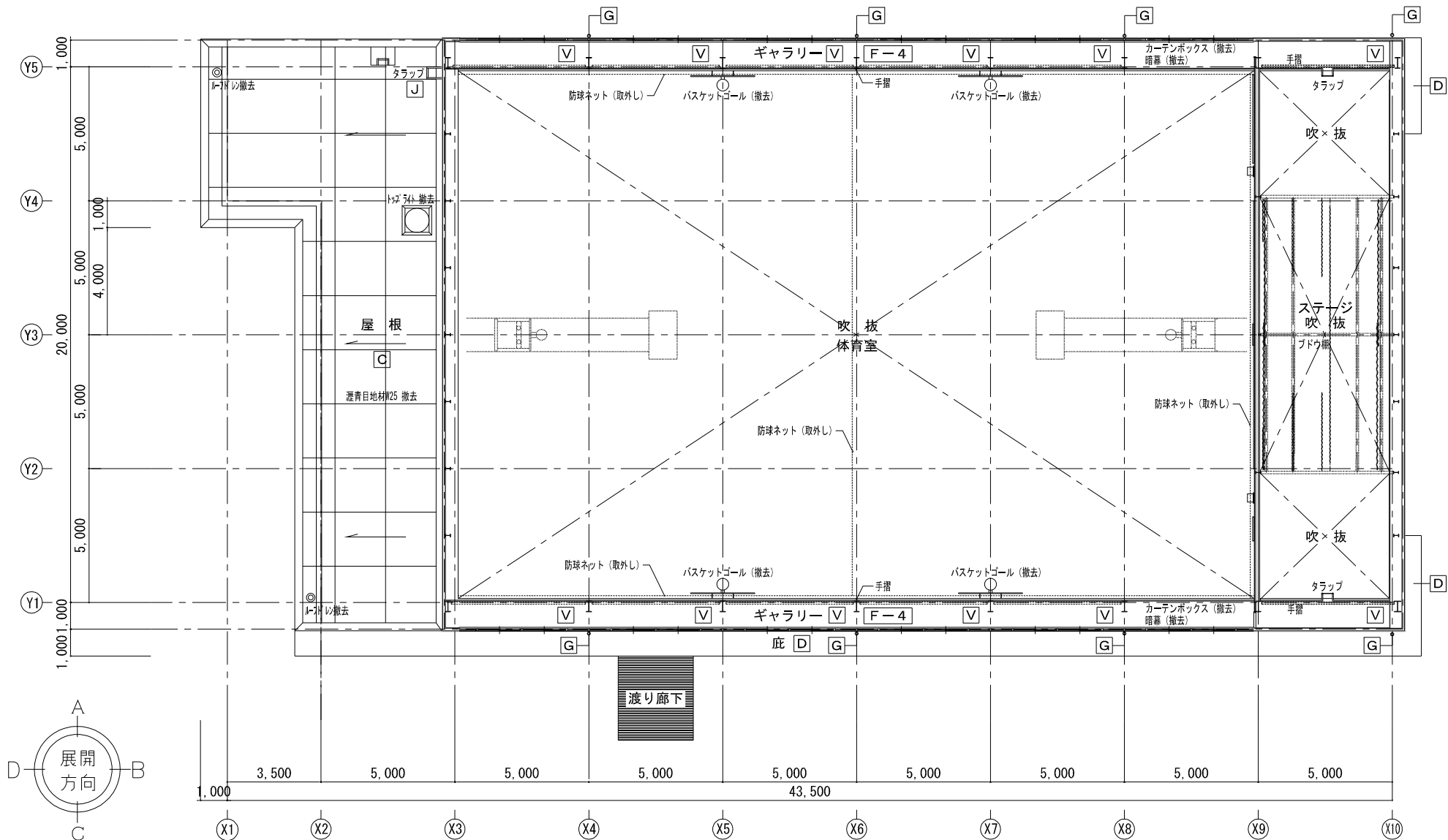
改修 1 階平面図 1/100



改修 1 階下部台車入れ部平面図 1/100



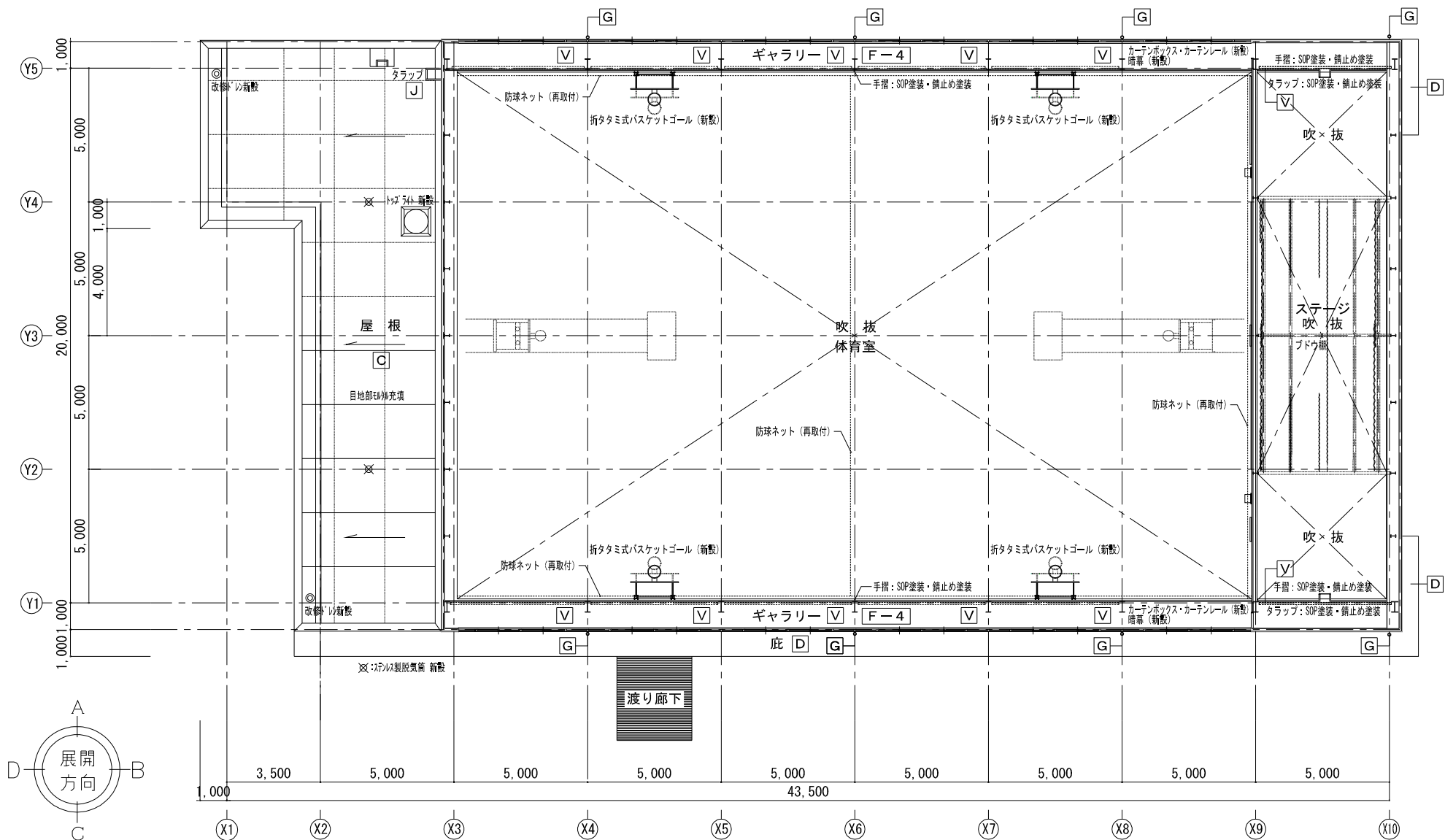
外 部 既 存 仕 上 表			内 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
1階屋根	C	保軽モルタル金ゴテ仕上 厚25（目地切り）、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 瀝青目地材W25 撤去、A-7D' 撤去	床（ギャラリー）	F-4	モルタル金ゴテ押え
庇	D	庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付	壁ブレース	V	L-75×75×6
タラップ	J	ステンレス製			



既存吹抜部分平面図 1/100



外 部 改 修 仕 上 表			内 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部充填、改修ドレン新設	床（ギャラリー）	F-4	既存のまま 既存バスケットゴール固定金物部 補修
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	壁ブレース	V	SOP塗装、錆止め塗装
タラップ	J	クリーニング			



改修吹抜部分平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

改修 吹抜部平面図

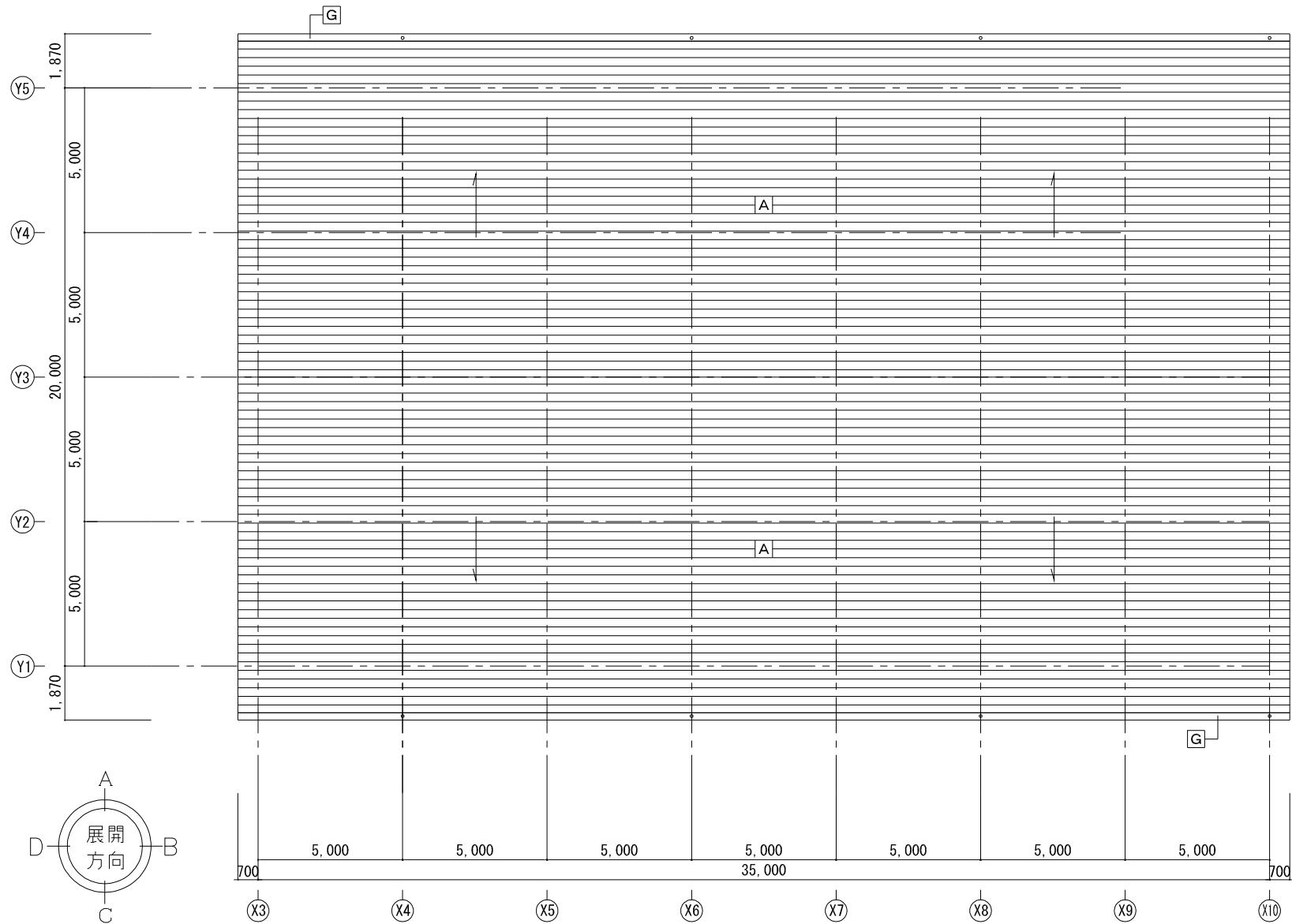
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

A - 11

外 部 既 存 仕 上 表					
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼、アスファルトルーフィング17kg ガラス繊維断熱材 厚25、グラスペーパー貼（着色）、銅製タルキ@490 垂鉛メッキOP塗装	樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受食物：L=50×50×6@600 防球ネット付（枠 φ13 OP塗装共）（撤去） 堅樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装



既存屋根伏せ図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存 屋根伏せ図

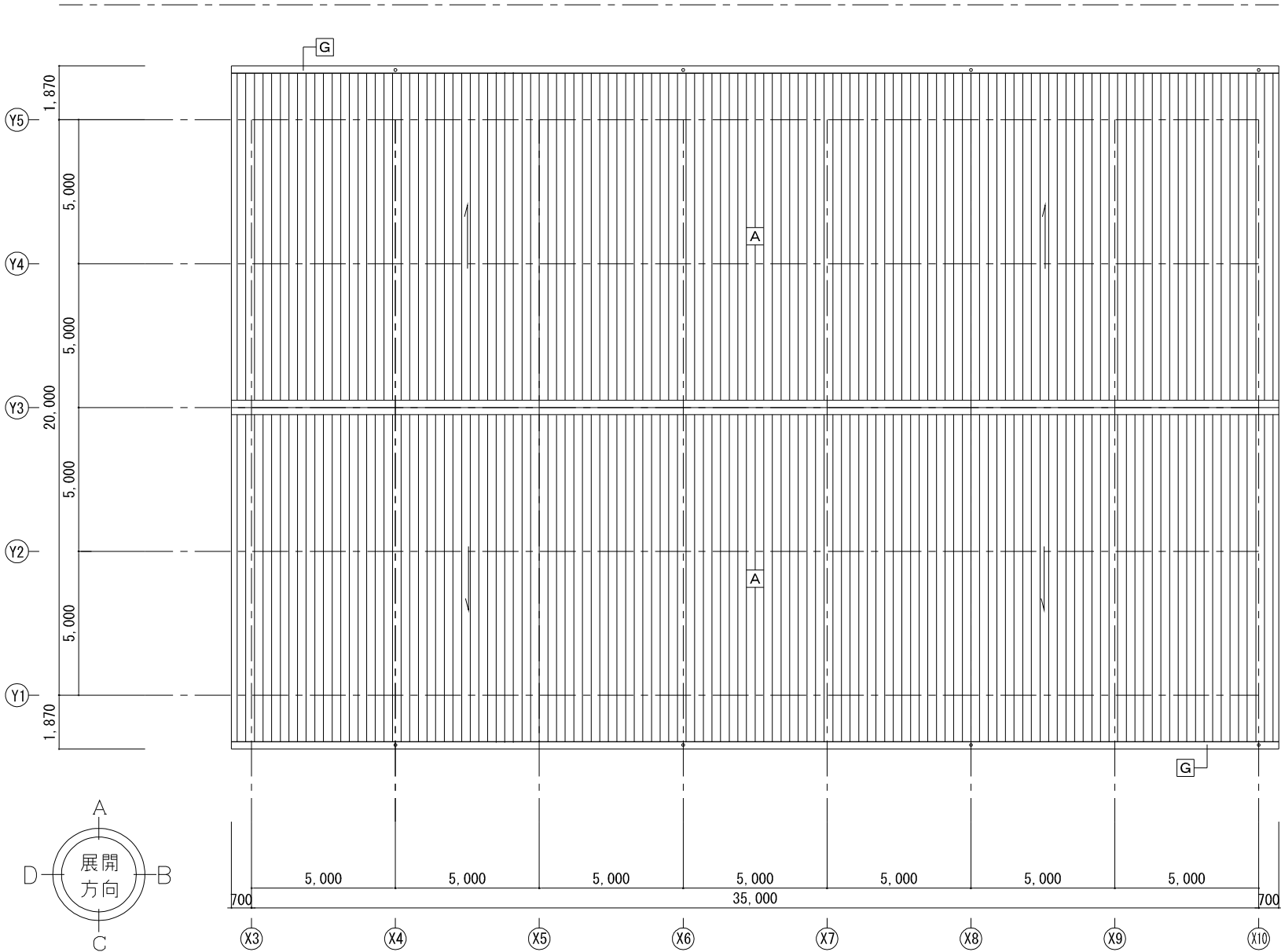
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

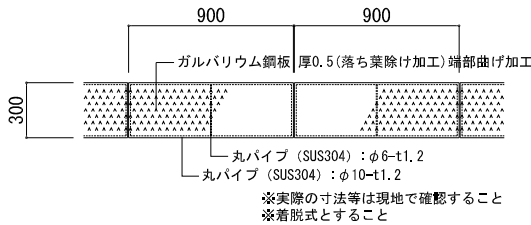
図面番号

A - 12

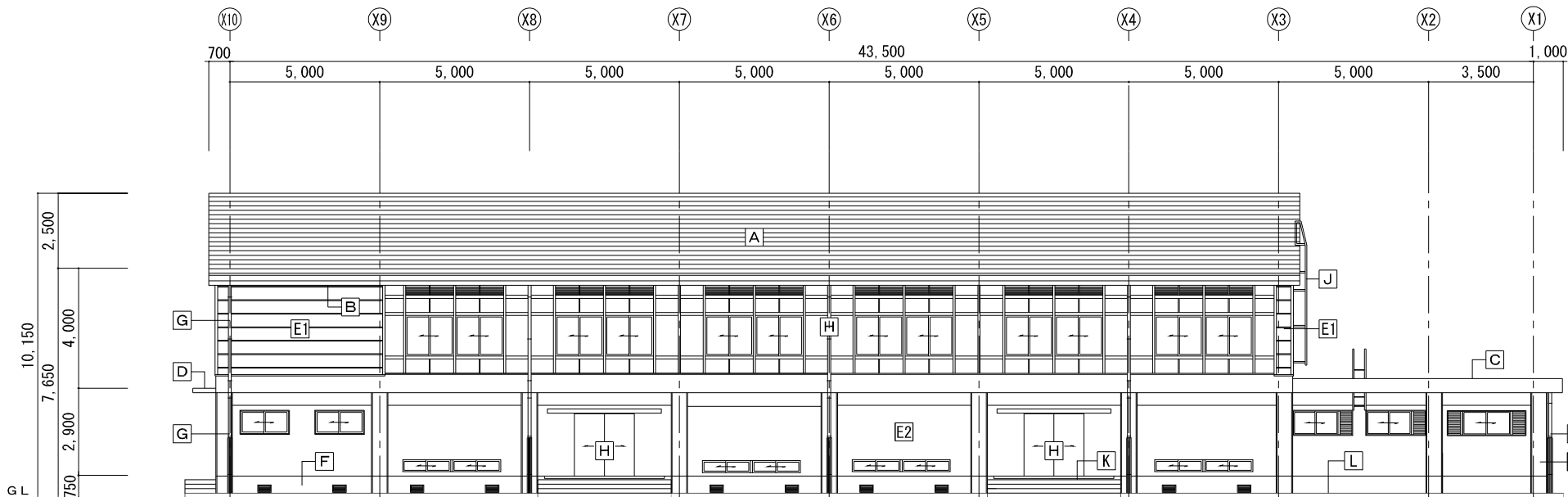
外 部 既 存 仕 上 表					
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーガルバリウム銅板 カバー工法 嵌合式壁はげ葺き 厚0.4(厚4.0 断熱材裏貼り) (カバー工法) 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整	樋	G	軒樋：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット (新設)、清掃 壁樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装



改修屋根伏せ図 1/100

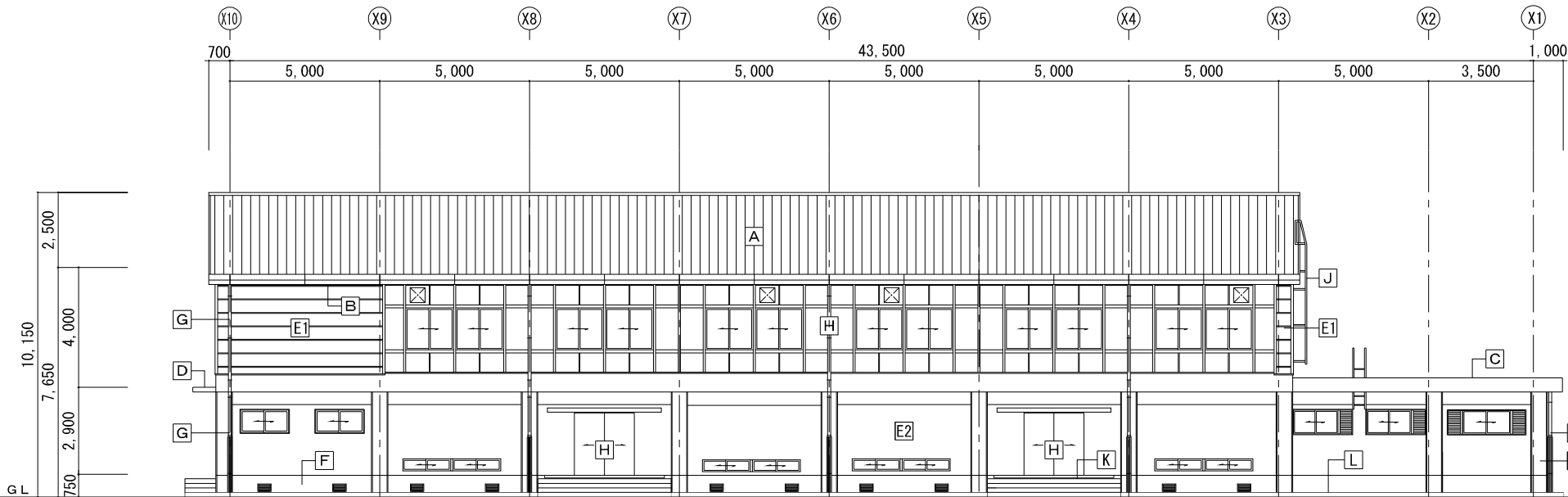


【防球ネット詳細図 1/20】



既存東側立面図 1/100

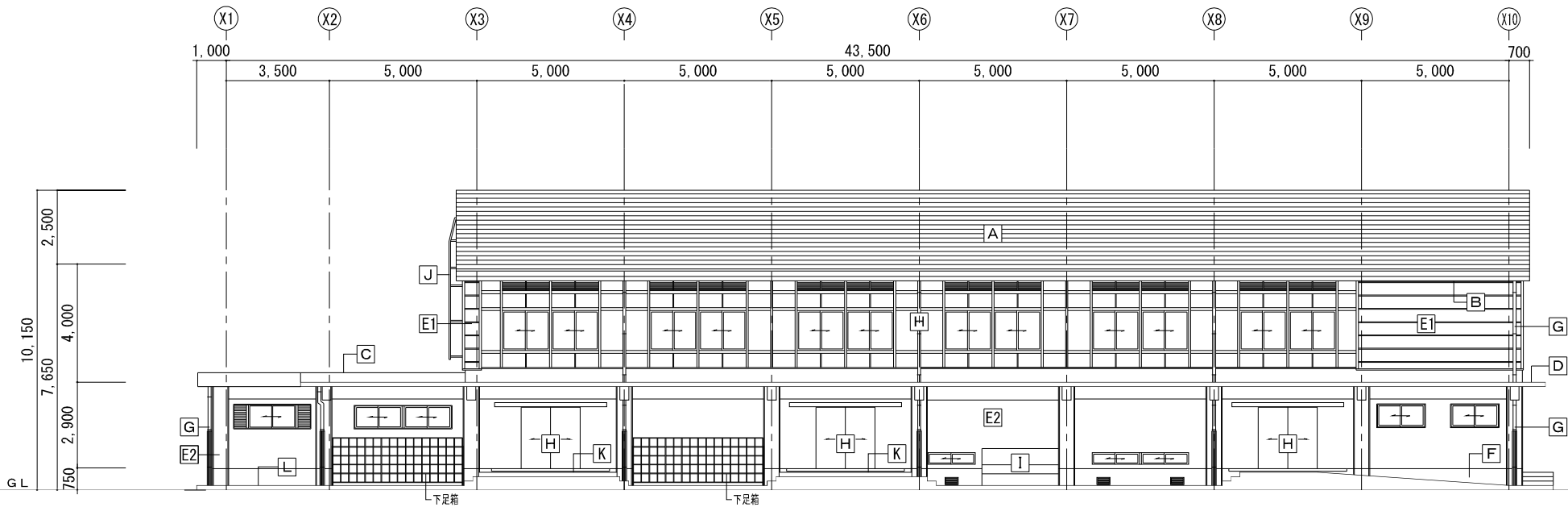
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、銅製タルキ@490 垂鉛メッキOP塗装
軒 裏	B	ハードボード 厚7 (※)、ケイカル板 厚8 撤去
1階屋根	C	保輕モルタル金ゴテ仕上 厚25 (目地切り)、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 遮音目地材W25 撤去、ﾎｰﾌﾞﾝ撤去
庇	D	庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付
外 壁	E1	カラー鉄板貼 厚0.5 (サイディング)、木毛セメント板 厚25、軽鉄下地
	E2	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
巾 木	F	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット付 (枠 ｵ13 OP塗装共) (撤去) 竖樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去 (ガラス：納入ガラス厚6.8) スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	アルミ製
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



改修東側立面図 1/100

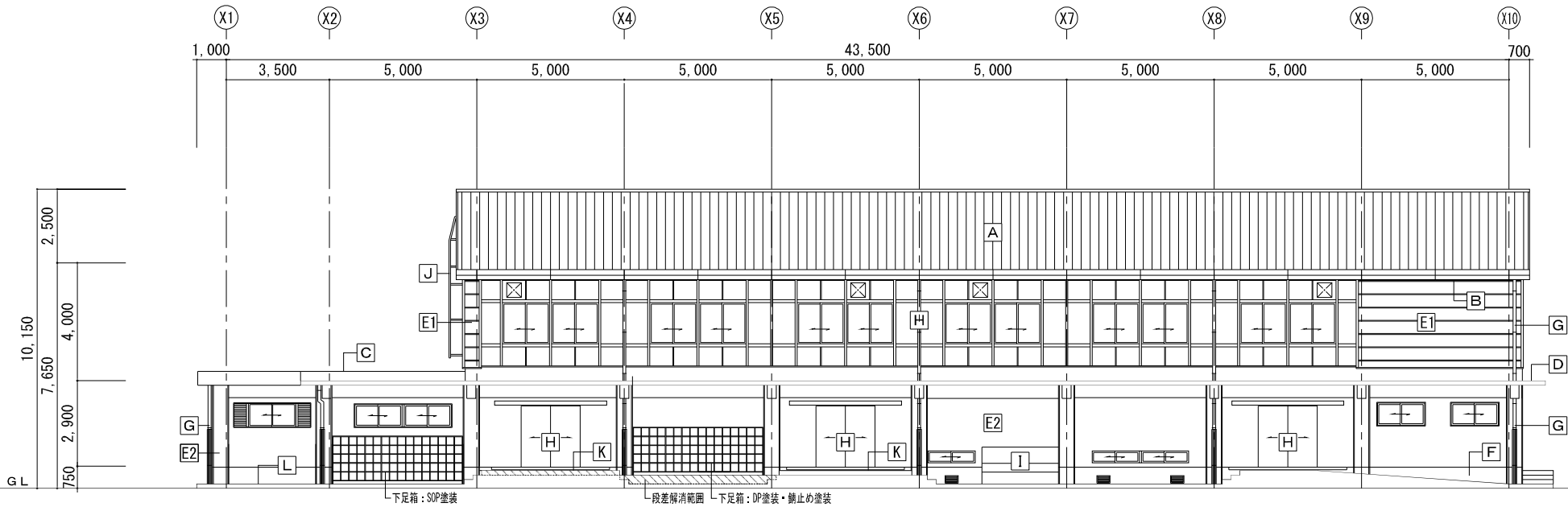
外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式壁はげ葺き 厚0.4 (厚4.0 断熱材裏貼り) (カバー工法) 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部ﾎﾙﾙ充填、改修ﾄﾞﾚﾝ新設
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え (PU-2)
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット (新設)、清掃 竖樋：カラー塩ビ管 ｵ100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設 (建具表による) スチールドア：引き分けハンガードア 新設 (建具表による) 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装 (建具表による)
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修、クラック補修 (スロープ新設、U字溝共)
犬走	L	既存のまま (一部新設、U字溝共)





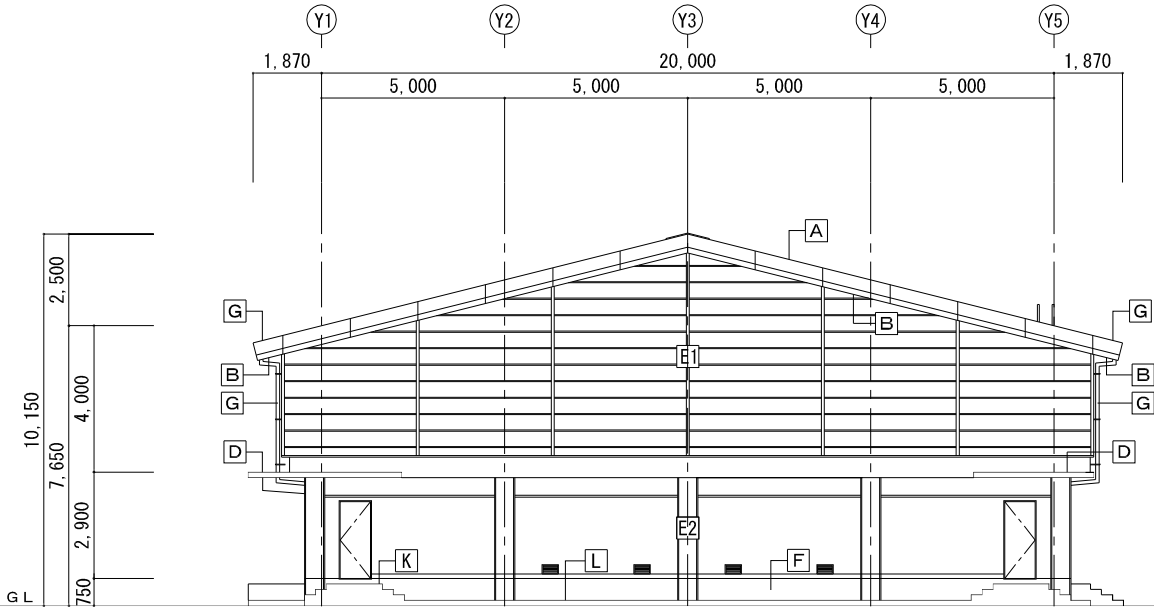
既存西側立面図 1/100

外部既存仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、銅製タルキ@490 垂鉛メッキOP塗装
軒裏	B	ハードボード 厚7 (※)、ケイカル板 厚8 撤去
1階屋根	C	保輕モルタル金ゴテ仕上 厚25 (目地切り)、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 遮音目地材W25 撤去、ｽｰﾌﾟﾝ撤去
庇	D	庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付
外壁	E1	カラー鉄板貼 厚0.5 (サイディング)、木毛セメント板 厚25、軽鉄下地
	E2	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
巾木	F	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット付 (枠 ｵ13 OP塗装共) (撤去) 竖樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装
建具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去 (ガラス：納入ガラス厚6.8) スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミバネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	アルミ製
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



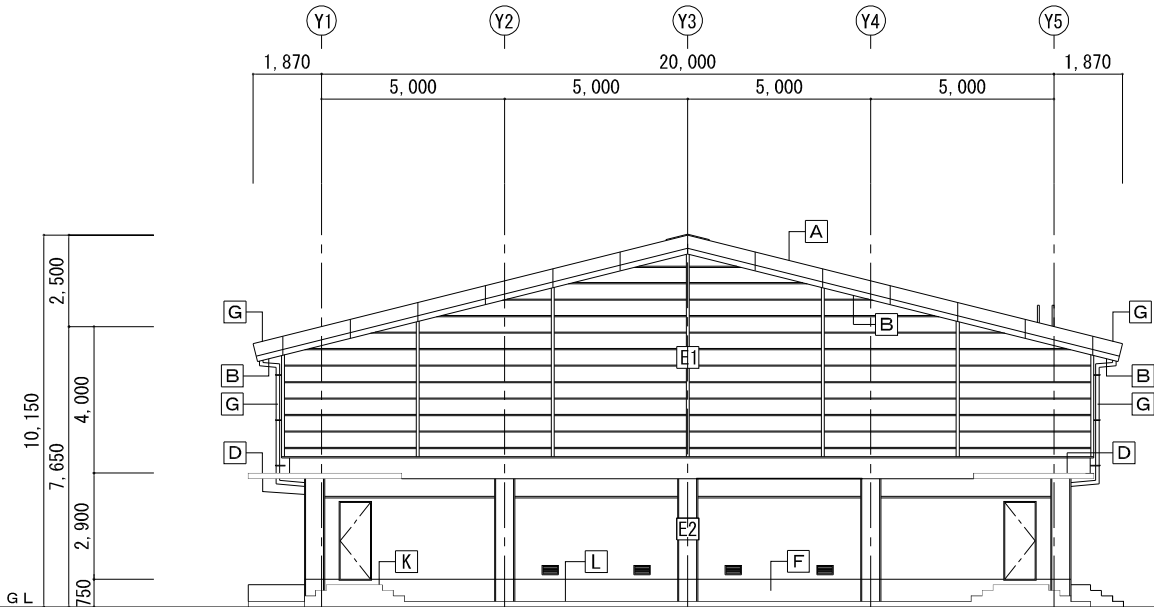
改修西側立面図 1/100

外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式笠はげ葺き 厚0.4 (厚4.0 断熱材裏貼り) (カバー工法) 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
軒裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整
庇	D	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部ﾎﾙﾙ充填、改修ﾄﾚﾝ新設
外壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え (PU-2)
巾木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット (新設)、清掃 竖樋：カラー塩ビ管 100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装
建具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設 (建具表による) スチールドア：引き分けハンガードア 新設 (建具表による) 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装 (建具表による)
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修、クラック補修 (スロープ新設、U字溝共)
犬走	L	既存のまま (一部新設、U字溝共)



既存南側立面図 1/100

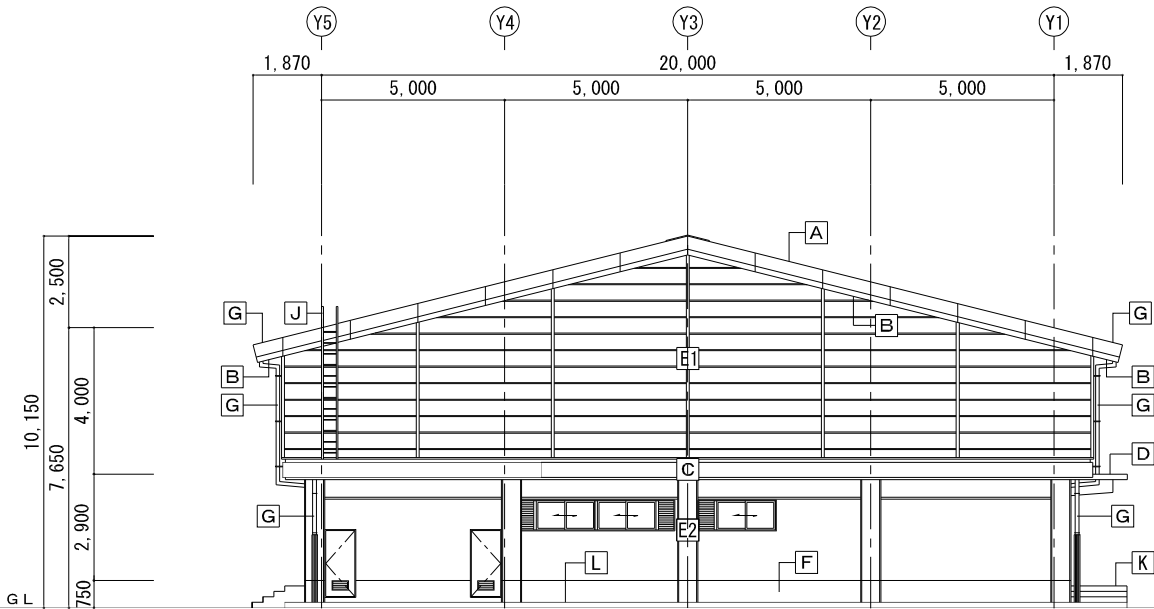
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、銅製タルキ@490 垂鉛メッキOP塗装
軒 裏	B	ハードボード 厚7（※）、ケイカル板 厚8 撤去
1階屋根	C	保輕モルタル金ゴテ仕上 厚25（目地切り）、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 遮音目地材W25 撤去、ﾙｰﾌﾟ'ﾝ撤去
庇	D	庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付
外 壁	E1	カラー鉄板貼 厚0.5（サイディング）、木毛セメント板 厚25、軽鉄下地
	E2	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
巾 木	F	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット付（枠 ｵ13 OP塗装共）（撤去） 竖樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：納入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	アルミ製
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



改修南側立面図 1/100

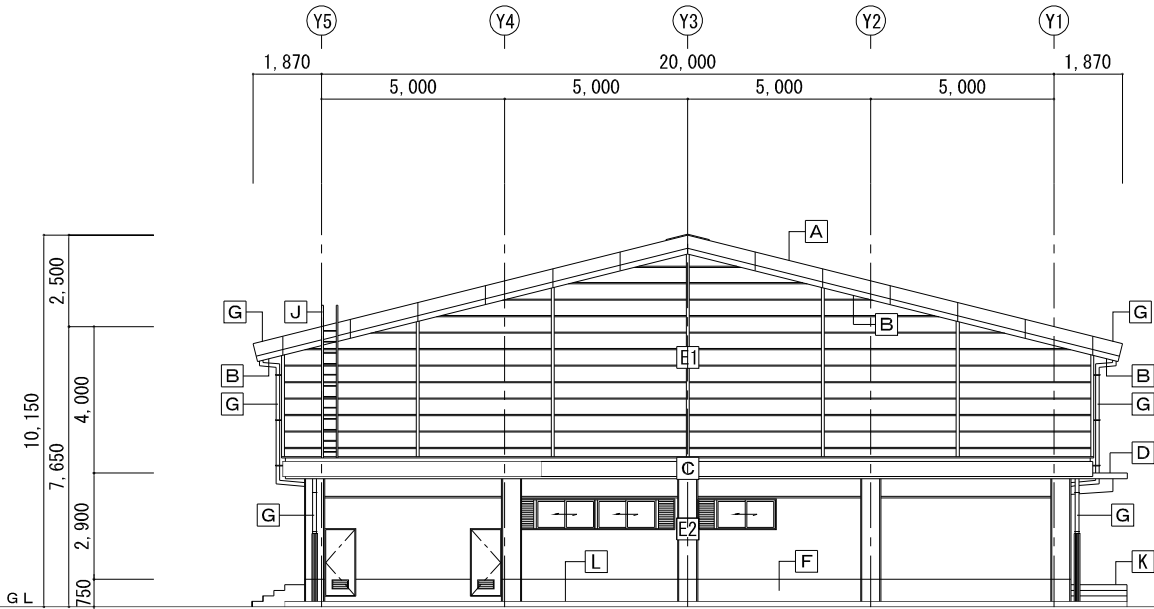
外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式隠はぜ葺き 厚0.4(厚4.0 断熱材裏貼り)（カバー工法） 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部ﾎﾙﾃﾙ充填、改修ﾄﾞﾚﾝ新設
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 竖樋：カラー塩ビ管 100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修（スロープ新設、U字溝共）
犬走	L	既存のまま（一部新設、U字溝共）





既存北側立面図 1/100

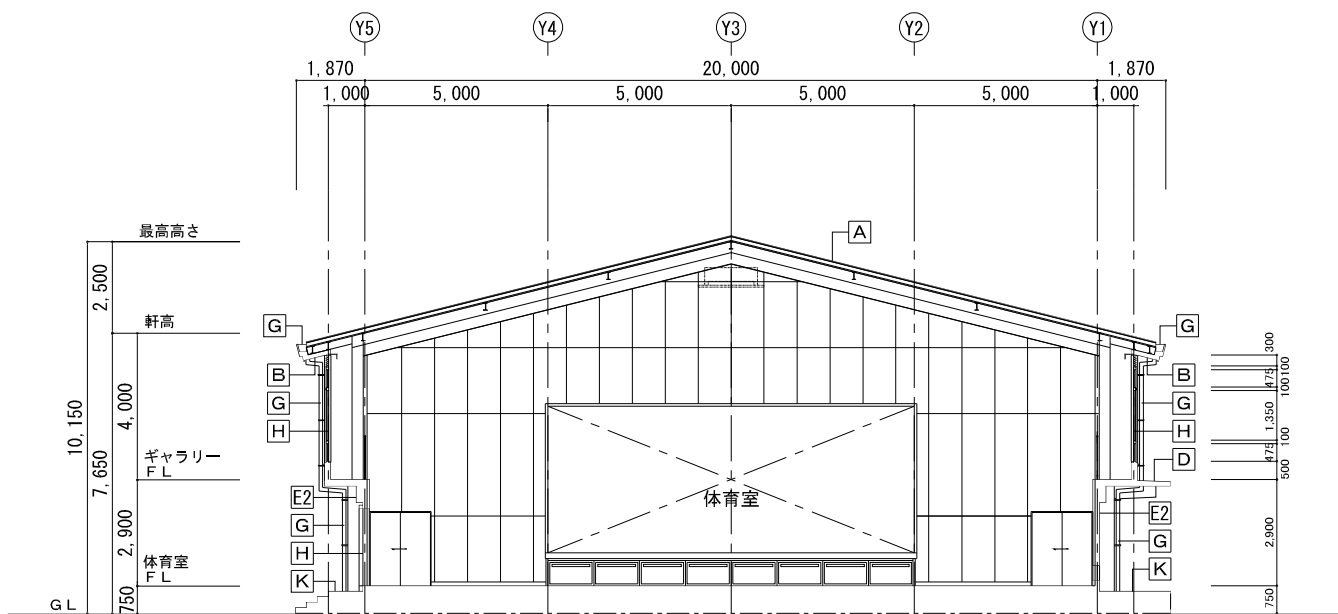
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、銅製タルキ@490 垂鉛メッキOP塗装
軒 裏	B	ハードボード 厚7（※）、ケイカル板 厚8 撤去
1階屋根	C	保輕モルタル金ゴテ仕上 厚25（目地切り）、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 遮音目地材W25 撤去、ｽｰﾌﾟ'撤去
庇	D	庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付
外 壁	E1	カラー鉄板貼 厚0.5（サイディング）、木毛セメント板 厚25、軽鉄下地
	E2	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
巾 木	F	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット付（枠 φ13 OP塗装共）（撤去） 竖樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：納入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	アルミ製
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



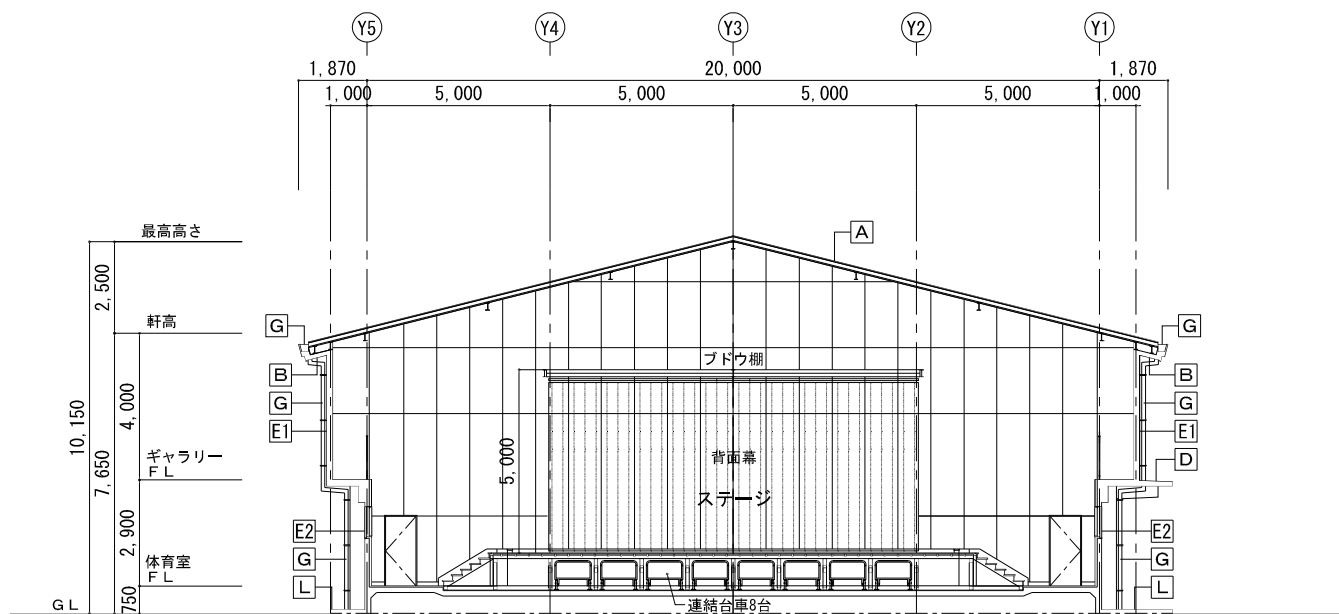
改修北側立面図 1/100

外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式隠はぜ葺き 厚0.4(厚4.0 断熱材裏貼り)（カバー工法） 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部モルタル充填、改修ドレン新設
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 竖樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修（スロープ新設、U字溝共）
犬走	L	既存のまま（一部新設、U字溝共）

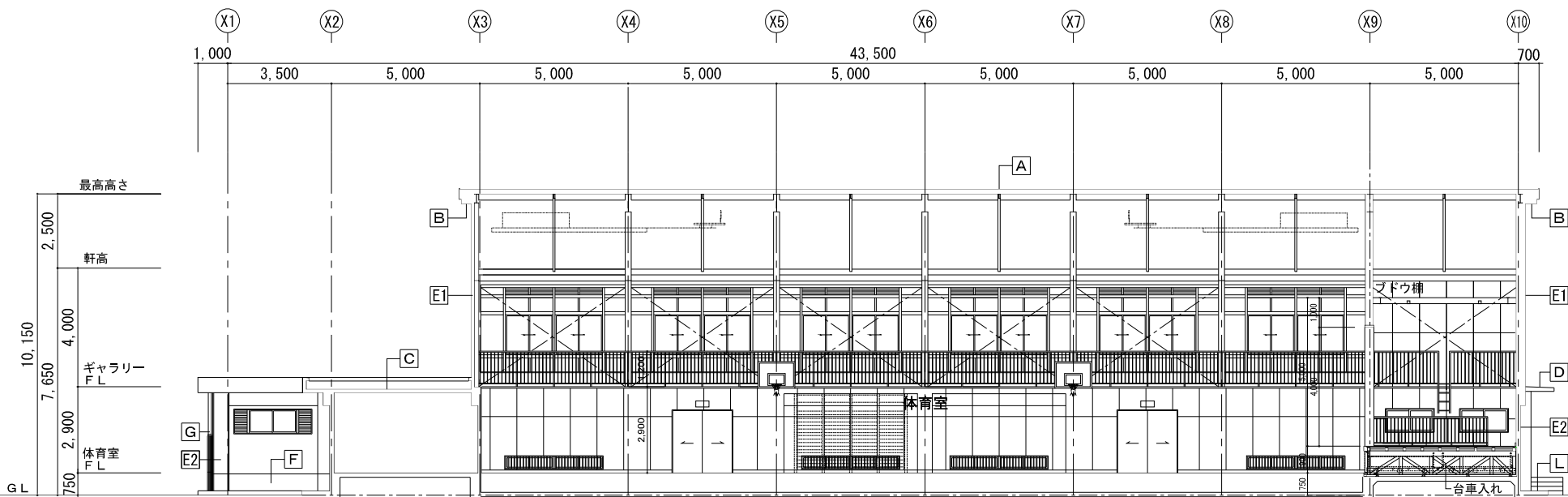




既存断面図 (1) 1/100

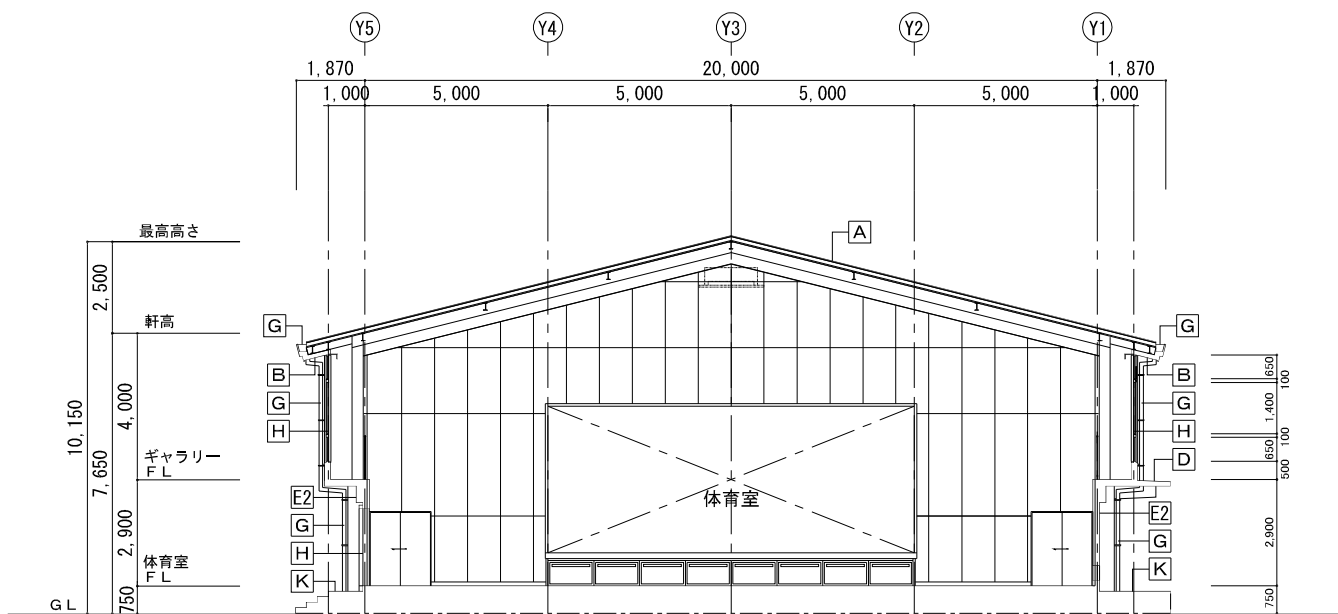


既存断面図 (2) 1/100

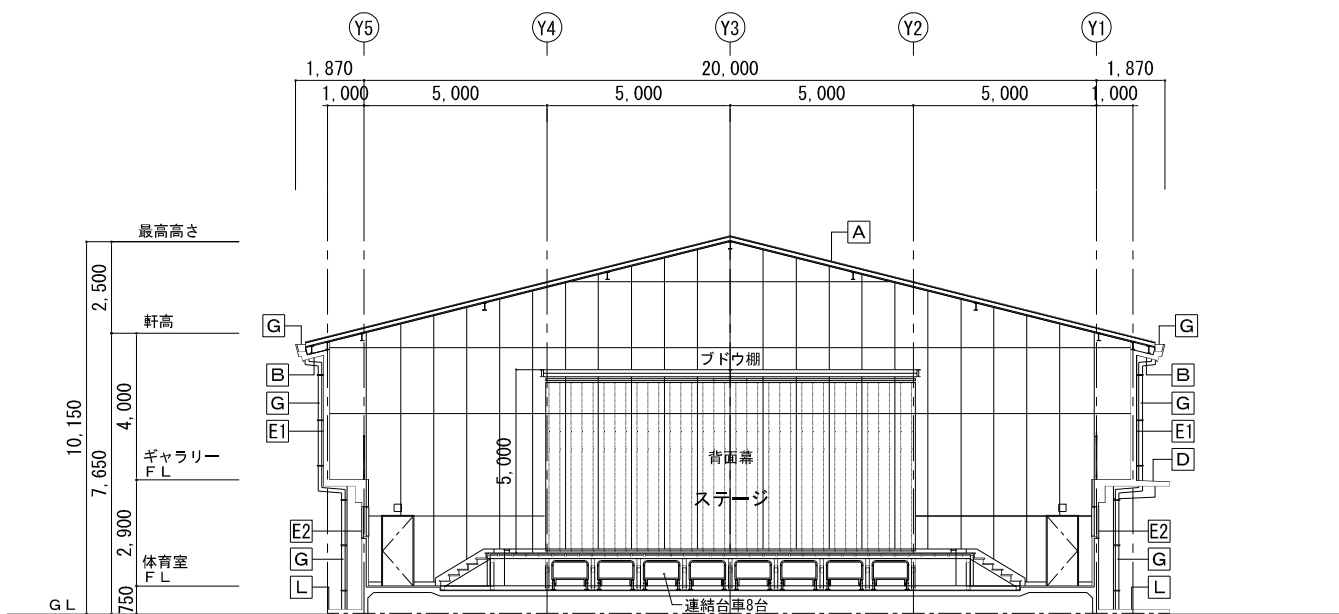


既存断面図 (3) 1/100

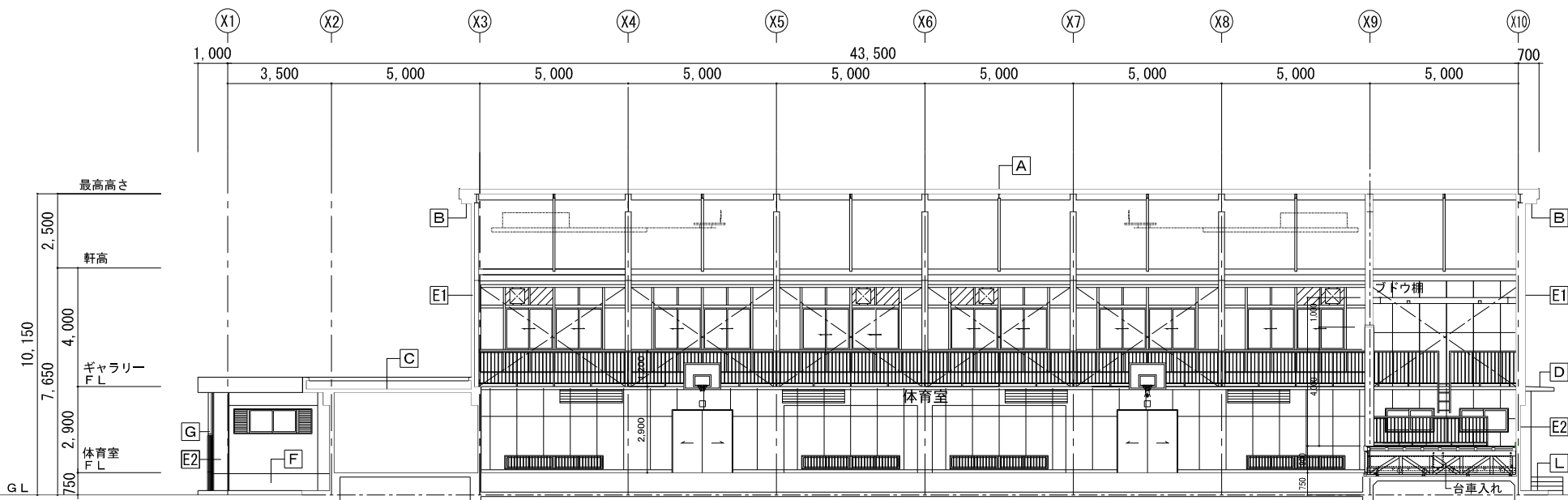
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、鋼製タルキφ490 垂鉛メッキOP塗装
軒 裏	B	ハードボード 厚7 (※)、ケイカル板 厚8 撤去
1階屋根	C	保輕モルタル金ゴテ仕上 厚25 (目地切り)、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 瀝青目地材W25 撤去、ﾒｰﾌﾞﾙ撤去
庇	D	底上面：防水モルタル金ゴテ 底下面：白セメント吹付
外 壁	E1	カラー鉄板貼 厚0.5 (サイディング)、木毛セメント板 厚25、輕鉄下地
	E2	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
巾 木	F	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット付 (枠 φ13 OP塗装共) (撤去) 堅樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・FI窓 撤去 (ガラス：納入ガラス厚6.8) スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	アルミ製
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



改修面図 (1) 1/100



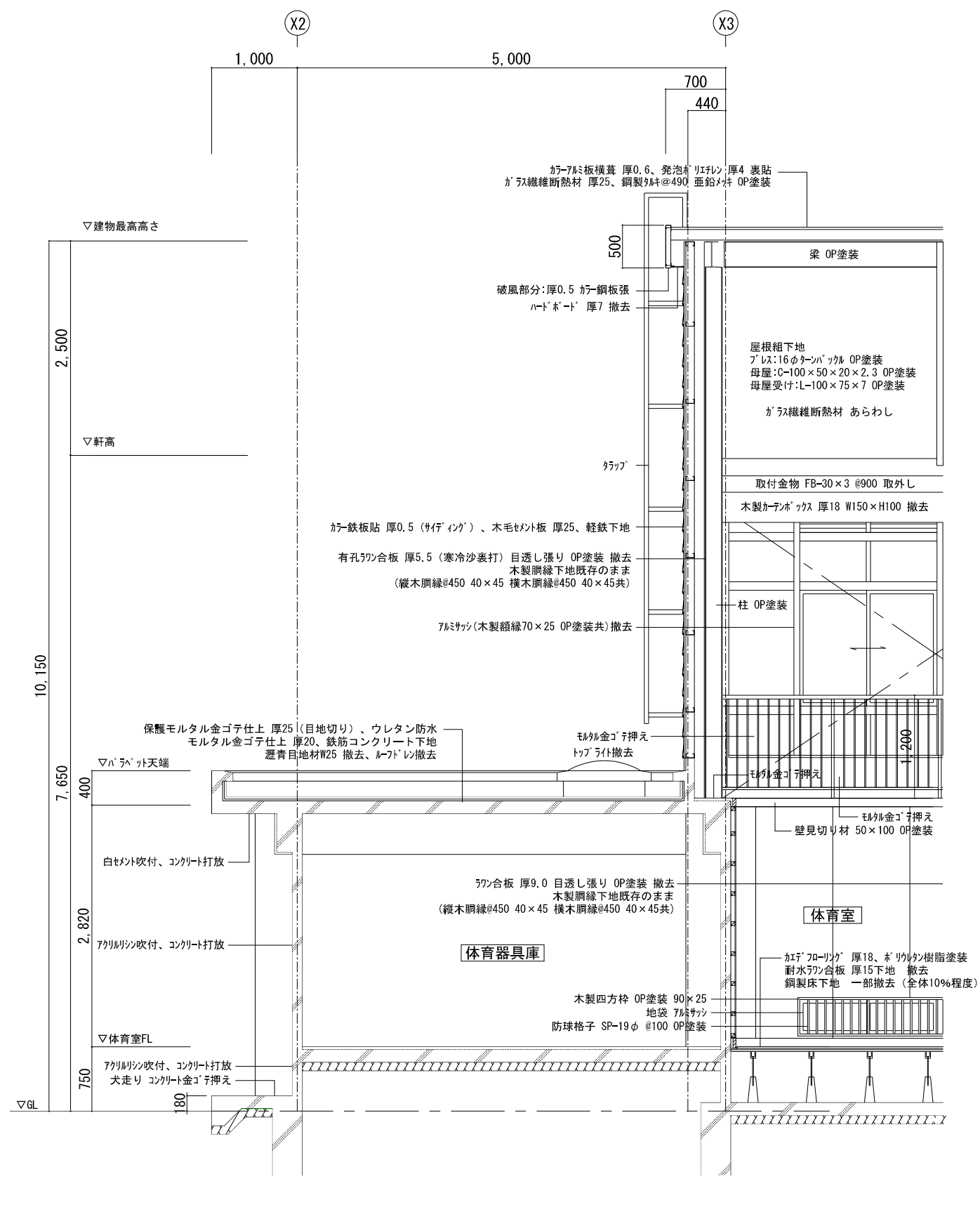
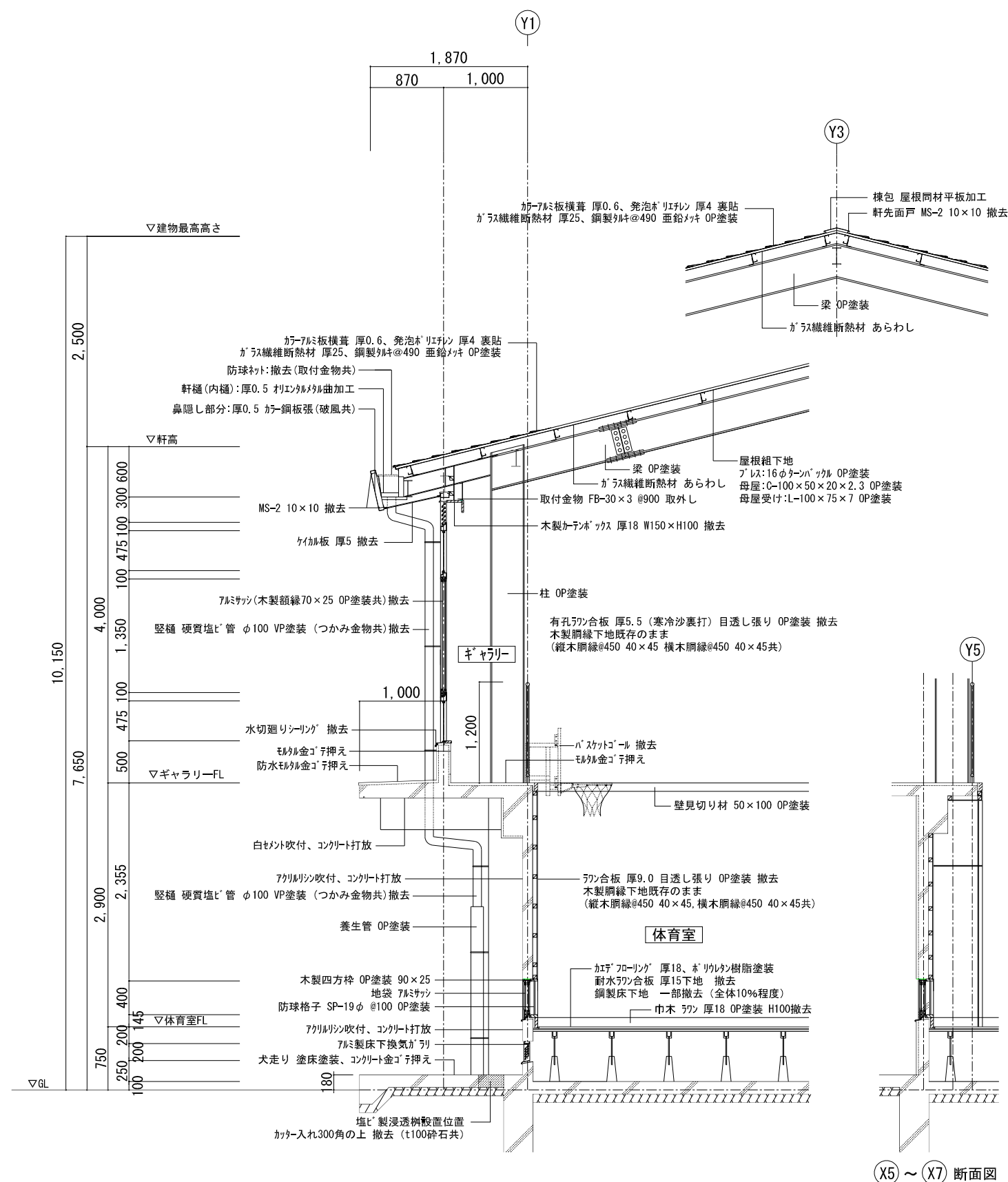
改修断面図 (2) 1/100

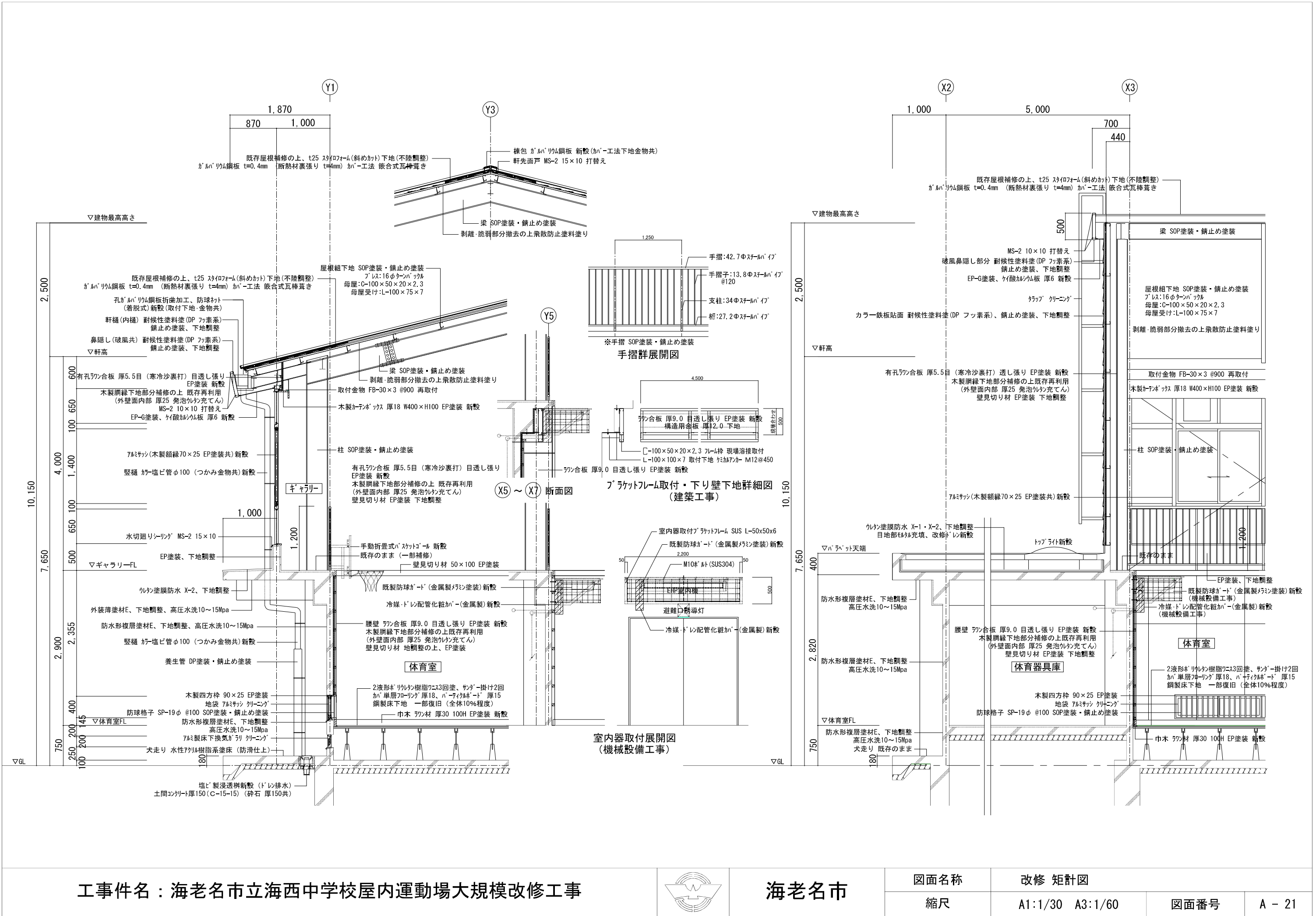


改修断面図 (3) 1/100

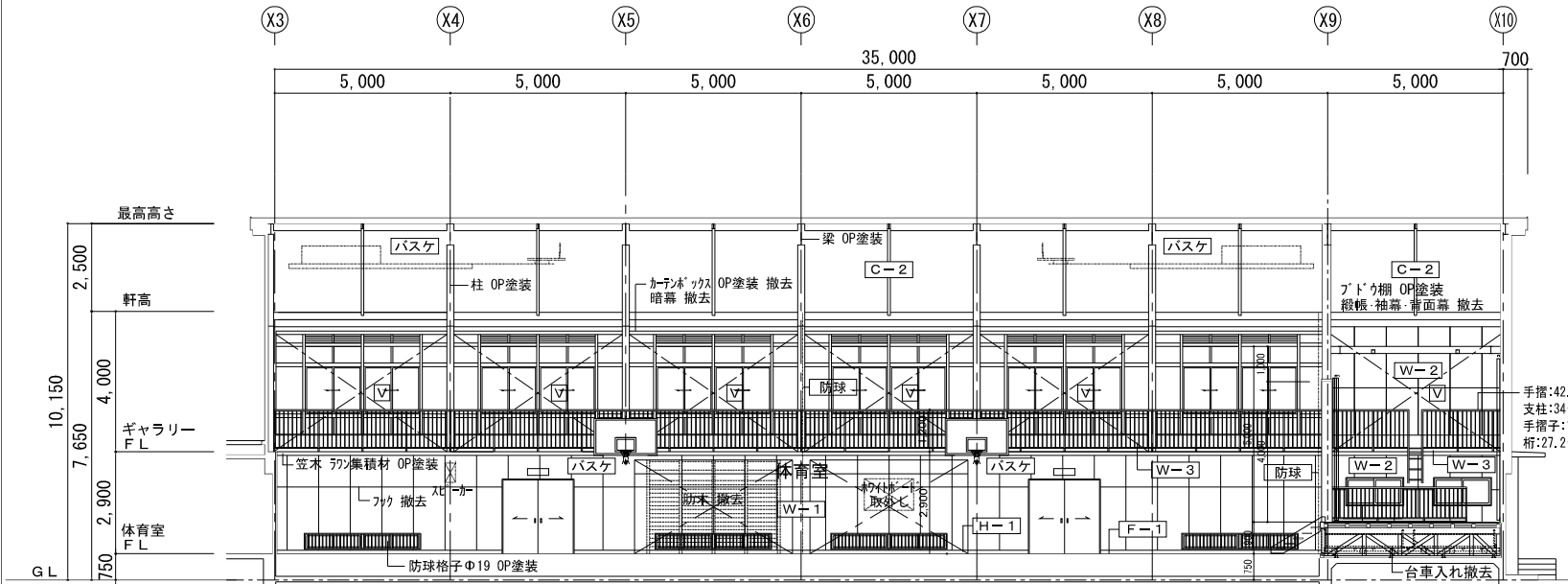
外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式壁はげ葺き 厚0.4(厚4.0 断熱材裏貼り) (カバー工法) 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
軒裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部モルタル充填、改修ドレン新設
庇	D	庇上面: ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面: 外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
外壁	E1	カラー鉄板貼面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面: 防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa クラック補修: Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え (PU-2)
巾木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
樋	G	軒樋: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット (新設)、清掃 縦樋: カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管: DP塗装・錆止め塗装
建具	H	アルミサッシ: 引違い窓・FIX窓 新設 (建具表による) スチールドア: 引き分けハンガードア 新設 (建具表による) 既存建具: ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装 (建具表による)
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修、クラック補修 (スロープ新設、U字溝共)
犬走	L	既存のまま (一部新設、U字溝共)



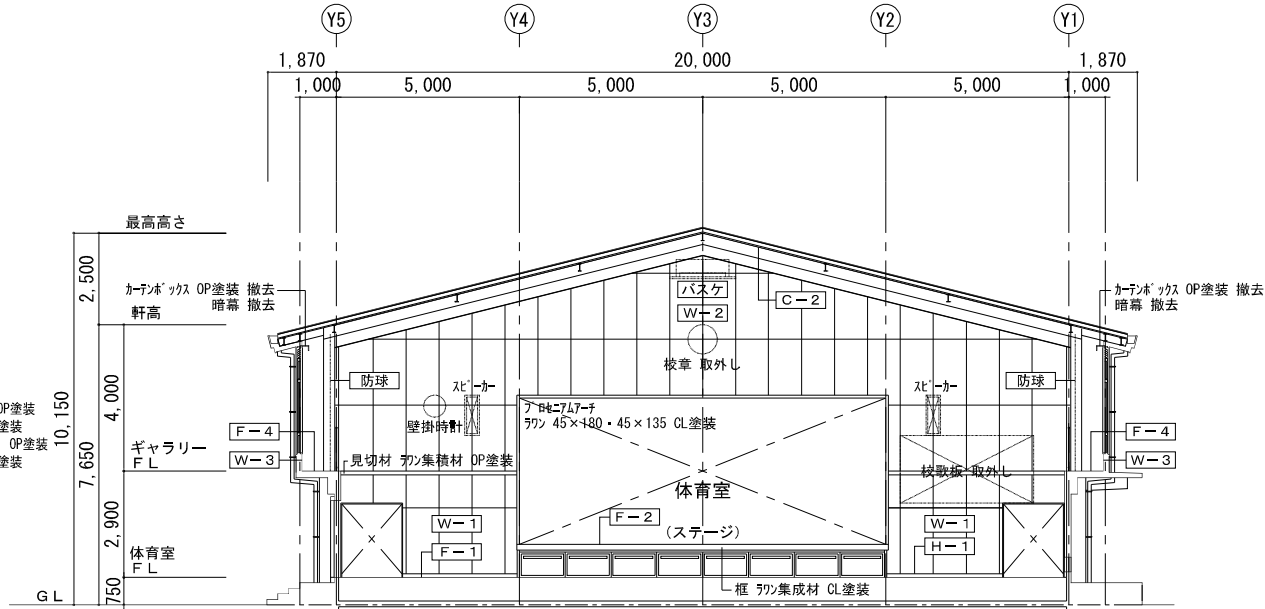




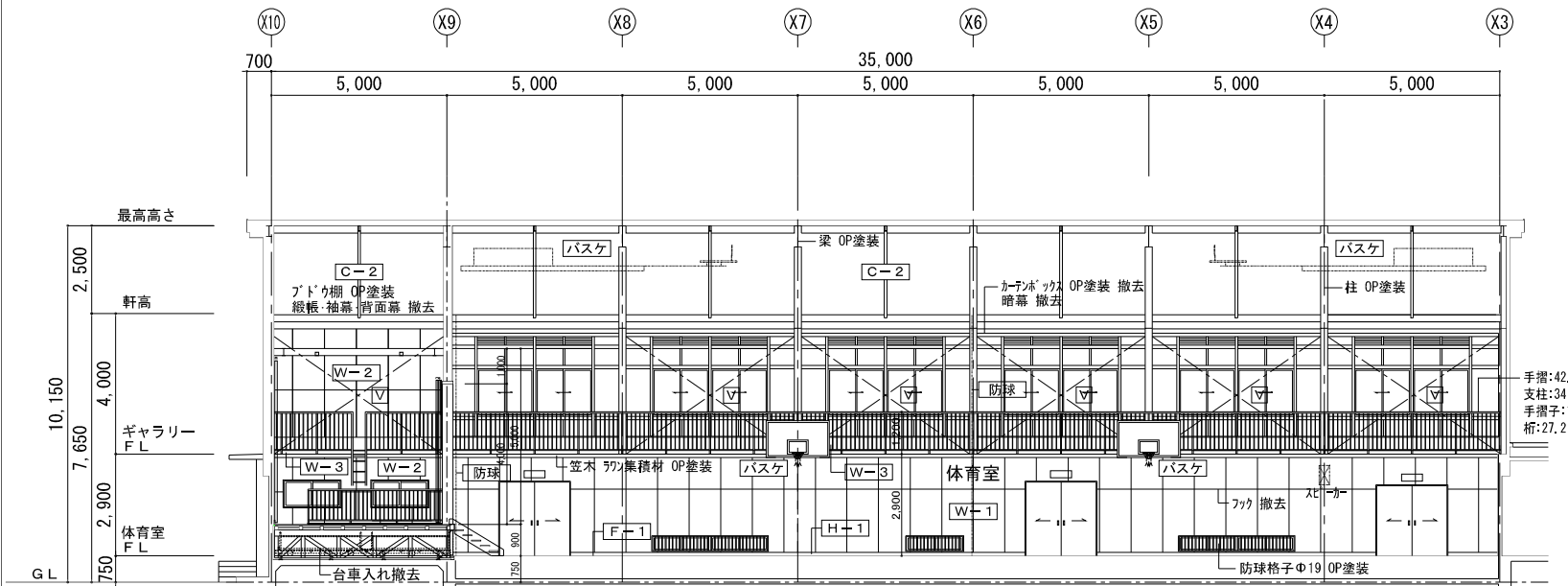
内 部 既 存 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F－1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）	巾木	H－1	ラワン材 厚30 H100 OP塗装 撤去	天井	C－2	ガラス繊維断熱材 あらわし、鉄骨部・垂木：OP塗装
	F－2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地	壁	W－1	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	バスケットゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール・バスケットゴール 撤去
	F－3	長尺塩ビシート張り 撤去、モルタル金ゴテ押え		W－2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り OP塗装 撤去	防球ネット	防球	取外し
	F－4	モルタル金ゴテ押え		W－3	モルタル金ゴテ押え	壁ブレース	V	L-75×75×6



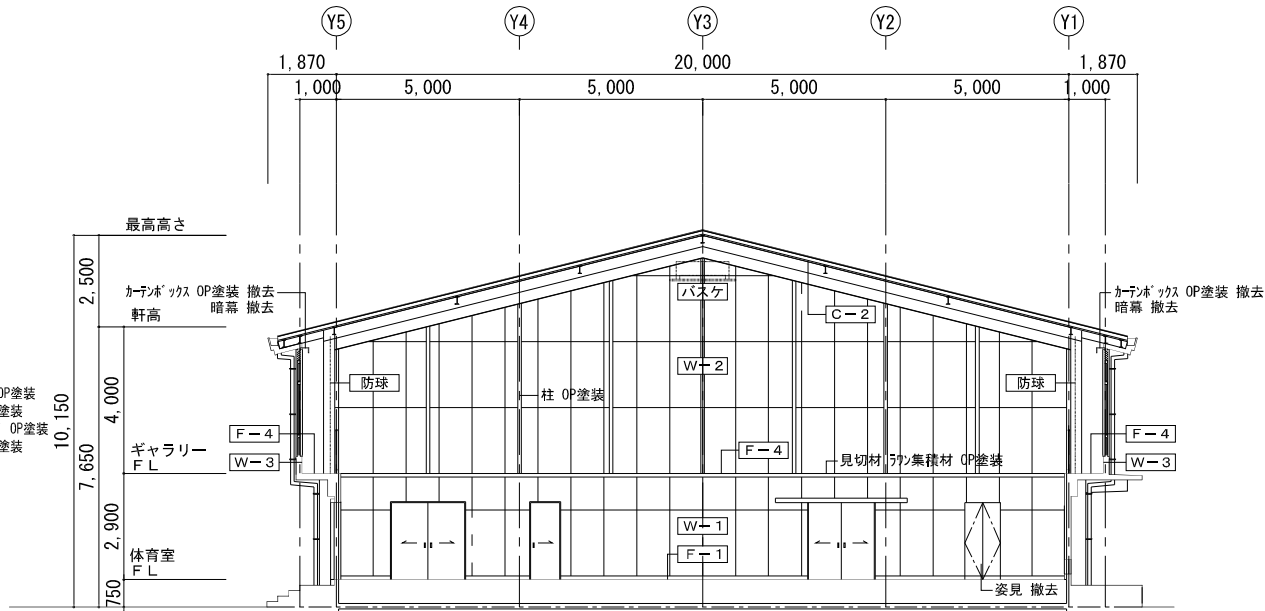
既存体育室 展開図 A面 1/100



既存体育室 展開図 B面 1/100

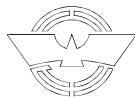


既存体育室 展開図 C面 1/100



既存体育室 展開図 D面 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存 体育室展開図 (1)

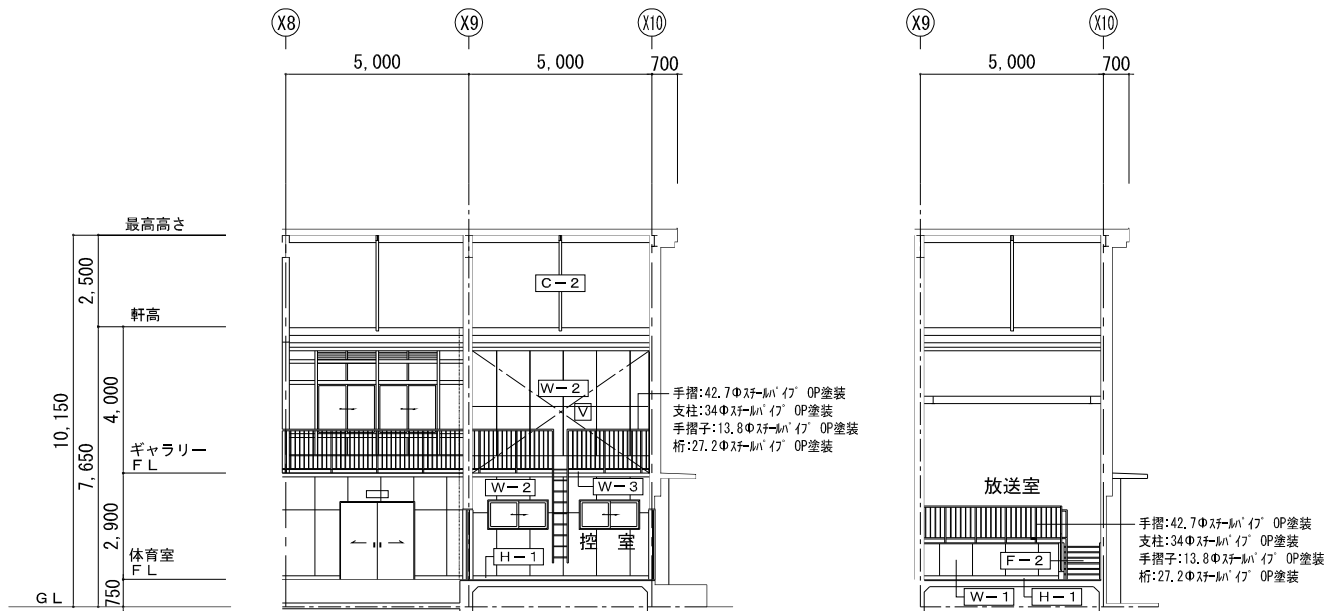
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

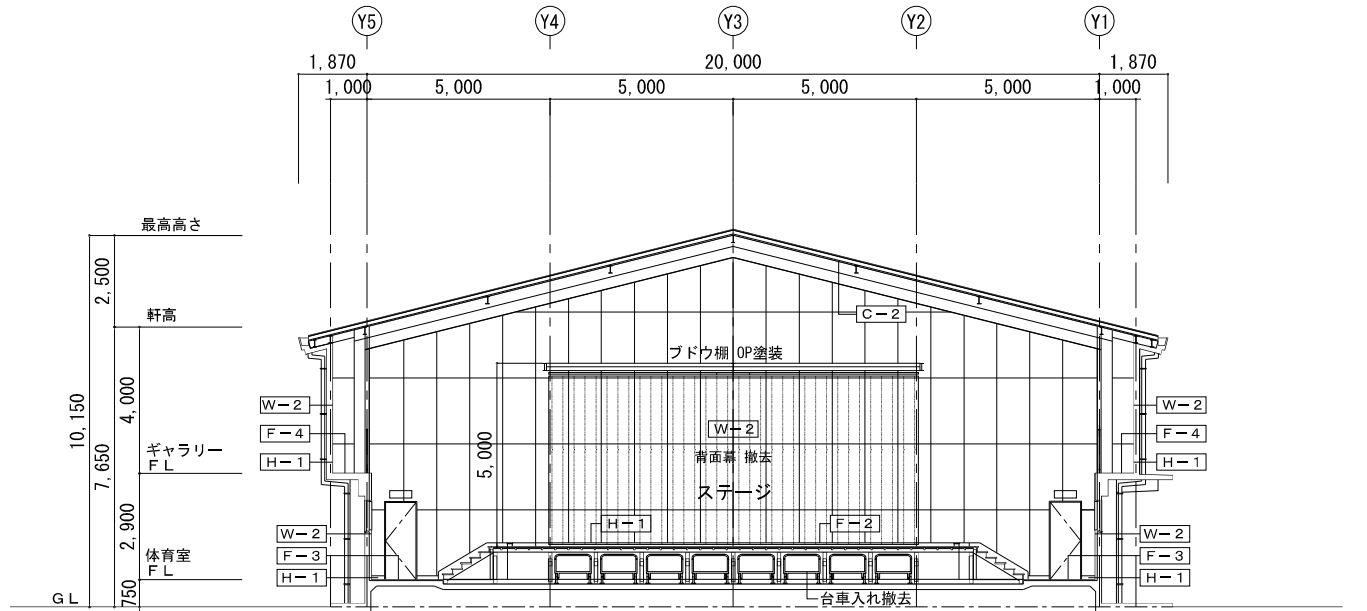
図面番号

A - 22

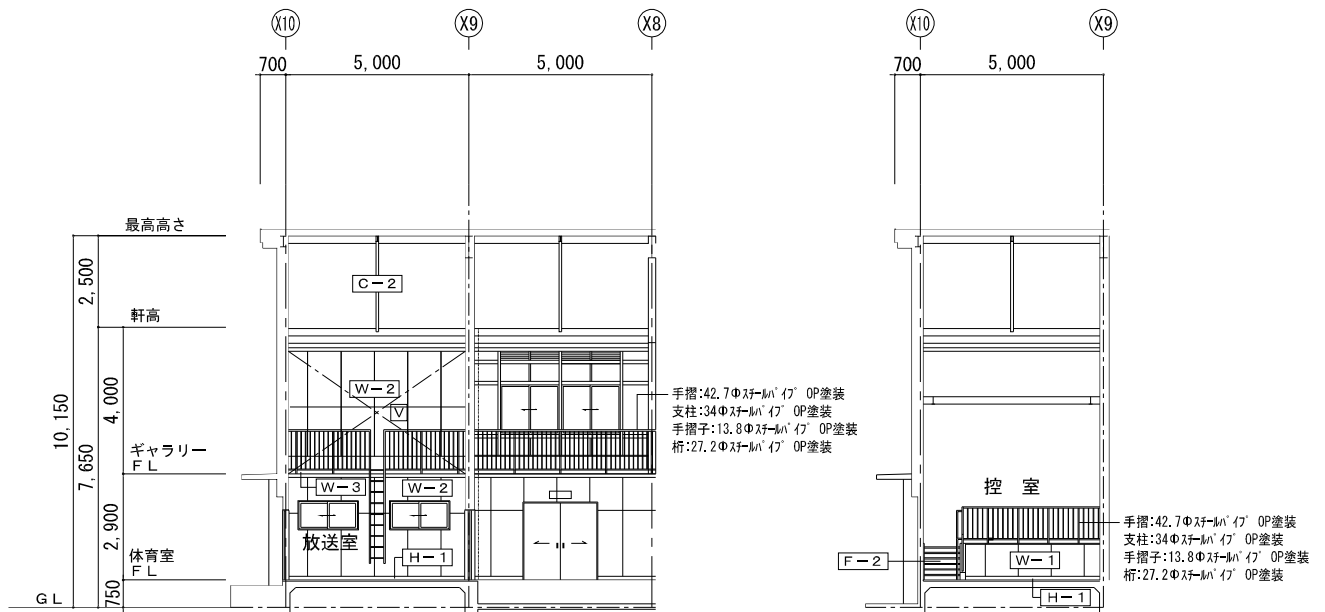
内 部 既 存 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F－1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）	巾木	H－1	ラワン材 厚30 H100 OP塗装 撤去	天井	C－2	ガラス繊維断熱材 あらわし、鉄骨部・垂木：OP塗装
	F－2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地	壁	W－1	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	バスケットゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール・バスケットゴール 撤去
	F－3	長尺塩ビシート張り 撤去、モルタル金ゴテ押え		W－2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り OP塗装 撤去	防球ネット	防球	取外し
	F－4	モルタル金ゴテ押え		W－3	モルタル金ゴテ押え	壁ブレース	V	L-75×75×6



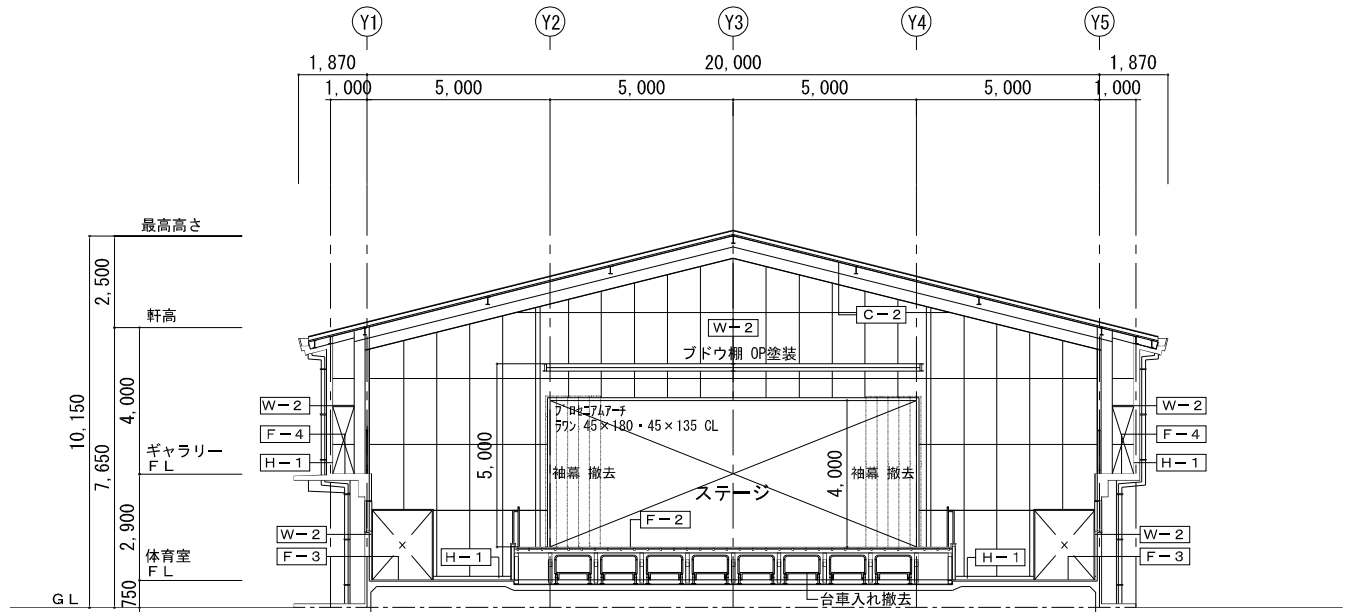
既存放送室・控室 展開図 A面 1/100



既存体育室 展開図 B面 1/100

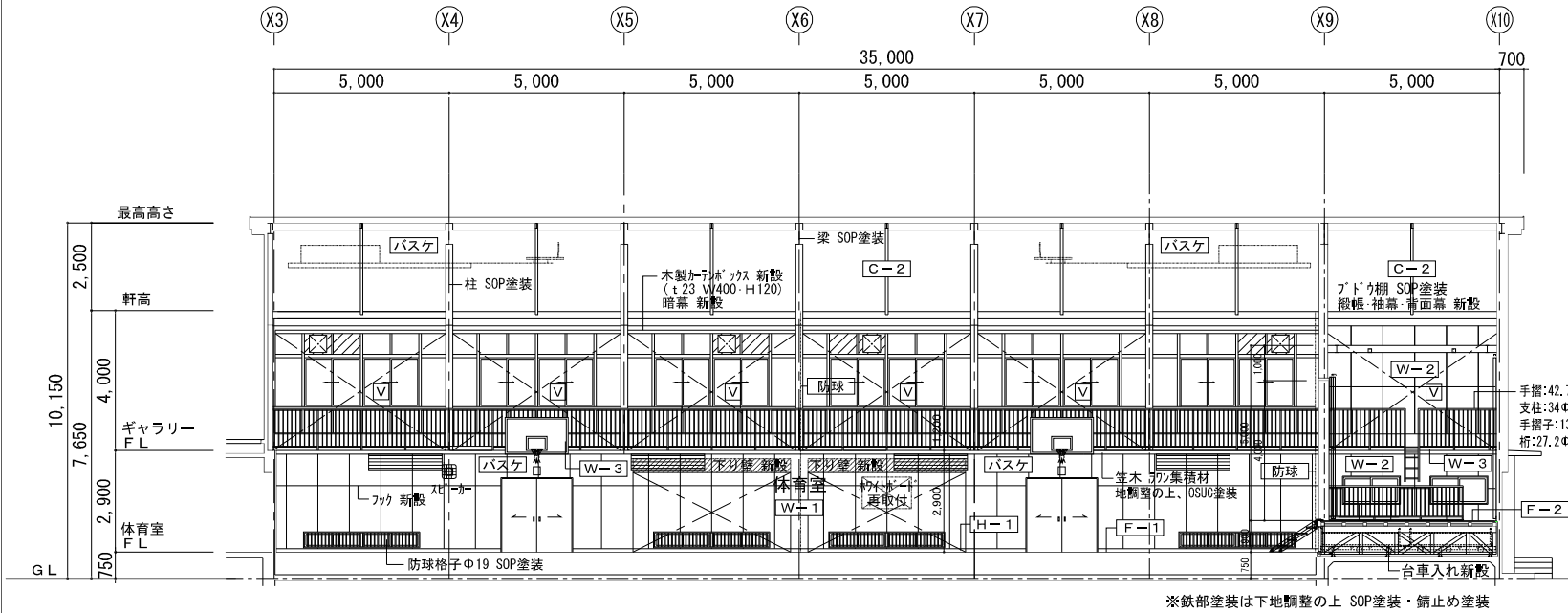


既存放送室・控室 展開図 C面 1/100

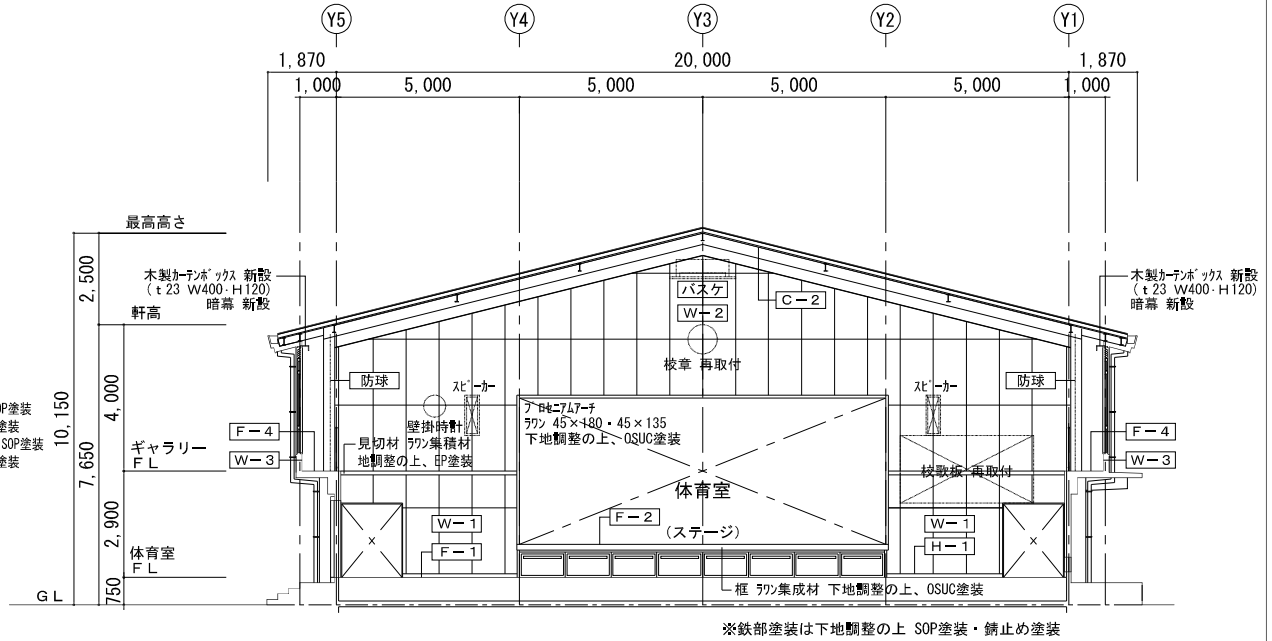


既存体育室 展開図 D面 1/100

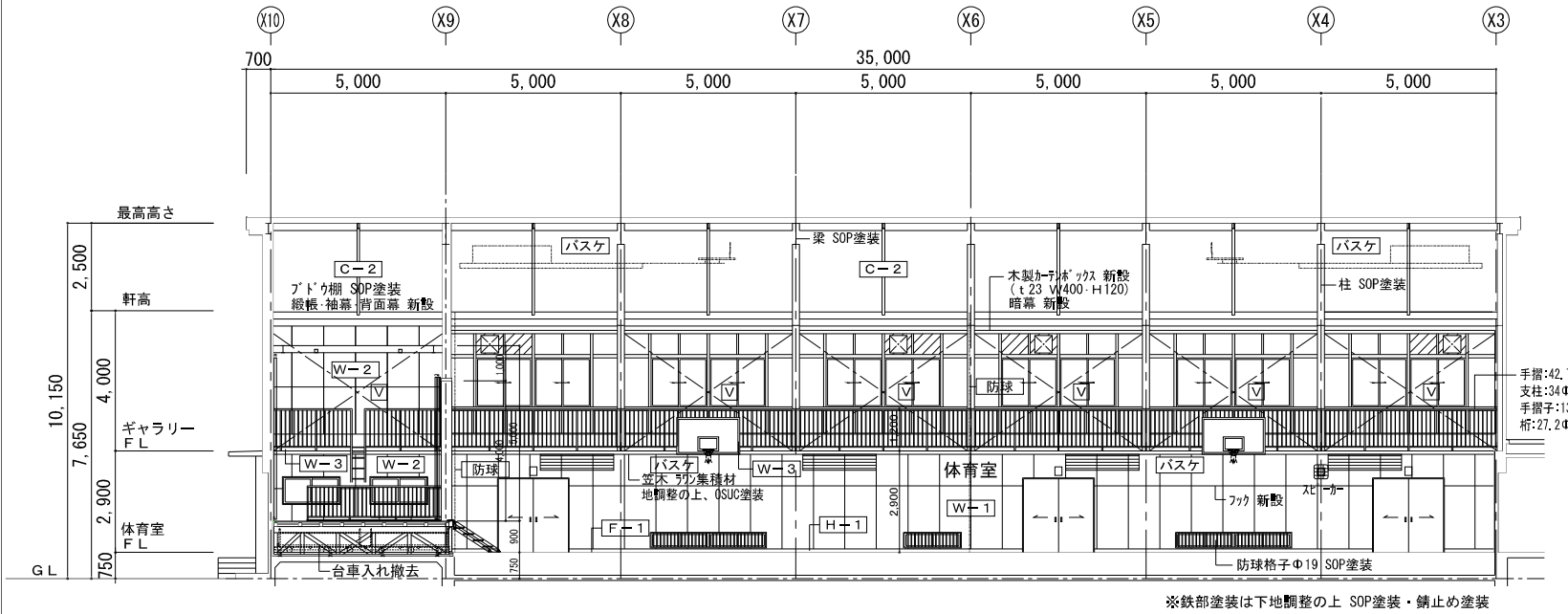
内 部 改 修 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F-1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）	巾木	H-1	ラウン材 厚30 H100 EP塗装 新設	天井	C-2	ガラス繊維断熱材 あらわし部：飛散防止塗料塗り、鉄骨部・垂木：下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装
	F-2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け	壁	W-1	ラウン合板 厚9（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	バスケットゴール	バスケ	電動吊上式バスケットゴール・手動折畳式バスケットゴール 新設
	F-3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修		W-2	有孔ラウン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	防球ネット	防球	再取付
	F-4	既存のまま 既存バスケットゴール固定金物部 補修		W-3	EP塗装、下地補修	壁ブレース	V	L-75×75×6 下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装



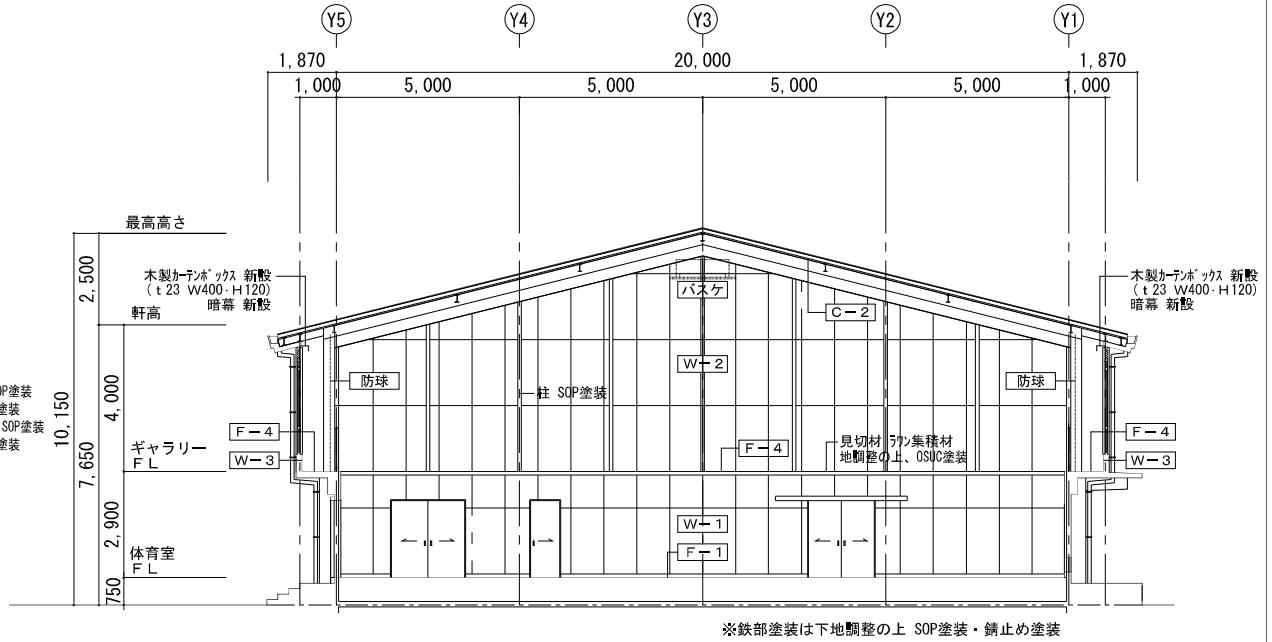
改修体育室 展開図 A面 1/100



改修体育室 展開図 B面 1/100

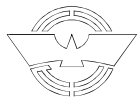


改修体育室 展開図 C面 1/100



改修体育室 展開図 D面 1/100

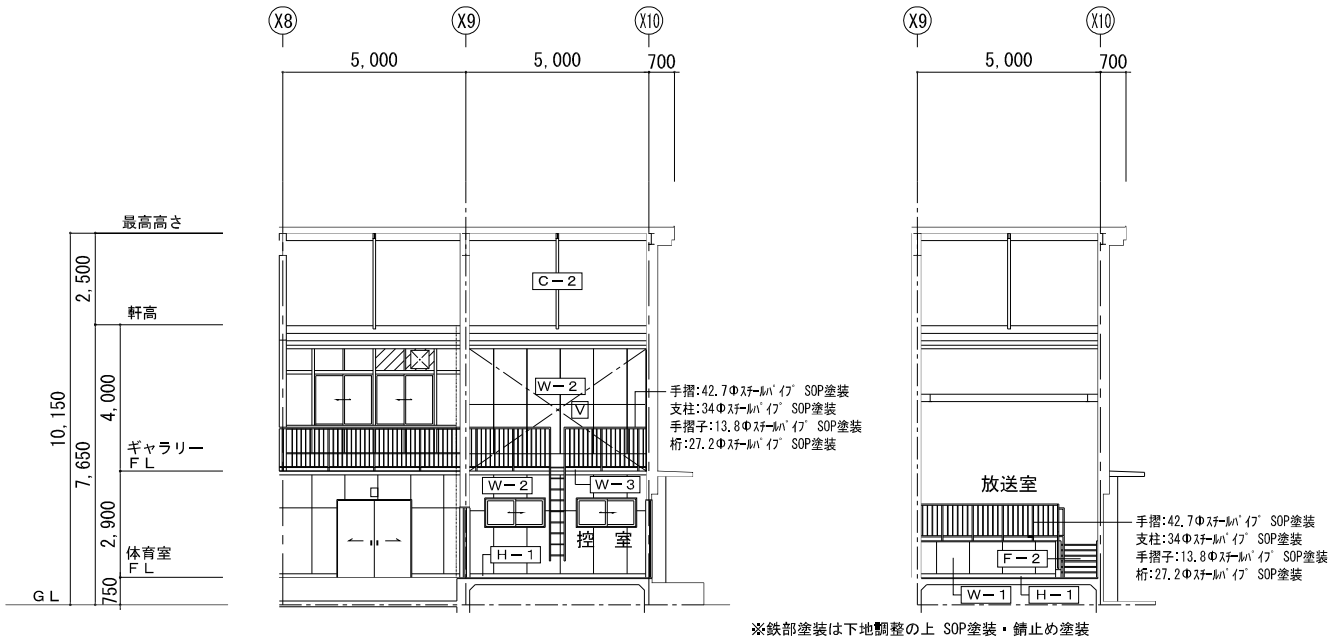
工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



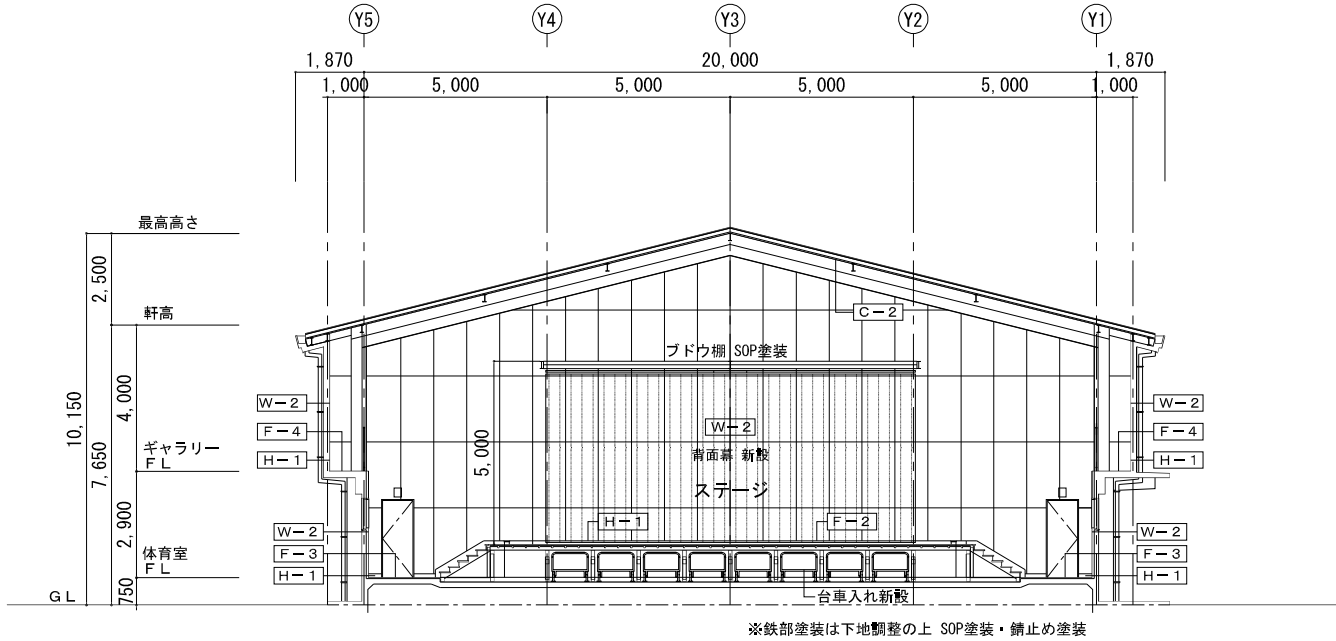
海老名市

図面名称	改修 体育室展開図 (1)		
縮尺	A1:1/100	A3:1/200	図面番号
			A - 24

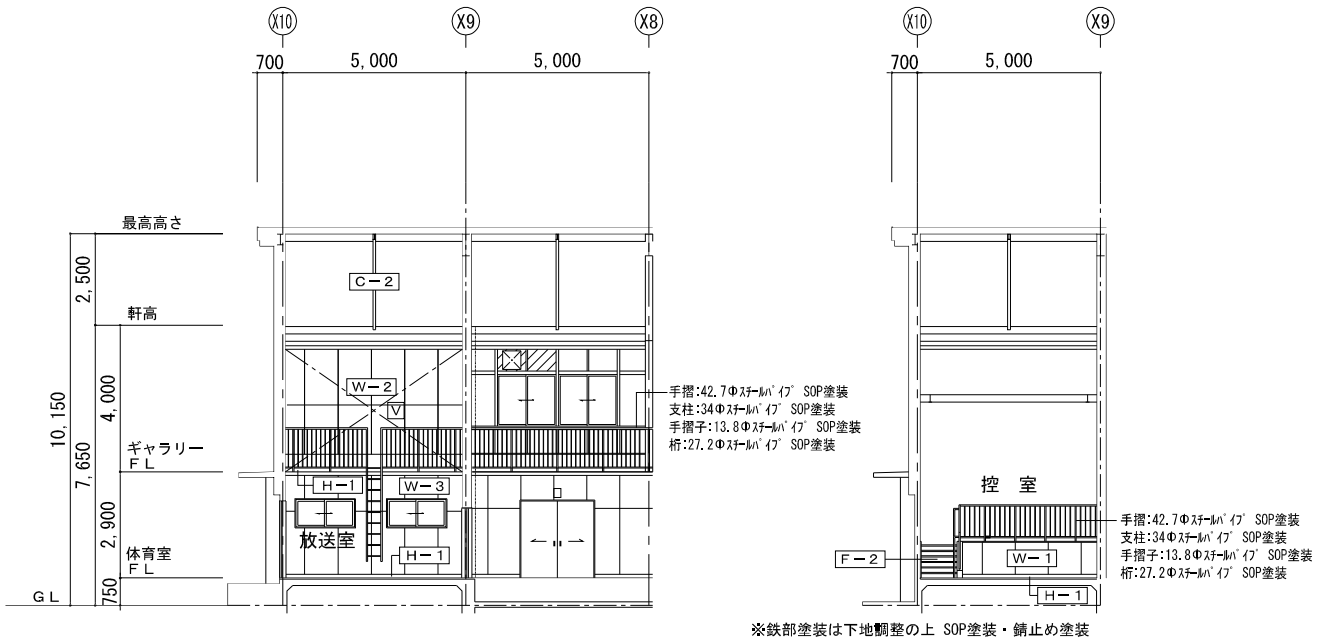
内 部 改 修 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	Fー1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）	巾木	Hー1	ラワン材 厚30 H100 EP塗装 新設	天井	Cー2	ガラス繊維断熱材 あらわし部：飛散防止塗料塗り、鉄骨部・垂木：下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装
	Fー2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け	壁	Wー1	ラワン合板 厚9（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	バスケット ゴール	バスケ	電動吊上式バスケットゴール・手動折畳式バスケットゴール 新設
	Fー3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修		Wー2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	防球ネット	防球	再取付
	Fー4	既存のまま 既存バスケットゴール固定金物部 補修		Wー3	EP塗装、下地補修	壁フリース	V	L-75×75×6 下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装



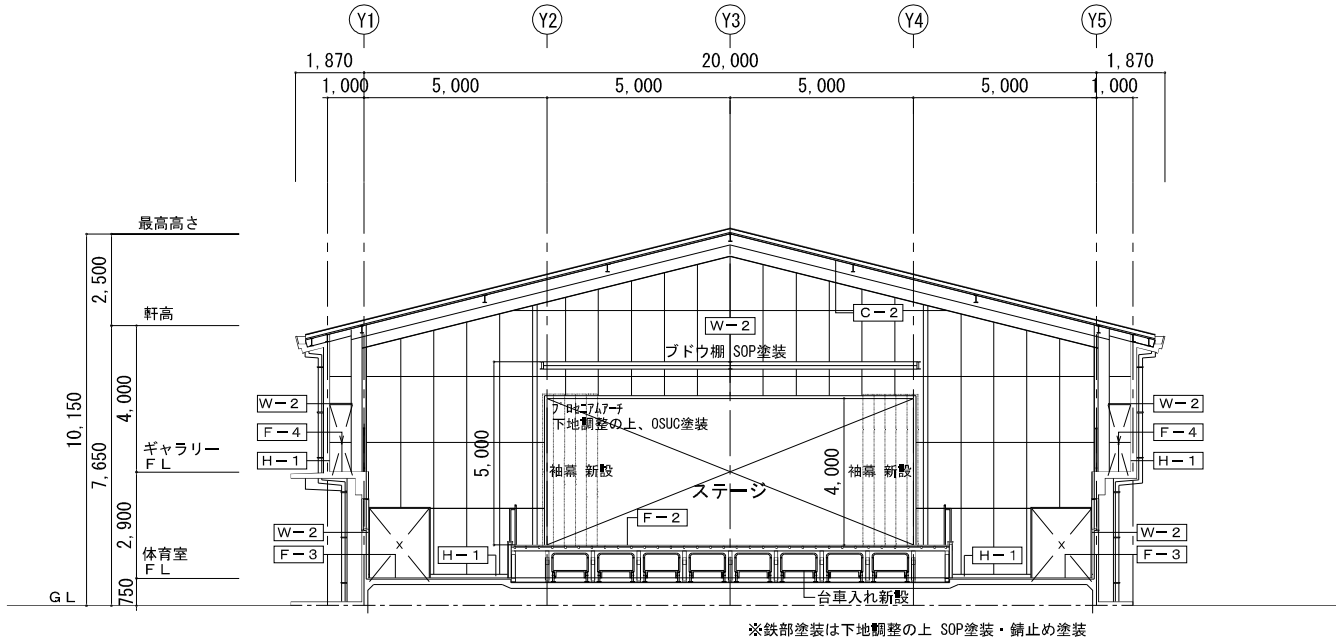
改修放送室・控室 展開図 A面 1/100



改修体育室 展開図 B面 1/100

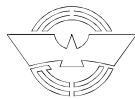


改修放送室・控室 展開図 C面 1/100



改修体育室 展開図 D面 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

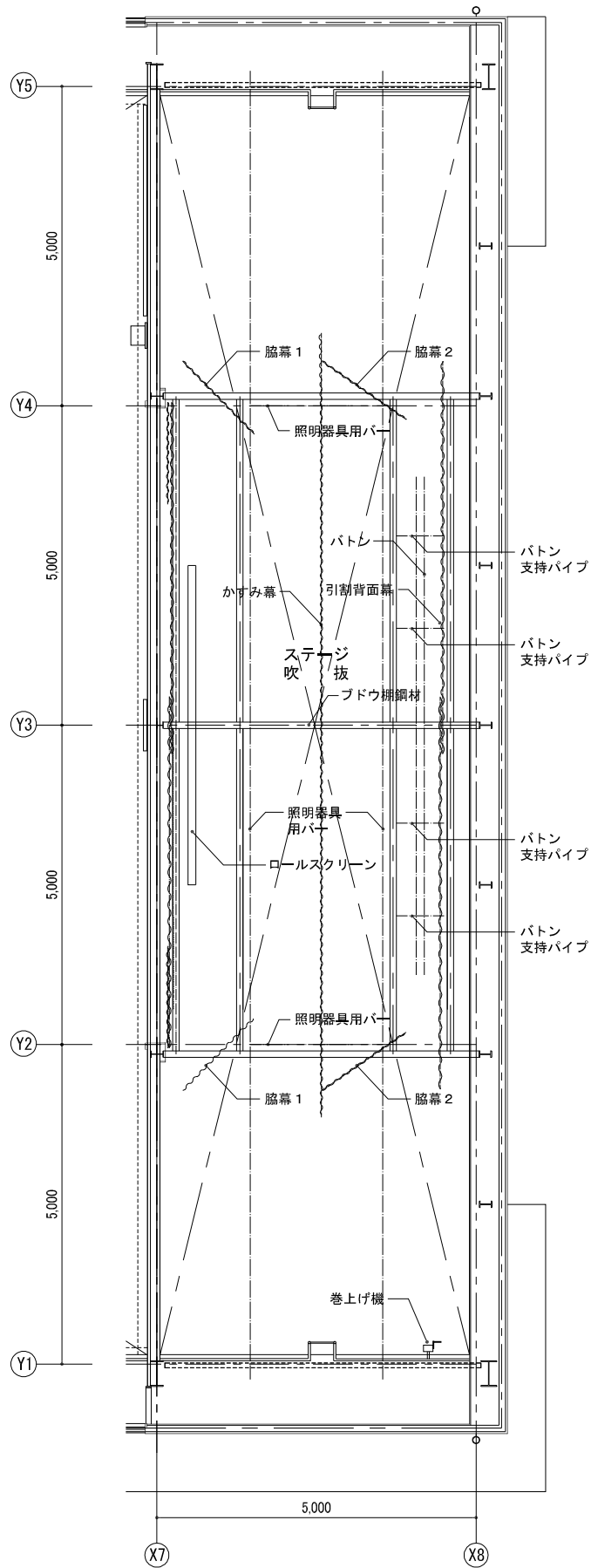
改修 体育室展開図（2）

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

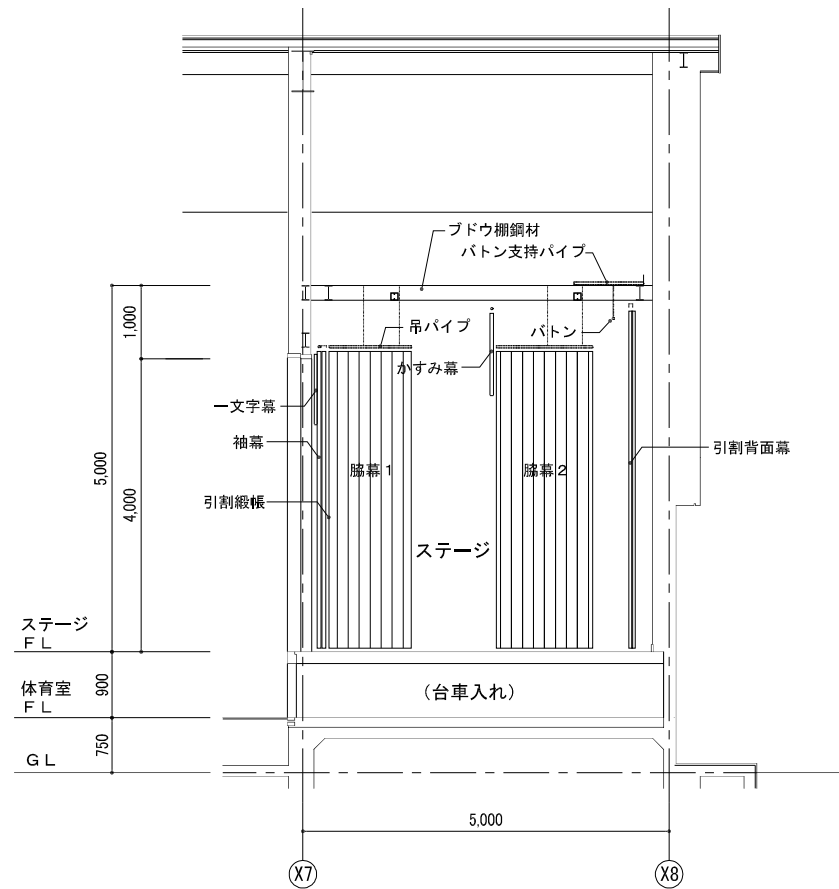
A - 25



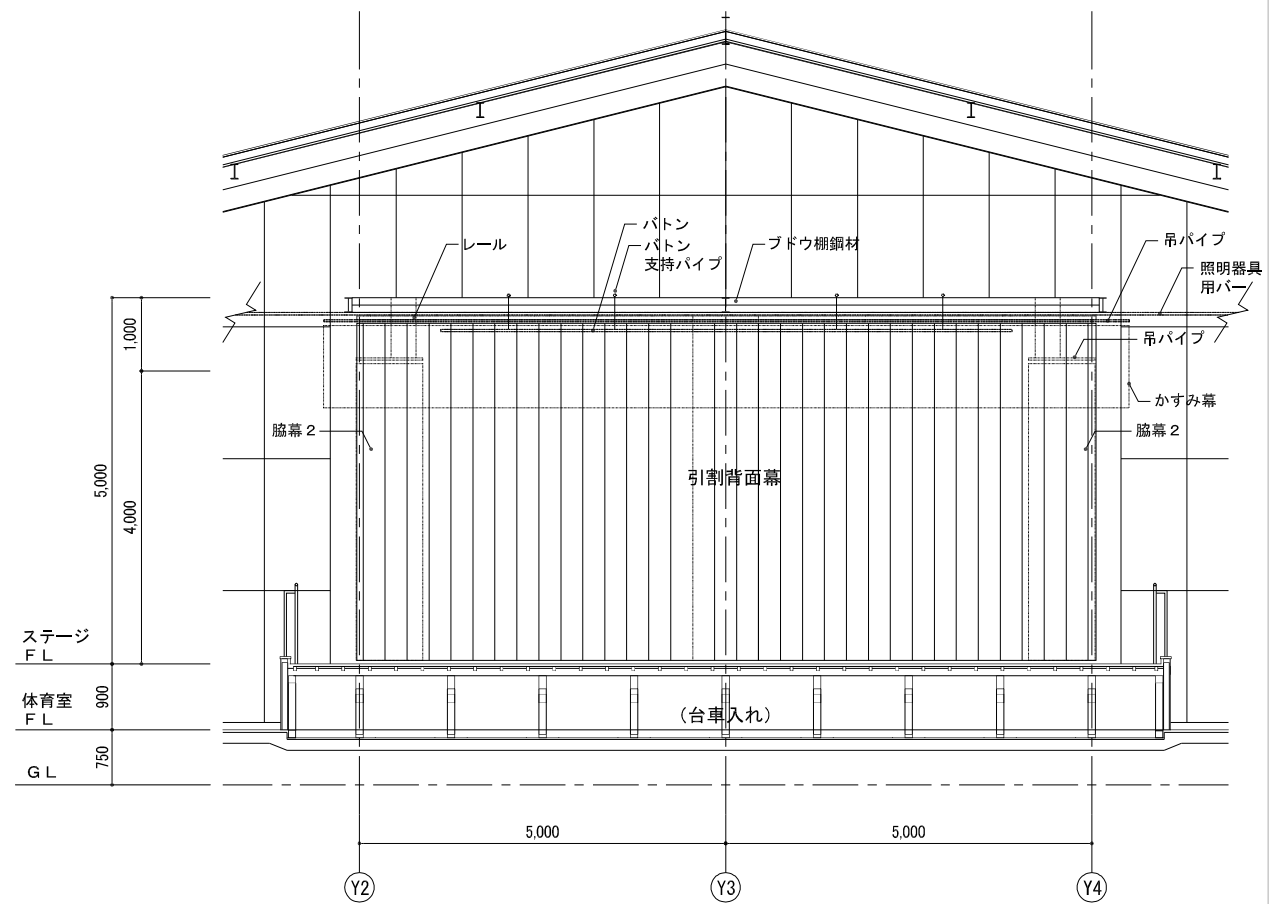
ステージ ブドウ棚 舞台装置 平面図 1/50

舞台装置 リスト

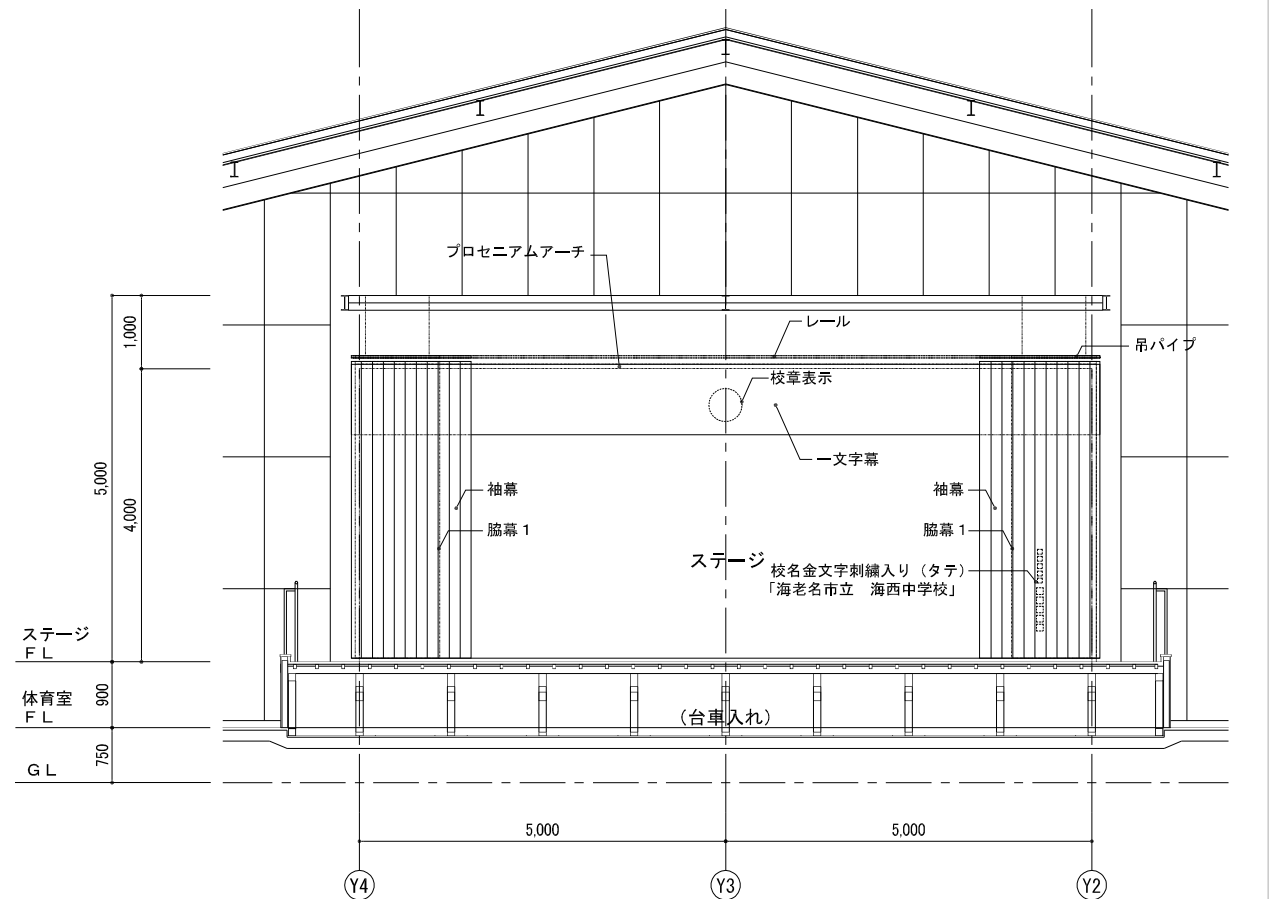
名 称	サイズ (W × H)	数量	駆動方式他
袖幕：撤去新設	W850×H4,100	2	右側 学校名 「海老名市海西中学校」刺繍
引割縦帳：撤去新設	W5,700×H4,100	2	
一文字幕：撤去新設	W11,700×H850	1	校章 φ450 本刺繍
脇幕 1：撤去新設	W1,800×H4,000	2	
脇幕 2：撤去新設	W1,800×H4,000	2	
かすみ幕：新設	W12,500×H1,100	1	
引割背面膜：撤去新設	W5,700×H4,500	2	
バトン：撤去新設 支持パイプ・ワイヤー共	6m	2	昇降ウインチ×2
ロールスクリーン：取外し再取付		1	
暗幕（ギャラリー）：撤去新設	W29,780×H2,900（撤去） W720×H2,900（新設） W1,670×H2,250（新設） W8,330×H2,900（新設） W5,000×H2,900（新設）	2 4 8 4 2	
暗幕（控室・放送室）：撤去新設	W1,600×H750	2	



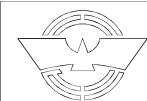
A面（C面）展開図 1/50

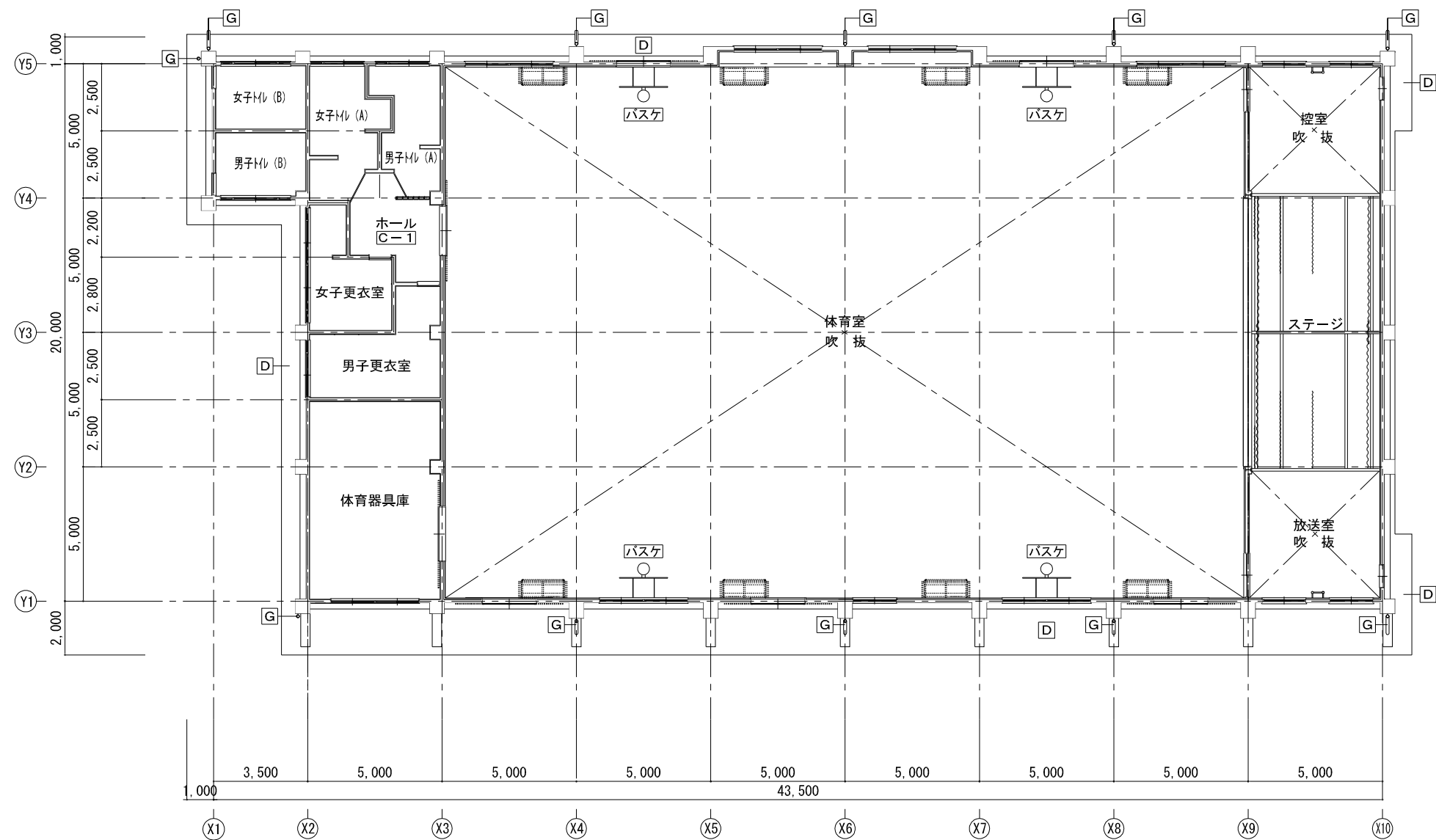


B面 展開図 1/50



D面 展開図 1/50



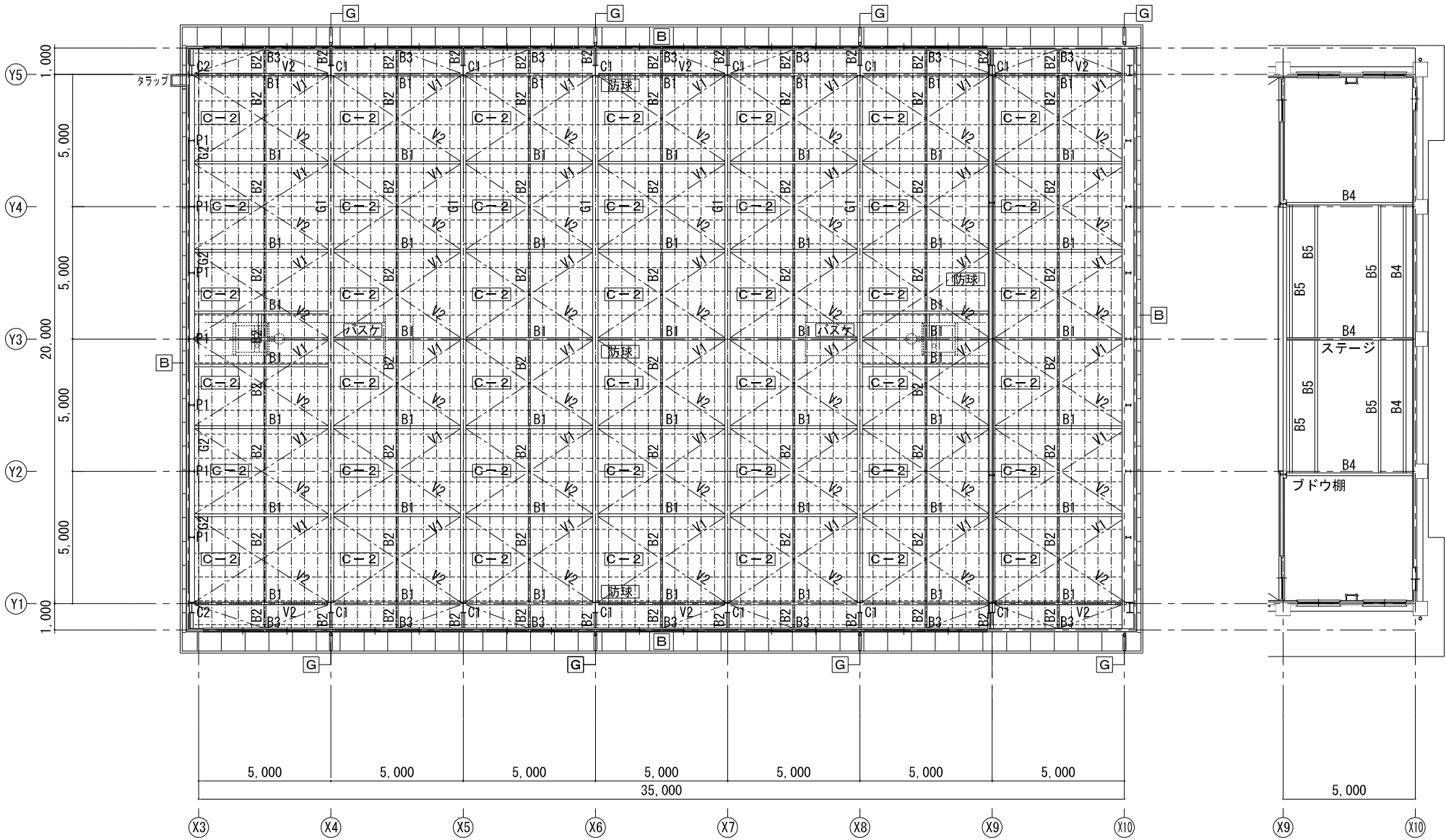


1階天井伏せ図 1/100

外部仕上表			内部仕上表		
部位	記号	仕上	部位	記号	仕上
軒裏・庇	D	既存（庇下面）：白セメント吹付 改修（庇下面）：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	天井	C-1	既存：リシン吹付 改修：EP塗装、下地調整
樋	G	既存（縦樋）：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去 改修（縦樋）：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管：SOP塗装・錆止め塗装	バスケットゴール	バスケ	バスケットゴール板 撤去・手動折畳式バスケットゴール 新設



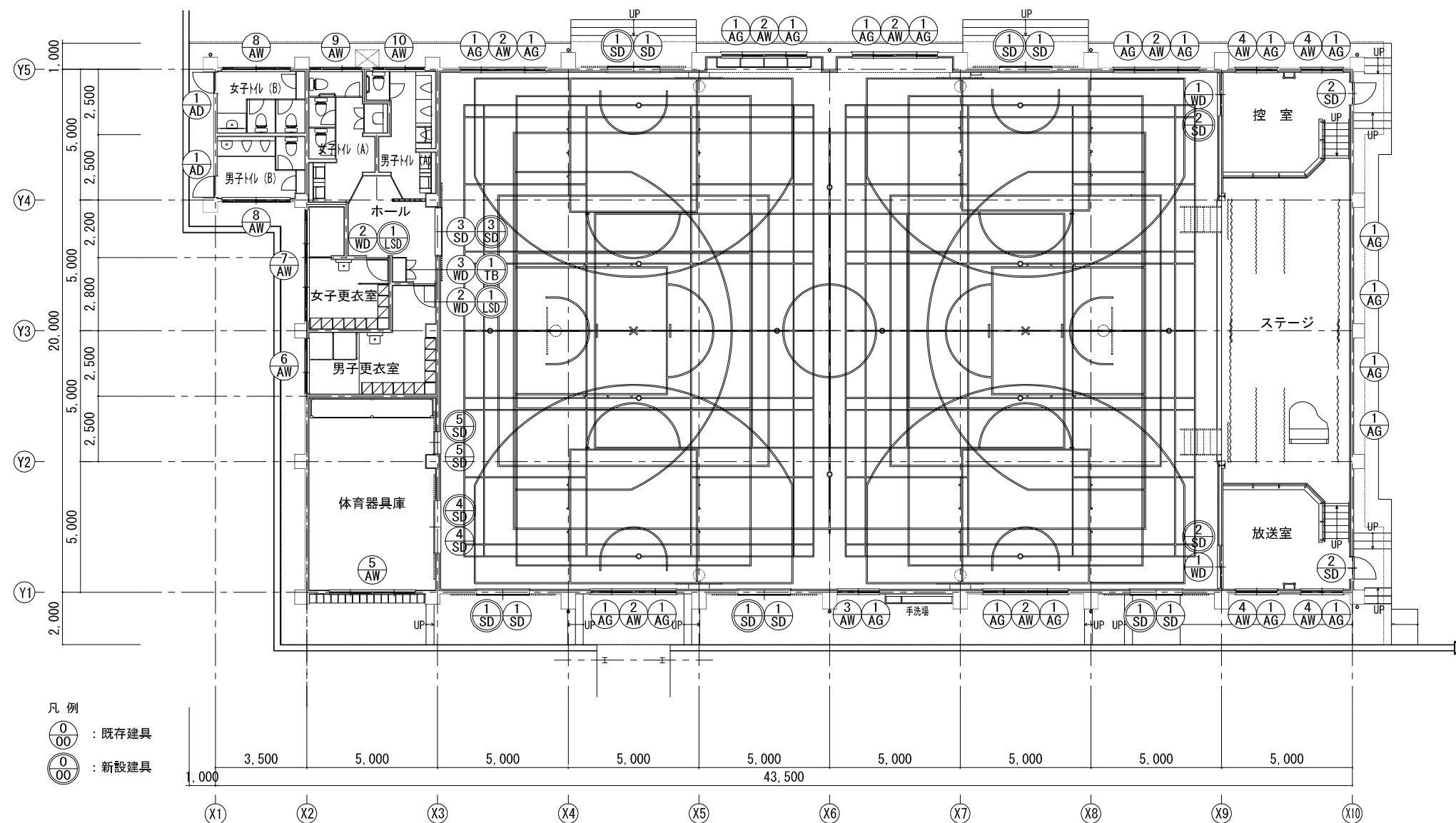
既存部材リスト								
符 号	部 材 断 面	改 修 内 容	符 号	部 材 断 面	改 修 内 容	符 号	部 材 断 面	改 修 内 容
C 1	H-400×200×8×13	SOP塗装、錆止め塗装	B 1	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装	V 1	1-16φ	SOP塗装、錆止め塗装
C 2	H-300×150×6.5×9	SOP塗装、錆止め塗装	B 2	H-150×75×5×7	SOP塗装、錆止め塗装	V 2	2L-65×65×6	SOP塗装、錆止め塗装
P 1	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装	B 3	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装	B 4	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装
G 1	H-400×200×8×13	SOP塗装、錆止め塗装	母屋	□-100×50×20×2.3 @900	SOP塗装、錆止め塗装	B 5	□2-100×50×20×2.3	SOP塗装、錆止め塗装
G 2	H-300×150×6.5×9	SOP塗装、錆止め塗装	押え金物	W-100 @500	SOP塗装、錆止め塗装			



吹抜部分天井伏せ図 1/100

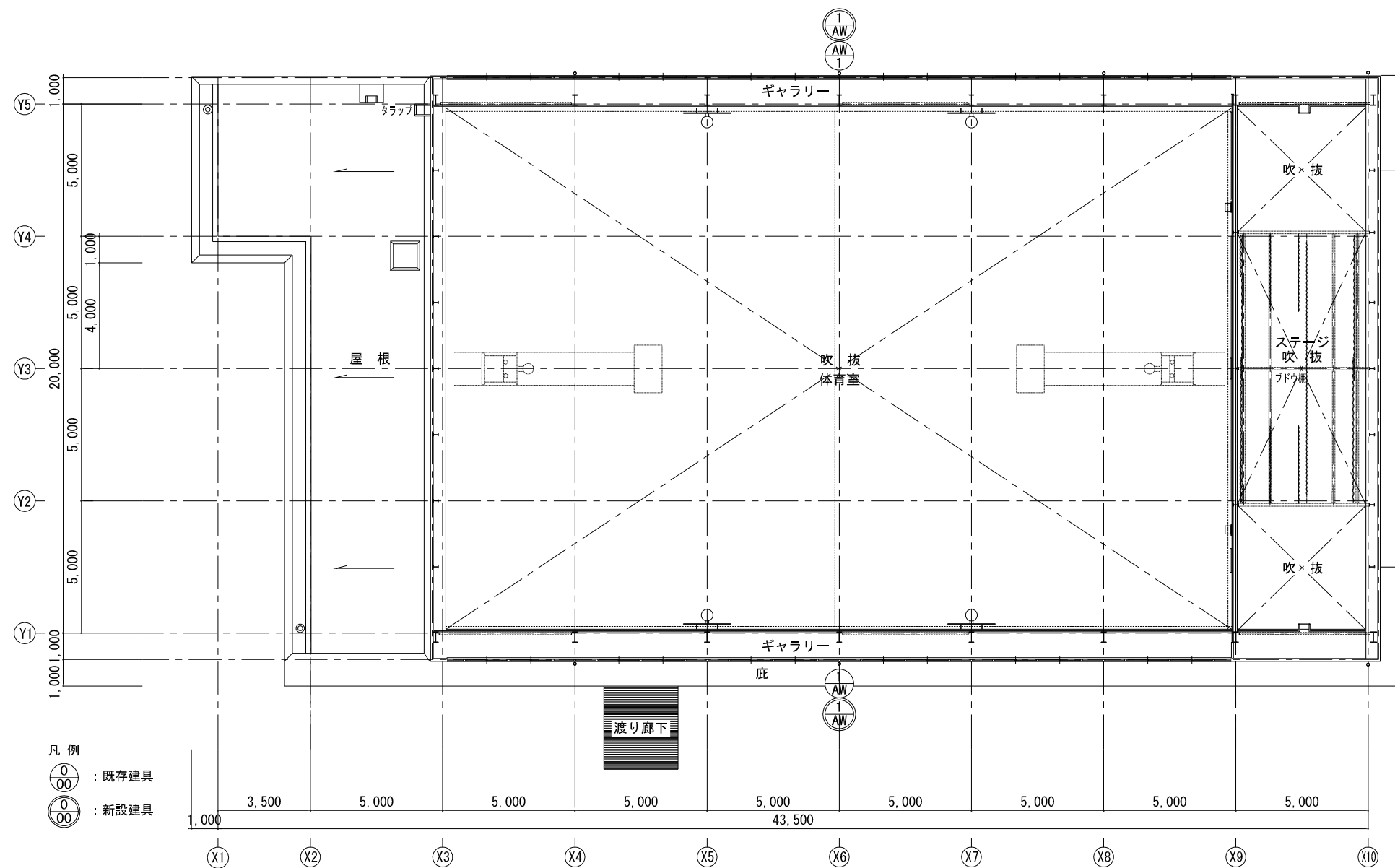
外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
軒 裏	B	既存：ハードボード 厚7 (※) X3・X10 通り面 ケイカル板 厚5 Y1・Y5 通り面 撤去 改修：EP塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6 新設	天 井	C-2	既存：ガラス繊維断熱材あらわし 改修：剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗
樋	G	既存（縦樋）：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去 改修（縦樋）：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設	バスケット ゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール 撤去・電動吊上式バスケットゴール 新設
			防球ネット	防球	取外し・再取付



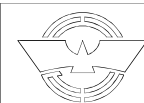


1階キープラン表 1/100



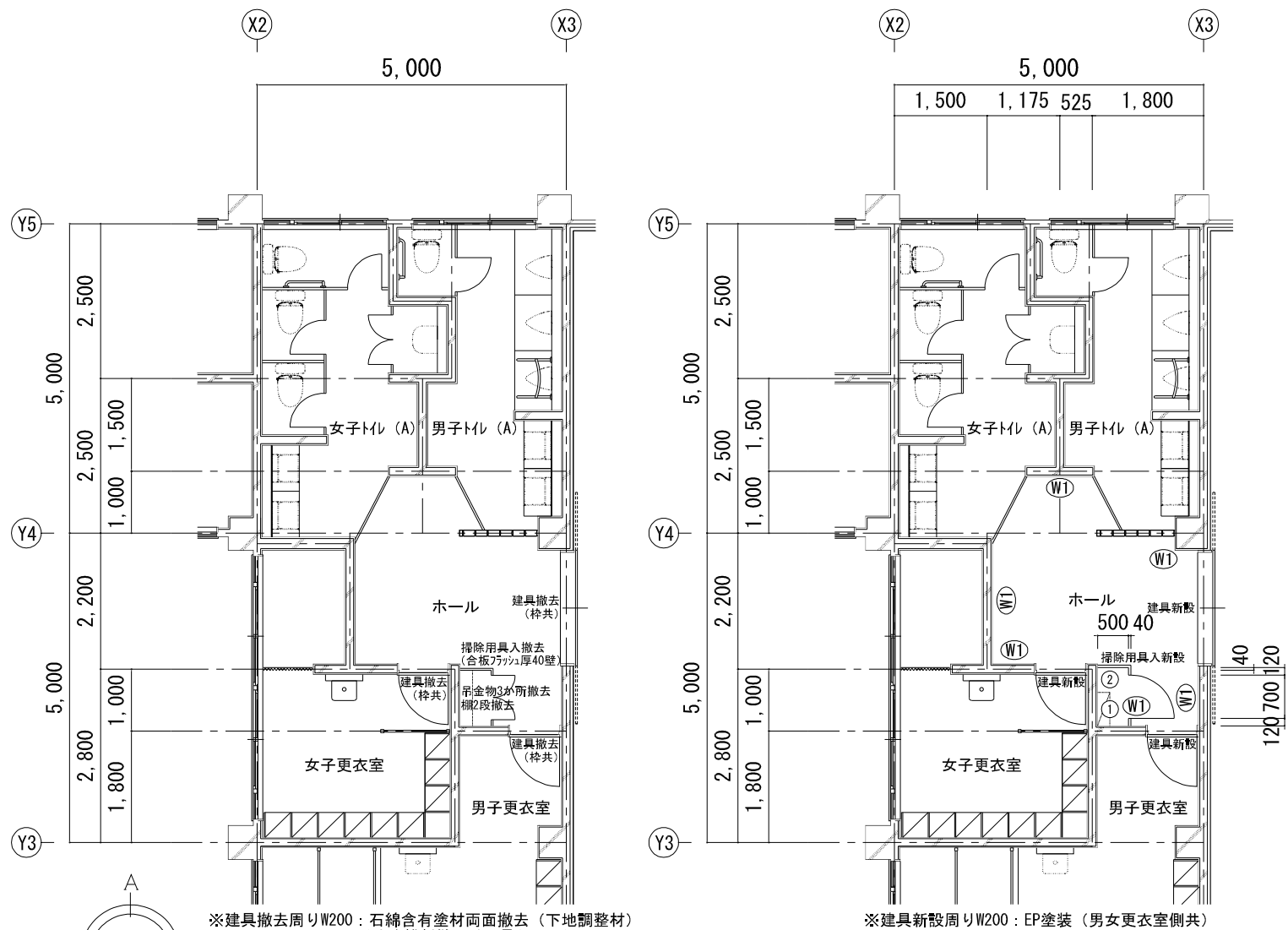


吹抜け部キープラン表 1/100



図面名称	図面名称					
縮尺	縮尺					
建具表(1)	建具表(1)					
A1:1/50 A3:1/100	A1:1/50 A3:1/100					
図面番号	図面番号					
A - 31	A - 31					

名 称		①AW 連窓、アルミサッシ 引違窓(嵌殺し窓) (新設)		2	
姿 図					
		※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること			
場 所		体育室			
仕 上		アルミ、アルマイト処理			
見 込		70 mm			
ガラス		Low-E複層ガラス 厚 4.0+ A6 + T4.0 飛散防止フィルム張り、一部7mmサッシ 厚5.0			
金 物		クレセント、引手、縦線、ストッパー、転落防止付 水切、付属金物一式			
備 考					
符 号 名 称		①S① スチール 引き分けハンガードア・3方枠 (新設)	5	②S② スチール 3方枠 (新設)	2
姿 図					
		※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること			
場 所		体育室		控室・放送室	
仕 上		高耐候性粉体焼付塗装、亜鉛メッキ鋼板		SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板	
見 込		235、 扉厚38 mm		235、	
ガラス					
金 物		SUS引手L450、錠前、シリンダー錠(内側サムターン) ハンガーレール、ガイドレール、SUS下枠、SUS番指、附属金物一式		SUS引手L100、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)、SUSVレール ストッパー、附属金物一式	
備 考		断熱仕様 (発泡ウレタン充填)			
符 号 名 称		①S① ライトスチール 片開きフラッシュ戸 (新設)	2	①TB① 掃除用具入 (新設)	1
姿 図					
場 所		男子更衣室・女子更衣室		ホール (掃除用具入)	
仕 上		SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板		高圧メラミン化粧合板、ペーパーコア (芯材)	
見 込		190、戸厚40			
ガラス					
金 物		レバーハンドル、ドアクローザー、Pヒンジ (ビス止め仕様) 掘込箱錠 (シリンダーサムターン)、戸当り		中心吊、ステンレス巾木、笠木・壁面レール：アルミ押出材 ケースハンドル、シリンダー錠、ドアヒンジ常開、アームストッパー 中心吊(グレビティーヒンジ)	
備 考		セミエアタイト仕様、アンダーカット、ステンレス番指			
符 号 名 称					
姿 図					
場 所					
仕 上					
見 込					
ガラス					
金 物					
備 考					
工 事 件 名		海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事		海老名市	
図 面 名 称		図面名称		建具表 (2)	
縮 尺		縮尺		A1:1/50 A3:1/100	
		図面番号		A - 32	

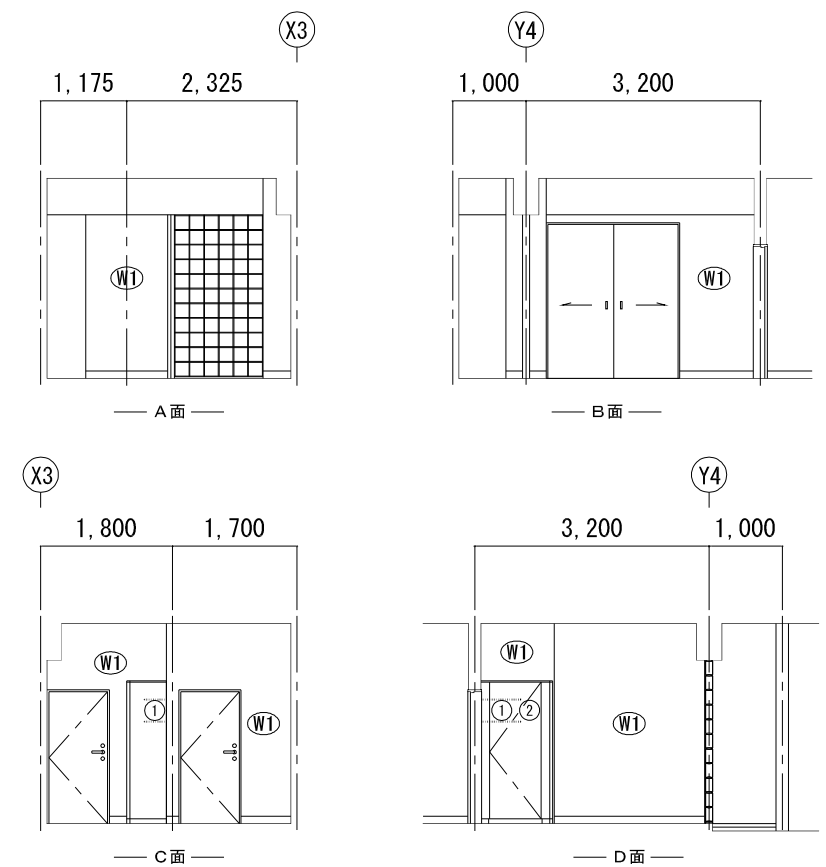


※建具撤去周りW200：石綿含有塗材片面撤去（下地調整材）
（はく離剤併用手工具ケレン）

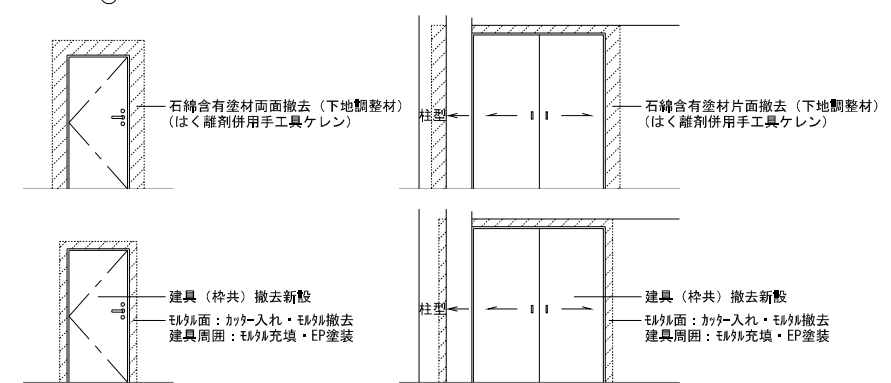
※建具新設周りW200：EP塗装（男女更衣室側共）

既存 平面図 1/50

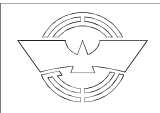
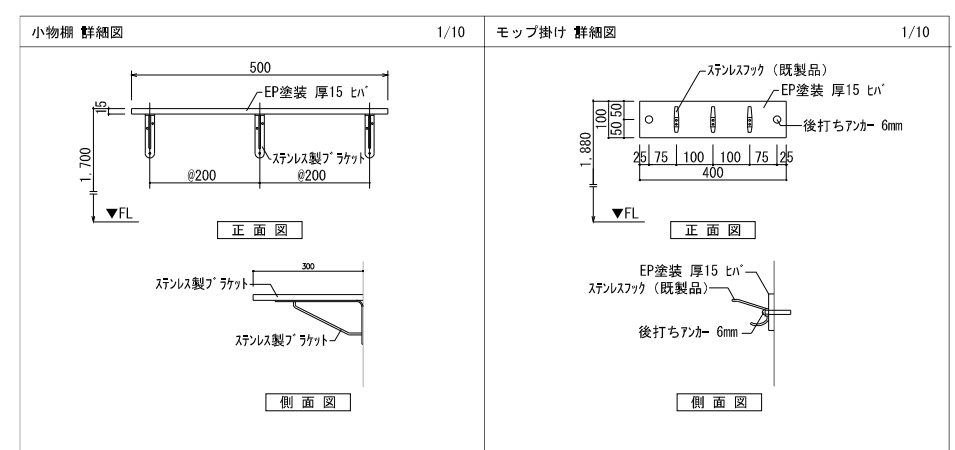
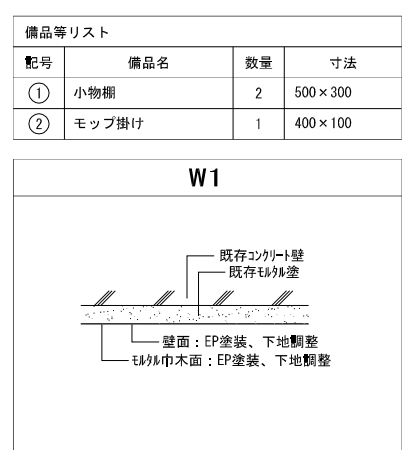
改修 平面図 1/50



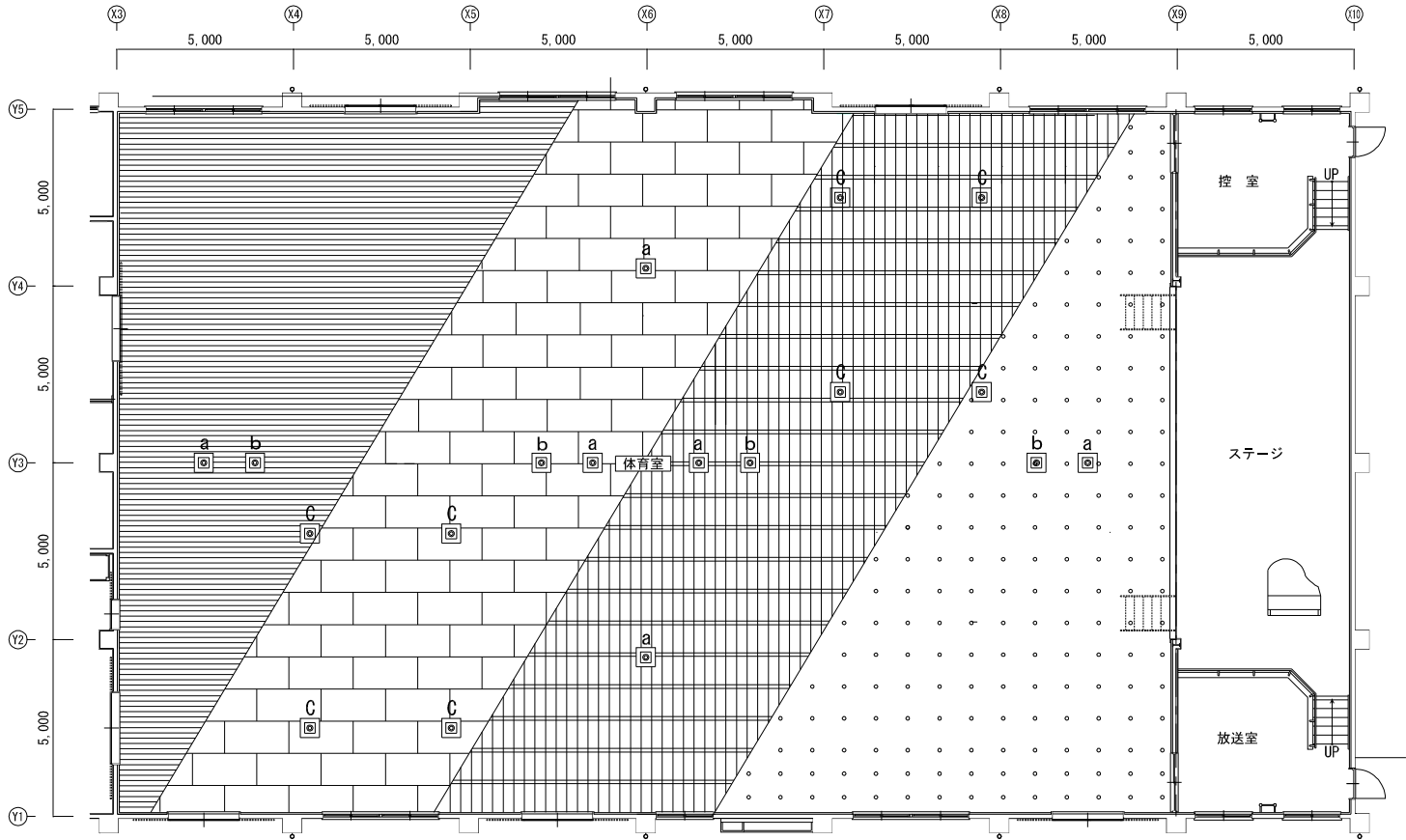
改修 展開図 1/50



建具廻り改修図 1/50



床仕上表	体育室	ステージ
仕 上	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗 サタ-掛け2回 か- 単層フローリング 厚18 端部周囲緩衝材：EXPフォーム18×25	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗 サタ-掛け2回 既存仕上 サタ-掛け
下 地 材	バ-チャカ-ド- 厚15	――
床 組	置床式鋼製床下地 一部撤去新設（全体10%） 根太：溶融亜鉛メッキ鋼板（SPCC）@300 ┐┐-29×34×64× t 1.2 大引：溶融亜鉛メッキ鋼板（SPCC）@900 ┐┐-50×50× t 2.3 支持脚@900（簡井製作所GT707-同等品以上） ※亜鉛メッキ処理 撤去部分の床材は補修	――



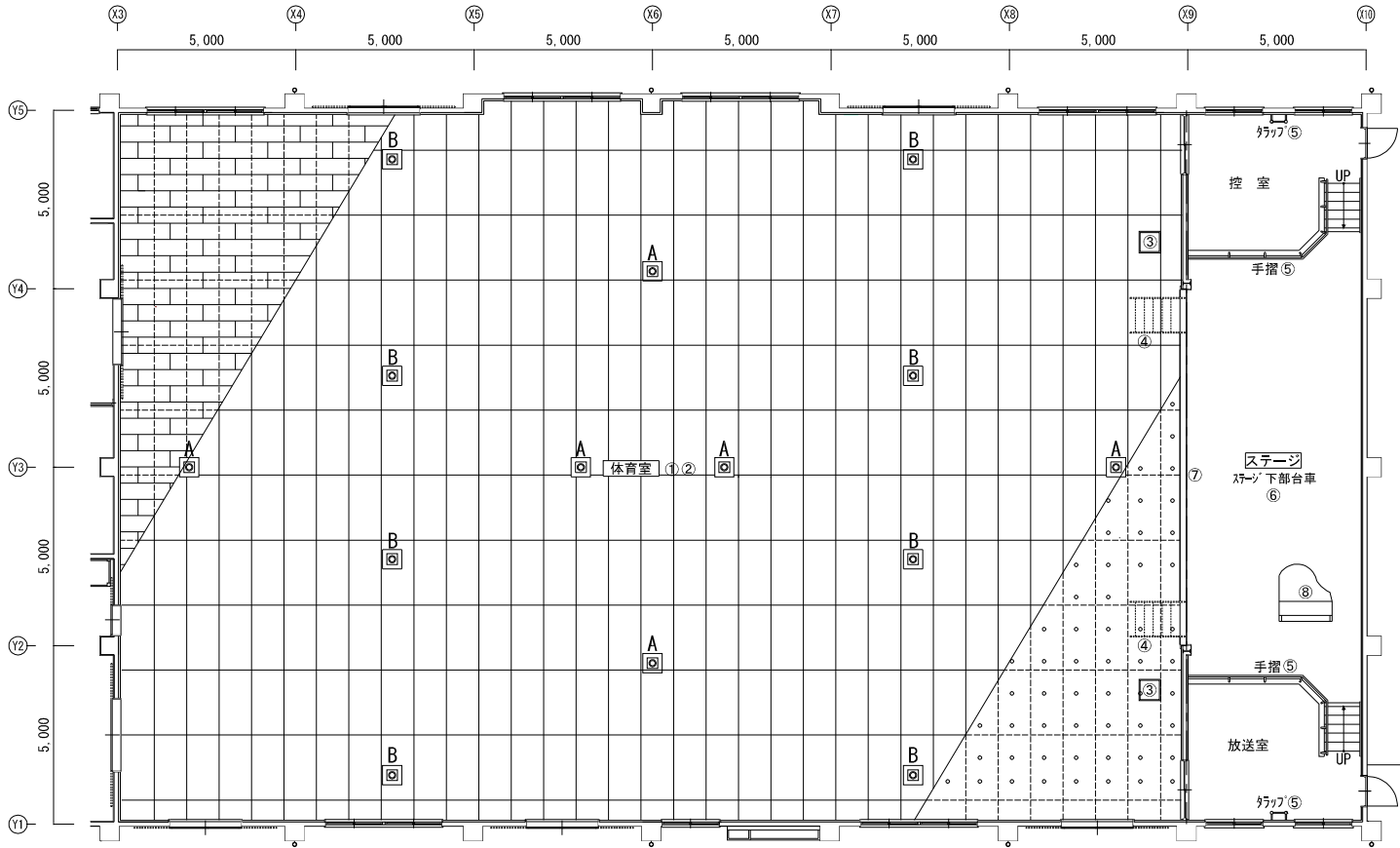
床平面図（改修前）1/100

撤去リスト

体育室床	加デ-フローリング 厚18張り ：撤去	捨張り板 厚15合板 ：撤去	大引、根太、束共ス-ル製 ：一部撤去	緩衝材全周 クロ-レング-ム ：撤去	幅木：撤去	バレーボール用支持基礎 バドミントン用支持基礎 低鉄棒用支持基礎	6カ所：撤去 4カ所：撤去 8カ所：撤去		
ステージ床	加デ-フローリング 厚18張り ：既存残置 框：既存残置	捨張り板 厚15合板 ：既存残置	大引、根太：既存残置	緩衝材 クロ-レング-ム ：既存残置	幅木：撤去	椅子収納：撤去			

支柱基礎撤去（バ-スト上蓋・中筒金物共）リスト

凡 例	競技名	カ所
a	バレーボール	6
b	バドミントン	4
c	低鉄棒	8



床平面図（改修前）1/100

改修リスト

No.	項 目	摘 要	No.	項 目	摘 要
①	鋼製床組一部撤去新設	仕上表による	⑥	椅子収納台車：撤去新設	詳細図参照
②	床フローリング（下地合板共）撤去新設	仕上表による	⑦	既存ス-ジ 框：塗替え	下地調整R8種 OSUC塗装
③	床点検口：新設	600角 4周囲-リング 共（PU-2 20×20）	⑧	ビ-7：移動再設置	韻律共
④	ス-ジ 階段：撤去新設	詳細図参照			
⑤	既存ス-ジ 手摺・クラ-ブ・キャットウォーク手摺：塗替	SOP塗装 錆止め塗装下地調整			

支柱基礎新設（バ-スト上蓋・中筒金物共）リスト

凡 例	競技名	カ所
A	バレーボール	6
B	バドミントン	8

※詳細は、各部詳細図 参照
※支柱共新設

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存改修 体育室床改修平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

A - 34

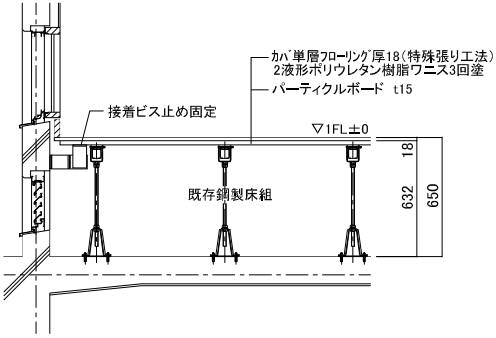
【特記仕様】

フローリングは単層フローリング特殊張り工法
許容荷重は上記を基準とする

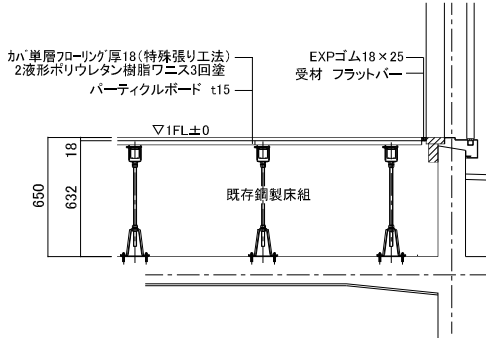
○2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗
F☆☆☆☆
※荒掛け・中掛け・仕上研磨をした上

【体育館床使用フローリング】

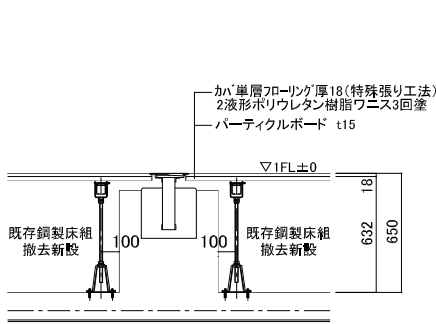
カバ単層フローリング
75×500以上×t18(2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗)
F☆☆☆☆



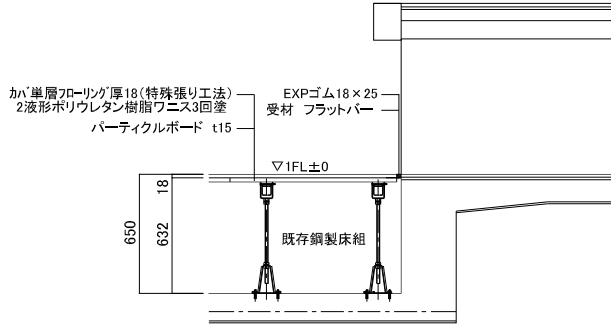
【壁廻り納まり図 S=1/20】



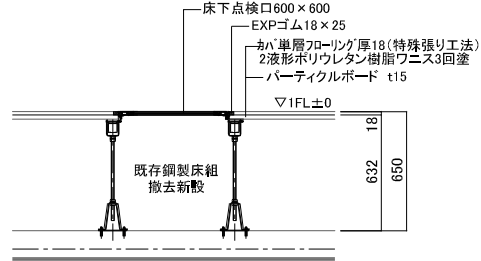
【出入口廻り納まり図 S=1/20】



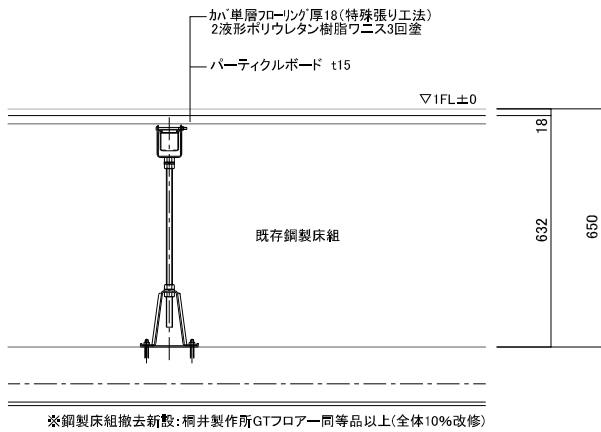
【体育館体育器具基礎廻り納まり S=1/20】



【体育館～ステージ廻り納まり S=1/20】



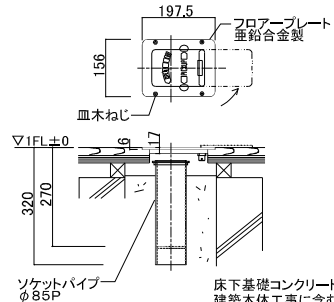
【体育館床下点検口廻り納まり S=1/20】



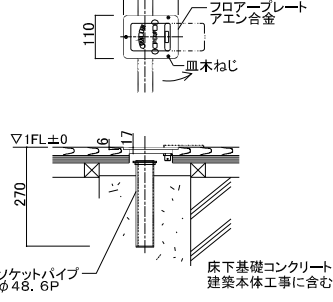
【体育館床基本断面 S=1/10】

バレーボール用支柱 3セット
ベベルギア式
日本バレーボール協会推奨品
鋼管 φ76.3 アルミ製
底部ゴム・ネット巻器付
床下250

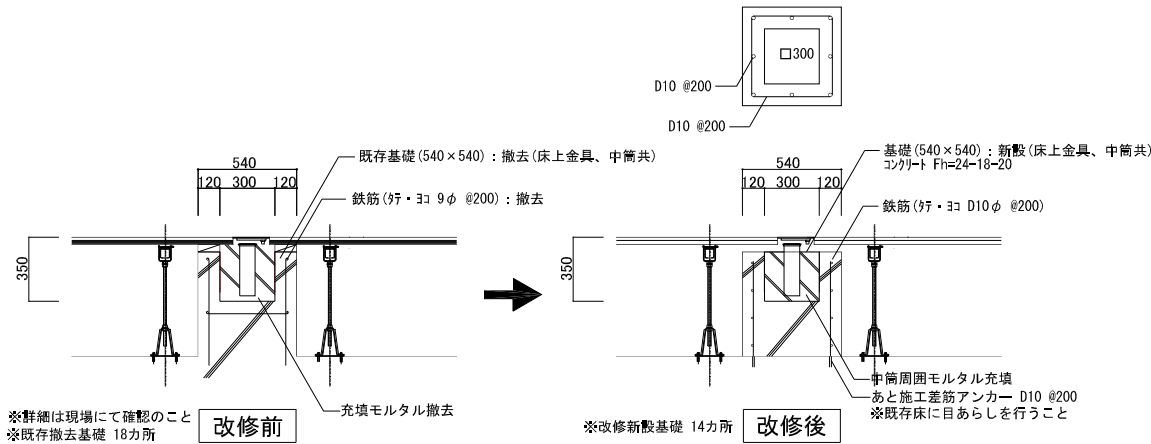
バドミントン用支柱 4セット
差込式
日本バドミントン協会検定品
鋼管 φ40 t3.5
床下150



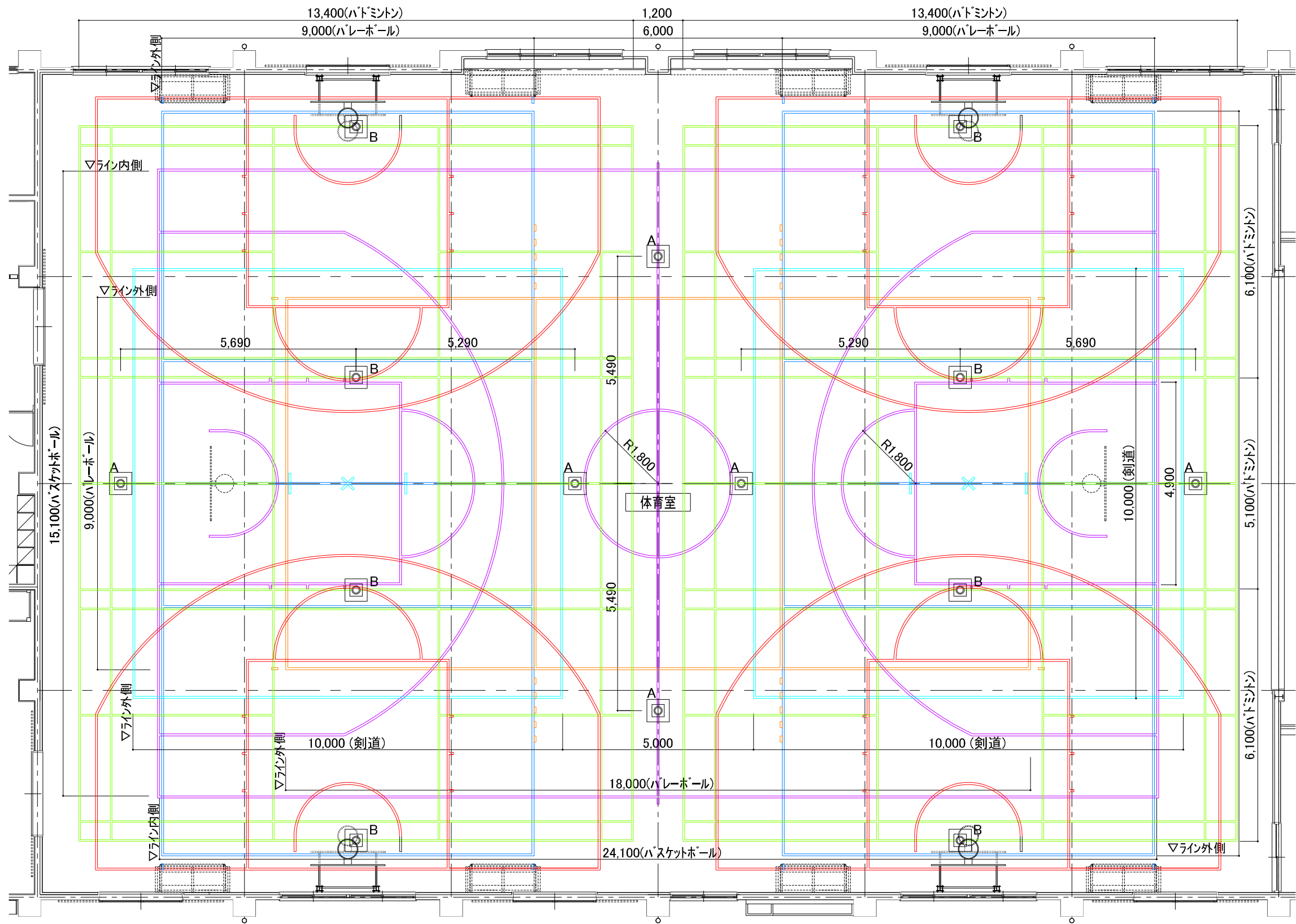
【バレー用床金具 S=1/10】



【バドミントン用床金具 S=1/10】



【体育館体育器具基礎納まり S=1/20】



支柱基礎(ホスト上蓋・中筒金物共) リスト

凡 例	競技名	か所
A	バレーボール	6
B	バドミントン	8

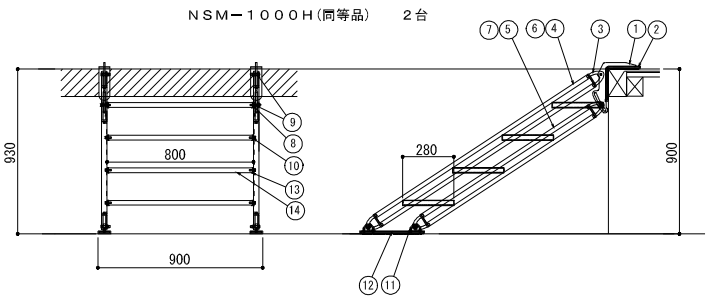
※ 詳細は、各部詳細図 参照
※ 支柱共新設

コートライン一覧表

優先順位	表示	コートライン名	線幅・色	コート寸法	コート数
①	—	メインバスケットコートライン	50mm 白線	24,100×15,100	1面
②	—	バスケットコートライン (ニュートラルのみ)	50mm 青線		2面
③	—	バレーボールコートライン	50mm 赤線	9,000×18,000	1面
④	—	バレーボールコートライン	50mm 赤線	9,000×18,000	2面
⑤	—	バドミントンコートライン	50mm 黄線	13,400× 6,100	6面
⑥	—	剣道	50mm 黒線	10,000× 10,000	2面

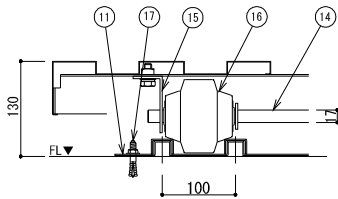
※ 各コートラインは既存位置優先とする
※ 各コートラインの交差部は重ね塗りとする
※ コートライン寸法は、競技用ホスト及び既存バスケットボールと整合するよう十分調査の上、監督員の承諾を受けること
※ ホール等の基礎の位置とコートラインについては施工図を作成し、監督員の承諾を受けること



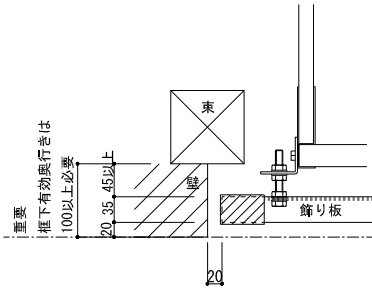


アルミ製移動階段 1/20

アルミ製移動階段主要構成部品仕様書			
品番	名称	材料・加工等	表面処理
1	フック	ALMダイキャスト製	粉体塗装
2	滑り止めゴム	成形品 6ミリ 差込	
3	Bkt 1	強化プラスチック製 (成型)	
4	支柱材 1	ALM押し出し成形品 (80×30×3t)	粉体塗装
5	支柱材 2	ALM押し出し成形品 (80×30×3t)	粉体塗装
6	支柱用フタ 1	ALM押し出し成形品	粉体塗装
7	支柱用フタ 2	ALM押し出し成形品	粉体塗装
8	カラー 1	φ22×5t 穴径φ8.5	
9	カラー 2	鋼スベーサー (G0800)	
10	カラー 3	φ22×3t 穴径φ8.5	
11	Bkt 2Bkt 2	ALM押し出し成形品	粉体塗装
12	脚ベース	ALM押し出し成形品	粉体塗装
13	ステップカバー	ALM押し出し成形品	粉体塗装
14	ステップ材	ALM押し出し成形品	粉体塗装

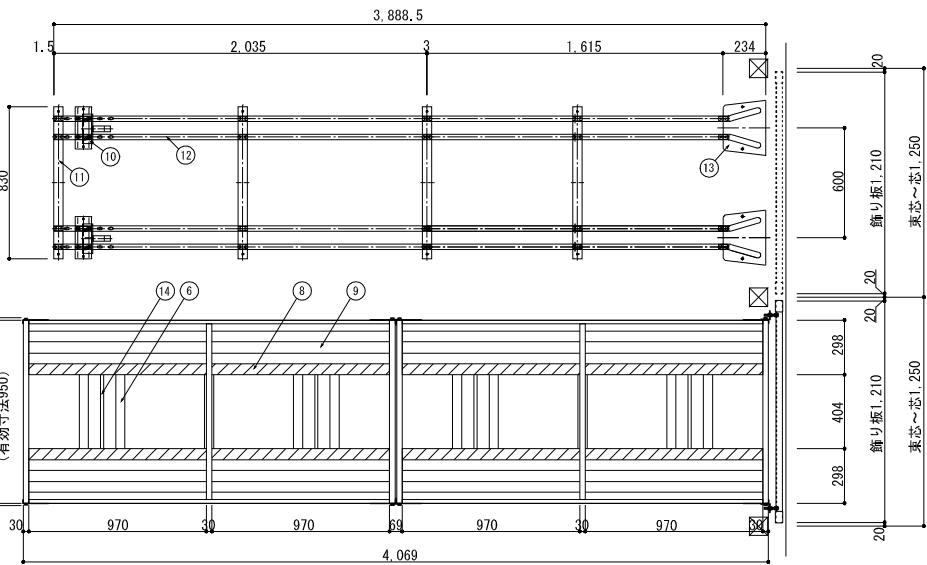


車輪部詳細 1/5



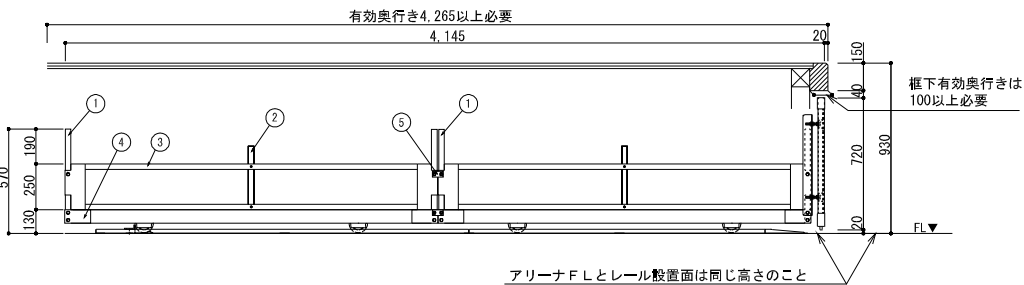
A部詳細 1/5

レール平面図

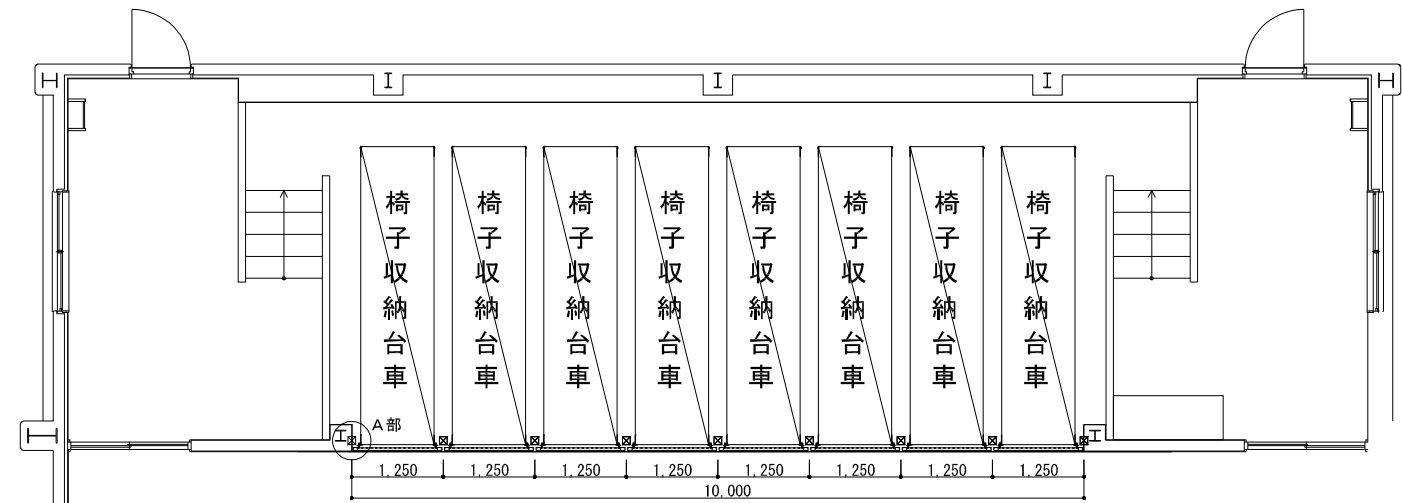


椅子収納台車平面図

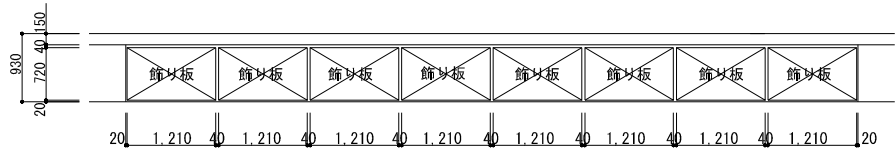
椅子収納台車側面図



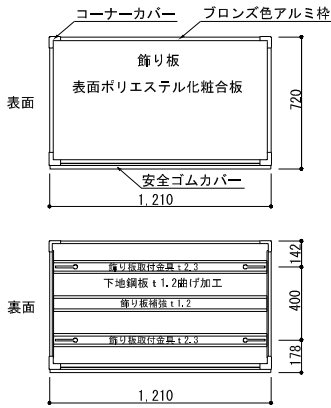
収納台車 1/20



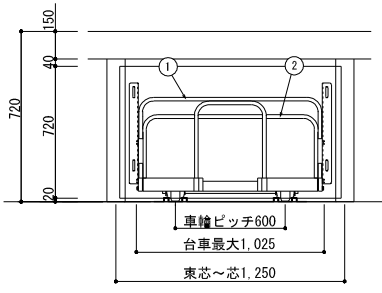
台車収納時平面配置図 1/50



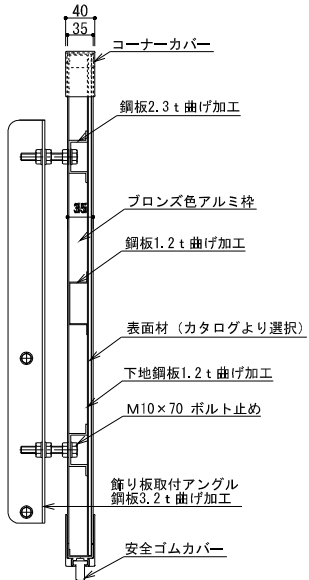
ステージ正面図 1/50



飾り板詳細図 1/20



台車正面図 1/25

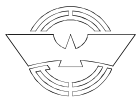


飾り板断面図 1/5

仕様	
1. MTトラック (同等品)	椅子収納台車 8ビット8枚
寸法	W1,000×L4,000×H570
2. 飾り板	8ビット8枚
3. アルミ製移動階段NSM-1000H (同等品)	2台
4. レール下地	モルタル金ゴテ仕上げ

主要構成部品仕様書			
品番	品名	材料・加工等	表面処理
1	押手	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ
2	椅子倒れ止め	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ
3	サイド枠	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ
4	コーナーガセット	鋼板 2.3t	黒色焼付
5	連結プレート	鋼板 2.3t	亜鉛メッキ
6	車輪サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
7	補助サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
8	椅子滑り止め	ポリエチレンシート	
9	床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
10	ストッパー	鋼材 4.5t	黒色焼付
11	レールサポート	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
12	ガイドレール	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
13	車輪ガイドベース	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
14	車輪	丸棒 φ17	亜鉛メッキ
15	軸受	鋼材 4.5t	黒色焼付
16	車輪	車輪外径 φ100 MTトラック専用車輪	本体は 亜鉛メッキ
17	オールアンカー	M8×40	亜鉛メッキ
18	飾り板	表面材 (カタログより選択) 下地鋼板 1.2t	黒色焼付

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

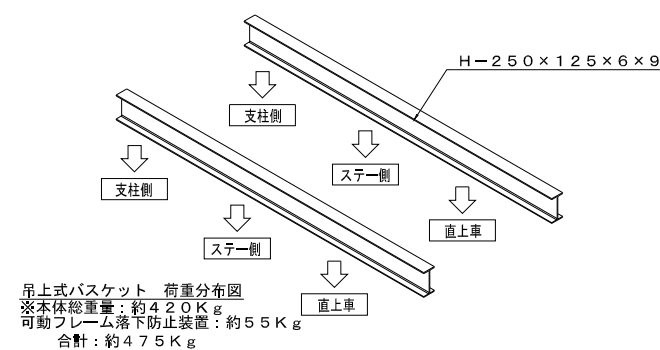
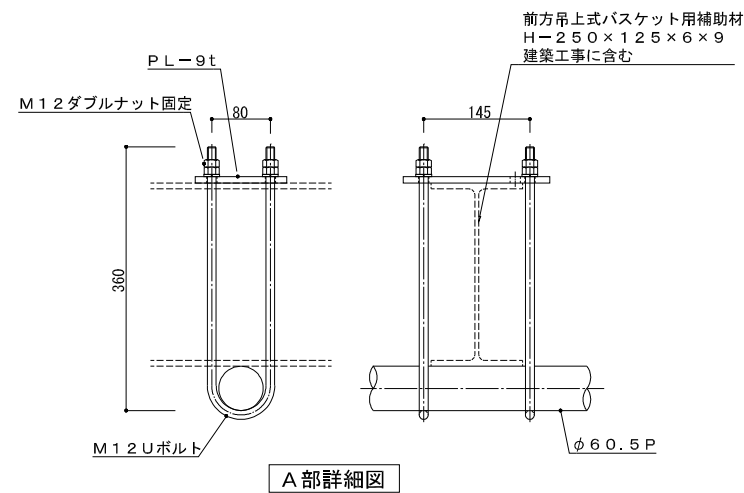
椅子収納台車・移動階段詳細図

縮尺

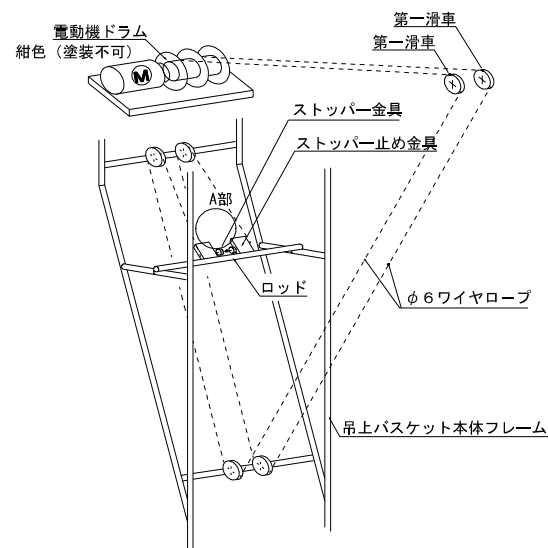
A1:1/5,20,50 A3:1/10,40,100

図面番号

A - 37

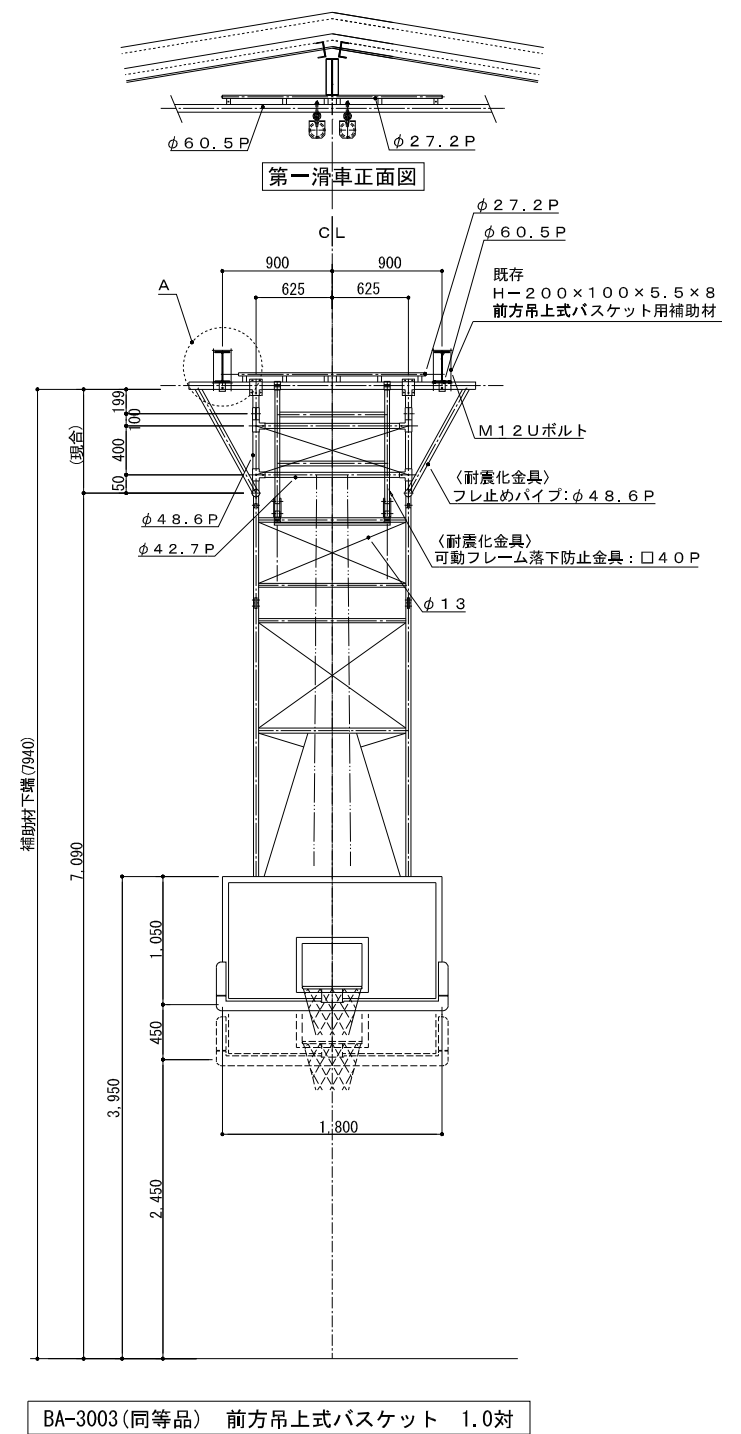
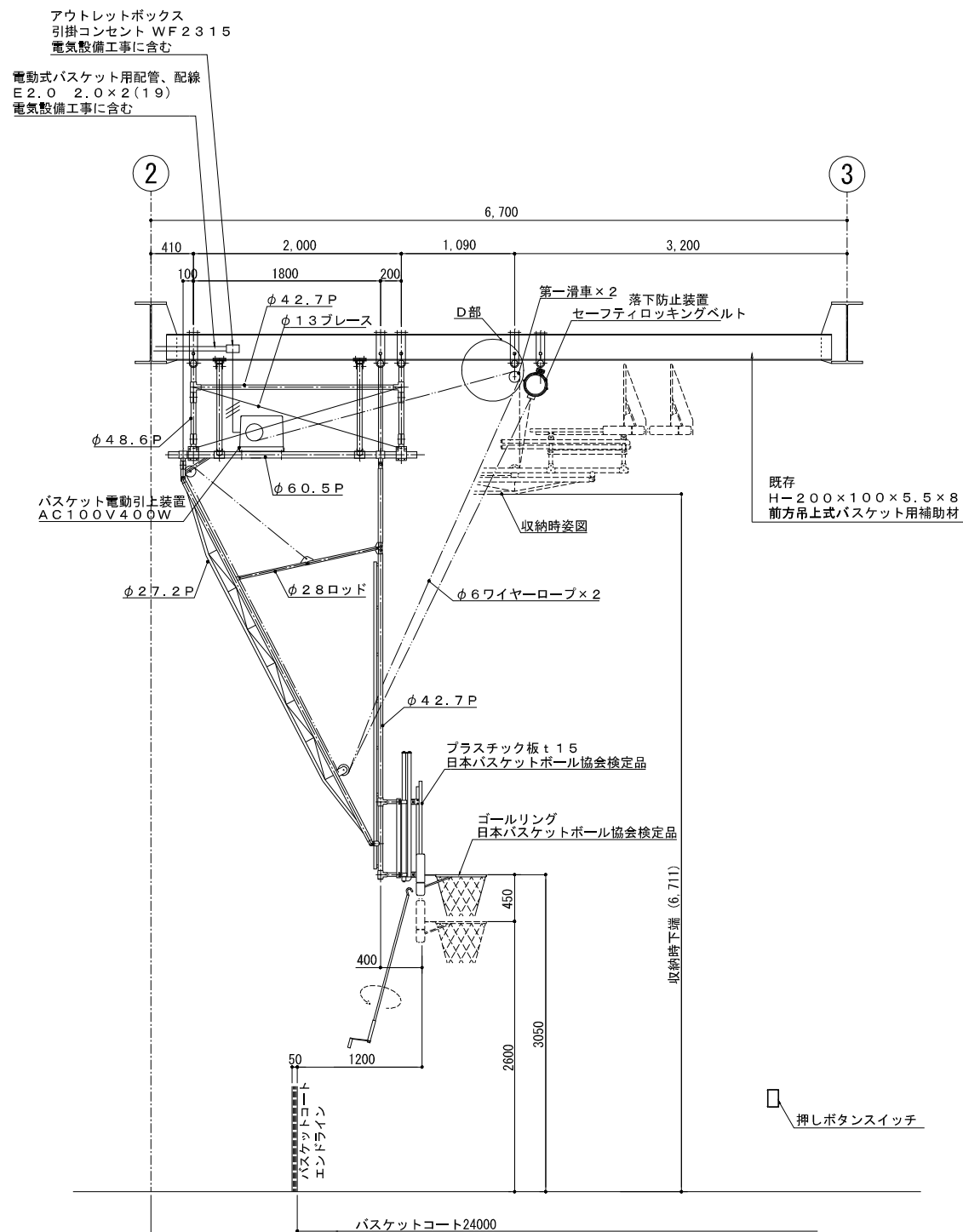


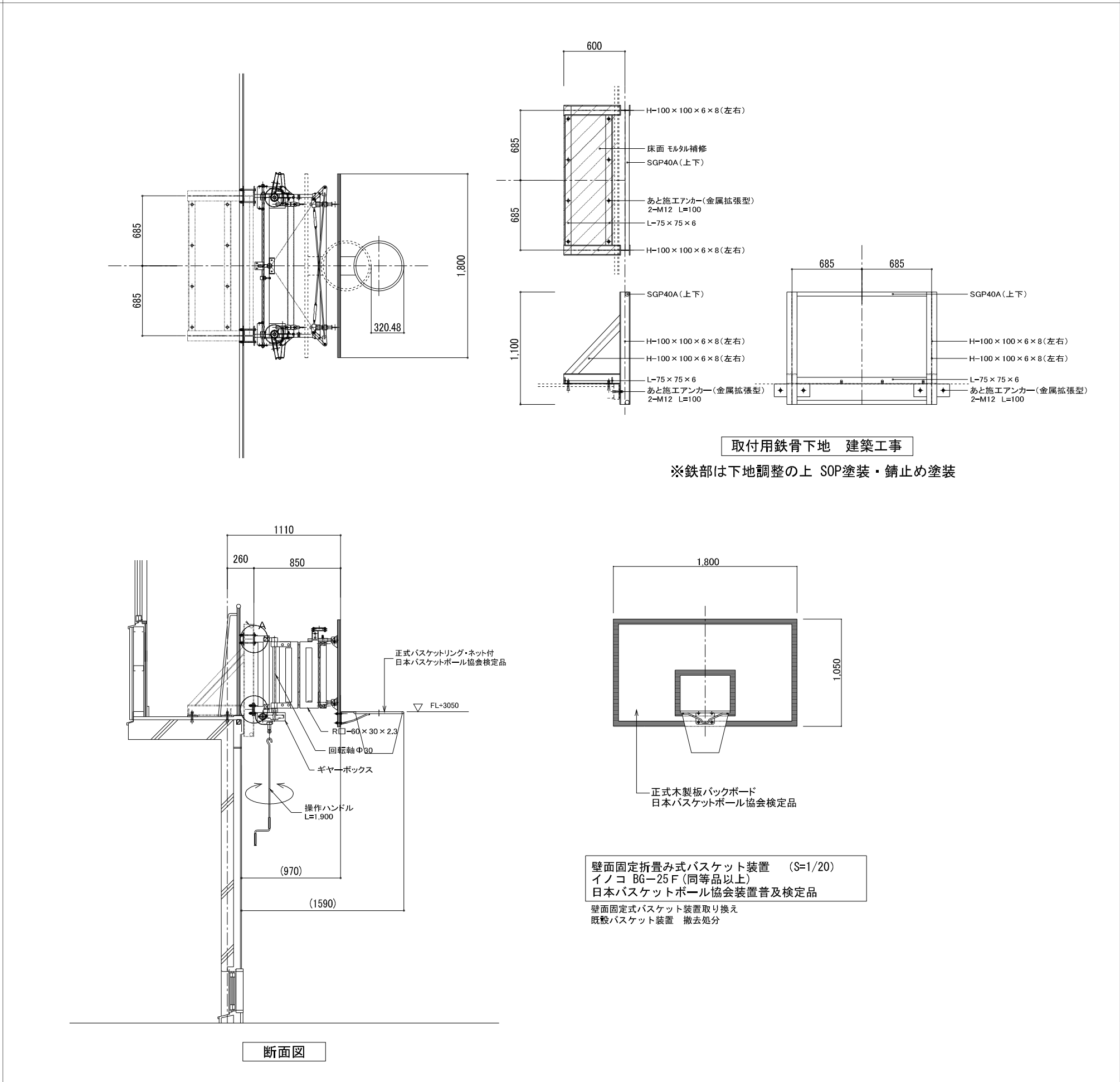
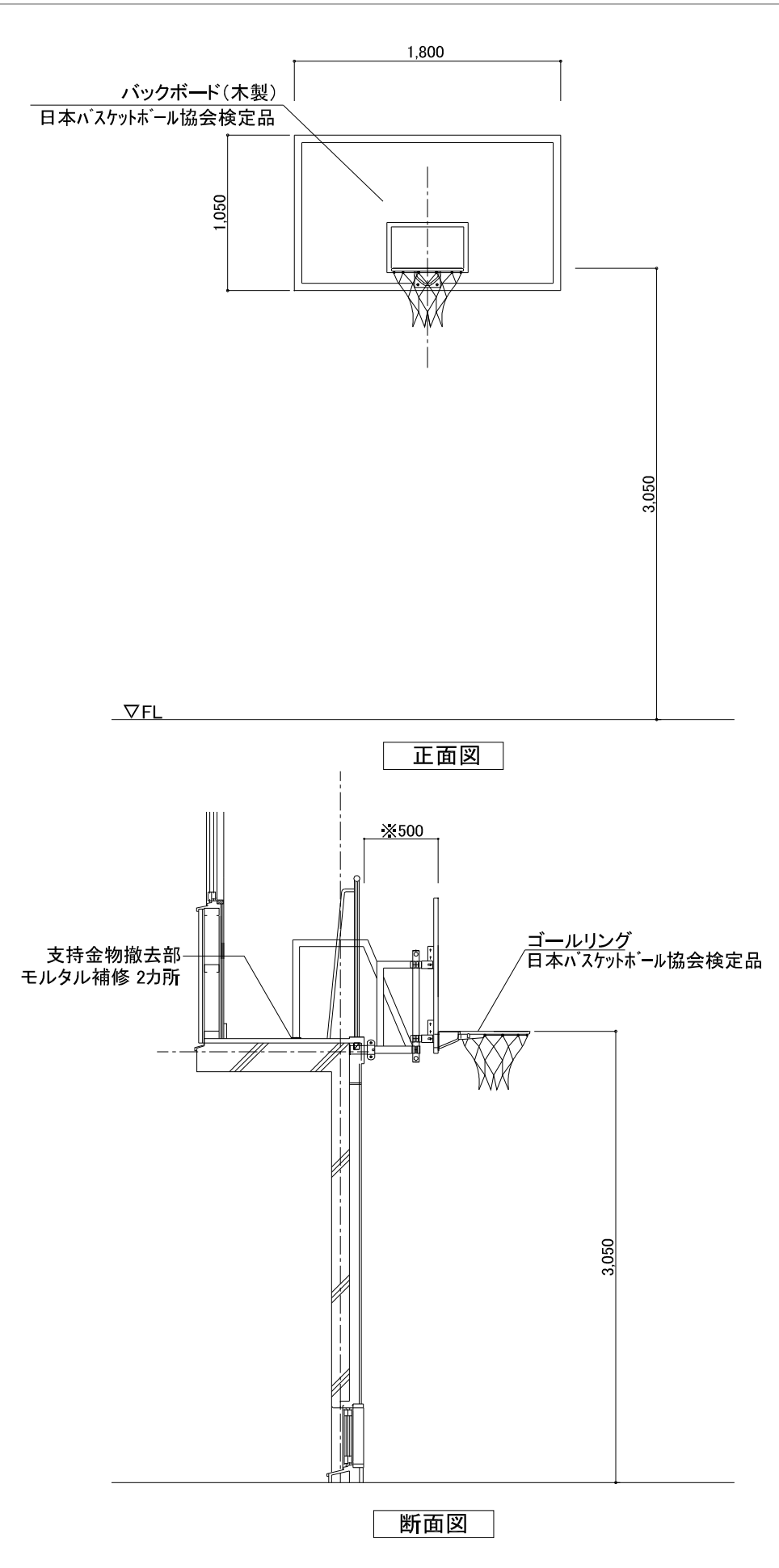
短期（ダック時先端に1.5KNの荷重）		長期（通常線出時）	
直上車	0.13 (kN)	直上車	0.13 (kN)
支柱側	1.23 (kN)	支柱側	1.98 (kN)
ステー側	1.20 (kN)	ステー側	1.20 (kN)

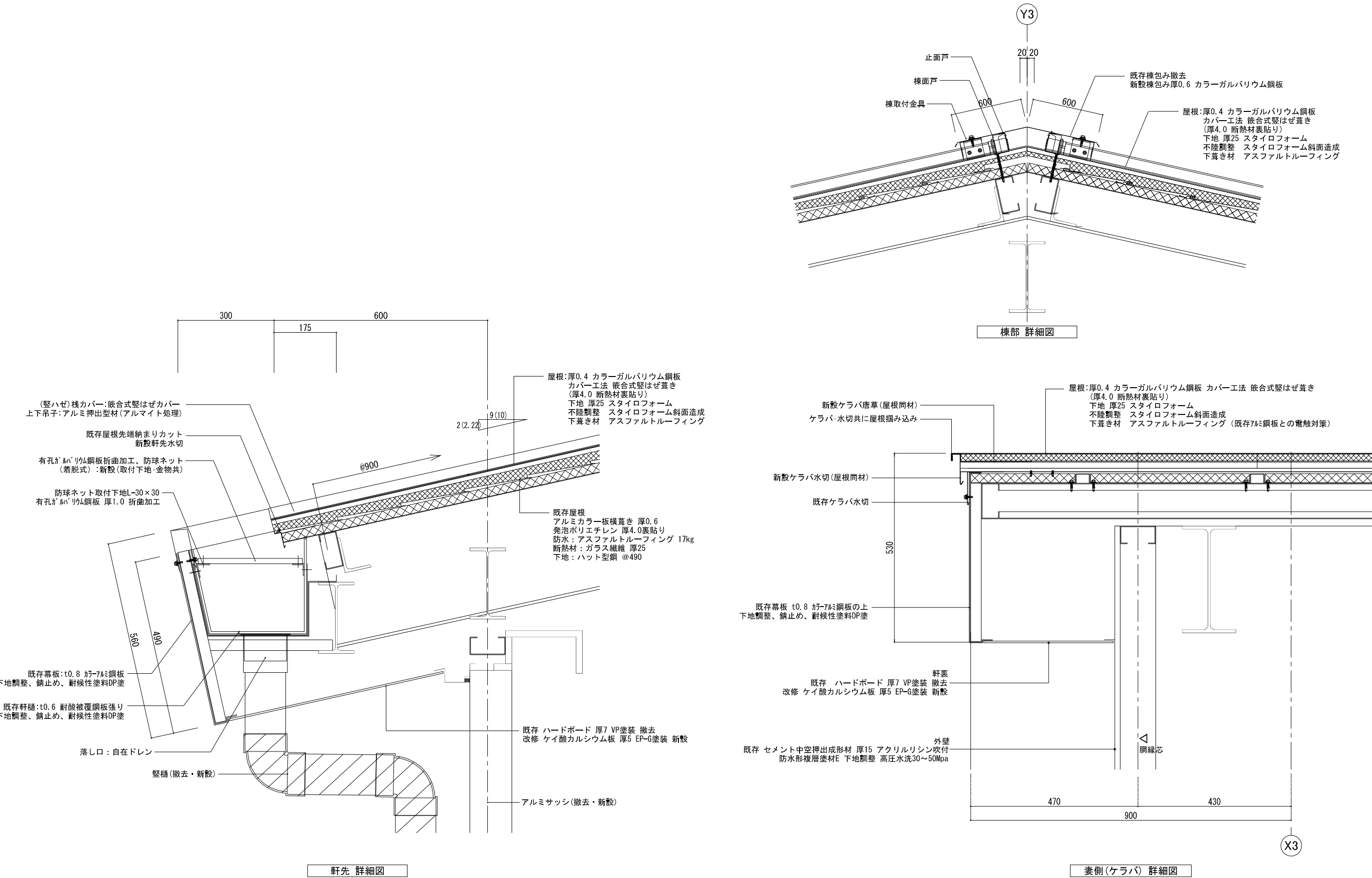


落下防止装置付（Wワイヤ方式）

- ・ 2本のワイヤロープは本体中央部で連結しており、端部は電動機（Wドラム）で巻取ります。
 - ・ どちらかのワイヤロープが2つの箇所で破断しても、本体中央部にあるスリッパ金具により約100mmの移動後（落下後）、停止します。
- ※荷吊り上式バスケット取付位置に昇降式照明、電気配管などの障害物が無い事。
- ※現地確認後、形状等変更にも適合があります。ご了承ください。
- ※落下の安全を確保するために、セーフティロックングベルト付とする。







工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

改修 屋根詳細図

縮尺

A1:1/5 A3:1/10

図面番号

A - 40

1. 標準仕様

- 1) 平 場:ウレタン塗膜防水(X-1)
- 2) 立上り:ウレタン塗膜防水(X-2)

※ 使用材料は全て環境対応型 とし、日本ウレタン建材工業会の「環境対応工法」認定品とする

	種別	平場:X-1工法	
	工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
	1	接着剤塗り、通気緩衝シート張り	0.3
	2	ウレタン防水材塗り	1.5
	3	ウレタン防水材(1類)塗り	1.5
	4	仕上塗料塗り	0.2
	種別	平場:X-2工法	
	工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
	1	プライマー塗り	0.2
	2	ウレタン防水材塗り、補強布張り	0.3
	3	ウレタン防水材塗り	1.5
	4	ウレタン防水材(1類)塗り	1.2
	5	仕上塗料塗り	0.2
	種別	立上り:X-2工法	
	工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
	1	プライマー塗り	0.2
	2	ウレタン防水材塗り、補強布張り	0.3
	3	ウレタン防水材塗り	0.9
	4	ウレタン防水材(1類)塗り	0.8
	5	仕上塗料塗り	0.2

施工留意事項:防水材塗継ぎの重ねは幅を100mm以上、補強布の重ねは幅を50mm以上とする

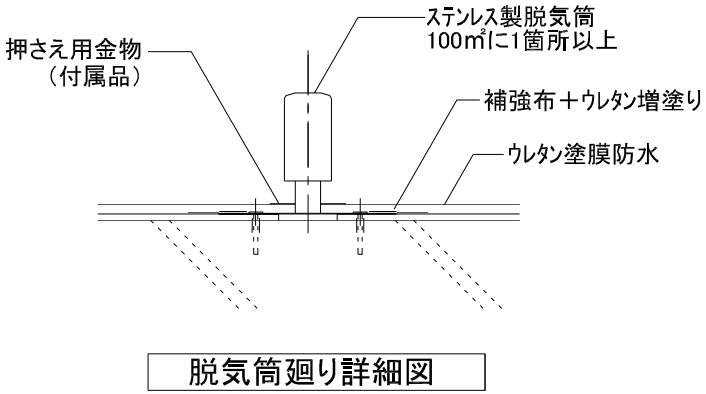
2. 下地処理:公共建築改修工事標準仕様書による

- 1) 既存下地に付着している異物はケレンし、全面を高圧水洗浄(加圧力10~15MPa)を行う
- 2) ルーフドレン部の改修を行う(改修用ドレン設置)
- 3) 平場・立上り面共、樹脂モルタルにて下地調整を行う

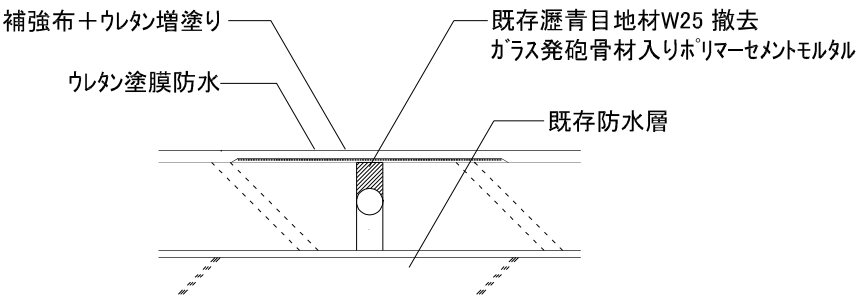
※コンクリート面等のひび割れ部は、樹脂モルタルにて補修を行う

※既存下地の欠損部及びぜい弱部は、樹脂モルタルにて補修を行う

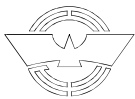
※ひび割れ幅が2mm以上の場合はUカットのうえ、ポリウレタン系シーリング材等を充填する

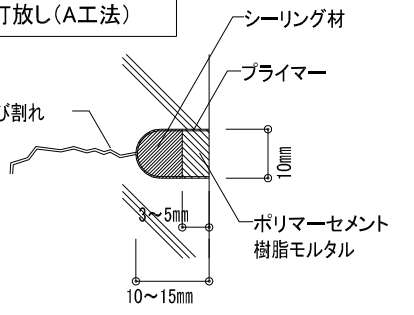
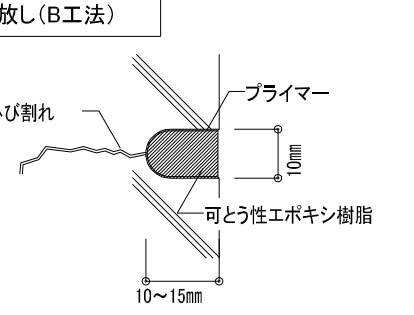
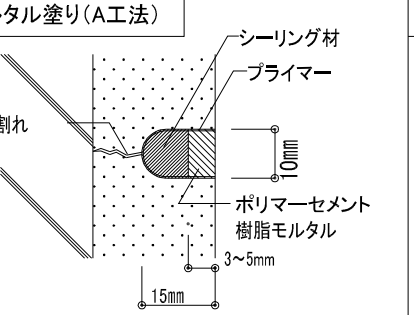
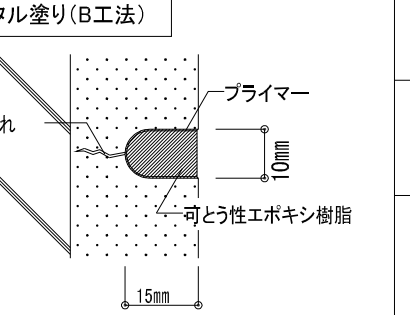
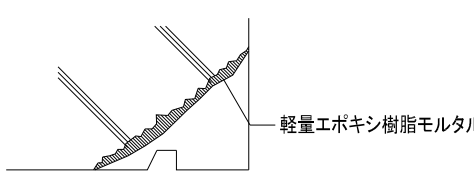
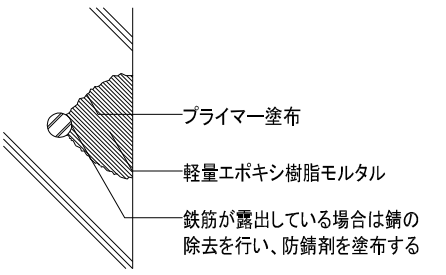
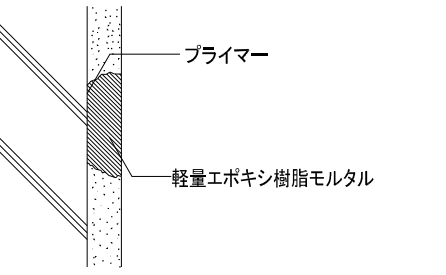
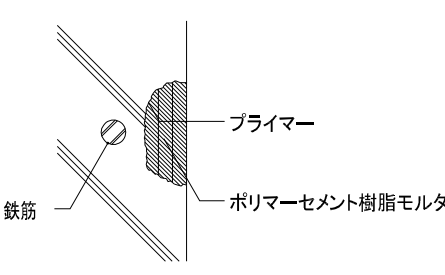
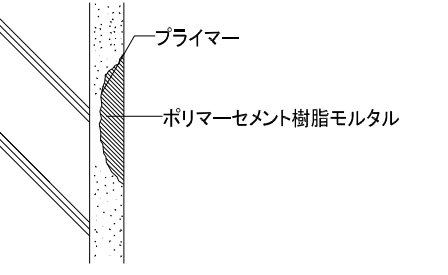


脱気筒廻り詳細図



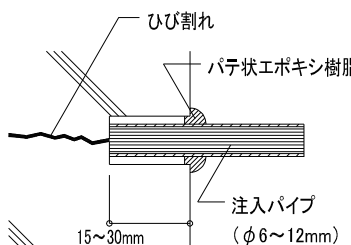
伸縮目地部詳細図



Uカットシール材充填工法				充填工法(軽量エポキシ樹脂モルタル)																											
打放し(A工法)		 ※挙動あり:ひび割れ幅＞1.0mm		打放し(B工法)		 ※挙動あり:0.2mm≦ひび割れ幅≦1.0mm ※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm		モルタル塗り(A工法)		 ※挙動あり:ひび割れ幅＞1.0mm		モルタル塗り(B工法)		 ※挙動あり:0.2mm≦ひび割れ幅≦1.0mm ※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm		打放 モルタル塗り		 軽量エポキシ樹脂モルタル													
補修範囲の確認 ↓ Uカット ↓ 孔内の清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ シール材の計量 および混練 ↓ ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れに沿って、幅10mm、深さ10～15mm程度のU字型の溝を設ける。 ・Uカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ、刷毛等で除去し、清掃する。 ・プライマーを溝内部に塗残しがないように均一に塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、気泡を巻き込まないよう充分混練する。計量は、可使時間内に使い切る量とする。 仕上げ塗材・下地調整材のいずれか、または両者に石綿含有の場合は「Uカットシール材充填工法」の採用不可		シール材の充填 ↓ 仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・溝内にシール材をコーキングガンで、空隙や打残し等のないよう加圧しながら充てんし、表面を平滑に仕上げる。 ※A工法の場合はシーリング材をコンクリート表面から3～5mm程度低めに充てんする。 ・A工法:シーリング材の硬化後、ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込み仕上げる。 ・B工法:可とう性エポキシ樹脂の上に仕上塗材、塗料等を施す場合は、硬化前に表面にけい砂を散布する。 ・シール材が硬化するまで損傷、汚染等のないようにする。また降雨等からも養生する。 ・シール部以外の汚れ等を除去し、清掃する。 ・シール材の仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。		補修範囲の確認 ↓ 下地処理・ケレン ↓ プライマー塗布 ↓ エポキシ樹脂 モルタルの計量・混練 ↓ エポキシ樹脂 モルタルの充填 ↓ 表面仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分などを 手工具(※1)にて はつり取った後ほこり等除去して清浄で強固な下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・防錆のためエポキシプライマーを塗布する。 刷毛で充分に浸透させながら行う。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に軽量し、充分に混練する。 ・プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押え込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押えて、なだらかに仕上げる。 ・エポキシ樹脂モルタルが硬化するまでは(24時間以上)損傷、汚染のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の汚れを除去、清掃する。 ・モルタルの仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。																											
充填工法(軽量エポキシ樹脂モルタル) ※ 危険性「大」の場合												充填工法(ポリマーセメント樹脂モルタル) ※ 危険性「小」の場合																			
打放し				 プライマー塗布 軽量エポキシ樹脂モルタル 鉄筋が露出している場合は錆の除去を行い、防錆剤を塗布する				モルタル塗り				 プライマー 軽量エポキシ樹脂モルタル				打放し				 鉄筋 プライマー ポリマーセメント樹脂モルタル				モルタル塗り				 プライマー ポリマーセメント樹脂モルタル			
補修範囲の確認 ↓ 下地処理 ↓ ケレン清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ 軽量エポキシ樹脂 モルタルの計量・混練 ↓ ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分などを 手工具(※1)にて はつり取った後、ほこり等を除去して清浄で強固なコンクリート下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・浮き錆はワイヤーブラシやサンダーでケレン清掃する。 ・防錆のためエポキシプライマーを塗布する。 刷毛で充分に浸透させながら行う。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。				軽量エポキシ樹脂 モルタルの充填 ↓ 表面仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押え込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押えて、平滑に仕上げる。 ・軽量エポキシ樹脂モルタルが硬化するまでは(24時間以上)損傷、汚染のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の汚れを除去し、清掃する。 ・軽量エポキシ樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。				補修範囲の確認 ↓ 下地処理 ↓ ケレン清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ ポリマーセメント樹脂 モルタルの調合・充てん ↓ ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・手工具(※1)にて はつり取り、ほこり等を除去して清浄で強固なコンクリート下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・浮き錆はワイヤーブラシやサンダーでケレン清掃する。 ・仕様に沿ったプライマーの調整を行う。 ・プライマーを被着面に塗り残しのないように塗布する。 ・ポリマーセメント樹脂モルタルは、仕様に基づいて調合してから充分に混練する。 ・欠損の状態の合わせ、数層に分けてポリマーセメント樹脂モルタルを充てん又は塗り付ける。 ・各層塗り厚は7mm程度とする。				表面仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・表面を金ゴテで充分押さえて、平滑に仕上げる。 ・各層とも急激な乾燥を避けて、ポリマーセメント樹脂モルタルが硬化するまで損傷、汚染のないようにするとともに降雨等からも養生する。 (7日以上) ・ポリマーセメント樹脂モルタルの硬化後、補修以外の汚れ等を除去し、清掃する。 ・ポリマーセメント樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態およびあとかたづけを確認する。																			
工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事														海老名市		図面名称 縮尺		外壁の改修工法ディテールシート (1) NO SCALE		図面番号 A - 42											

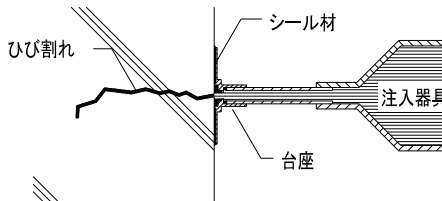
樹脂注入工法

打放し



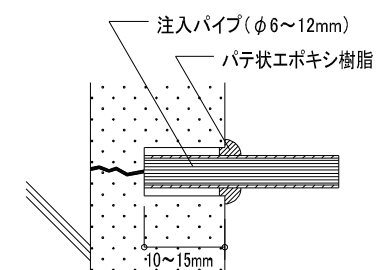
手動式樹脂注入工法
※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm

打放し



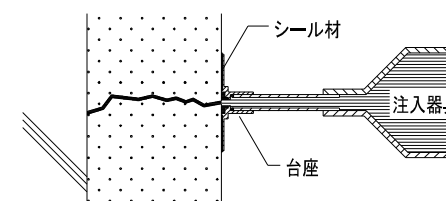
自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
※ひび割れ幅＞0.2mm

モルタル塗り



手動式樹脂注入工法
※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm

モルタル塗り



自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
※ひび割れ幅＞0.2mm

補修範囲の確認

ひび割れ部の清掃

注入孔位置決め

台座の貼り付け

仮止めシール

- ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。
- ひび割れ部を中心に幅50mm程度の表面をワイヤーブラシ等で清掃する。
- ひび割れ部が濡れている場合は、乾燥するまで作業は中止する。
- 注入孔位置を下記の表によりスケール等で測定し、チョークなどでマーキングする。
- ひび割れ幅(mm)
- 0.3以下
- 0.3～0.5
- 0.5～1.0
- 1.0以上
- 注入孔の間隔(mm)
- 50～100
- 100～200
- 150～250
- 200～300
- 台座または専用器具の注入口を塞がないように接着剤で固定する。
- メーカー仕様に基づき、仮止めシール材を施工する。
- 硬化するまで出来るだけ振動を与えないように注意する。

エポキシ樹脂の計量・混練

エポキシ樹脂の注入

エポキシ樹脂の硬化・養生

専用器具・仮止めシール材の除去

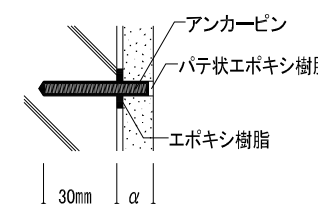
自主検査

- 主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練する。
- 専用器具にエポキシ樹脂を充填し、注入を行う。
- 注入状態を確認し、必要に応じてエポキシ樹脂を補充する。
- 注入作業完了後も専用器具を設置したまま硬化養生する。
- 12時間以上の放置養生
- 皮スキ、ディスクサンダー、ホットエアガンなどを用いて専用器具及び、仮止めシール材を除去し、下地面を平滑に仕上げる。
- エポキシ樹脂の使用量及び、専用器具内の残量から注入量を確認する。

仕上げ塗材・下地調整材のいずれか、または両者に石綿含有の場合は、「自動式低圧エポキシ樹脂注入工法」を採用する。

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

モルタル塗り



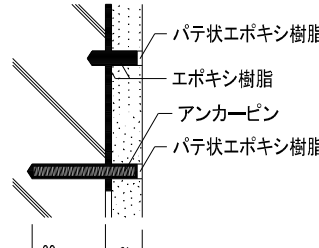
アンカーピン本数

一般部分	16本／m2
指定部分	25本／m2
狭幅部	5本／m

※ 1ヶ所の浮き面積が0.25m2未満の場合

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

モルタル塗り



アンカーピン本数(本／㎡)

種類	項目	アンカーピンの本数	注入口の本数
一般部分		13本／m2	12本／m2
指定部分		20本／m2	20本／m2
狭幅部		5本／m	5本／m

※ 1ヶ所の浮き面積が0.25m2以上の場合

補修範囲の確認

アンカーピンニングの本数と配置の決定

せん孔 (※2)

孔内の清掃

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の計量・混練

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の注入

- テストハンマー等で打診し、浮きの状態と範囲を調べてマーキングする。
- アンカーピンニングのせん孔位置を右上表にてチョークでマーキングする。
- アンカーピンニング用のせん孔深さは、躯体コンクリートに30mm以上とする。
- せん孔径は使用するアンカーピンの直径より2mm程度大きい直径とする。
- 孔内の切粉等をブラシや圧縮空気等で除去する。
- 主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。
- グリスポンプを用いて、せん孔部の最深部から徐々にアポキシ樹脂を注入する。充填量は指定がある場合を除き1ヶ所当り25ccとする。
- 規定のアンカーピンを孔最深部まで埋め込む。
- 適切な長さのアンカーピンのねじ切り部分にアンカーピン固定用エポキシ樹脂を塗布してから、気泡の巻込みに注意して孔内最深部まで確実に挿入する。

アンカーピンの挿入

養生

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

清掃

自主検査

- アンカーピン:ステンレス製全ネジφ4mm
- アンカーピンの頭は仕上げ面から5mm程度引っ込むようにする。孔内よりはみ出したエポキシ樹脂は除去し、目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂で穴うめする。
- アンカーピン固定用エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬季24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、また降雨等からも養生する。
- 注入部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。
- テストハンマーで打診して注入状態を確認するとともに、後片付けも確認する。

残存浮き部への注入孔の位置決め

注入孔のせん孔 (※2)

孔内の清掃

ひび割れ等のシール

残存浮きへの注入

養生

仕上げ

清掃

自主検査

- テストハンマーで打診して残存浮き範囲を再確認し、注入孔位置をチョーク等でマーキングする。
- アンカーピン固定用エポキシ樹脂硬化後、躯体コンクリートに5mm以上の深さまでせん孔する。
- 孔内の切粉等をブラシや圧縮空気等で除去する。
- 注入時にエポキシ樹脂が流出する恐れのあるひび割れや開口部等は確実にシールし、硬化養生する。
- グリスポンプを用いてエポキシ樹脂を適切な注入圧を保ちながら、ゆっくり注入を行う。
- 注入順序は下部から上部へ、片端部から他端部へ打診しながら残存浮き部全面に注入する。
- 注入後注入孔をパッキン等でふさぐ。
- エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬季24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、また降雨等からも養生する。
- アンカーピンニングおよび注入孔にパテ状エポキシ樹脂等を充てんし、仕上げを行う。
- 注入部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。
- テストハンマーで打診して注入状態を確認するとともに、あとかたづけも確認する。

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事

海老名市

図面名称	外壁の改修工法ディテールシート (2)		
縮尺	NO SCALE	図面番号	A - 43

■ 金属屋根改修塗装仕様		
遮熱塗料塗り(屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系高耐候型変性シリコン樹脂塗料)		[ガルバリウム鋼板屋根面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去後、十分に乾燥させる	加圧力10～15MPa
下塗り	刷毛・全面にローラー塗り 塗装間隔(23℃)8H～7D	0.22kg／㎡以上 ウエット膜厚150μm ドライ膜厚55μm
上塗り(1～2回) 屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系高耐候型変性シリコン樹脂塗料 (ミラクルS100 各色 同等品)	刷毛・全面にローラー塗り 塗装間隔(23℃)4H～7D	0.22～0.25kg／㎡以上 ウエット膜厚180μm ドライ膜厚70μm

■ 外壁改修塗装仕様		
防水形複層塗材E (JIS A 6909)		[外壁垂直面・外壁水平面・小庇等小面積の上裏・ALCパネル(凸凹模様)]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面にローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り 防水形複層塗材用下塗材 (JIS A 6909)	全面に吹付 1回	0.1kg／㎡以上
増塗り 防水形複層塗材用下塗材 (JIS A 6909)	出隅・入隅・目地部・開口部回り等にはけ又はローラー塗りにより、端部に段差のないように塗り分ける	0.9kg／㎡以上
主材基層塗り	全面に吹付 2回	1.7kg／㎡以上
主材模様塗り(パラペット天端等の平場はフラット)	全面に吹付	0.9kg／㎡以上
上塗り(JIS A 6909) フッ素系・1液・水系	全面に吹付 2回	0.25kg／㎡以上

外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材(外装薄塗材E) (JIS A 6909)		[庇・軒裏コンクリート面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整(既存下地の場合)	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面に吹付け、またはローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り	全面に吹付	0.1kg／㎡以上
主材塗り	全面に吹付 2回	1.5kg／㎡以上

(※1)下地補修等で不陸が著しく生じる部分は下地調整塗材(C-2 ポリマーセメント系)を使用すること

水性アクリル樹脂系塗床(防滑仕上) 塗替え		[階段,通路]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面にローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り 水性アクリル樹脂系塗床材	全面にローラー塗り	0.4kg／㎡以上
仕上塗料塗り(防滑仕上) 水性アクリル樹脂系塗床材	全面にローラー塗り	0.6kg／㎡以上

■ ガラス繊維天井改修塗装仕様		
飛散防止塗料塗り(表面固化粉塵飛散防止処理工法)		[ガラス繊維天井面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	小さな傷・ほつれ等は押えて補修する 剝離・脆弱部分は撤去	
表面固化 飛散防止塗料塗り(表面固化粉塵飛散防止処理工法) (ロックシール工法R 同等処理工法)	エアレススプレー 工程内2以上	0.6～1.0kg／㎡ 18～30㎡／18kg(2回での量)

■ 外部鉄部改修塗装仕様		
耐候性塗料塗り DP塗装(鉄鋼面改修)		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(RB種) 既存塗膜の除去 汚れ、付着物除去 油類除去 研磨紙ざり	ディスクサンダー、スクレーパー等により劣化部分を全面除去し活膜は残す 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により除去する 溶剤ぶき 研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する	
下塗り(2回) 変性エポキシ樹脂プライマー E種	はけにて全面塗り付け 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.14kg／㎡以上
研磨紙ざり	研磨紙P120～220で研磨する	
中塗り 鋼構造物用耐候性塗料(JIS K5659) 中塗り塗料	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.14kg／㎡以上 希釈率0～10%
上塗り 鋼構造物用耐候性塗料(JIS K5659)フッ素系塗料 1級	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA	0.10kg／㎡以上 希釈率0～10%

■ 内部鉄部改修塗装仕様		
合成樹脂調合ペイント塗り SOP塗装(鉄鋼面改修)		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(RB種) 既存塗膜の除去 汚れ、付着物除去 油類除去 研磨紙ざり	ディスクサンダー、スクレーパー等により劣化部分を全面除去し活膜は残す 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により除去する 溶剤ぶき 研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する	
下塗り(1回目)+研磨紙ざり下塗り(2回目) 鉛・クロムフリー錆止めペイント(JIS K5674) A種	はけにて全面塗り付け、研磨紙P120～180で全面研磨する 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.10kg／㎡以上
パテかい(JASS18M-110)+研磨紙ざり	研磨紙P180～240で全面研磨する	
中塗り(1回目)+研磨紙ざり+中塗り(2回目) 合成樹脂調合ペイント塗料(JIS K5516) 1種	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA、研磨紙P220～240で全面研磨する 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.09kg／㎡以上
上塗り 合成樹脂調合ペイント塗料(JIS K5516) 1種	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA	0.08kg／㎡以上

■ 内部木部改修塗装仕様		
OSCU塗り 水性1液ウレタン塗料塗り(木部面改修)		
工程・材料	工法	所要量
新設の場合 :素地ごしらえ,木部B種 既存塗膜ある場合:下地調整,木部RA種(既存塗膜全面除去)		
着色(2回) 水性自然系木部用浸透型着色剤 OS (VATON FX各色同等品) ふき取り	刷毛塗り/ローラーにて全面塗り付け 塗装間隔(23℃)16時間以上 全面白木綿布片でふき取る	0.03kg／㎡以上
下塗り・中塗り(艶有り) 水性ウレタン塗料(無黄変タイプ)(水性VATON FXフロアNX同等品) 研磨紙刷り	羊毛モップ塗り/刷毛塗りにて全面塗り付け 塗装間隔(23℃)16時間以上 研磨紙P240～320	0.05kg／㎡以上 (0.08～0.10)
上塗り(各艶) 水性ウレタン塗料(無黄変タイプ)(水性VATON FXフロアNX同等品)	羊毛モップ塗り/刷毛塗りにて全面塗り付け	0.05kg／㎡以上 (0.08～0.10)

2液形ポリウレタン樹脂ワニス塗料(床面改修)		[ステージ床、体育室床面]
工程・材料	工法	所要量
体育室床の場合:素地ごしらえ,木部B種 ステージ床の場合(既存塗膜ある場合):下地調整,木部RA種(既存塗膜全面除去)		
下塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス 研磨紙ざり(研磨紙240～320)	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り 塗装間隔(20℃)16時間以上3日間以下	0.06kg／㎡以上
中塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス 研磨紙ざり(研磨紙240～320)	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り 塗装間隔(20℃)6時間以上	0.06kg／㎡以上
コートライン引き(体育室床) 溶剤型1液ポリウレタン樹脂塗料 50mm(コートライン一覧表による)	刷毛塗り 塗装間隔(20℃)12時間以上3日間以下	0.06kg／㎡以上
上塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り	0.06kg／㎡以上

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

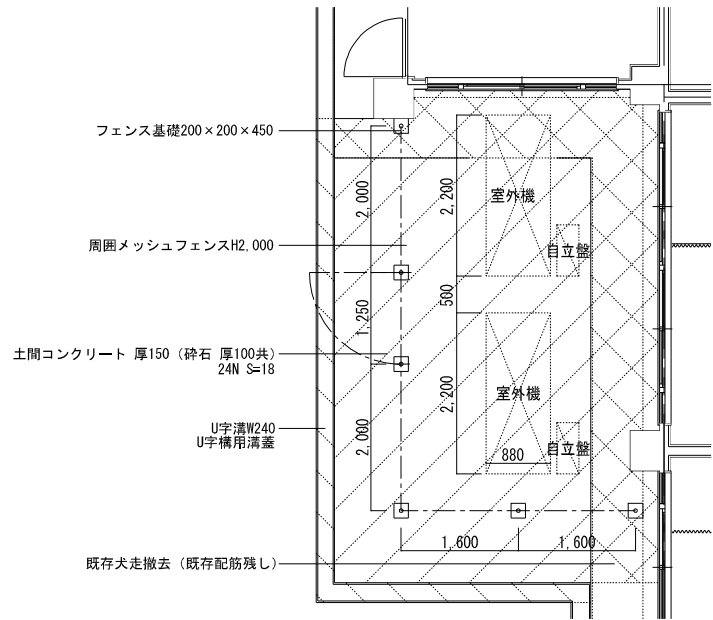
改修塗料等仕様書

縮尺

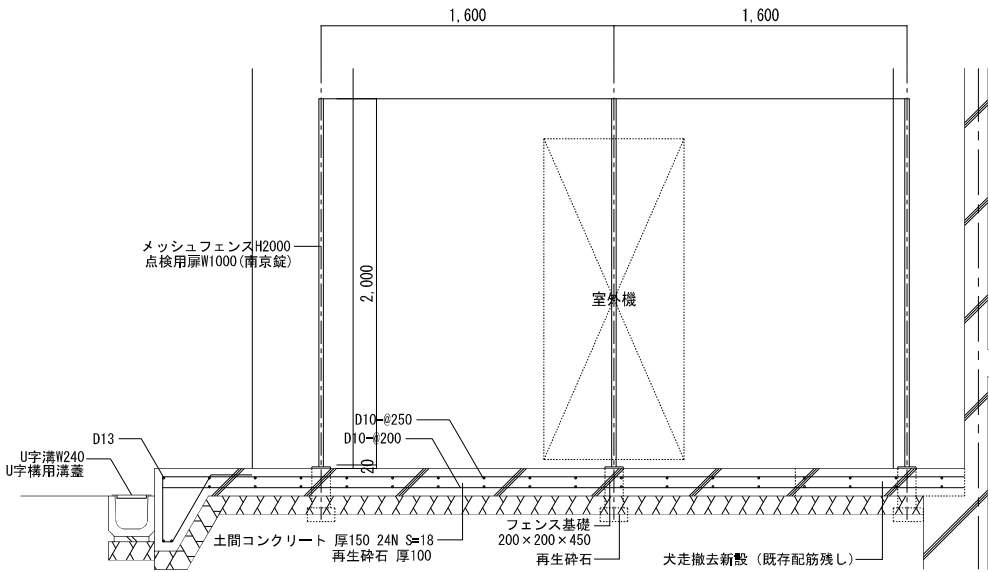
N0 SCALE

図面番号

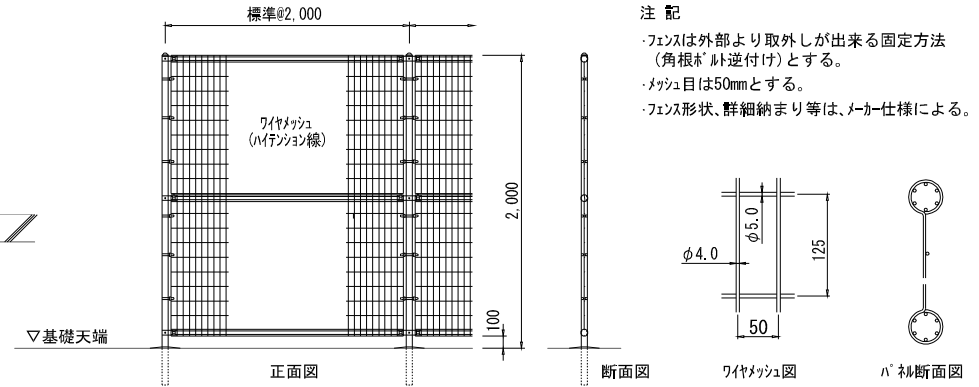
A - 44



【空調室外機周囲平面図 1/50】

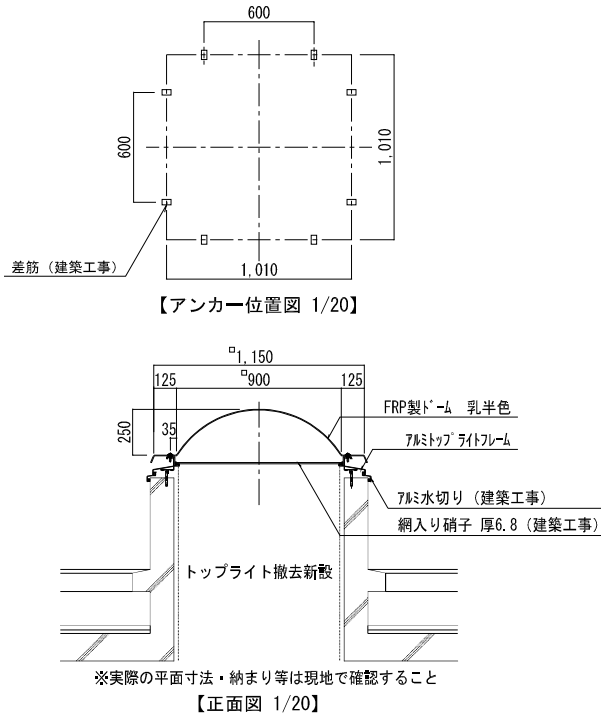


【空調室外機周囲断面図 1/20】

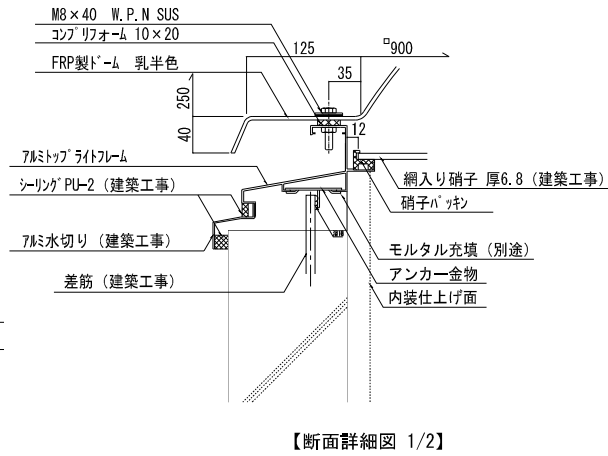


【ネットフェンス詳細図 1/30】

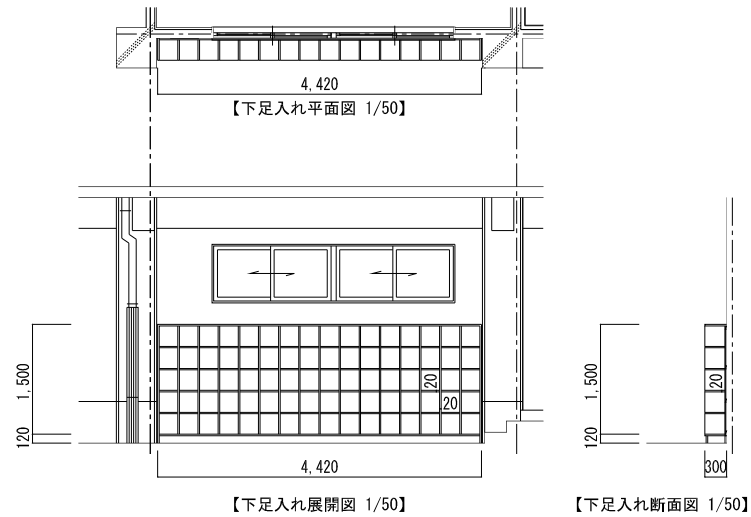
注 記
・フェンスは外部より取外しが出来る固定方法 (角根付 逆付け) とする。
・メッシュ目は50mmとする。
・フェンス形状、詳細納まり等は、メーカー仕様による。



【正面図 1/20】

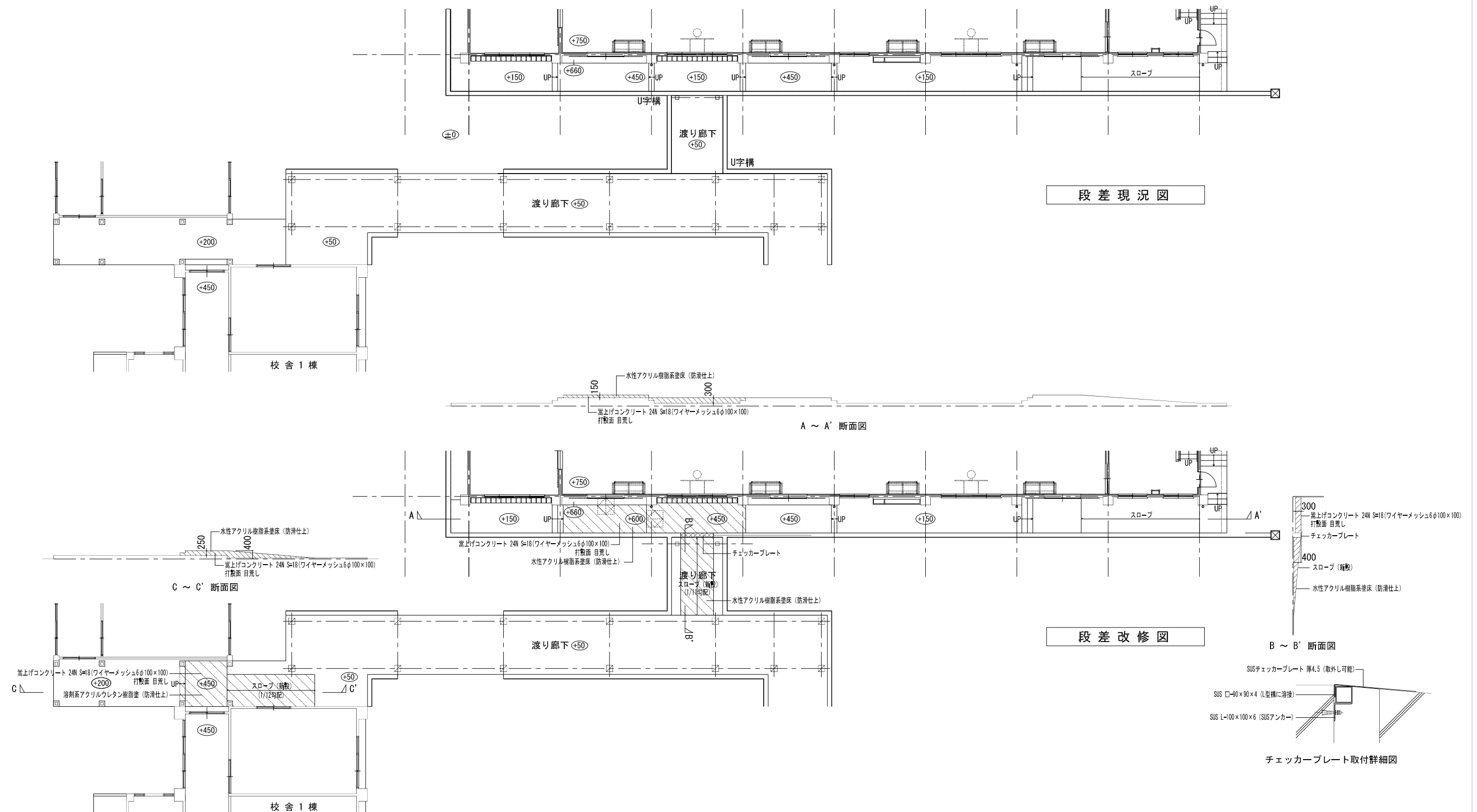


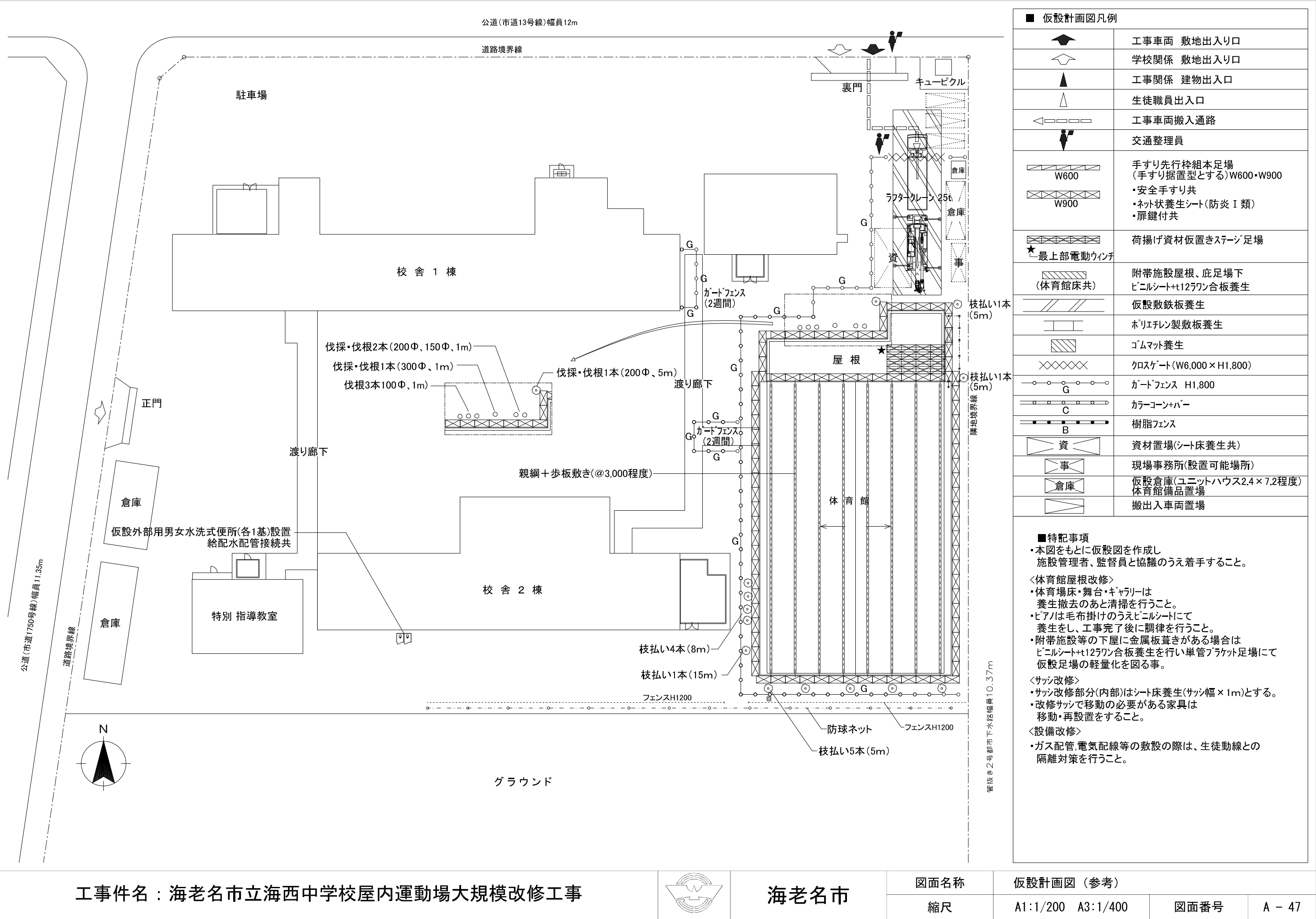
【断面詳細図 1/2】



【下足入れ展開図 1/50】

【下足入れ断面図 1/50】





工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

縮尺

仮設計画図（参考）

A1:1/200 A3:1/400

図面番号

A - 47

1. 工事概要						
1. 工事名称	海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事					
2. 工事場所	海老名市さつき町58番地					
3. 建物概要						
建物用途	工事種別	敷地面積	階 数	構 造	建築面積	延床面積
屋内運動場	大規模改修工事	21,935.00㎡	平屋建	1階：鉄筋コンクリート・吹抜付部：鉄骨造	901.70㎡	823.30㎡

[illegible]

①特修工事は積書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁建築部監修の公共建築工事積書（電気設備工事、消防設備工事、公設公園建築工事積書（電気設備工事、最新版）」（以下「標準積書」といふ。）、同部設置・環境施設監修の「公共建築工事積書標準版（電気設備工事、最新版）」（以下「標準図」といふ。）、及び国土交通大臣官庁官庁建築部監修の「電気設備工事監修指針（最新版）」による。

②特修建築工事及び建築工事と建築工事とに含む電気、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特修積書を適用する。

2. 特修事項

①項目番号に○印の付いたものを適用する。

②特修事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、×印の付いたものを適用する。

○印と×印の付いた場合は、共に適用するものとする。

事 項	特 記 事 項
① 適用基準等	※ 工事写真の撮り方(建築設備編)(国土交通省大臣官房建築部監修) ※ ※
② 機 材 等	※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員への承認を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒドは、日本工業規格および日本森林規格JF☆☆☆☆規格品、塗装材料協会規格適合品および両等品、化学物質等製品安全データシート等にホルムアルデヒド不使用が明示されたものとする。
③ 機材の品質・性能証明	※ 工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員への承認を受ける。 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(社)公共建築協会)によって所要の品質・性能を有するこの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
④ 保 険	※ 工事着手前に工事事務及び工事材料等、本工事後及び引渡期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。
⑤ 施工計画書および施工図等	※ 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 ※ 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承認を受ける。
⑥ 工事実績情報の登録	※ 請負額が500万円以上の場合には、CORINSに登録する。 ※ 受注後、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の承認を受け、登録手続きを行い、工事カルカの受領証を監督職員に提出することとする。
⑦ 手 続 き	※ 工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な手続き等は監督職員と協議の上、請負者が迅速に処理する。なお、当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
⑧ 事故報告	※ 施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」(任意様式)を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
⑨ 電気保安技術者	※ 電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
⑩ 足場、さん橋類	※ 別契約の関係請負者が設置した場合は、無償で使用する。 ⑪ 本工事で設置する ※ なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月改訂)によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
⑪ 工事表示板	※ 設置する(海老老市公共工事共通事項による) ・ 設置しない
⑫ 監督員事務所	※ 設けない ・ 設ける
⑬ 工事用電力、水、他	※ 建築工事特記仕様書による。
⑭ 工事用仮設備	※ 構内にすることが ・ できない
⑮ 発生材の処理等	※ PCBを含む等の機器等については、飛散・流出がないように現場において適切な場所に保管すること。 ※ 保管場所は監督職員との協議による
⑯ 発生材の処理等	※ 発生材の処理を要するものとする。

他、工事と工事区分

他、工事との工事区分は図面に特記なき場合、別途「工事区分表」による。

20. 保温、結露防止

外部に面する壁、天井でFP板(スタイロホーム等)打込み面所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止焼傷を行う。

21. 電線類

本工事で環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。
なお、電線仕様表第1項、通信情報設備工事 第1章 機材 第1節 電線類等 表1.1.1電線類に「EM-MEE-SJ」を追加する。

22. 合成樹脂製可とう管

合成樹脂製可とう管は、P管とする。(温度による分類はタイプ25を標準とする)

23. 二種金属製可とう管

引出箇所
・ ビルビレ被覆あり
・ ビルビレ被覆あり
・ ビルビレ被覆なし
・ ビルビレ被覆なし

24. 電線本数、管径など

分電盤、制御盤、端子箱などの2次側以降の配線経路、電線本数、電線本数、管径などは、監督職員の承認を受けて決定することとする。
また、機材室等の床配線は図面にP管で記載している場合であっても、立上り部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。

25. 呼び線

長さ1m以上の連続した電線管とし、1.2mm以上のビルビレ被覆線を連続する。

26. フラッシュプレート

図面に特記なき場合、(※ 金属製(ステンレス・軽金属も含む) ・ 樹脂製)とする。

27. フロアプレート・ベース

※ 水圧高低調節付(空腔防止リング付) ・ 銅合金製 ・ アルミ合金製

28. 支持金物、固定金物

屋外の機器及び配管に使用する支持金物(ボルト・ナット)はステンス製(SUS304)とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。
また、振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。

29. 加工方法

施工方法 (※ 接合系) ・ 接着剤)
(※ 金属係張系) ・ ※ 本材打込み)
性能・施工性能 ※ 行わない) ・ 行う)

30. 接地極の種類・表示等

接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、Eの長さとは、1.500mとする。
ただし、D=10は1.000mm、W=30は1.200mmとする。
被圧機器及び屋外打用接地極の埋設深度は不表示とする。

接地極の種類・表示等	記号	接地極の規格、数量	
		以下	以下
① 各種の埋設用接地	ELA	Q以下	E P × 2
② 管保護設置用接地	ELA	Q以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
③ 共用接地	E A・E D・ELH	10以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
④ 共用接地	E A・E C・E D	10以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑤ 共用接地	E A	10以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑥ 共用接地	E B	Q以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑦ 共用接地	E C	10以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑧ 共用接地	E D	100以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑨ 共用接地	E D	100以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑩ 共用接地	E T	Q以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑪ 共用接地	E A t	10以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑫ 共用接地	E D t	100以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑬ 共用接地	E B t	100以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑭ 共用接地	E S	Q以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑮ 共用接地	E o	—	E(B(D=10又はW=30)×3) 連続
⑯ 共用接地(低圧用)	ELL	10以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑰ 共用接地(高圧用)	ELH	10以下	E(B(D=14又はW=40)×3) 連続
⑱ 構造体接地			建築構造体利用(連通性も含む)

	・ 壁外 ・ 屋上 ㊦ 屋内
32. 山留め	切取り面にてこの箇所土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。
33. 舗装工事	国土交通省大臣官庁署庁業務情報部の公共建築工事標準仕様書(建築工事)22章(舗装工事)及び建築工事監理指針(舗装工事)による。
34. はつり	既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。
㊦35. 再使用機器	再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定の上、取り付ける。
㊦36. 撤去後の修繕等	機器撤去後の天井、壁及び床等の修繕は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。
37. アスベスト	アスベストについては、労働安全衛生法(石綿障害予防規則)・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。

① 工事範囲	② 配管	③ 配線	④ 分電盤類
② 電気方式	● 幹線 単相3線式 100/200V 50Hz ● 分枝 単相3線式 100/200V ● 分枝 単相2線式 100V		
③ 施工方法	● 幹線 分枝 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 電灯 ○ 合成樹脂管配線 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ ケーブル配線 ○ フロアダクト配線 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 金属製 ○ 合成樹脂製 ○ 合成樹脂製		
④ 蛍光灯	蛍光灯器具受配器の種類および点灯方式、力率、定格入力電圧、周波数は図示以外は下記による。		
⑤ 蛍光ランプ	● 省エネ形（全部 暖房を行う部屋、廊下などに限る。） ● 一般形		
⑥ 非常用照明器具	※ 電池内蔵形 ※ 電源別置形 ※ 飛び出し形 ※ 外部別置形		
⑦ 照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全てで行うものとするが、これにより難しい場合は監督職員との協議による。		
⑧ ハイテンションアウトレット	※ 銅合金製 ※ アルミ製		

配 電 設 備	1. 電気方式	幹線 分岐	相 相	線式 線式	V 50Hz V	
	2. 施工場所及び面積			(m ²)		(m ²)
雷 保護 設備	1. 工事範囲	・ 受電部	・ 引下げ導線	・ 接地極埋設		
	2. 受電部	・ 突針	・ 構上導体	・ 笠木(別途)など		
	3. 送電導線	・ 引下げ導線	※ 建築構造体利用			
	4. 接地極	※ 接地極埋設，建築構造体利用				
	5. 測定用補助接地極	・ 設置				
	1. 工事範囲	・ 機器類				
	2. 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz ・ 低圧 三相3線式 200V、低圧	単相3線式 100V/200V			
	3. 引込ケーブル	・ EM-CET38° ・ EM-CE38°-3C	・ EM-CET60° ・ EM-CE60°-3C			
	4. 配電盤	・ 屋内部 〃 屋外形(防塵処理及び結露対策を施す) ・ キュービクル式配電盤 〃 高圧閉鎖配電盤				
受 電 電 線 設 備	5. 主進断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧合戦遮断器(PF-8) 〃 高圧交流遮断器(CB) 定格遮断電流 kA				
	6. 高圧機器類	・ 油入式 〃 乾式				
	7. 変圧器	・ 単相変圧器 kVA 〃 三相変圧器 kVA	kVA			
	8. 進相用コンデンサ	※ 低圧 〃 高圧 〃 6% 〃 13%				
	9. リアクトル	〃 6% 〃 13%				
	10. 自励力制御装置	※ 無効電力検出方式 〃 力率検出方式				
	11. 測定用補助接地極	・ 設置				

電力貯蔵設備	1. 直流電源装置 ※ 非常用照明器具電源、受変電設備制御電源用、受変電設備専用、非常用照明器具専用蓄電池、鉛蓄電池 (・ HS ・ CS ・ MSE) ・ アルカリ蓄電池 (・ AH ・ AMH)
電力貯蔵設備	2. 交流無停電電源装置 用途 (容量 kVA) 蓄電池 (・ HS ・ CS ・ MSE) ・ アルカリ蓄電池 (・ AH ・ AMH)

発電設備	1. 工事範囲	・ 機器類	・
	2. 形 式	・ 簡易形 ・ 屋内形	・ キュービクル式 ・ オープン形 ・ 屋外形
	3. 発電機	電気方式	三相3線式 50Hz 電圧 V 定格出力 kVA
	4. 原動機	種類 定格出力 始動方式 冷却方式	・ ディーゼル ・ ガスタービン ・ kW以上 ※ 電気式 ・ 空気式 ・ ラジエータ式 ・ 水冷却方式
	5. 燃料	種類 燃料小出槽 主給油槽	・ 灯油 ・ A重油 ・ なし ・ あり (別送 ・ 本工事)
	6. 太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力 パワーコンディショナ	kW 相 線式 定格出力 kW

機内交換機	1. 工事範囲	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（・ 全部 ・ 雄子盤以降）
	2. 電話交換機	形式 ・ ボタン電話装置 ・ PBX 回線数 回線 回線 内線 回線
	3. 電話機への配線	・ EM-BTIE ・ ワイヤプロテクタ（埋設型 外形寸法約200×81.5mm）
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	※ 一般電話用 器（・ 納入する ・ 取り付ける） ※ 精密金型 ・ アルミ製
	5. 床面留付用座	※ 本工事 ・ 別途工事

①.工事範囲及び施工方法		工 事 範 囲		施 工 方 法	
		配 線	架 設 形 式	合成樹脂管配線	金属管配線
・ 構内配線設備					ケーブル配線
・ 情報表示		○	○		○
・ 映像・音響	○		○		○
・ 伝声	○			○	○
・ 放送装置					
・ テレビ共用放送		*	*	*	*
・ 監視カメラ			*	*	*
・ 防犯・入室警報装置	*	*	*	*	*

・	ホッス	・ 合成樹脂製	・ 金属製	
・	2. 構内情報通信網設備	種類	10BASE-T	100BASE-TX
・			1000BASE-T	ATM
情	④情報表示設備	・ 情報表示盤	(・ 発光ダイオード式	・ プラズマ式
報		・ 時計計	図録 (※ 壁掛形	・ 液晶式)
			(・ 電子チャイム組込	・ プログラムタイマー組込)

設 備	④映像・音響設備	・ 増幅器 (W) ・ VTR (・ DVD ・ DV ・ S-VHS) ・ プロジェクタ (※ 前面投射式 ・ 背面投射式) ・ 音響設備 (・ CD ・ MD ・ カセット)
--------	----------	--

⑤ 拡声設備

- 一般放送用
- 非常放送兼用
- 増幅器
- W (※ 卓上形
- キャビネットラック形)

6. 誘導支援設備

- ・地上波アンテナマスト(※壁面取付形) ・自立形)
- ・BS用アンテナマスト(・壁面取付形) ・自立形)

8. 監視カメラ設備	・ 白黒方式 ・ カラー方式
------------	---

1. 工事範圍	☒ 配管 ☒ 配線 ☒ 機器類
---------	--

2. 火災報知装置

・ 壁掛形	・ 自立形	
・ 受信機	型 級	回 線 (アドレス)

火

・ 耐受備機 型 絞 回線
① 機器收容箱 ・ 専用形 (・ 埋込形 ・ 露出形) ・ 屋内消火栓箱に組込み
・ 感知器類 スポット型 総数 個 (・ 自動試験機能付)

4. 自動閉鎖裝置

- ・ 単独（壁掛形、自立形）・ 火災受信機などとの複合型
- ・ 自動閉鎖機構
 - ・ 防火戸用（本工事、電磁式又はラッチ式、DC24V、0.6A以下）
 - ・ 防煙ダンパ用（別途、据付通電式又は電動式、DC24V、0.6A以下、

設

・ 自動開放機構	・ 防火シャッター用(別途、DC24V、0.6A以下) ・ 排煙ダンパ(別途、排煙機運転用運動機構付)
----------	--

5. ガス漏れ警報装置

- ・ 受信機 回線（ ・ 都市ガス用 ・ 液化石油ガス用 ）
・ 単独（ ・ 壁掛形 ・ 自立形 ） ・ 火災受信機などの複合型

・ 定格電圧 (・ AC100V ・ DC24V)

6. 消防器類	・ 消防器 種別 数量 本 ・ 消防器収納箱 仕様 材質 数量 面
---------	--

	中 央 監 視 制 御 機	1. 工事範囲 ・配管 ・配線 ・機器類 2. 監視制御対象設備 ・動力設備 ・受変電設備 ・発電設備 ・火災検知設備 3. 表示操作盤 ・建群器 ・自立形 ・組込式機器 4. 監視抑制装置 - 構成機器 - グラフィックパネル - プラスディスプレイ - CRT ディスプレイ - 中央処理装置 - 作業用印字装置 - ログنگタイプライタ ・ミューグラフィックパネル ・内照式液晶ディスプレイ (キャラクタ形、グラフィック形) (伝送端末部形) ・複写装置(形)
	構 造 内 容 の 詳 細	1. 工事範囲 ・管路 ・配線 ・機器類 2. 電気形式 ・高圧三相3線式6kV 50Hz ・低圧三相3線式200V ・低圧単相3線式100/200V ・低圧単相2線式100V 3. 布設方法※地中埋設式(・ FEP ・ PE ・ 厚膜電線管) ・架空線式 4. 柱上機器 ・高圧負荷閉断器 ※一般用 ・耐重焼じん用 ※地絡短路警備付き(※方向性 、無方向性) ・遮断器 ※一般用 ・貯塩用 ・高圧カットアウトがいしなど ※一般用 ・貯塩用 5. 高圧ケーブルの端头処理屋外側用 ※一般用 ・貯塩用 ※処理工事銘板取付(屋内外共に、線名、作来日、氏名を表示) 6. その他東京電力(株)材料工事業標準(架空線編)に準ずる。 7. 外灯設備 ・常夜電圧 V W 8. 沈下対策地中経路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。() 9. 標識シード ・高圧ケーブル ・ 電力幹線ケーブル
	構 内 通 信 回 路	1. 工事範囲 ・管路 ・配線 2. 用途 ・電話用 ・時計、指示用 ・火災異動用 3. 施工方法※地中埋設式(・ FEP ・ PE ・ 厚膜電線管) ・架空線式 4. 標識シード ・弱電用

電 力 設 備		取付高 (mm)	名 称		設 置 点	取付高 (mm)
電力 共通	取付計器箱	※ 差込中心	約 1,800	引出高の通	地へ引出点	
	引出閉閉器	床上下中心	1,800~2,200	集合保安装置	天井下~上壁	200
	分電盤	床上下中心	1,500/上壁1,900/下壁	端子箱(壁下、室内)	床上下~上壁	300
				「E」等など	床上下中心	1,500
				壁付アクトレイト	床上下~中心	200
				「和」室		150~200
	スイッチ (一 般)	床上下中心	1,200	時 装飾形スイッチ	床上下中心	1,500/上壁2,000/下壁
	「 (和) 室」		1,300	計 子時計		2,300
	コンセント (一 般)	「 (和) 室」	300	電 新形スイッチ		800~1,500
	「 (和) 室」		150~200	広 延付アプテスター		1,300
電	「 (台) 上」	台上下中心	100	壁付インターホン (一 般)	床上下中心	1,300
	「 (附) 用」	床上下~下壁	下壁 施	「 (身体障害者) 」		1,300
	「 (附) 用」	床上下中心	800~1,300	壁付アクトレイト (一般)		500
	「 (座) 席」			壁付アクトレイト (和 室)		150~200
	「 (壁) 紙」			設 装飾収容箱	天井下~上壁	200
	「 (土 間)」			直 置ユニット (一 般)	床上下~中心	300
	ブラケット (一 般)	床上下中心	2,100~2,300	「 (和) 室」		200
	「 (鏡) 鏡」			表 表示付	床上下中心	2,200
	「 (鏡) 鏡」	鏡上下端~中心	150	報 警装置付		1,300
	湿気計誘導灯	床上下~上壁	1,500以上	「ベル・ブザー・チャイム」		2,300
灯	地下通路誘導灯	床上下~上壁	1,000以上	表 示付押しボタン (一般)	床上下~中心	1,300
				「 (身体障害者玄関)」		900
	警 告灯			突強燈	床上下中心	800~1,500
	警 告灯			緊急警報機		800~1,500
	非常用照明用ボタン	床上下中心	900	緊急警報機		800~1,500
	非常用ボタン(使用用)	床上下中心	900	火 災表示灯		800~1,500
	壁付インターホン(視聴)	「 (和) 室」	1,300	報 告表示灯	床上下中心	2,100
	「 (玄関手鏡)」		1,100	知 べル		2,300
	「 (洗面手鏡)」		1,300	表示付高圧力検知機 (一般)	床上下~上壁	250
	「 (洗面手鏡)」		1,500	高圧力検知機 (一般)	天井下~上壁	250
用	スイッチ		1,100	「 (重賞)」	床上下~上壁	250

※ 見聞きA3(製本A4判) 竣工図、施工図 (検査後提出)	3部
※ 完成図面電子データ(JWW形式及JPDF形式)	1式
※ 本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類	1式
※ 建築物等の維持・保全に関する資料 (検査後提出)	1式
※ その他監督職員が指示したもの	1式

※ 作成する ・ 作成しない

工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。

F- 01

凡例	
G ● BL	避難口誘導灯 BL級 ガート付
⌀ 2	コンセント 2P15A×2
⌀ 2 6	コンセント 2P15A×2 ガートプレート付
⌀ 2 (抜止)	抜止コンセント 2P15A×2
⌀ 2 6 (抜止)	抜止コンセント 2P15A×2 ガートプレート付
☒	ﾌﾟﾛｯｸｽ (200×200×150) 鋼板製
×	撤去を示す。

※特記なき太線は撤去とする。

- 電灯盤 L-2 取外し MCCB3P 50AF/40AT×1 (400×600×200)
MCCB2P 30AF/20AT×6
- ・改修前： L-S 電灯盤 の主幹ﾌﾟﾚｰｶ1次側より電源供給
 - ・改修後： (新設) 電灯盤 L-1 の主幹ﾌﾟﾚｰｶ1次側より電源供給 (E-03参照)

電灯設備 既存 1 階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

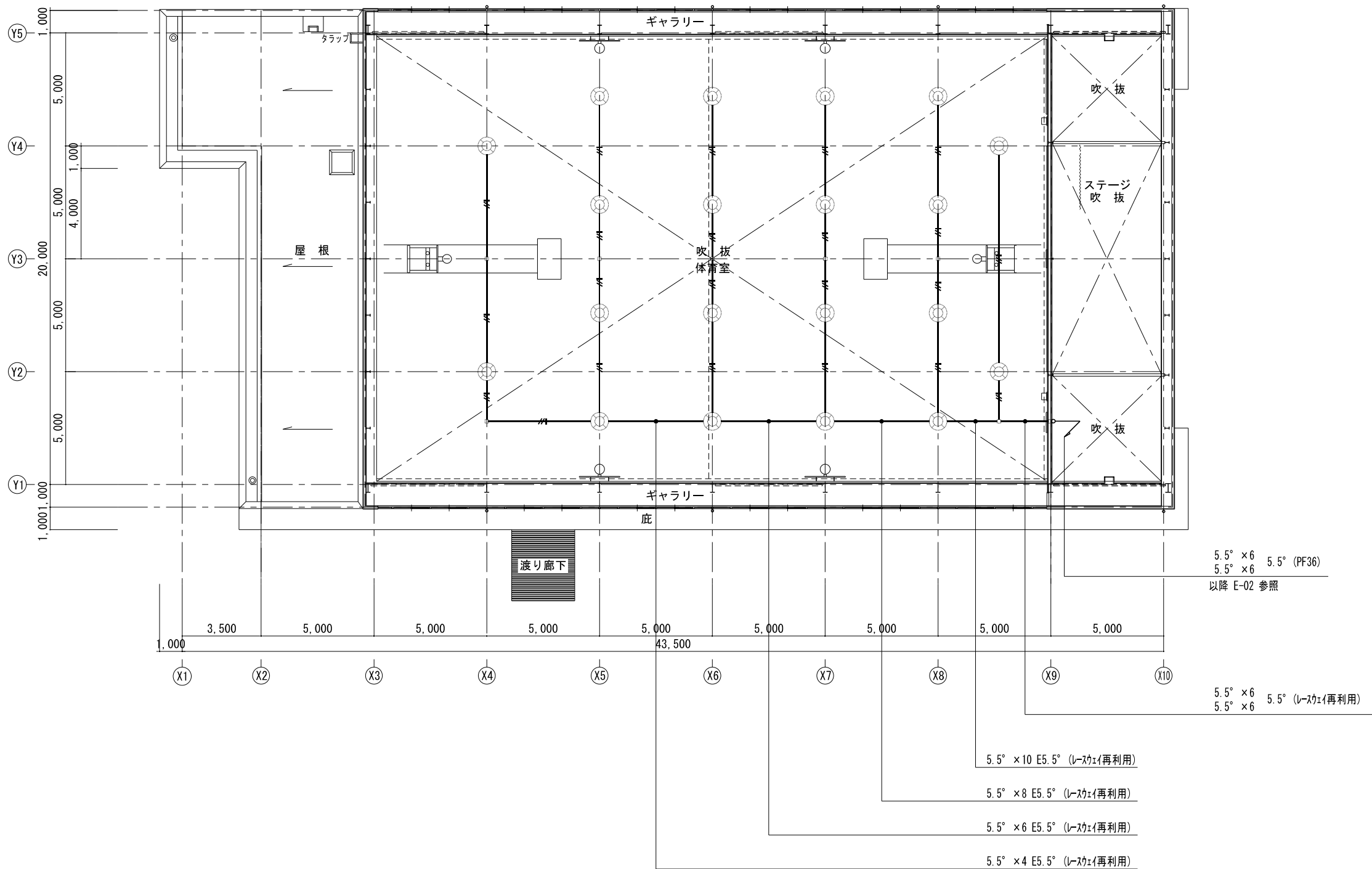
電灯設備 既存 1 階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 02



特記なき配管配線は下記とする。	
	5.5° x 2 E5.5° (レスタイ再利用)

※特記なき太線は撤去とする。

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

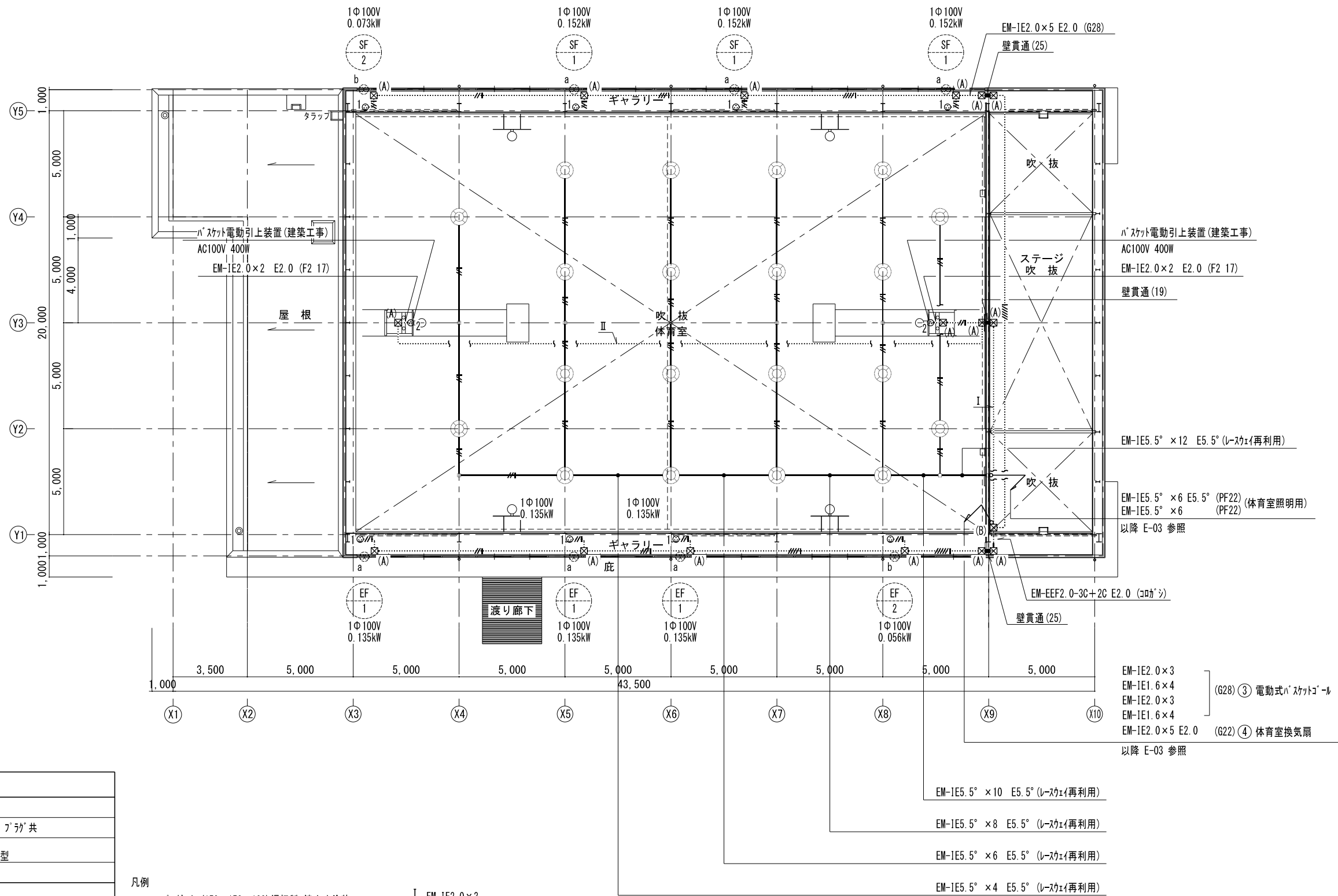
電灯設備 既存 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 04



凡例	
	高天井LED照明器具(既設)
	引掛コンセント 2P15A×1 接地極付 プラグ 共
	引掛コンセント 2P15A×1 金属製プレートプラグ 中四角 浅型
	有圧換気扇(機器設備工事)
特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-IE5.5° ×2 E5.5° (レスタイリ再利用)
	EM-IE2.0×5 E2.0 (G28)
	EM-IE2.0×4 E2.0 (G28)
	EM-IE2.0×3 E2.0 (G22)
	EM-IE2.0×2 E2.0 (G22)

注1. 給気・排気ファンは連動運転とする。
※特記なき太線は新設とする。

凡例	
	Ⅰ EM-IE2.0×3 EM-IE1.6×4 EM-IE2.0×3 EM-IE1.6×4 (G28)
	Ⅱ EM-IE2.0×3 EM-IE1.6×4 (G22)
※()は接地端子付とする。	

電灯設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

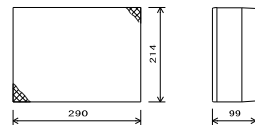
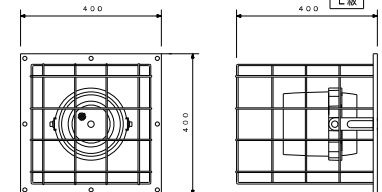
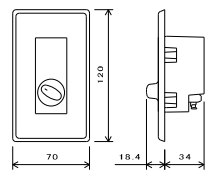
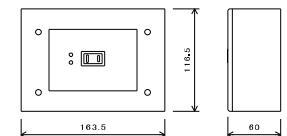
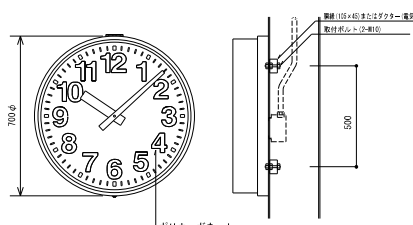
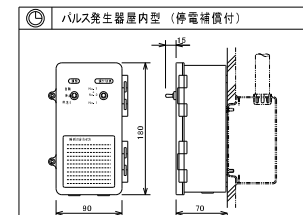
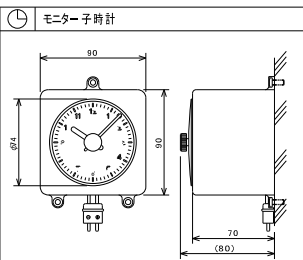
電灯設備 改修 2階平面図

縮尺

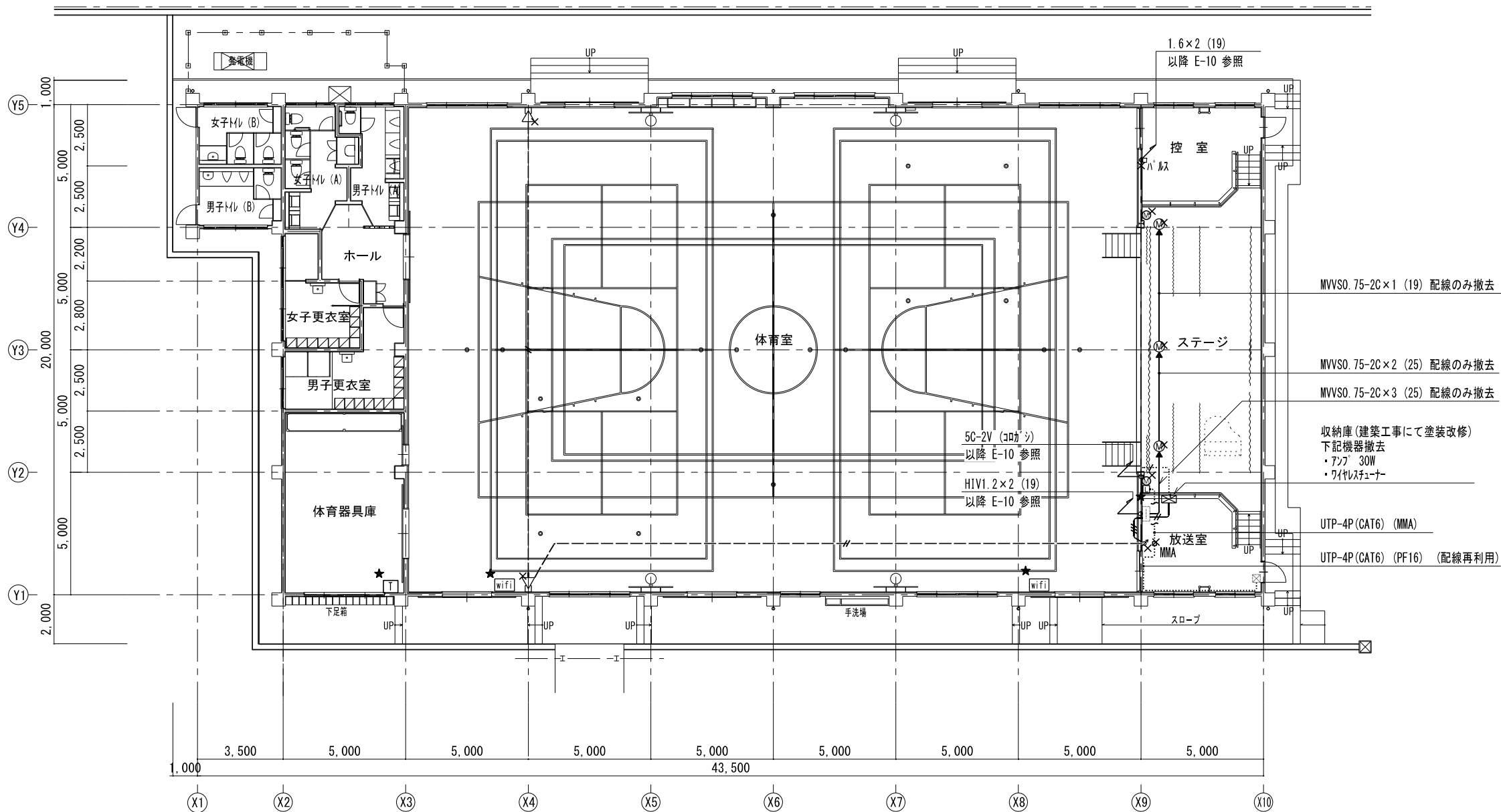
A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 05

	木製壁掛型スピーカー A T T 付		ワイドホーンスピーカー (防球ガード付)		アッテネーター 6 W以下		電源カントリー (露出ボックス付)																																																						
 L級 <table><tr><td>定格入力</td><td>3 W (3.3 kΩ), 1 W (10 kΩ)</td></tr><tr><td>出力音圧レベル</td><td>95 dB (1 W, 1 m)</td></tr><tr><td>周波数特性</td><td>160 Hz ~ 17 kHz</td></tr><tr><td>スピーカー</td><td>16 cmコーン型</td></tr><tr><td>仕 上</td><td>本体: 木製 ライトグレー</td></tr><tr><td>ネット</td><td>ジャージ ライトグレー</td></tr><tr><td>その他</td><td>差込型コネクターによるワンタッチ結線、音量調節器付</td></tr></table>		定格入力	3 W (3.3 kΩ), 1 W (10 kΩ)	出力音圧レベル	95 dB (1 W, 1 m)	周波数特性	160 Hz ~ 17 kHz	スピーカー	16 cmコーン型	仕 上	本体: 木製 ライトグレー	ネット	ジャージ ライトグレー	その他	差込型コネクターによるワンタッチ結線、音量調節器付	 L級 <table><tr><td>定格入力</td><td>6W (1.7 kΩ), 3W (3.3 kΩ), 1W (10 kΩ)</td></tr><tr><td>出力音圧レベル</td><td>96 dB (1W, 1m)</td></tr><tr><td>周波数特性</td><td>130 Hz ~ 13 kHz</td></tr><tr><td>スピーカー</td><td>12 cm防滴コーン型</td></tr><tr><td>仕 上</td><td>ホーン・カバー: 樹脂 オフホワイト</td></tr><tr><td>その他</td><td>防水性能: 防まつ形、防球ガード付</td></tr></table>		定格入力	6W (1.7 kΩ), 3W (3.3 kΩ), 1W (10 kΩ)	出力音圧レベル	96 dB (1W, 1m)	周波数特性	130 Hz ~ 13 kHz	スピーカー	12 cm防滴コーン型	仕 上	ホーン・カバー: 樹脂 オフホワイト	その他	防水性能: 防まつ形、防球ガード付	 <table><tr><td>入力容量</td><td>0.5 ~ 6 W</td></tr><tr><td>音量切換</td><td>5段階切換</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		入力容量	0.5 ~ 6 W	音量切換	5段階切換									 <table><tr><td>電 源</td><td>AC100 V 50/60 Hz</td></tr><tr><td>電力容量</td><td>最大800 W</td></tr><tr><td>電流容量</td><td>最大10 A</td></tr><tr><td>制御方式</td><td>制御電源によりAC100 V新制御</td></tr><tr><td>制御電流</td><td>DC24 V 0.3 mA</td></tr><tr><td>仕 上</td><td>パネル: アルミ</td></tr><tr><td>その他</td><td>露出ボックス付</td></tr></table>		電 源	AC100 V 50/60 Hz	電力容量	最大800 W	電流容量	最大10 A	制御方式	制御電源によりAC100 V新制御	制御電流	DC24 V 0.3 mA	仕 上	パネル: アルミ	その他	露出ボックス付		
定格入力	3 W (3.3 kΩ), 1 W (10 kΩ)																																																												
出力音圧レベル	95 dB (1 W, 1 m)																																																												
周波数特性	160 Hz ~ 17 kHz																																																												
スピーカー	16 cmコーン型																																																												
仕 上	本体: 木製 ライトグレー																																																												
ネット	ジャージ ライトグレー																																																												
その他	差込型コネクターによるワンタッチ結線、音量調節器付																																																												
定格入力	6W (1.7 kΩ), 3W (3.3 kΩ), 1W (10 kΩ)																																																												
出力音圧レベル	96 dB (1W, 1m)																																																												
周波数特性	130 Hz ~ 13 kHz																																																												
スピーカー	12 cm防滴コーン型																																																												
仕 上	ホーン・カバー: 樹脂 オフホワイト																																																												
その他	防水性能: 防まつ形、防球ガード付																																																												
入力容量	0.5 ~ 6 W																																																												
音量切換	5段階切換																																																												
電 源	AC100 V 50/60 Hz																																																												
電力容量	最大800 W																																																												
電流容量	最大10 A																																																												
制御方式	制御電源によりAC100 V新制御																																																												
制御電流	DC24 V 0.3 mA																																																												
仕 上	パネル: アルミ																																																												
その他	露出ボックス付																																																												
	壁掛け時計		パルス発生器 モニター時計																																																										
 ボリカーボネート 子 時 計 参 考 姿 図		 パルス発生器内型 (停電補償付) <table><tr><td>定格</td><td>AC100V 50Hz/60Hz共用</td></tr><tr><td>消費電</td><td>二ツ山実消費電力 DC24V 170mA</td></tr><tr><td>停電補償時間</td><td>30時間以上</td></tr><tr><td>使用温度範囲</td><td>-10℃ ~ +50℃</td></tr><tr><td>出力容量</td><td>80mA</td></tr><tr><td>出力電圧</td><td>DC24V有線30秒パルス</td></tr><tr><td>ケース</td><td>A35樹脂 アイボリー色</td></tr></table>  モニター時計 <table><tr><td>定格</td><td>DC24V有線30秒パルス 消費電力12mA</td></tr><tr><td>文字盤</td><td>A35樹脂 白色 文字黒色印刷</td></tr><tr><td>指針</td><td>アルミ 黒色塗装</td></tr><tr><td>表示方式</td><td>アナログ 直視</td></tr><tr><td>ケース</td><td>A35樹脂 アイボリー色</td></tr></table>		定格	AC100V 50Hz/60Hz共用	消費電	二ツ山実消費電力 DC24V 170mA	停電補償時間	30時間以上	使用温度範囲	-10℃ ~ +50℃	出力容量	80mA	出力電圧	DC24V有線30秒パルス	ケース	A35樹脂 アイボリー色	定格	DC24V有線30秒パルス 消費電力12mA	文字盤	A35樹脂 白色 文字黒色印刷	指針	アルミ 黒色塗装	表示方式	アナログ 直視	ケース	A35樹脂 アイボリー色																																		
定格	AC100V 50Hz/60Hz共用																																																												
消費電	二ツ山実消費電力 DC24V 170mA																																																												
停電補償時間	30時間以上																																																												
使用温度範囲	-10℃ ~ +50℃																																																												
出力容量	80mA																																																												
出力電圧	DC24V有線30秒パルス																																																												
ケース	A35樹脂 アイボリー色																																																												
定格	DC24V有線30秒パルス 消費電力12mA																																																												
文字盤	A35樹脂 白色 文字黒色印刷																																																												
指針	アルミ 黒色塗装																																																												
表示方式	アナログ 直視																																																												
ケース	A35樹脂 アイボリー色																																																												





凡例			特記なき配管配線は下記とする。	
	既設端子盤	(拡声設備)		5C-2V (コダシ)
	災害用特設公衆電話用端子盤			HIV1.2 x 2 (19)
	wifiアンテナ			HIV1.2 x 2 (19)
	モバイルアンテナ			HIV1.2 x 3 (19)
	MMA用ボックス(1個用)	(音響設備)	※特記なき太線は撤去とする。	
	再取付を示す。			マイクコンソール
				マイクコンソール
		(時刻表示設備)		
				マイクコンソール

通信・情報設備 既存 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

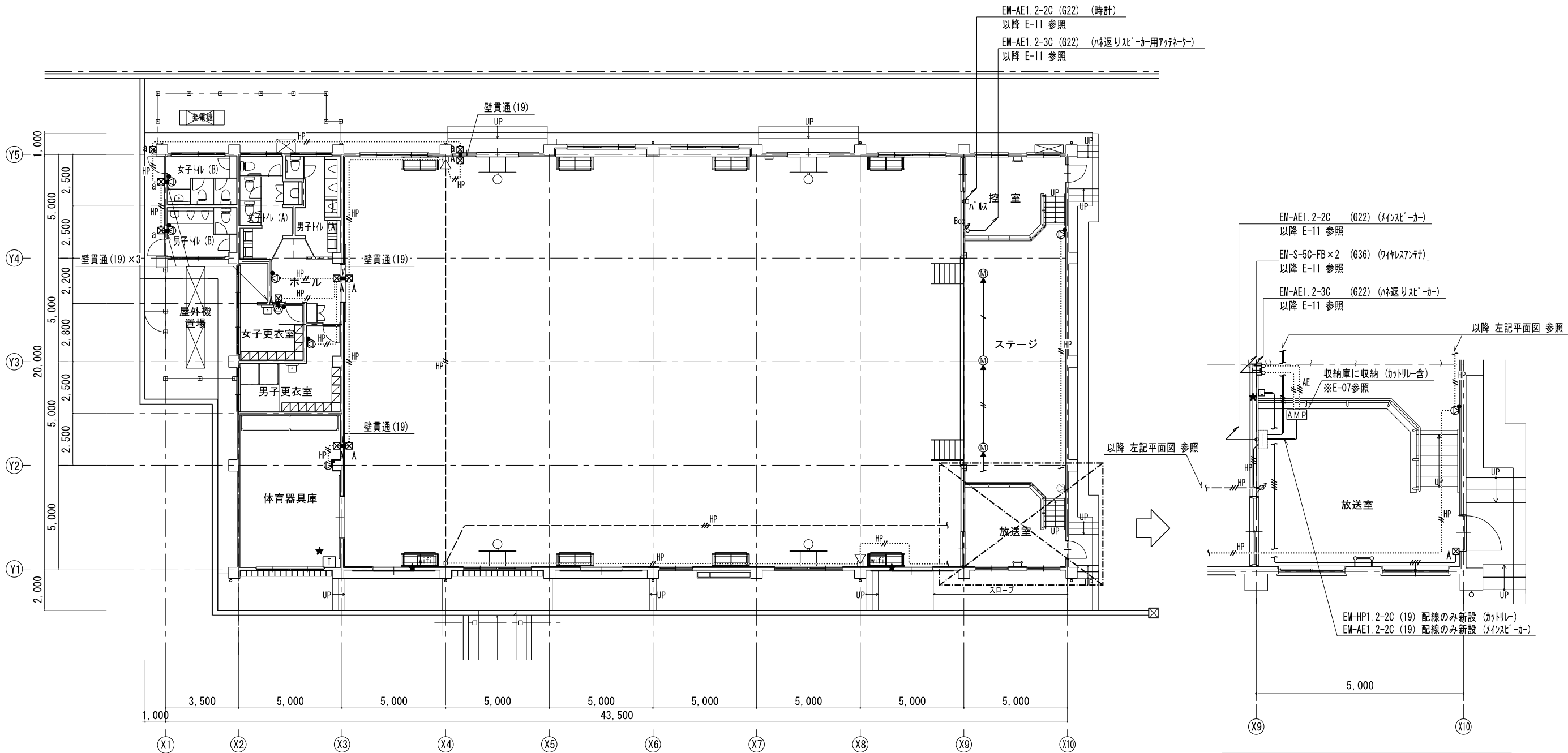
通信・情報設備 既存 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 08



通信・情報設備 改修 1階平面詳細図 1/50

凡例			特記なき配管配線は下記とする。	
AMP	PAアンテナ ダイナミックワイヤレスチューナー ワイヤレスアンテナ混合分配器 SD/USB対応CDプレイヤー ※E-07参照	(拡声設備)		EM-UTP-4P (CAT6) (PF16) 配管のみ新設
			ワイヤレススピーカー (防球ガード付)	EM-HP1. 2-2C (19) 配線のみ新設
	既設端子盤		木製壁掛型スピーカー ATT付	EM-HP1. 2-2C (G22) 新設
	災害用特設公衆電話用端子盤		アンテナ 6W以下	EM-HP1. 2-3C (19) 配線のみ新設
	災害用特設公衆電話用端子盤	(音響設備)		EM-AE1. 2-3C (G22) 新設
wifi	wifiアンテナ	Box	アンテナ 30W以下 露出型ワイヤレス (1個用) (ハネ返りスピーカー用)	EM-S-5C-FB×2 (G36) 新設
	モジュラーキャブ・MMA用ケーブル (1個用)		ポアマイクセント	EM-MEES0. 75-2C×1 (19) 配線のみ新設
	金属製ワイヤレス 中四角 深型 丸型ワイヤレス			EM-MEES0. 75-2C×2 (25) 配線のみ新設
★	再取付を示す。	(時刻表示設備)		EM-MEES0. 75-2C×3 (25) 配線のみ新設
		パネル	パネル発生器	

※特記なき太線は新設とする。

通信・情報設備 改修 1階平面図 1/100

凡例

- ⓐ : プレート (150×150×100) 銅板製 錆止め塗装
 - ⓑ : プレート (150×150×100) 溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⓒ : プレート (200×200×150) 銅板製 錆止め塗装
 - ⓓ : プレート (200×200×150) 溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⓔ : プレート (300×300×200) 銅板製 錆止め塗装
 - ⓕ : プレート (300×300×200) 溶融亜鉛めっき 防水型
- ※ () は接地端子付とする。

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

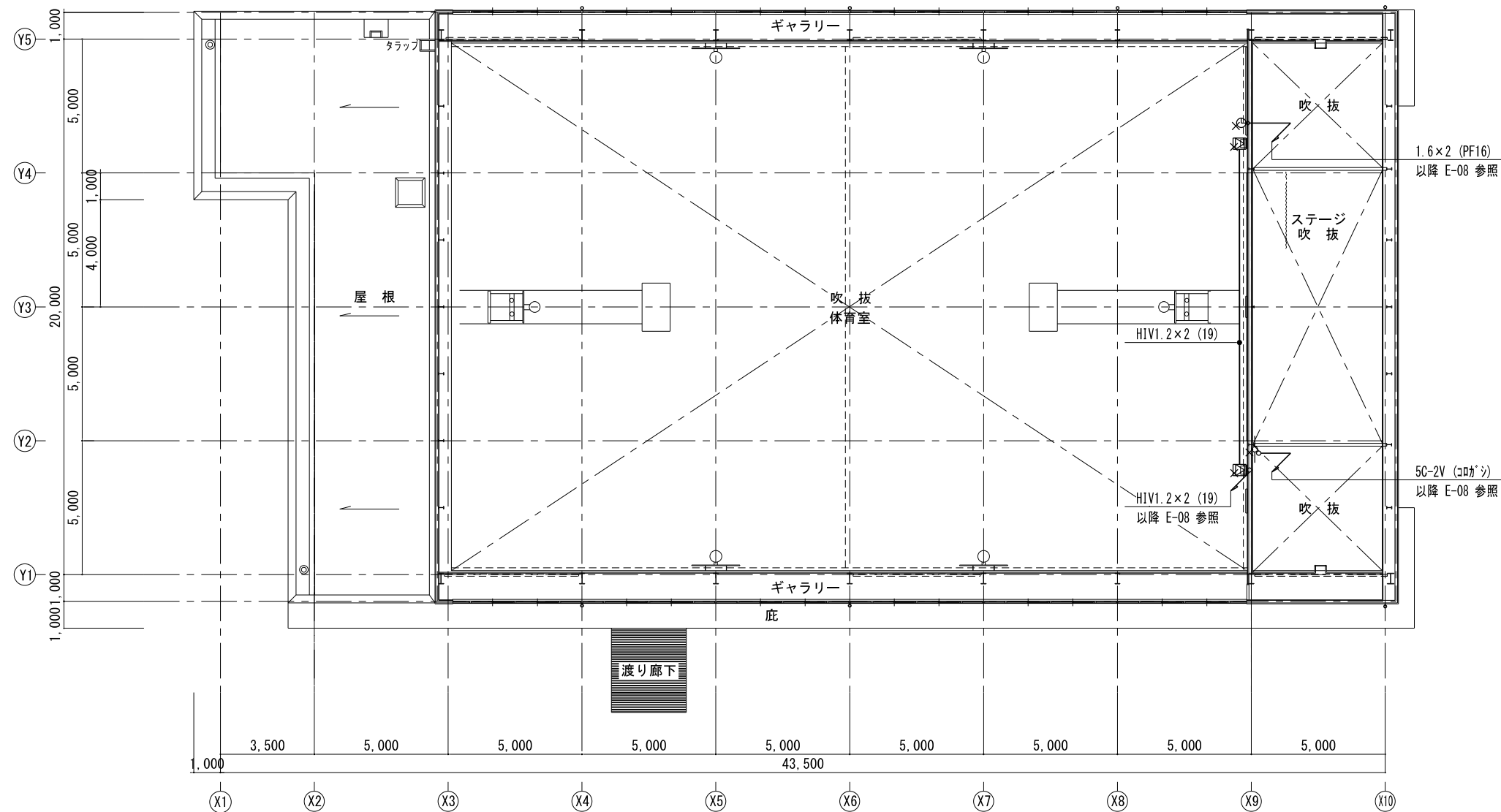
通信・情報設備 改修 1階平面図・平面詳細図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 09



凡例	
	メインスターカー
	壁掛け時計
	ワイヤレスアンテナ
	撤去を示す。

※特記なき太線は撤去とする。

通信・情報設備 既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

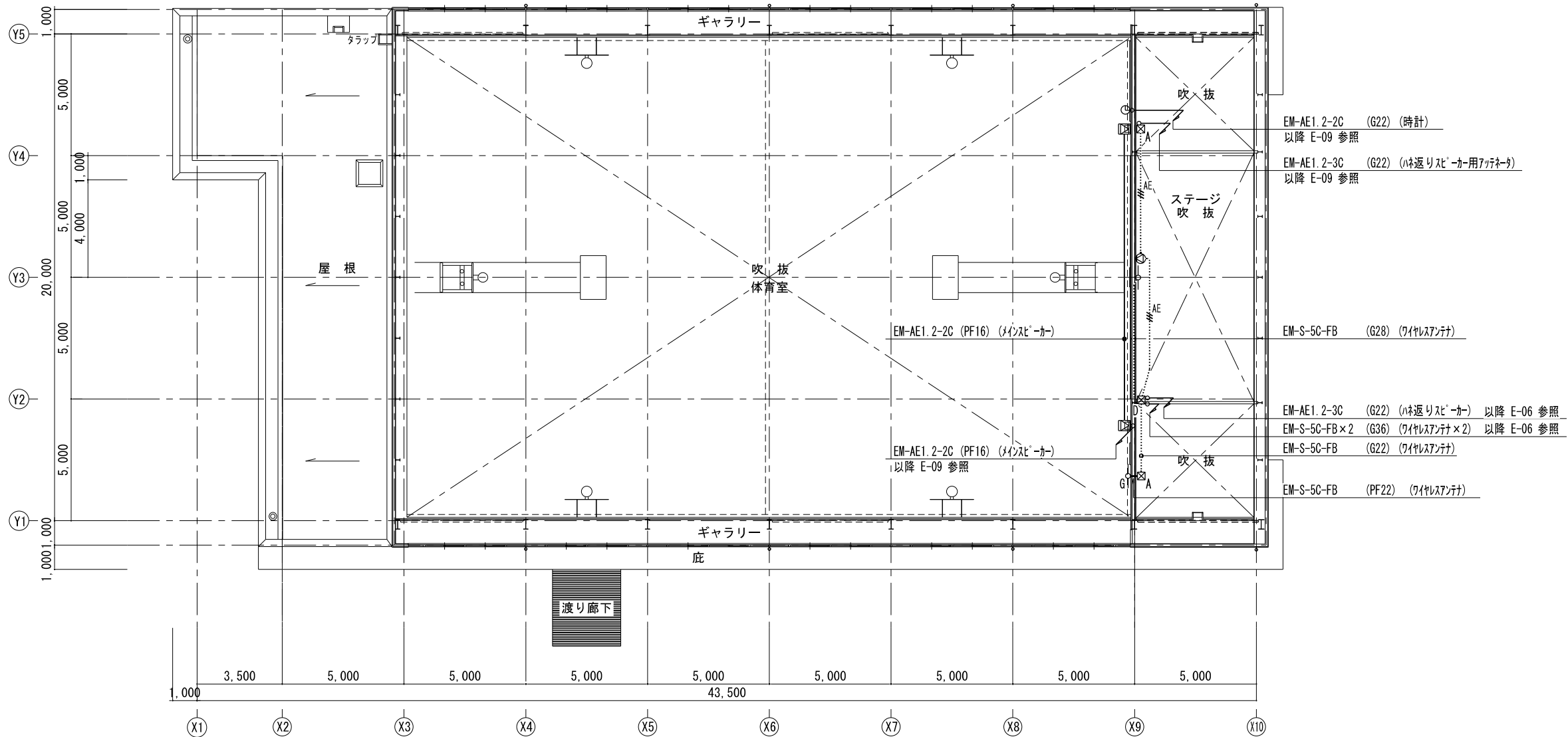
通信・情報設備 既存 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 10



凡例	
	メインスピーカー
	ネットワークリピーター
	壁取付用ワイヤレスアンテナ
	壁取付用ワイヤレスアンテナ（防球ネット付）
	壁掛け時計
特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-AE1.2-3C (G22)

- 凡例
- _A : プルボックス (150×150×100) 鋼板製 錆止め塗装
 - _a : プルボックス (150×150×100) 溶融亜鉛めっき 防水型
 - _B : プルボックス (200×200×150) 鋼板製 錆止め塗装
 - _b : プルボックス (200×200×150) 溶融亜鉛めっき 防水型
 - _D : プルボックス (300×300×200) 鋼板製 錆止め塗装
 - _d : プルボックス (300×300×200) 溶融亜鉛めっき 防水型
- ※ () は接地端子付とする。

※特記なき太線は新設とする。

通信・情報設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

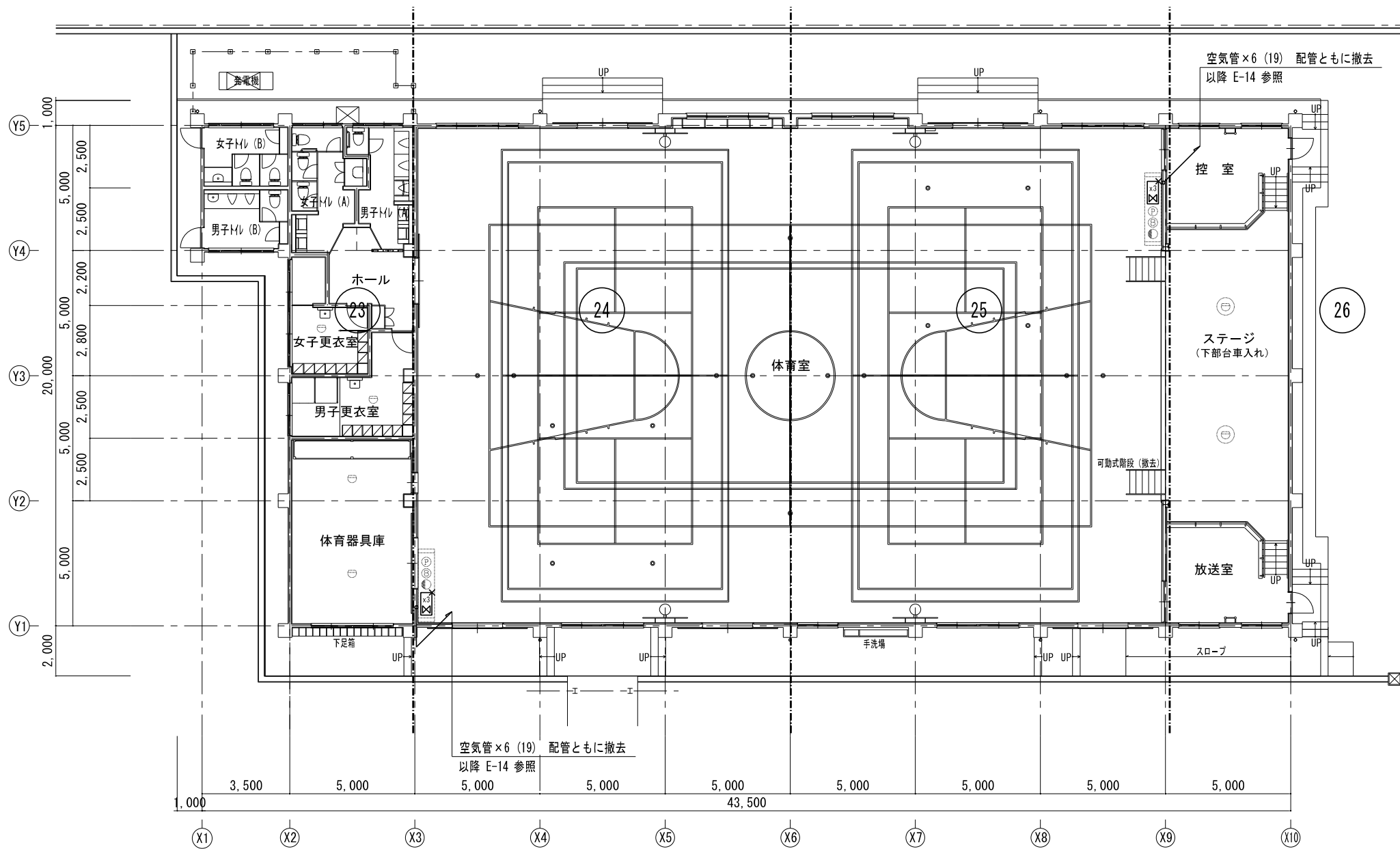
通信・情報設備 改修 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 11



凡例	
⊖	差動式ｽﾏｰﾄ型感知器 2種
⊖	差動式ｽﾏｰﾄ型感知器 2種 ｽﾃｰｼﾞ下
Ⓟ	発信機 P型1級
Ⓢ	電鈴 DC24V
●	表示灯 AC24V
□	機器収容箱
⊠	差動式分布型感知器の検出部
—	差動式分布型感知器 (空気管式)
- - - - -	警戒区域境界線
(No)	警戒区域番号
×	撤去を示す。

※特記なき太線は撤去とする。

自動火災報知設備 既存 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

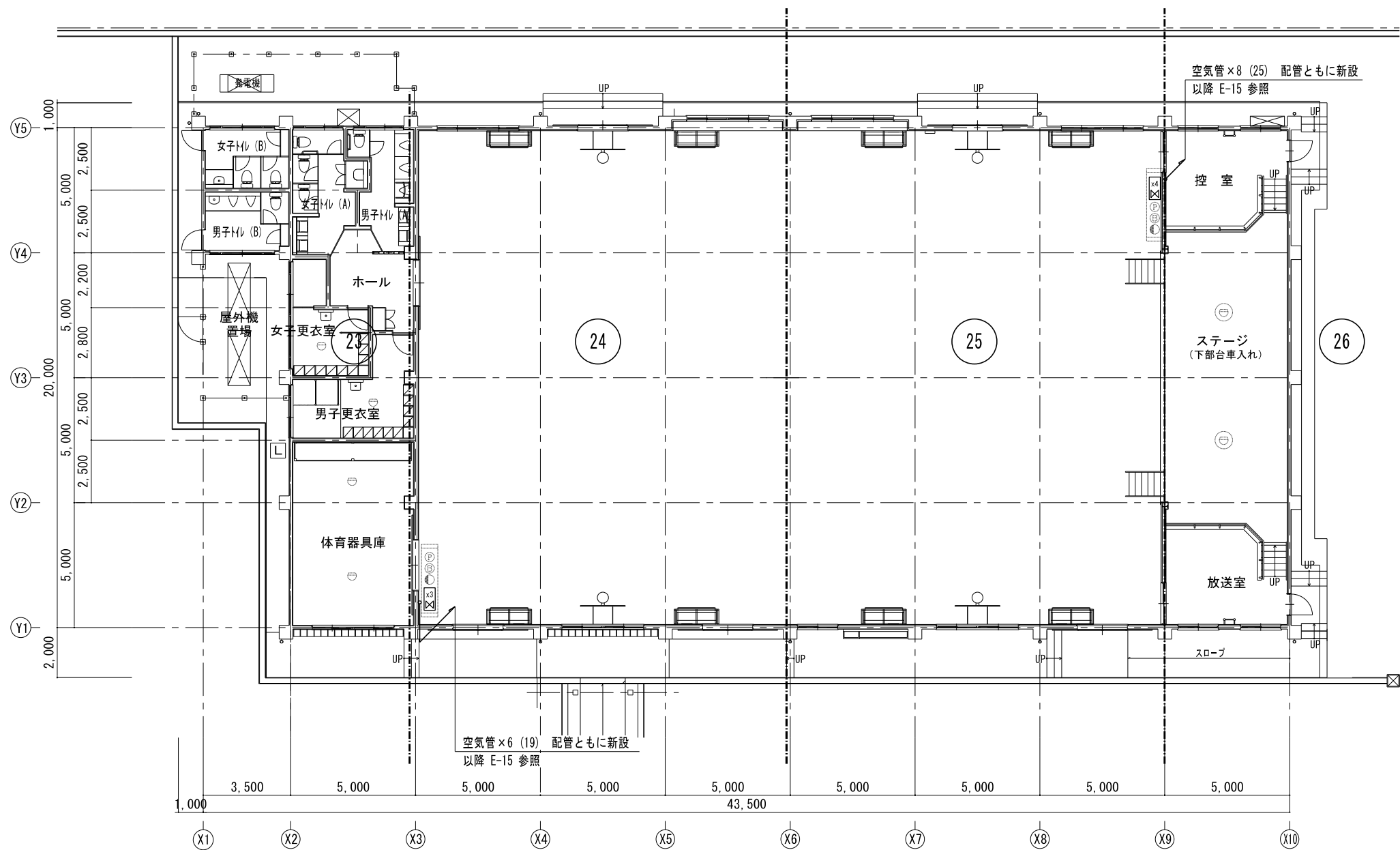
自動火災報知設備 既存 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 12



凡例	
⊖	差動式ｽﾚｯﾄ型感知器 2種
⊕	差動式ｽﾚｯﾄ型感知器 2種 ｽﾃｰｼﾞ下
Ⓟ	発信機 P型1級
Ⓢ	電鈴 DC24V
●	表示灯 AC24V
□	機器収容箱
⊠	差動式分布型感知器の検出部
—	差動式分布型感知器 (空気管式)
- - - - -	警戒区域境界線
Ⓝ	警戒区域番号

※特記なき太線は新設とする。

自動火災報知設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

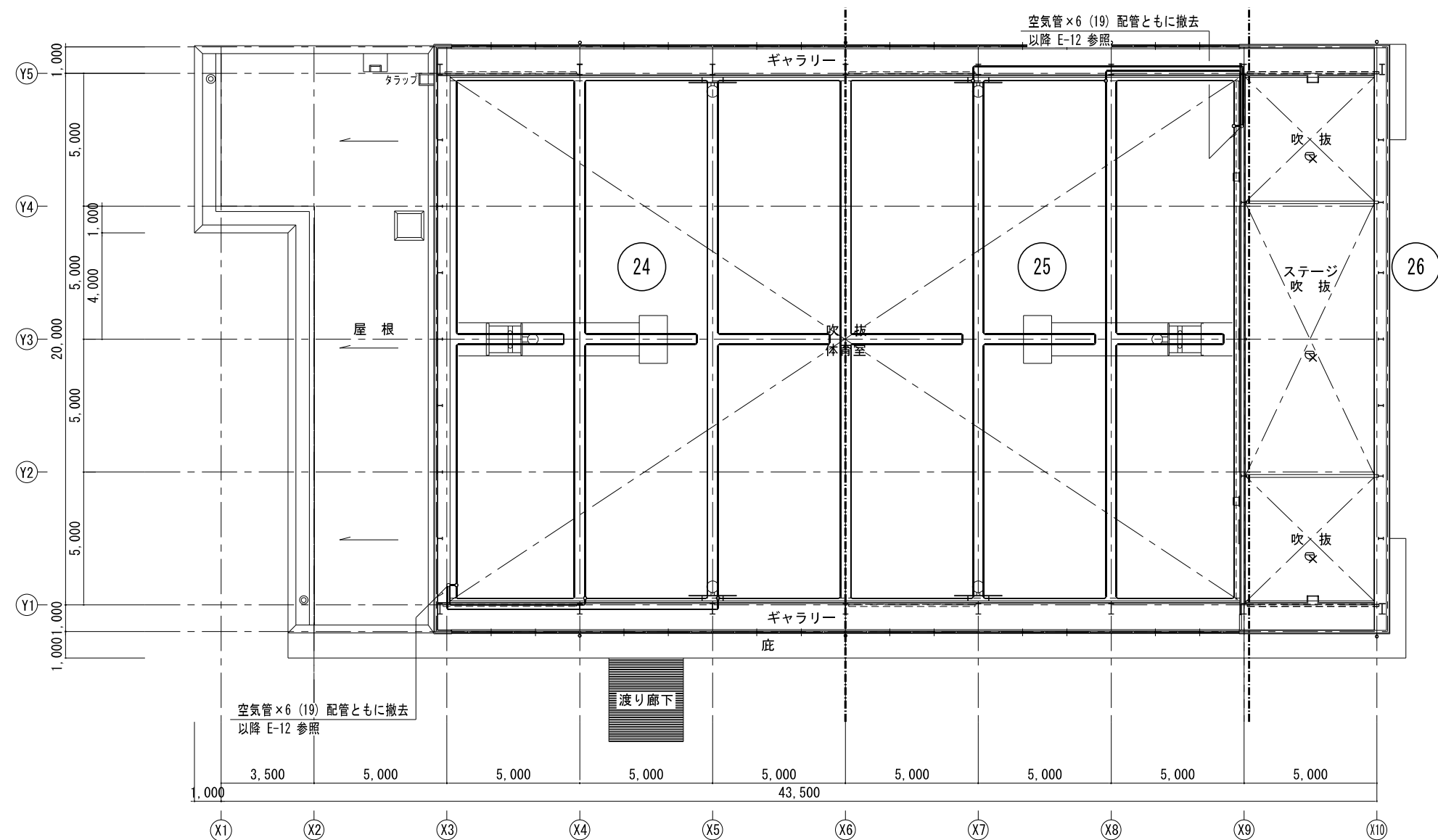
自動火災報知設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 13



凡例	
	差動式点型感知器 2種
	差動式分布型感知器（空気管式）
	警戒区域境界線
	撤去を示す。
	警戒区域番号

※特記なき太線は撤去とする。

自動火災報知設備 既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

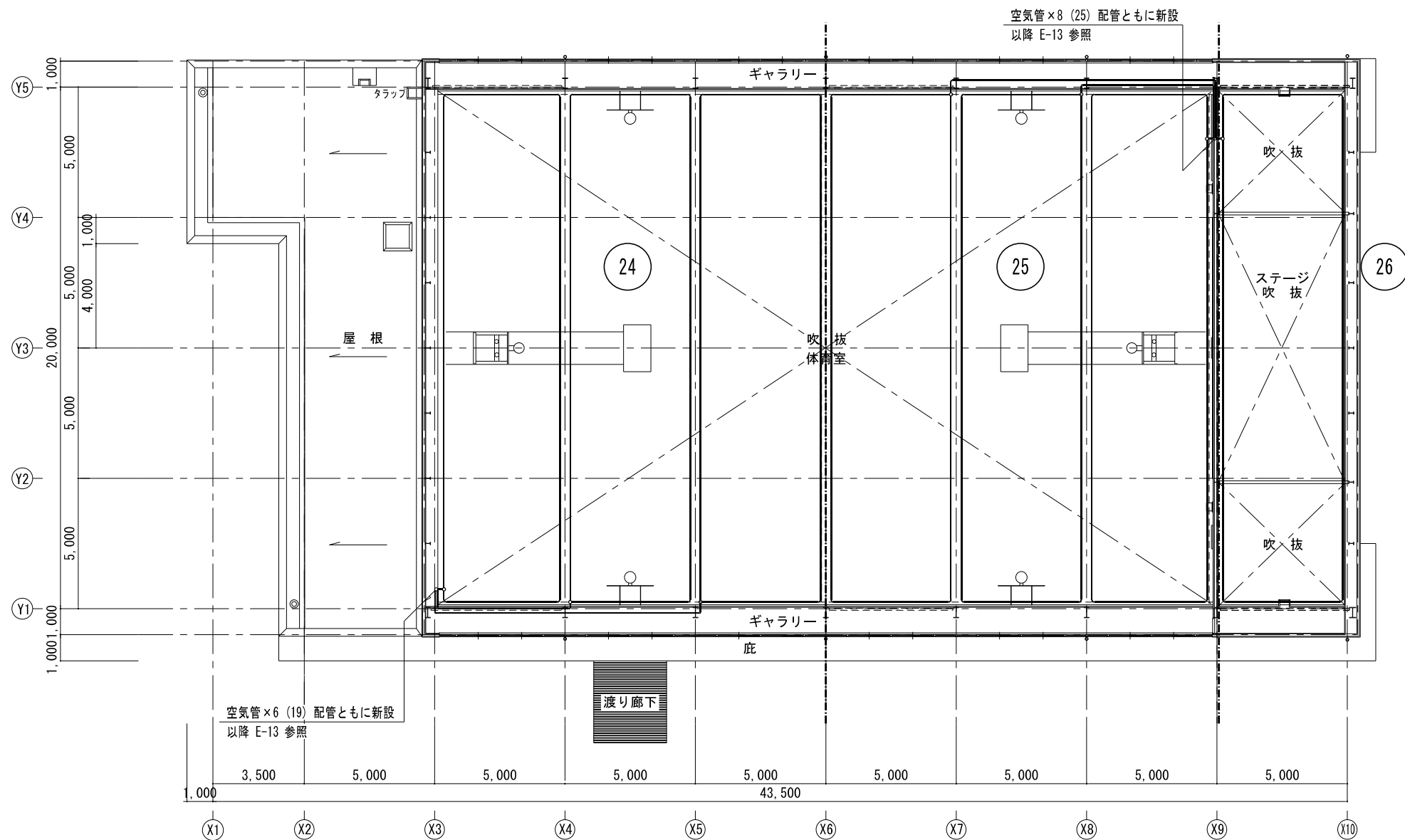
自動火災報知設備 既存 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 14



凡例		
	差動式分布型感知器（空気管式）	新設
	警戒区域境界線	
	警戒区域番号	

※図中、太線は今回工事を示す。

自動火災報知設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

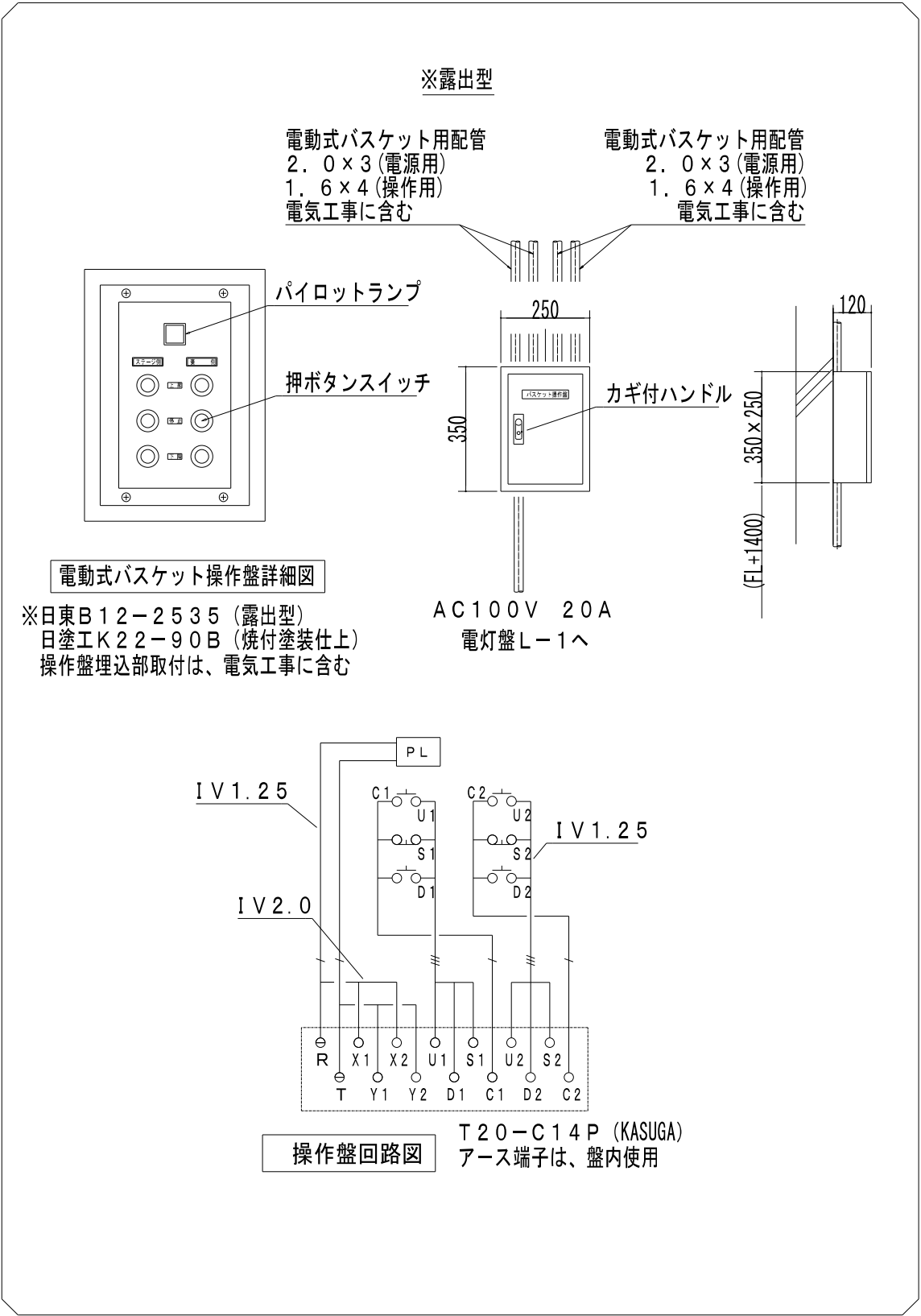
自動火災報知設備 改修 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

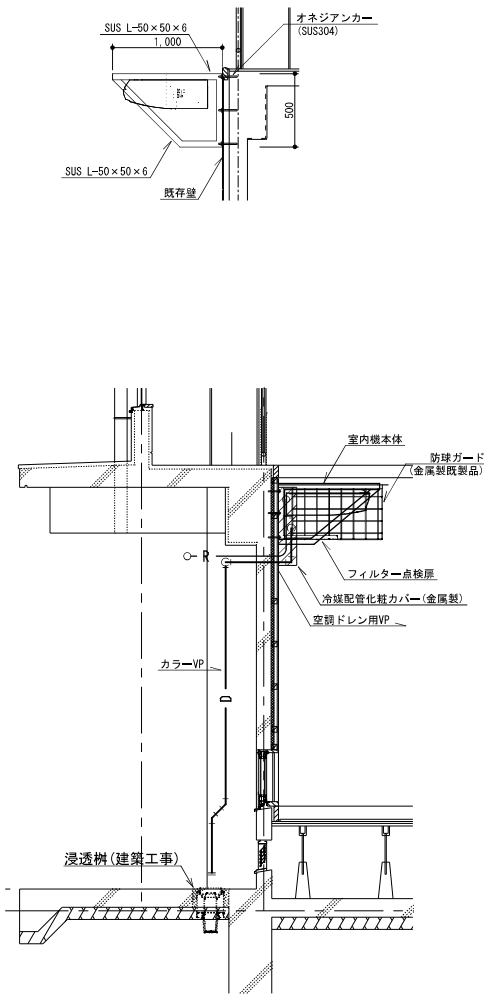
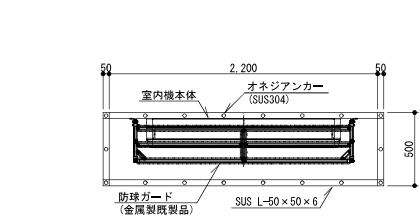
図面番号

E- 15



1. 工事名称		高老名市立西高等学校屋内運動場大規模改修工事			
2. 工事場所		神奈川県高老名市さつき町5番地			
3. 建物概要					
建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築費(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分
屋内運動場	1F・2F 軟質舗装 3造	地上1階建	823.30	901.70	
4. 工事項目 (○印のついたものを適用する。)					
建設種別及び 工事項目		工 事 種 別			
建設種別	屋内運動場				屋 外
○電気設備	○				
○暖気設備	○				
●緑地設備					
●自動制御設備					
●自然換気設備					
●給水設備					
●排水設備					
●給湯設備					
●給電設備					
○ガス設備	○				
●浄化槽設備					
●環境機器					
●施設工事					
5. 設備概要 (○印のついたものは、主要方式を示す)					
方式	設 備		要 求		
空調設備及び方式等	○ 空室空調	全空室方式	ファンコイルユニット、ダクト併用方式	○ パッケージ方式	
	● 温風暖房	全空室方式	ファンコンベクター、ダクト併用方式		
	● 直接暖房	温水暖房			
	● 電気式	電子式	デジタル方式	空気式	中央空調制御
給水方式	● 水道直結方式 ● タンクレスプーアスター方式				
排水方式	● 分流式 ● 合流式				
	● 分流水 ● 合流水				
	汚 水	(下水道放流、し尿浄化槽)	不活性汚泥	汚 水	
	雨水	(下水道放流、し尿浄化槽)	側溝	別途測	
給湯方式	● 中央式				
消火設備方式	● 室内消火栓 (通水、乾式) ● 遠隔送水管 ● 屋外消火栓				
	● スリッパ式 (通水、乾式) ● 不活性汚泥				
ガス設備方式	○ 都市ガス 種類 (3A) kJ/m ³ (N) (供給圧力 Pa) ● 液化石油ガス				
II. 特記仕様書					
1. 一般事項 (1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官庁審判部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編、最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編、最新版)」(以下「標準仕様書」という。)、「国計財政省・環境省監修の『公共建築設備工事標準図説(機械設備工事編、最新版)』」(以下「標準図」という。))及び国土交通省大臣官庁審判部監修の「機械設備工事標準図(機械設備)」による。					
(2) 電気設備及び建築工事の本工事に含まれる場合、電気設備工事及び建築工事ではそれぞれの工事仕様書を適用する。					
(3) 項目は番号と○印の付いたものを使用する。					
(4) 項目は番号、○印の付いたものを使用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを使用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。					
注 目	対 応 条 項				
① 適用基準等	○ 工事写真の取り方(建築設備編) (国土交通省大臣官庁審判部監修) ○ ○ ○				
② 機 材 等	※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の調達及び施工に当たっては、腐食性有機化合物の散状による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様が、日本工業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、壁紙材料総合焼色製品または同商品、化学物質製製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。				
③ 機材の品質・性能証明	本工事で事前に主要機材メーカーリスト及び機材納付書提出し、監督職員の承認を受ける。 また、取組協議は、設計図書に定める品質及び性能を有するものの証明書資料又はパッケージ等が発行する資料等のもので監督職員に提出して、承認を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等をきむ。				
④ 保 険	本工事を着手前工事目的性及び工事材料等を、本工事を完了後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出すること。				
⑤ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工務所施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承認を受ける。				
⑥ 工事実施関係者の登録	該員数が500万円以上の場合は、CORINSに登録する。 受発注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出すること。				
⑦ 手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関へ必要な届出手続きを遅滞なく行う。 なお、当該手続に係る費用は、請負者の負担とする。				
⑧ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に連絡するとともに、任意様式にもつづき「事故報告書」を指示する日までに監督職員に提出する。 ※ 適用する ● 適用しない				
⑨ 電気保安技術者	● 適用しない				
10. 技能士の活用	本工事で下記の技能検定技能士(1級・2級)を適用させる。(資格証の写しを提出する) ○ 配電工(保安工系) ● 建築電気工(電気工系) ● 建築衛生工(衛生工系) ● 冷凍空調設備機械施工(冷間ユニット、パッケージ型空気調和機の据付け等)				
⑪ 足場等	● 別掲の契約保証金及び足場の利用は無償で使用する。 ○ 本工事で設置 枠組足場を利用する場合は、「事前先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省)」によるものとし、二階手すり及び啄木の機能を有するものでなければならない。				
⑫ 工事表示板	※ 設置する ● 設置しない 高老名市公共工事共通事項書による				
⑬ 監督員事務所	※ 設けない ● 設ける				
⑭ 雇用電力、水、その他	本工事に必要な雇用電力、水及び諸手段などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。				
⑮ 工事用設備器具	構内に作ることができない ● できる				
⑯ 残土処理	● 構外処理 ○ 構内指定の場所に敷き均し ● 構内指定の場所にた積み				
⑰ 発生材の処理	(1) 建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ● なし ○ あり (2) フロンガスを回収廃棄物の規定に基づく措置の該当 ○ なし ● あり (3) 引張りをするもの ○ なし ● あり (4) 廃棄物(「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第9条の廃棄物を遵守し、構外搬出の上、適切に処分すること)				
	(ア) 特別管理産業廃棄物 ※ なし ● あり () (イ) 特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ● コンクリート () ● コンクリート及び鉄から成る建設資材 () ● 木 材 () ● アスファルトコンクリート () (ウ) その他養生中の粉じん等分別施設 ● コンクリートガラ等の不定型の産業廃棄物 () ● 木くず等の管理型の産業廃棄物 ()				
	建設リサイクル法 ○ 対象工事 ※ 若しくは決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第1号表1～3のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を出すものとす。また、特定建設資材廃棄物の再資源化率の実了したときは、建設リサイクル法第18条に基づいて書面により報告すること。 ○ 対象外工事				
⑱ 総合調整	※ 本工事において以下の項目の総合調整を行い、報告書を出すもの。 ● 別途 建設調整の項目 ● 風量調整 ● 室内外空気の温度測定 ● 室内空気及びばいりんの測定 ● 騒音の測定 ● 初期運転状態の記録 ● 水質検査の調査結果精度の測定 ● 経路の測定 ● 断熱性・断熱性劣化水の測定 ● 燃費の最終検証の測定 ● 水圧調整 測定箇所は、監督職員の指示による。				

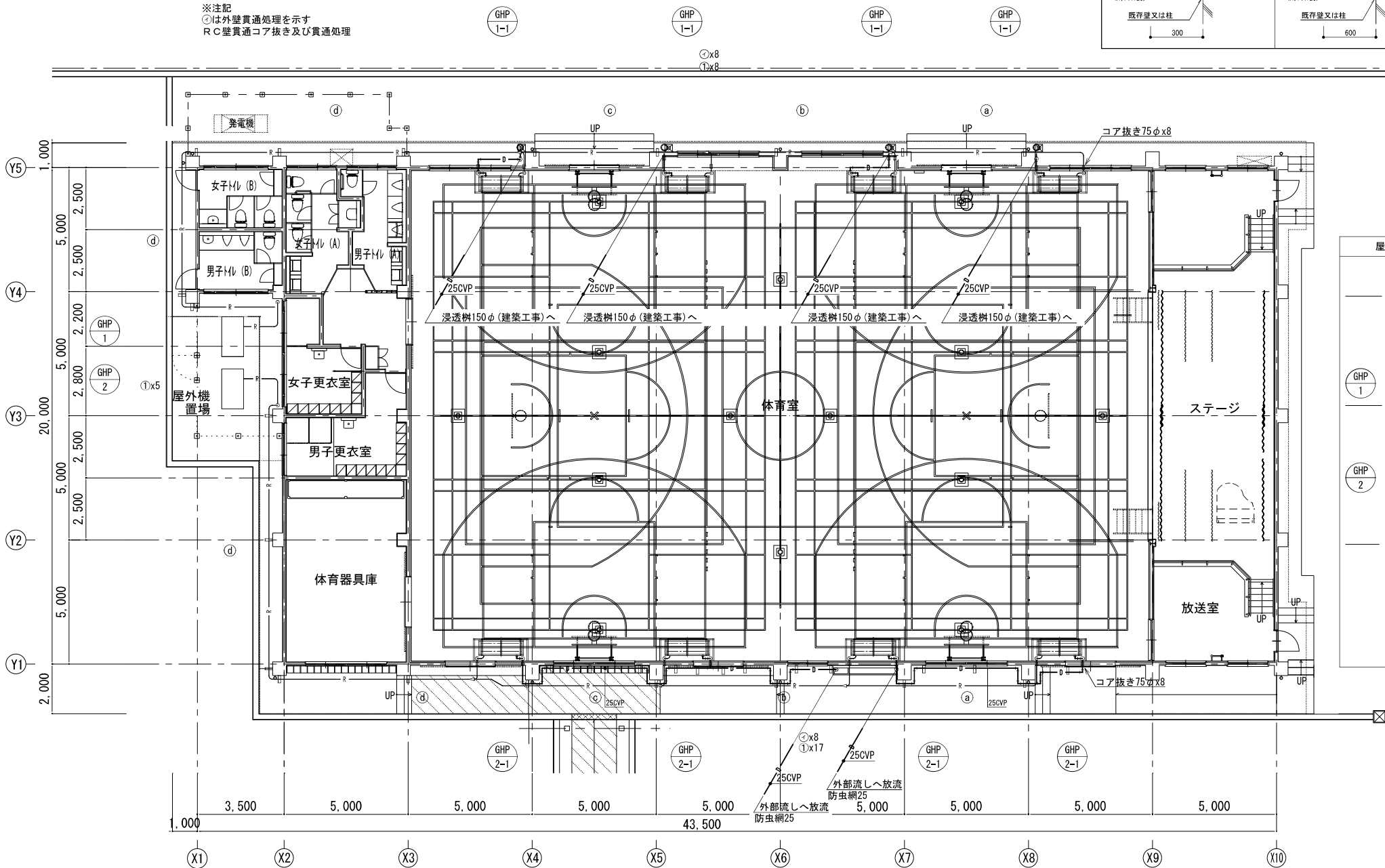
給 水 配 管	1. 量水器	(1) 親メーター ※ 水道事業者支給品 (2) 子メータ ※ 本工事
	2. 量水閥	(1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図 (機材 53) (2) 子メーター用 ※ 標準図 (機材 53) ・ 水道事業者の指定品
	3. 配管材料	(1) 一般用 ・ ステンレス鋼管 (鋼管) ・ 塩ビライニング鋼管 (・ SGP-VA ・ SGP-VB) ・ ポリ塩ビライニング鋼管 (・ SGP-PA ・ SGP-PB) ・ 複層ポリ塩ビル管 (・ VP ・ HVP) (2) 上開配管用 (廊下、浴室等のシンダー内含む) ・ ステンレス鋼管 (SUS316) ・ 塩ビライニング鋼管 (SGP-VF) ・ ポリ塩ビライニング鋼管 (SGP-PF) ・ 複層ポリ塩ビル管 (・ VP ・ HVP) (3) 屋外中用 ・ ステンレス鋼管 (SUS316鋼管) ・ ポリ塩ビライニング鋼管 (SGP-PF) ・ 塩ビライニング鋼管 (SGP-VF) ・ 複層ポリ塩ビル管 (・ VP ・ HVP) ・ 水適用ゴム輪形硬質塩化ビニル管 ・ ポリエチレン管
	4. 不凍水栓柱	化粧ケーシング (・ アルミ合金製 ・ 金剛樹脂製)
	5. 壁埋込型散水栓ボックス	贈付とする。
	6. 弁 類	(1) 水道直結部分 ※ JIS 又は J V 10 K ・ 水道事業者の指定による K (2) その他の部分 ※ JIS 又は J V 5 K ・ JIS 又は J V 10 K
	7. 給水栓	(1) 屋内 (※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) (2) 屋外 (※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) ※ 湯沸、浴用、買用用水栓は凍害とする。
	8. 埋設深さ	(1) 一般敷地内 (m 以上) (2) 敷地内車両道路 (m 以上) (3) 公道部分 (※ 水道事業者及び道路管理者規定による)
	9. 保 温	(1) 量水閥内の保温を行う。
	10. 埋設開閉用ハンドル	本工事に ※ 含む (水道事業者管理用以外の併接作用) ・ 含まない
	11. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要 ・ その他 (・ 要 (・ 本工事 ・ 別途))
	12. その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。
排 水 配 管	1. 配管材料	(1) 屋内汚水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ 鉄鋼管 ・ 硬質ポリ塩ビ化 (・ VP) ・ 汚水用硬質ポリ塩ビ化 (・ SGP-PF) ・ 耐火二重管 (2) 屋外排水用 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (買) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (買) (買用排水用) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (買) (買用排水用) ・ 汚水用硬質ポリ塩ビ化 (・ VP) ・ 汚水用硬質ポリ塩ビ化 (・ SGP-PF) ・ 耐火二重管 (3) 屋外中用汚水、排水用 ・ コンクリート管 (1種500) ・ 硬質ポリ塩ビ化 (・ VP) ・ (VP) ・ (VP) ・ 汚水用硬質ポリ塩ビ化 (・ SGP-PF) (4) 上開配管用 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ 鉄鋼管 ・ 汚水用硬質ポリ塩ビ化 (・ SGP-PF) (5) 通気管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (買) ・ コーティング鋼管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (買) ・ 硬質ポリ塩ビ化 (・ VP) ・ 汚水用硬質ポリ塩ビ化 (・ SGP-PF) ・ 耐火二重管
	2. 排水口	・ 樹根系は図面番号 () (1) 材料 ・ R C ・ 硬質塩化ビニル ・ ポリプロピレン ・ S C (2) ふた ・ 鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ TBA) ・ 樹脂製 ※ 排水口、流路入りおよび樹脂製ふたは原則として SUS チェーン付 (3) 規格 ・ 下水道協会 (J S W A S) ・ 排水設備用樹脂製排水協会 (H M S) ・ 市町村別基準 (・ 有 ・ 無)
	3. グリース阻集器	・ F P P 製 (・ L) ・ S U S 製 (・ L) 詳細は図示。
	4. 満水試験継手	図示の箇所に取り付け、満水試験を行うこと。
	5. 試 験	・ 衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。 ・ 衛生器具などの取付完了後、種試験を行う。
	6. 放流板租金等	・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)
	7. 基礎材	※ 再生クラッシュラン
	1. 配管材料	・ ステンレス鋼管 (S U S 3 0 4 鋼管) ・ 耐熱性塩ビライニング鋼管 ・ 鋼管 ・ 一般硬質鋼管 ・ 保温付硬質鋼管 排水設備の当該事項による。 厚さ 5mm 以上のステンレス鋼板製とする。 満灌器の給排水管 (二重管) のいんべい部保温を行う。 (h ・ (f) ・ V I)
	2. 弁 類	
	3. 満灌器の排水管	
	4. 保 温	
	汚 水 配 管	1. 配管材料



室内機廻り詳細図 S=1:30

記号	冷媒管 (CUP) (液管/ガス管)	制御配線	電源配線
a	9.5φ/15.9φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EEF-2, 0~3C
b	9.5φ/22.2φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EEF-2, 0~3C
c	12.7φ/28.6φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EEF-2, 0~3C
d	15.9φ/28.6φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EEF-2, 0~3C

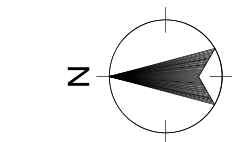
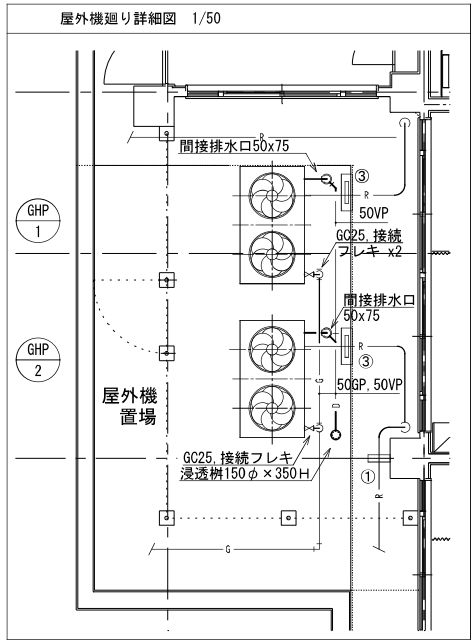
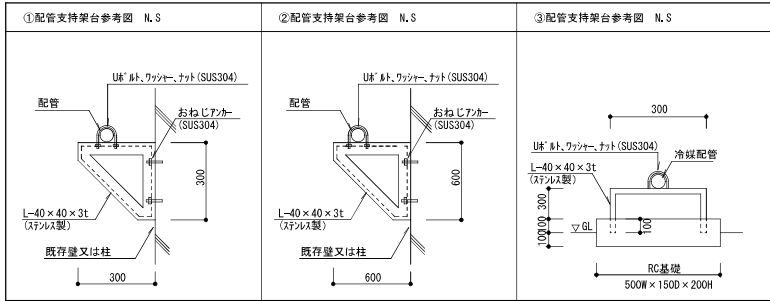
※注記
②は外壁貫通処理を示す
R C壁貫通コア抜き及び貫通処理



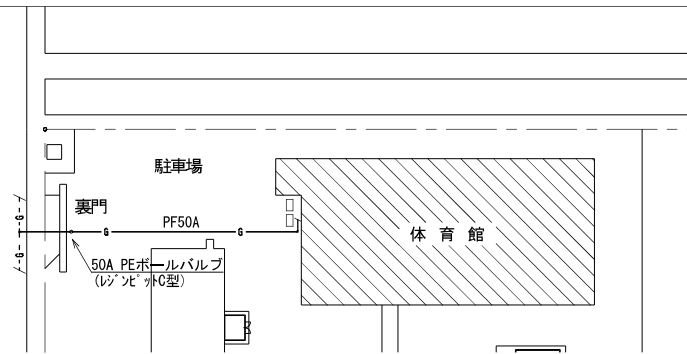
空調設備 改修 1階平面図 1/100

機器表

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧(V)	出力(kW)		階	室名	
GHP-1	室外機	形 式 : ガス吹き空冷ヒートポンプマルチエアコン (電源自立型)	1	200	1.33	2	1	室外機置場	コンクリート基礎 (建築工事)
GHP-2		冷 房 能 力 : 56.0kW 暖 房 能 力 : 63.0kW ガス消費量 : 13A 冷房49.2kW 暖房46.6kW (発電時)							
		冷 媒 : R410A 付属品 : SUS製基礎ボルト 防振ゴムパッド 冷媒分岐管×3 電源切替盤、その他標準付属品共							
GHP-1-1	室内機	形 式 : 天井形	1	200		8	1	体育館	金属製防球ガード
GHP-2-1		冷 房 能 力 : 14.0kW 暖 房 能 力 : 16.0kW 付属品 : ゴムパッド その他標準付属品共							
R	個別リモコン	形 式 : ワイヤードリモコン 機 能 : 運転・停止 温度・風量設定 異常・故障表示 週間タイマー 付属品 : 銀付リモコンボックス	1	100		2	1	控室1	
C	コインタイマー	形 式 : コインタイマー 仕様硬貨 : 100円硬貨 連続投入 50枚迄 運転時間 : 10分~190分(10分単位)	1	100	0.004	1	1	控室1	屋内機用中継基盤共 電源供給は電気工事



ガス引込配置図 1/500



工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

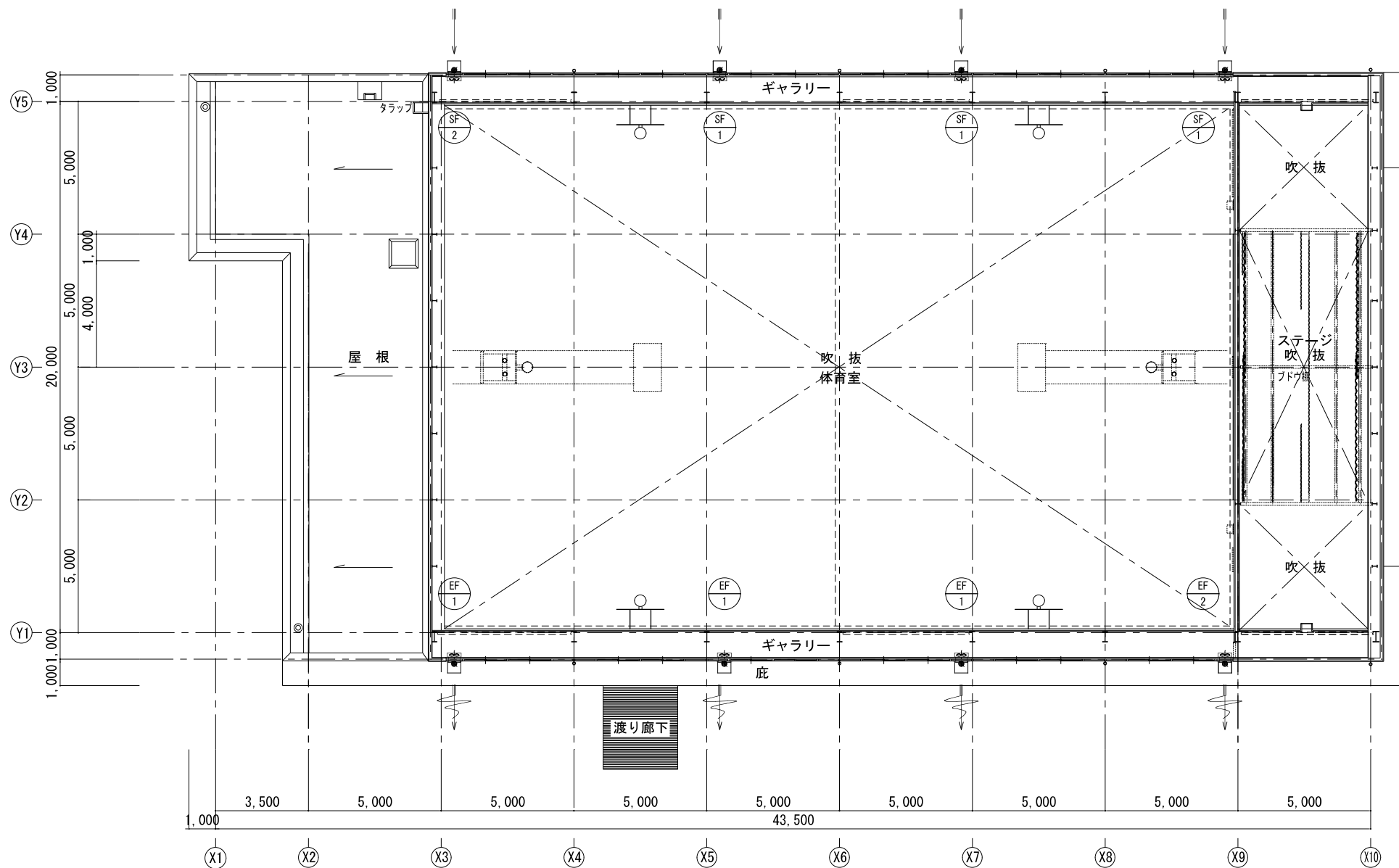
空調設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

M-02

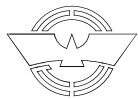


換気設備 改修 2階平面図 1/100

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
EF-1	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：40cm × 2320m3/h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	135	3	2	体育場上部	（バックガードには電線金網 巻き込み防止を施す。）
EF-2	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：30cm × 1300m3/h × 40Pa （24時間換気 1300m3/h） 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	56	1	2	体育場上部	（バックガードには電線金網 巻き込み防止を施す。）

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
SF-1	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：40cm × 2320m3/h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	152	3	2	体育場上部	（バックガードには電線金網 巻き込み防止を施す。）
SF-2	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：30cm × 1300m3/h × 40Pa （24時間換気 1300m3/h） 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	73	1	2	体育場上部	（バックガードには電線金網 巻き込み防止を施す。）

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

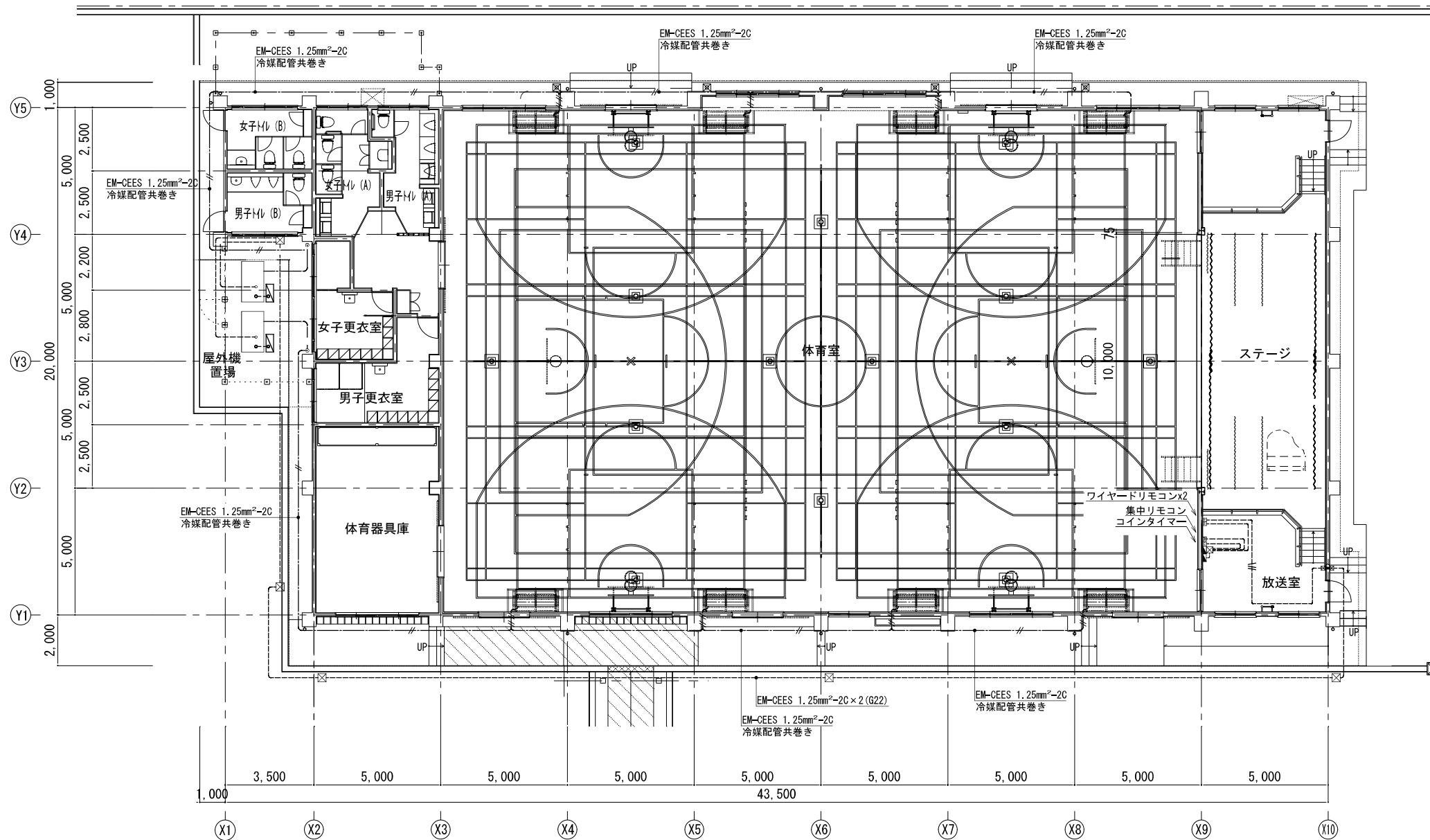
換気設備 改修 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

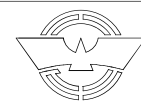
図面番号

M-03



計装設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

縮尺

計装設備 改修 1階平面図

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

M-04